「しんかい2000」を用いた我が国における深海研究活動の評価と提言

深海調査研究計画委員会・深海調査研究計画調整部会

「しんかい2000」の運航休止に伴い，深海調査研究計画委員会・深海調査研究計画調整部会から，「しんかい2000」の活動の評価と提言を述べる。

問い合わせ先：海洋科学技術センター研究業務部計画調整課

キーワード：しんかい2000，評価と提言，深海調査研究計画委員会，深海調査研究計画調整部会

深海調査研究計画委員会メンバー　＊：深海調査研究計画調整部会兼任

委員長　玉木　賢策＊
東京大学海洋研究所　教授

委員　加藤　憲二＊
静岡大学理学部生物地球環境科学科　教授

委員　白山　義久
京都大学大学院理学研究科フィールド科学教育研究センター　教授

委員　小川　勇二郎
筑波大学地球科学系　教授

委員　川幡　穂高＊
産業技術総合研究所海洋資源環境研究部門　グループ長

委員　高橋　栄一
東京工業大学大学院理工学研究科　教授

委員　西澤　あずさ
海上保安庁海洋情報部技術・国際課　海洋研究室　主任研究官

委員　森鼻　英征
東海大学海洋学部マリンデザイン工学科　教授

委員　徐　垣
海洋科学技術センター　深海研究部　研究主幹

委員　三ヶ田　均
海洋科学技術センター　深海研究部　研究主幹

深海調査研究計画調整部会メンバー

部会長　浦辺　徹郎
東京大学大学院理学系研究科　教授

部会員　網谷　泰孝
海洋科学技術センター海洋技術研究部　研究主幹

部会員　藤倉　克則
海洋科学技術センター　海洋生態・環境研究部　研究副主幹

部会員　門馬　大和
海洋科学技術センター　研究業務部　部長

事務局

田代省三
海洋科学技術センター研究業務部計画調整課　課長

柴田　桂
海洋科学技術センター総務部海務課　課長　（現：人事課）

相原正則
海洋科学技術センター研究業務部計画調整課　主任（現：日本海洋事業）

1. はじめに

1987年より深海研究に本格的に使用を開始された潜水調査船「しんかい2000」は，その安全かつ安定した運航計画によって，日本の深海研究のレベルを飛躍的に高めてきた。現在の日本の深海研究が潜水調査船「しんかい6500」，11000m級無人潜水艇「かいこう」を擁し，世界の深海研究の最前線にあるのも，「しんかい2000」による運航と科学研究が成功裡に進展してきたからであることは，わが国の深海研究者の共通の認識である。しかし，これで，「しんかい2000」の役目が終わったということでは決してない。私は，深海調査研究委員会の委員長を2期6年間務めてきたが，その間一貫して，「しんかい2000」に対する利用申請が他の深海観測装置に比べて，圧倒的に多く，全国の研究者の間で潜航のチャンスを獲得するために熾烈な競争がなされてきたのが事実である。その利用申請の最も大きな部分を占めたのが生物学研究分野からであった。この10数年の「しんかい2000」による日本の海洋生物学者の精力的な観察研究によって，日本周辺海域の深海生態系は地球上で最も調査が進み，理解されているフィールドとなっている。本報告では，「しんかい2000」を利用して，深海生物研究の最前線を切り開いてきた研究者が，その成果をまとめ，深海生物学研究の更なる進展に向けて，どのような深海観測研究システムが必要とされるかについての提言をまとめたものである。本提言が，「しんかい2000」の研究成果を引き継ぎ発展させるための，強力な次世代型の中深度潜水観測システムの開発に結びつけば幸いである。（玉木賢策）

2.「しんかい2000」システムの歴史

2.1. 建造の経緯

潜水調査船「しんかい2000」システムは，潜水調査船「しんかい2000」・支援母船「なつしま」・無人探査機「ドルフィン-3K」から構成される。そのうち「しんかい2000」と「なつしま」に関する建造の経緯は，500回潜航記念時に出版された「潜水調査船「しんかい2000」500回潜航記録海洋科学技術センター」（1991）に詳しく述べられているので，以下に重要な記述を抜き出した。

- 1969年（昭和44）海洋科学技術審議会　第3号答申により6000m級潜水調査船の開発の必要性を指摘
- 1970年（昭和45）運輸省（当時）・日本船舶機器開発協会等で構成要素の研究開発に着手
- 1973年（昭和48）海洋開発審議会　6000m級潜水調査船の開発の必要性を提言。これを受け，海洋科学技術センターが4カ年計画で6000m級潜水調査船の実現可能性を検討。その結果，6000m級に至る中間段階として2000m級の開発・運用を目指すことになった
- 1977年（昭和52）2000m級潜水調査船の基本設計
- 1978年（昭和53）2000m級潜水調査船と支援母船の開発建造に着手。2000m級潜水調査船は1978年（昭和53）－1981年（昭和56）に三菱重工業株式会社神戸造船所にて建造および試運転。支援母船は1979年（昭和54）－1980年（昭和55）に川崎重工業株式会社神戸造船工場にて建造および試運転。両者とも，1981年（昭和56）10月に海洋科学技術センターに引き渡し。
- 1981年（昭和56）12月－1983年（昭和58）7月試験・訓練潜航
- 1983年（昭和58）8月　富山湾にて調査潜航開始

無人探査機「ドルフィン-3K」は，「しんかい2000」が潜航する際の事前調査や救難の目的で開発・運用された。開発の経緯については服部ほか（1989）に詳しく記述されており，以下に服部ほか（1989）を基にして経緯を抜き出した。

- 1982年（昭和57）－1987年（昭和62）ビークル本体部：三井造船株式会社千葉事業所にて建造および試運転。
- 1983年（昭和58）－1986年（昭和61）ケーブル：三井造船，藤倉電線，海洋科学技術センターの3者で共同開発
- 1987年（昭和62）8月　海洋科学技術センターに引き渡し後，潜航行動開始。

そして，「しんかい2000」は2002年（平成14）11月11日相模湾で潜航（通算1411回）した後，活動は休止となった。「ドルフィン-3K」は，2002年（平成14）9月29日小笠原諸島須美寿島沖で潜航（通算576回）した後，運航終了となった。（藤倉克則・田代省三）

2.2. 運航の経緯

「しんかい2000」システムの引き渡し当初は，日本で深海潜水調査船の運航経験を持つ者がいなかったことから，海上保安庁で潜水船「しんかい」（最大潜航深度；600m）の運航に携わっていた者，防衛庁で潜水艦の乗組員経験のある者，深海潜水の経験者，民間潜水船の運航経験者と整備経験者を中心に，新卒の人員並びに三菱重工からの保証技師2名を迎えた混成チームとして運航を開始した。

運航開始当初は，公試時から問題となっていた耐圧コネクタへの浸水が続発し，その後の運航すら危ぶまれたが建造造船所による同コネクタの改造とその後の運用手順の改訂により問題が解決された。また，専用母船を新造した潜水調査船システムの建造は世界でも画期的なことで，初代母船船長，乗組員並びに運航チーム員による暗中模索の中，徐々に深海調査の運用技術を開拓していった。その後の「しんかい6500」も含め日本における深海調査システムの運用並びに調査手法は，全てこの時期に確立された。

1990年（平成2年），「しんかい6500」の完成にともない，それまでの潜水船運航経験を有する運航チーム員は「しんかい6500」の運航に携わることになり，「しんかい2000」の運航は，海洋科学技術センターの調査船運航会社である日本海洋事業株式会社に引き継がれることになる。実際には，1990年（平成2年）から海洋科学技術センターと日本海洋事業株式会社の人員との混成チームで運航し，1993年（平成5年）からは一部海洋科学技術センターからの人員を残しつつも運航主体を日本海洋事業株式会社に委託，1996年（平成8年）からは完全に日本海洋事業株式会社の運航チームにより2002年（平成14年）の運用休止まで運航された（付表1）。

「ドルフィン-3K」は，1986年（昭和61年）4月から海洋調査船「かいよう」に搭載され各種試験が実施された。1987年

（昭和62年）8月に全ての試験が終了しセンターに引き渡され，以降はセンターの人員による訓練潜航が実施された。同年12月から1988年（昭和63年）1月の中間検査において，「なつしま」は「ドルフィン-3K」搭載のための左舷端艇甲板の拡張，音響航法装置等の大改造が行われた。この「ドルフィン-3K」が搭載されるまでの間「なつしま」ではサイドスキャンソーナー及びディープトウ曳航カメラシステムを用いた潜航前の事前調査及び安全確認を実施していたが，上記改造以降，それらの機器の同時搭載が不可能となったことに伴い，事前調査は「ドルフィン-3K」で全て行うことになった。

「ドルフィン-3K」は，「しんかい2000」と同時に1993年（平成5年）運航委託となり，その後日海事の人員により2002年（平成14年）の運用終了まで運航された。（田代省三・柴田桂）

2.3. 建造に係わる技術開発

「しんかい2000」の開発が始まった1977年には，世界ではすでに第二世代の深海潜水調査船，米国WHOIの「ALVIN」（最大潜航深度4000m）や仏国CNEXO（現IFREMER）の「CYANA」（最大潜航深度3000m）が深海底の調査に大活躍していた。第一世代と第二世代との大きな違いは船体の大きさである。第二世代ではシンタックティックフォームやチタン材等，軽量高強度の材料が多用され，船体が非常に小さくなった。最大潜航深度こそバチスカーフと呼ばれる巨大な第一世代，米海軍の「TRIESTE」や仏海軍の「ARCHIMEDE」に及ばないが，小型であるため，水平方向の運動性能がよく，さらに母船に搭載できるため機動性にも富んでいた。第一世代は最深部への冒険の時代であったが，第二世代になって，本格的な深海底調査の時代が到来した。

一方，我が国では，それまでに「よみうり号」「しんかい」「はくよう」等が建造されたが，潜航深度は「しんかい」の600mが最大であった。「しんかい2000」は後発で潜航深度も2000mと「ALVIN」等に劣るが，すでに活躍していた第二世代の潜水船を強く意識して開発された。そして，その技術は後の「しんかい6500」の建造へとつながった。浮力材としては，国産の比重0.55以下のシンタックティックフォームが開発された。この浮力材の国産化が，「しんかい6500」用の浮力材につながった。当時，米国は6000mクラスの浮力材を輸出禁止にしていた。耐圧殻の材料としてはNS90と10Ni鋼が検討されたが，溶接性等を考慮して0.2%耐力90kg/mm^{2}の超高張力鋼NS90が採用された。また，小型の耐圧容器にはチタン合金が採用された。そして，「しんかい6500」では電子ビーム溶接技術の確立により，耐圧殻，耐圧容器ともにチタン合金となった。耐圧殻の覗き窓はコニカル型のアクリル窓を採用し，「ALVIN」とは違って，3個の窓を前方に寄せて，できるだけ共通視界が確保できるようにした。この配置については「しんかい6500」では変更され共通視界は狭まり，「ALVIN」との中間となった。バッテリは当時としては高性能の銀亜鉛電池を採用し軽量化を図った。この電池は改良され，「しんかい6500」建造時はほぼ倍の容量となった。耐水圧コネクタの絶縁不良事故が頻発し，なんとか克服したが「しんかい6500」では大々的に油漬け電線を採用することになった。格納庫を装備した専用母船「なつしま」とセットで建造された。これは世界的に見て希なことで，一段と機動力の向上が図られた。潜水船の測位装置として，LBL，SBL，SSBLの3方式を搭載した。SSBLは4×4の平面アレイによる待ち受けビーム方式を採用した。当時のSSBLはせいぜい5素子の配列であり，一歩先をゆく装置であった。LBL，SSBLはその後もセンター船舶の標準装備品となり，「よこすか」にも引き継がれた。

以上のように，「しんかい2000」は，6000m級深海潜水調査船への中間段階として開発建造されたが，最大潜航深度が浅いというだけで，当時の他の潜水船に勝るとも劣らない潜水船であったと考える。ただし，これは，開発者側から見た基幹技術に関する見解であり，運用者及び研究者から見た使い勝手に関する見解は違うかもしれない。開発当時，開発側には潜水船でどんな調査・作業を行うかが，具体的にわかっておらず，研究者側もどんな調査・作業ができるのか，したいのかが具体的にはっきりしていなかったためと思われる。しかし，この足りない点は，運用者の創意工夫により克服され，さらには「しんかい6500」の開発に生かされた。（網谷泰孝）

3. 「しんかい2000」潜航海域と研究分野

3.1. 潜航海域

1983年以来，「しんかい2000」は通算1411回のうち1063回（348回は試験・訓練潜航）の調査研究潜航を実施した。調査海域は，「しんかい6500」は日本周辺のみならず世界各海域を調査しているのに対し，「しんかい2000」は主に日本周辺を研究対象としていた（図1）。これは，

・ユーザーとしては日本人研究者が多かったこと
・支援母船の仕様が長期航海用になっていないこと（船速，乗船定員，食料・清水・燃料の問題）
・そして，日本周辺に興味深い研究対象が豊富にあること

等々に起因すると思われる。日本周辺の主な調査海域と深海生物研究対象は，

・日本海（山陰沖・富山湾・北海道沖）　水産資源研究，中・深層生態系研究
・釧路沖から三陸沖　　水産資源研究，中・深層生態系研究，ベントス研究，化学合成生態系研究
・伊豆・小笠原諸島海域　化学合成生態系研究，中・深層生態系研究，水産資源研究
・相模湾　化学合成生態系研究，中・深層生態系研究，水産資源研究，微生物研究
・駿河湾　化学合成生態系研究，中・深層生態系研究，水産資源研究，微生物研究
・御前崎沖から四国沖（南海トラフ）　化学合成生態系研究
・沖縄トラフ　化学合成生態系研究，微生物研究

というように概括できる。一方で「しんかい2000」システムは少ないながらも外国域の調査も実施した。1996年と1998年にはパプアニューギニア沖，1997年にはマリアナ海域において熱水噴出域における化学合成生態系研究を実施した。（藤倉克則）



図1　「しんかい2000」の潜航調査地点

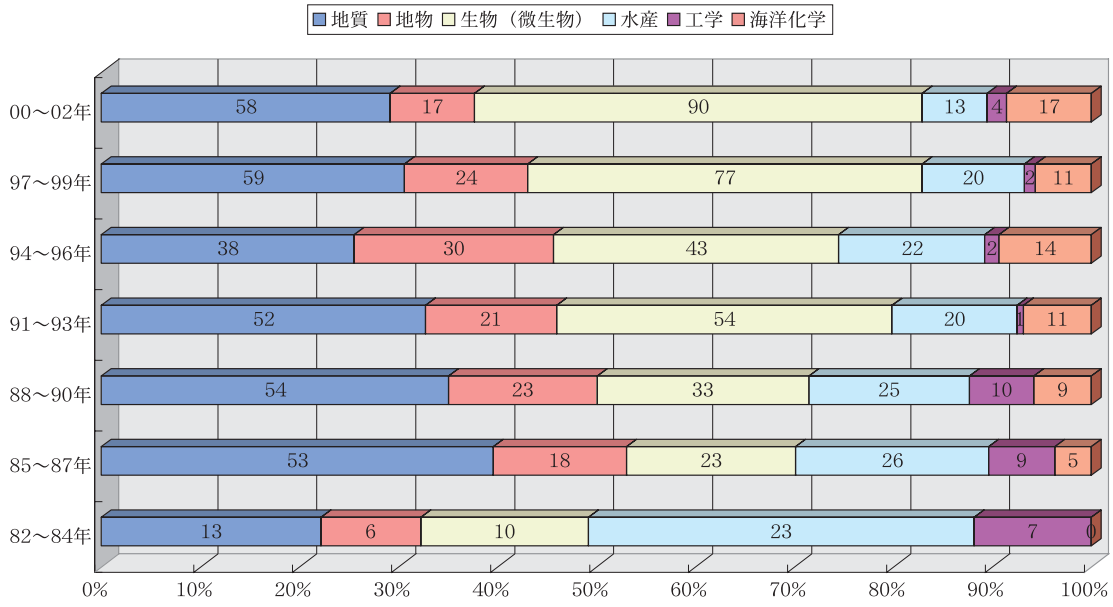


図2　「しんかい2000」分野別乗船状況

表1　「しんかい2000」によって潜航した研究者の所属機関の割合

期間	総ダイブ数	JAMSTEC	大学	国立研究所等	訓練等
1982-1984	141	86（61%）	9（6%）	16（11%）	30（21%）
1994-1996	199	47（24%）	41（21%）	29（15%）	82（41%）
1997-1999	237	69（29%）	54（23%）	32（14%）	82（35%）
2000-2002	249	82（33%）	81（33%）	29（12%）	57（23%）

表2　深海調査研究応募総件数

平成13年度	89件
平成14年度	71件
平成15年度	67件

3.2. 研究分野

「しんかい2000」を用いた研究分野をおおまかに地質・地球物理・生物・水産・工学・化学の6分野に分け，3年間ごとに利用頻度をまとめたのが図1である。生物・水産分野の経年変化を見てみると，調査潜航の初期のころ（1982年～1984年）には水産分野の潜航が卓越しているが，1985年～1987年を境に減少しはじめる。他方，生物分野の潜航が増加しはじめ，1991年～1993年以降には全調査潜航中，最も多くの割合をしめるようになる。これは，1984年に相模湾初島沖においてシロウリガイ*Calyptogena*類が優占する化学合成生態系が発見され，その後も小笠原諸島海域，沖縄トラフ，南海トラフ，釧路沖などで続々と化学合成生態系が発見されたことや，地質・地球物理分野の潜航が「しんかい6500」の運用開始に伴い，そちらに移ったことに起因する。これに伴い，深海生物研究者の興味の対象が水産分野から化学合成生態系を対象とした研究へシフトしたこと，新たな海洋生物学者が化学合成生態系研究に参加したこと，微生物研究が発展してきたことなどが，「しんかい2000」で行う深海生物研究を多様化させた。

化学分野は，生物や地質と密接な関係のもとに潜航調査が実施されることが多くなり，年々増加傾向にある。地質・地球物理分野においてはあまり大きな変動はないように見える。工学分野は，調査潜航の初期のころは調査機器の開発に伴い潜航調査を実施していたが，主要な機器開発が成功したことや，試験・訓練潜航時に実施できる場合が多くなり，徐々に減少していった。（藤倉克則）

4. 評価

4.1. 研究分野別に見た研究の推移

「しんかい2000」による研究潜航が開始された1983年には水産学関連の研究潜航が23回と，全体の40%を占め，これに地質学・地球物理学関連の研究潜航が19回30%であった。当初，生物学関連の研究潜航は10回と全体の20%弱であった。これに続く10年間は，地質学潜航が全体の3分の1，地球物理学とあわせておよそ全体の半分占める状態が続いた。さしずめ地球科学に関する潜航研究の時代であったといえるが，この時期に日本近海の沖縄トラフや初島沖などにおいて精力的に熱水噴出孔や冷湧水の発見がなされた。

その後現在までの10年間の「しんかい2000」による潜航研究は，まさに生物学の時代であると言えよう。これは地質調査による，熱水や冷湧水活動域の発見，確認を受けて生物学調査が展開された格好となった。東太平洋のガラパゴス島沖で深海化学合成生態系が発見されてから約10年が経って始まった日本の熱水・冷湧水研究であるが，最初地質学，地球物理学，地球化学がリードしていたものの，次第に生物学の重要性が理解され，主役が取って代わられたといえる。

最近では生物学潜航が全体の50%を占めている。1990年代に入って潜航調査地点は，沖縄トラフ，相模トラフに加えて，東部南海トラフや，遠州灘，富山湾，奥尻などに広がっている。特に1990年代後半には，パプアニューギニア沖や北部マリアナ海域など，日本近海から離れた調査地点が現れ，その活動域の広がりを示している。（加藤憲二）

表3　「しんかい2000」に対する研究課題応募件数

	応募件数	採択件数	採択率
平成13年度	42件	15件	36%
平成14年度	29件	14件	48%
平成15年度	運航休止により公募せず		

表4　「しんかい6500」に対する研究課題応募件数

	応募件数	採択件数	採択率
平成13年度	29件	11件	38%
平成14年度	21件	5件	24%
平成15年度	20件	9件	45%

4.2. 乗船研究者の所属から見た「しんかい2000」による研究潜航の変化

「しんかい2000」による研究潜航について乗船研究者の所属別にこれを見てみると，以下の表1のようになる。

研究潜航を開始した当時は最近と較べて潜航総数が少ないということもあるが，海洋科学技術センターの研究者によって過半数の潜航が行われていたことが分かる。一方，大学に所属する研究者による乗船研究は，経年的に増加の傾向にあり，最近2年間では大学と海洋科学技術センターがそれぞれ3分の1ずつを占めており，利用の門戸が広げられていることがわかる。さらに研究内容を見ると，大学と海洋科学技術センターが共同研究を行っているものが多くを占めており，研究チームの大型化，統合化が現れていると考えられる。このことは平成13年度から公募により，広く，かつオープンに潜航研究を募集し，深海調査研究計画委員会で内容を評価検討した後，実施計画調整部会で潜航を決定するというシステムが採用されるようになったことも関係していよう。これについての総括は別に譲るとして，以下に，「しんかい2000」および参考のために「しんかい6500」の申請研究の採択状況を示す。採択率は一航海が長くなりがちな「しんかい6500」でややきびしく23%という数字が出ているが，およそ30%から50%であることが分かる（表2，3，4）。（加藤憲二）

4.3. 発表論文の評価

JICSTデータベース，JAMSTEC深海研究，深海調査研究プロポーザル等を基礎資料にし，「しんかい2000」システムを用いた研究成果のうち，学術雑誌に論文形式（査読の有無は考慮していない）で報告されたもののみのリストアップ作業を行っている。現在のところ，生物・水産分野で約430件，地質・地球物理分野で約300件，地球化学・地球物理分野で約90件，技術・工学分野で約80件，総説で約10件の総計約910件の論文が公表されている（付表2：すべてを網羅できていないので，修正等があれば海洋科学技術センター研

表5　世界各国の有人潜水調査船

船名	全長m	幅m	全高m	空中重量t	最大潜航深度m	最大水中速力knot	乗員（研究者）数	建造年
日本								
しんかい2000	9.3	3	2.9	23.3	2000	3	3 (1)	1981
しんかい6500	9.5	2.7	3.2	25.8	6500	2.5	3 (1)	1990
アメリカ合衆国								
アルビン	7.6	2.8	4	17	4500	2.5	3 (2)	1964
ロシア								
ミール	7.8	3.6	3	18.6	6000	5	3 (1,2)	1987
フランス								
シアナ	5.7	3.2	2.7	8.5	3000	2	3 (1)	1971
ノチール	8.1	2.7	3.4	18.5	6000	2.5	3 (1)	1984

究業務部事務局へshinkai@jamstec.go.jp）。この他にも，学会，シンポジウム，ワークショップ等での成果報告，マスコミ報道による成果公表なども多数あるが数え切れないため本レポートでは割愛した。

生物・水産学関連の全潜航数は約320あったが，この研究活動から約430編の論文が公表され，うち238編が英文であった。平均すると1潜航で1.3編の成果が出され，その内の55%は英文で公表された。238編の英文で書かれた成果のうち，192編が査読のある学術誌に発表されている（英文論文の87%）。英文論文のうちの66編（34%）が，国際的に評価の高いジャーナル（ISI社による影響指標impact factorが3−5年で2前後かそれ以上を示しているもの）に掲載されている。比較のために地質・地球物理学関連については，約310潜航で237編の論文が公開され，うち59編（25%）が英文であり，査読のある学術誌に掲載されたものは42編であった。国際的に評価の高い雑誌に掲載された論文数は15編（25%）である。一潜航あたりの国際的に高い評価を得た論文の生産率は，生物学系で20%，地質・地球物理系で6%であった。これらの数字を評価する際には，それぞれの学問の特性を十分加味する必要がある。しかし，少なくとも生物学系の成果公表活動は，社会的な評価を得るに値するものであると思われる。更に，我が国の得意分野を特化し，leading scienceを生み出す努力によって，国際的に高い評価を得ることができるであろう。その一助としては，「JAMSTEC深海研究」を英文誌化し，海外の出版社との連携を計るなどして，評価の高い国際誌にしていく努力が有効ではないかと考えられる。（加藤憲二・藤倉克則）

4.4. 生物・水産学からの評価

「しんかい2000」は1982年の就航以来，多数の海洋生物学者を船内にのせて，深海への旅に連れていってくれた。これまでに1411回の潜航を重ねているが，その内の過半数を生物・水産分野が占めている。特に微生物を含む生物分野の潜航数は，1990年代に入ってから急速に増え，特に「しんかい6500」の運用が本格的になった2000年代にはそれだけで，全体の半分以上を占めるに至った。

深海は，光合成がないため，本来は非常に生物の少ない場所であるが，1970年代に化学合成に依存する生態系が発見されて以降，それまでは想像もつかなかった豊かな生態系が深海のあちらこちらに存在することが明らかになった。この化学合成生態系は，熱水生態系と冷湧水生態系とに大別できるが，どちらの生態系の研究においても，我が国では「しんかい2000」の果たした役割は特筆に値する。特に相模湾の冷湧水生態系は長期にわたる観測が行われ，冷湧水の活動が時空間的に変動しそれに伴ってそこに生息するシロウリガイが移動することなど，沿岸に位置する化学合成生態系ならではのすぐれた研究成果が挙がってきた。とくに，わずかな温度変化でも放精放卵が誘発されることなど，実験的な解析も行われてきたことは，「しんかい2000」の優れた運航性能を如実に表している。

化学合成生態系の研究には，潜水調査船が不可欠である。この生態系の存在する範囲は極めて限られており，ピンポイントの潜航が求められ，海底では位置の安定性が必要である。また，生物を詳細に観察するためにはやはり肉眼に適うものはない。我が国周辺では，相模湾以外にも，沖縄トラフなど，「しんかい2000」の潜航可能範囲に多数の化学合成生態系が点在しており，その研究に「しんかい2000」が果たした役割は，とても言い表せるものではない。

「しんかい2000」は化学合成生態系ばかりでなく，一般の生態系の研究でも，同じ場所に繰返し潜航できるという特徴を遺憾なく発揮して，多数の研究成果ももたらした。実験的に設置した牛の骨の周辺に，一年後には見事な還元環境すなわち冷湧水生態系類似の環境が作られていて，その生態系に多産するコシオリエビが生息していたという実験結果は，「しんかい2000」とそのサポート体制があってこそ明らかにすることができたものである。

「しんかい2000」は，その他深海中層の浮遊生物の研究でも一定の成果をあげている。特にいわゆるゼラチン質の刺胞動物（クラゲ類）有櫛動物（クシクラゲ類）などは，この動物が脆弱で壊れやすく，一般のプランクトンネットの試料では採集不可能であるため，「しんかい2000」によってのみ完全な形のサンプルが入手でき，その分類学・生態学などの研究に大きな貢献を果たした。

水産学的にも，日本海のズワイガニやホッコクアカエビ（いわゆる甘エビ）などの生態について，貴重な情報をもたらし，その資源管理の方法の確立に貢献した。（白山義久・浦辺徹郎）

5. 学会からの要望

これまでに，極限環境微生物学会，日本貝類学会，日本ベントス学会から「しんかい2000」システムの早期運航再開を趣旨とした要望書が関係各所に提出されている。以下にそれらを掲載する。なお，極限環境微生物学会からの要望書は署名形式になっており，102名分の署名が集まっている。（藤倉克則）

2002年　12月　4日

深海調査船「しんかい2000」およびその支援母船「なつしま」の
運航継続に関する要望書

文部科学大臣　遠山　敦子　殿

前略

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、仄聞するころによりますと、海洋科学技術センターでは、今年度末で深海調査船「しんかい2000」およびその支援母船「なつしま」の運航を休止する旨伺いました。政府の財政状況を受けての措置と拝察いたしますが、深海の基礎科学に携わる多くの研究者の立場からは、「しんかい2000」の深海生物研究に対する必要性は今なおきわめて大きく、研究に不可欠なものと認識しております。

当学会でも、この深海調査船「しんかい2000」およびその支援母船「なつしま」のシステムを利用し、深海底ベントスについて新たな生物学的知見を公表してきており、それによって海洋生物学の発展にも多大に寄与してきました。人間の眼で詳細な観察が行える有人潜水調査船は、先進諸国の中でも数えるほどしか保有されておらず、我が国における「しんかい2000」を用いた調査で得られた新しい知見は、深海に関わる基礎科学への大きな国際的な貢献を果たしてきました。

深海に関する研究は、これから科学が取り組むべき地球上に残された未知のフロンティアの１つと位置づけられ、深海生物研究の側面からだけでも、
・ 深海生物の多様性、進化
・ 物質循環における深海生態系の役割
・ 未知なる有用生物資源の探索
など、取り組むべき研究課題は枚挙にいとまがありません。

以上のような科学的重要性に鑑み、深海調査船「しんかい2000」およびその支援母船「なつしま」システムの運航の継続を学会として強く要望いたします。

日本ベントス学会会長

菊地泰二

（同じ内容の要望書が海洋科学技術センター理事長宛にも提出されている）

極限環境微生物学会 *(Society for Extremophiles)*

平成14年6月27日

極限環境微生物学会会員各位：

－深海調査船「しんかい２０００」システム再開への要望書署名のお願い－

前略、いつもお世話様でございます。

さて、このたび海洋科学技術センターでは、今年度一杯で伝統ある深海調査船「しんかい 2000」システムの運行を休止することとなりました。これは、政府の緊縮財政を受けてのやむを得ない決断ではありましたが、ユーザー研究者からは惜しむ声が多く、「しんかい 2000」の再開を希望する声も多いのが事実であります。私ども極限環境微生物学分野では、本潜水船を特に海底熱水鉱床での調査・サンプリング等に利用しており、数多くの輝かしい成果をあげてきたことは皆さん御承知のことと思います。こうした熱水関連の調査は、生命の起源研究と相まってまだまだやることがたくさんあるのも事実であります。そこで、当学会の総意として「しんかい 2000」システムの再開、またはそれが無理な場合でもこうした深度をカバーする代替潜水調査船の利用を深海調査研究推進委員会（通称、小林委員会）宛に提案することを目的に、本要望書の署名をお願いすることにいたったわけです。

幹事一同、会員３００人を有する当学会からの申し入れはそう簡単に無視できるものではないと考えております。近々、今年度第１回の深海調査研究推進委員会が開催予定ですが、その場に当学会からの提案書を提出できればグッドタイミングと考えました。皆様の御賛同の御署名を心よりお願い申し上げます。

草々

極限環境微生物学会幹事一同
会長：掘越弘毅
副会長：大島泰郎
幹事：工藤俊章、亀倉正博、井上明、中村信之、宇佐美論、中村聡、
石井正治、川上文青、加藤千明

以下の送信票に記入後、要望書の取りまとめ担当の加藤幹事までFAXでお送りいただけるようお願い申し上げます。なお、問い合わせは、加藤千明（TEL: 0468-67-9520, E-mail: katoc@jamstec.go.jp）まで。

----------<返信票>----------

加藤千明　幹事　宛、FAX: ０４６８－６７－９５７５

私は、「しんかい２０００」システムの再開あるいは代替潜水調査船の利用を極限環境微生物学会として要望することに賛成します。

氏名： ㊞

所属：

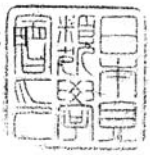
連絡先：

TEL:
FAX:
E-MAIL:

1

深海調査研究委員会
小林和男委員長殿

平成 14 年 8 月 12 日
日本貝類学会



要望書

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
仄聞するころによりますと、「しんかい 2000」の運航を今年度限りで休止する旨伺いました。これはここまで本船を用いて輝かしい成果を挙げてきた海洋科学技術センターと国内外の多くの研究者にとってゆゆしき問題と理解致します。特に貝類学の分野においては「しんかい 2000」の採集物から既に 5 新属 26 新種が学界に報告されましたが、現在でも続々と新種を発見し続けています。そしてそれらの生理生態学的研究も同船を使って着々と進んでいる現状です。「しんかい 2000」の休止は老朽化と緊縮財政の連動によってのことと思いますが、これからの海洋生物学にとって「しんかい 2000」の使命は終わっておらず、同船のような浅海型の有人潜水調査船は以下の理由からなお一層必要とされると考える次第です。

1. 「しんかい 6500」の如く大深海の国際的規模の探査を目指すのではなく、我が国周辺の大陸棚、陸棚斜面や漸深海帯における生物の多様性、生産力（資源）、生態系構造、生理機構、生物地理学などの細密な研究など「しんかい 2000」ならでは出来ないなお多くの未解決の課題が残されています。
2. 貝類は「しんかい 2000」がこれまで多くの調査研究エネルギーを費やしてきた熱水・冷湧水の化学合成群集の最も重要な優占動物です。しかし、このなかには、なお系統が明らかでなく「Hot-vent Taxa」（熱水孔分類群）と仮称されているものが漸深海帯に多く分布し、日本近海におけるそれらの精密な研究はまだ緒についたばかりと言えます。
3. 無人探査機搭載のビデオカメラの解像力は最近とみに向上したとはいえ、人の眼による現場での観察以上に優れているものではありません。生物学研究

者にとって、対象としている生物の現場での観察は不可欠のものです。貝類学の分野でも然りです。

以上のことから考えて、「しんかい 2000」に改造を加えるか、あるいは潜航深度を浅くするなどの方策をとってなお運航を継続して戴きたいと思います。もし、運航休止が動かし難いものであるならば、現「しんかい 2000」に替わる深海フィールド調査用機器の整備をご推進戴きたいと強く要望するものです。

（同じ内容の要望書が海洋科学技術センター理事長宛にも提出されている）

6.まとめ－有人潜水調査船「しんかい4000」を望む－

1977年，世界を驚かせたガラパゴス島沖での海底熱水活動の発見は，新たな深海底研究の幕開けを告げるものであった。その波は数年して西太平洋にも押し寄せ，しんかい2000は1980年代の初めに時代の申し子として誕生した。しんかい2000は西太平洋の島弧・海溝系にも中央海嶺とは大きく性格の異なった熱水や冷湧水活動があることを発見するのに大きく寄与し，沖縄トラフ，伊豆小笠原島弧，東北・西南日本弧におけるそれらの調査の先鞭を担う幸運に恵まれた。

その後の深海底研究の発展は急速で，自然科学の中で最もひんぱんに科学的常識がくつがえる分野といわれてきた。その中でしんかい2000がたどった歴史は，新たなサイトの発見記載の時代から，その地理的特性を念頭に置いた地理生物学の時代を経て，定量的な観測・測定の時代にめまぐるしく変化した時代を主導してきたものといえる。さらにこれからの深海研究は，深海底での現象を地球変動の中で捉え，総合的な地球環境科学の一旦を担う重要な研究領域として大きく羽ばたく時代へと向かうであろう。

しんかい2000が対象とした深海底の化学合成生態系には，地球生命の起源と進化を考える上での豊かな素材があり，これまで海洋表層環境のみが制御しているとされてきた海洋，ひいては地球環境の維持に果たす役割があることも指摘されている。さらに地震発生帯やプレート沈み込みという地球物理現象を生物サイドから見なおす総合地球科学的な研究も視野に入ってきた。世界第6位の447万km^2に及ぶ排他的経済水域（EEZ）を有する我が国にとって，深海という環境は大きな夢と未知の謎を秘めた知的資源の宝庫といえる。しんかい2000は人間が直接そこに行くことを可能にしてきた。深海底研究の変遷は急激であっても，新たな現象を探るうえでそれをまず直接肉眼で観察することの重要性は，指摘してもしきれないであろう。それによる感動が，新しいサイエンスを生むことにつながるからである。

平成13年度から導入された研究潜航の公募システムは，競争的環境の導入によって世界の先端的な研究動向に十分に対応し，さらに世界の深海研究を先導する方向へと研究を支援する目的で開始された。新たな制度の導入は，単目的の偵察的潜航から多分野間の協力のもとに行われる組織的なものへと潜航の性格の変革を促し，研究分野にもそれが大きく反映してきていた。その果実が見え始めた時点での運航停止は，今後の深海科学の展開にとって重大な損失と惜しまれる。

いま，世界で広く運航している有人潜水調査船は下表5に示すとおり，きわめて限られている。

一潜航に1000万円程度の費用がかかる有人潜水調査研究を，継続的に実施することは容易ではないからである。しかし海底地震や海底火山を数多く有する日本近海の深海で潜航による観測を継続することの重要性は言うまでもない。さらに，わが国は「しんかい2000」，さらには「しんかい6500」を建造した技術力のみならず，それを無事故で20年間運航した運航チームという貴重な人的資源を有している。できる限り近い将来に，この見事なオペレーションの経験を活かし，再度運航を始めるか，新たな有人潜水調査船「しんかい4000」を建造・運用し，新たな科学の発展の支えとして活躍する場を提供することを強く望みたい。やや突飛な発想かもしれないが，科学を志す中高校生までにも乗船の機会を拡げ，次代の研究者を養成することも考えて良いだろう。是非，これまでの経験が失われないうちに新たな有人潜水艇が建造され，運航されることを期待したい。

（加藤憲二・白山義久・浦辺徹郎・藤倉克則）

謝辞

この報告書を作成するにあたり海洋科学技術センター研究業務部　大橋はるな氏・佐々木雅美氏，海洋科学技術センター海洋生態・環境研究部　綴喜摩里氏・渡辺真希子氏・鈴木栄子氏・土屋薫氏にはデータ整理にご協力頂いた。特に，海洋科学技術センター海洋生態・環境研究部　加藤千明研究主幹には，微生物研究に関する論文リスト作成にご尽力いただいた。これらの方々に深謝する。

（原稿受理：平成15年7月8日）

付表1

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1	1982.1.26	訓練	相模湾	初島沖	20		坂倉	田代					−	−	0:08		11:21			11:29	コネクター故障のため中止し浮上
2	1982.3.24	沈降	横須賀港	第3区センター	4		井田	内田	段野　洲輿	海洋科学技術センター	35° 18.80'N	139° 39.50'E	3	11.8	1:11		13:54			15:05	
3	1982.3.25	沈降	横須賀港	第3区センター	4		坂倉	田代	徳永　三伍	海洋科学技術センター	35° 18.80'N	139° 39.50'E	1.5	11.2	0:57		10:28			11:25	コネクター故障のため中止し浮上
4	1982.4.6	訓練	相模湾	初島沖	50		坂倉	井田			35° 01.00'N	139° 11.00'E	7	14.5	2:24		10:52			13:16	
5	1982.4.7	訓練	相模湾	初島沖	50		井田	内田			35° 00.00'N	139° 11.00'E	10	14.55	2:18		11:05			13:23	
6	1982.4.9	訓練	相模湾	初島沖	130	120	坂倉	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 01.00'N	139° 11.00'E	6	13.4	2:34	1:34	10:57	11:48	13:22	13:31	
7	1982.4.11	訓練	相模湾	初島沖	135	135	井田	内田	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 01.00'N	139° 12.00'E	7	12.3	2:46	2:00	10:42	11:20	13:20	13:28	
8	1982.4.13	訓練	相模湾	初島沖	173	157	坂倉	田代	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 01.00'N	139° 12.00'E	6	11.7	2:54	1:53	10:46	11:37	13:30	13:40	
9	1982.4.14	訓練	相模湾	初島沖	131	124	井田	内田	今井　義司	海洋科学技術センター	35° 01.00'N	139° 12.00'E	5	12.38	2:45	2:13	10:41	11:07	13:20	13:26	
10	1982.4.23	訓練	相模湾	初島沖	192	175	坂倉	田代	今井　義司	海洋科学技術センター	35° 01.00'N	139° 12.00'E	6	11.8	3:13	2:16	10:39	11:26	13:42	13:52	
11	1982.4.24	訓練	相模湾	初島沖	140	133	井田	内田	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	35° 01.00'N	139° 11.00'E	6	12.8	3:02	2:31	10:46	11:09	13:40	13:48	
12	1982.4.26	訓練	相模湾	初島沖	320	320	坂倉	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 04.00'N	139° 11.00'E	6	9.34	3:50	1:44	11:08	11:47	13:31	14:58	
13	1982.4.27	訓練	相模湾	初島沖	315	310	井田	内田	段野　洲輿	海洋科学技術センター	35° 04.00'N	139° 11.00'E	4	9	3:46	2:04	10:39	11:15	13:19	14:25	
14	1982.5.21	試験	相模湾	初島沖	110	98	坂倉	田代			35° 02.00'N	139° 12.00'E	5	14.5	2:27	2:02	10:51	11:08	13:10	13:18	
15	1982.5.22	訓練	相模湾	初島沖	330	310	井田	内田			35° 04.00'N	139° 11.00'E	6	9.9	4:09	3:15	10:50	11:25	14:40	14:59	
16	1982.5.24	訓練	相模湾	初島沖	345	305	坂倉	田代	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 04.00'N	139° 11.00'E	5	10.2	4:07	3:06	10:58	11:34	14:40	15:05	
17	1982.5.26	訓練	相模湾	初島沖	320	300	井田	内田	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	139° 11.00'E	6	9.8	2:43	1:51	10:56	11:31	13:22	13:39	ピンガー回収
18	1982.5.28	訓練	相模湾	初島沖	340	325	坂倉	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	139° 11.00'E	6	9.8	4:12	3:17	10:51	11:23	14:40	15:03	
19	1982.5.30	訓練	相模湾	初島沖	380	310	井田	内田	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	139° 11.00'E	6	10.3	4:15	3:24	10:48	11:20	14:44	15:03	
20	1982.6.1	訓練	相模湾	初島沖	310	310	坂倉	田代	段野　洲輿	海洋科学技術センター	35° 04.00'N	139° 11.00'E	6	9.67	3:41	2:51	10:47	11:20	14:11	14:28	
21	1982.6.9	訓練	相模湾		475	460	井田	内田	段野　洲輿	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	7	6.9	3:52	2:47	11:03	11:45	14:32	14:55	
22	1982.6.10	訓練	相模湾		475	465	坂倉	田代			35° 09.00'N	139° 23.00'E	7	6.8	4:01	3:04	10:52	11:27	14:31	14:53	
23	1982.6.12	訓練	相模湾		490	460	井田	内田	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	7	6.6	4:09	3:05	10:47	11:29	14:34	14:56	
24	1982.6.14	訓練	相模湾		475	470	坂倉	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	7	6.3	2:27	1:28	10:57	11:35	13:03	13:24	
25	1982.6.15	訓練	相模湾		508	464	井田	内田	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	8	6.4	4:17	3:12	10:42	11:20	14:32	14:59	
26	1982.6.18	訓練	相模湾		500	470	坂倉	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	7	6.2	4:06	3:02	10:51	11:30	14:32	14:57	
27	1982.6.21	訓練	相模湾		520	507	井田	内田	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	6	6.2	3:46	2:37	12:59	13:40	16:17	16:45	母船吊金物故障
28	1982.6.22	訓練	相模湾		475	475	坂倉	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	6	6.8	4:13	3:04	10:47	11:31	14:35	15:00	
29	1982.6.25	訓練	相模湾		460	460	井田	内田	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 09.00'N	139° 23.00'E	7	7.1	1:21	0:08	10:46	11:37	11:45	12:07	コネクター故障のため中止し浮上
30	1982.9.10	沈降	横須賀港	第3区センター沖	4		井田	内田	段野　洲輿	海洋科学技術センター	35° 18.80'N	139° 39.50'E	−	−	0:39		13:00			13:39	
31	1982.9.17	訓練	駿河湾		830	830	坂倉	田代	福井　勉	海洋科学技術センター	34° 51.00'N	138° 26.00'E	1	4	3:45	2:12	11:03	12:01	14:13	14:48	
32	1982.9.18	訓練	駿河湾		820	820	井田	内田	櫻井　利明	海洋科学技術センター	34° 51.00'N	138° 26.00'E	2	4.4	4:03	2:26	11:01	12:07	14:33	15:04	コネクター不具合
33	1983.1.7	沈降	神戸港	三菱神戸	5		坂倉	田代	山内　満喜男	三菱重工	34° 39.00'N	135° 11.00'E	−	−	1:12		10:12			11:24	
34	1983.1.11	試験	紀伊水道		245	245	坂倉	田代	山内　満喜男	三菱重工	33° 38.00'N	135° 00.00'E	7	12	2:19	0:26	11:17	12:07	12:33	13:36	中間深度で航走
35	1983.1.12	試験	紀伊水道		240	235	井田	内田	山内　満喜男	三菱重工	33° 38.00'N	135° 00.00'E	7	11.72	2:51	1:58	10:43	11:22	13:20	13:34	
36	1983.1.14	試験	紀伊水道		414	411	井田	内田	紀　好孝	三菱重工	33° 35.00'N	135° 11.00'E	6	8.71	3:30	2:20	10:28	11:22	13:42	13:58	
37	1983.1.17	試験	紀伊水道		414	370	坂倉	田代	山内　満喜男	三菱重工	33° 35.00'N	135° 11.00'E	7	9.97	4:00	2:54	10:08	10:46	13:40	14:08	
38	1983.1.19	訓練	紀伊水道		825	820	坂倉	田代	渡辺　正之	海洋科学技術センター	33° 31.00'N	135° 10.00'E	8	4.07	4:16	2:29	10:33	11:38	14:07	14:49	
39	1983.1.21	訓練	紀伊水道		830	800	井田	内田	根岸　良秋	海洋科学技術センター	33° 31.00'N	135° 10.00'E	8	4.37	3:58	2:17	10:10	11:04	13:21	14:08	
40	1983.2.14	訓練	紀伊水道		970	950	坂倉	田代	今井　義司	海洋科学技術センター	33° 30.00'N	135° 12.00'E	7	3.4	4:07	2:04	10:41	11:45	13:49	14:48	
41	1983.2.15	訓練	紀伊水道		1040	940	井田	内田	福井　勉	海洋科学技術センター	33° 30.00'N	135° 12.00'E	8	3.3	4:05	2:04	10:07	11:16	13:20	14:12	
42	1983.2.17	訓練	紀伊水道		1000	1000	坂倉	田代	高川　真一	海洋科学技術センター	33° 30.00'N	135° 12.00'E	6	3.42	3:27	1:36	10:05	11:12	12:48	13:32	
43	1983.2.22	訓練	紀伊水道		980	950	井田	内田	濱田　幸信	海洋科学技術センター	33° 30.00'N	135° 12.00'E	7	3.24	4:25	2:31	9:59	10:59	13:30	14:24	
44	1983.2.23	訓練	紀伊水道		1010	930	坂倉	田代	濱　巌	海洋科学技術センター	33° 30.00'N	135° 12.00'E	8	3.3	4:06	2:21	9:58	10:59	13:20	14:04	
45	1983.3.4	訓練	駿河湾		1390	1370	坂倉	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	138° 39.00'E	3	2.62	5:26	2:55	10:10	11:25	14:20	15:36	
46	1983.3.5	訓練	駿河湾		1400	1400	井田	内田	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	138° 39.00'E	3	2.7	4:36	2:29	10:00	11:18	13:47	14:36	
47	1983.3.7	訓練	駿河湾		1410	1410	坂倉	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	138° 39.00'E	1.5	2.5	3:48	1:43	9:53	11:06	12:49	13:41	
48	1983.3.8	訓練	駿河湾		1430	1430	井田	内田	渡辺　正之	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	138° 39.00'E	2	2.7	4:57	2:48	9:55	11:12	14:00	14:52	
49	1983.3.10	訓練	駿河湾		1385	1385	坂倉	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	138° 39.00'E	2.5	2.83	4:33	2:20	10:02	11:21	13:41	14:35	
50	1983.3.11	訓練	駿河湾		1390	1380	井田	内田	根岸　良秋	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	138° 39.00'E	3	2.77	4:27	2:23	9:53	11:08	13:31	14:20	
51	1983.3.23	訓練	南海トラフ	熊野灘	1985	1980	坂倉	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	33° 48.00'N	136° 40.00'E	8	1.83	3:49	0:46	10:05	11:50	12:36	13:54	
52	1983.3.25	訓練	南海トラフ	熊野灘	2000	2000	井田	内田	段野　洲輿	海洋科学技術センター	33° 48.00'N	136° 40.00'E	8	1.82	4:07	1:07	10:51	12:27	13:34	14:58	
53	1983.4.19	訓練	駿河湾		970	970	井田	内田	田代　省三	海洋科学技術センター	34° 48.50'N	138° 30.50'E	6	3.45	2:34	0:52	13:41	14:40	15:32	16:15	
54	1983.4.20	訓練	駿河湾		980	970	坂倉	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	34° 48.50'N	138° 30.50'E	5	3.4	4:03	2:21	10:10	11:10	13:31	14:13	
55	1983.4.23	訓練	駿河湾		1050	1050	井田	内田	土屋　利雄	海洋科学技術センター	34° 45.00'N	138° 38.00'E	6	3.18	3:39	2:02	10:37	11:41	13:43	14:16	
56	1983.4.25	訓練	駿河湾		975	970	坂倉	田代	網谷　泰孝	海洋科学技術センター	34° 45.00'N	138° 38.00'E	6	3.51	3:50	1:19	10:35	12:02	13:21	14:25	
57	1983.4.26	訓練	駿河湾		1570	1570	井田	内田	岩田　進	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	138° 38.50'E	4	2.48	4:28	2:08	10:10	11:32	13:40	14:38	
58	1983.4.28	訓練	駿河湾		1550	1550	坂倉	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	138° 38.50'E	4	2.5	3:59	1:39	10:05	11:23	13:02	14:04	
59	1983.5.19	訓練	相模湾		1060	1060	井田	内田	蘭　富士男	海洋科学技術センター	35° 11.00'N	139° 20.50'E	4	2.9	3:55	1:53	10:11	11:20	13:13	14:06	
60	1983.5.20	訓練	相模湾		1050	1040	坂倉	田代	副島　忠昭	海洋科学技術センター	35° 11.00'N	139° 20.50'E	4	2.94	4:34	2:35	10:02	11:10	13:45	14:36	
61	1983.5.23	訓練	相模湾		1030	1030	井田	内田	石原　泰隆	海洋科学技術センター	35° 11.00'N	139° 20.50'E	3	3.2	4:30	2:48	10:03	11:04	13:52	14:33	
62	1983.5.24	訓練	相模湾		1010	1010	坂倉	田代	大塚　清	海洋科学技術センター	35° 11.00'N	139° 20.50'E	4	3.35	4:35	2:54	10:00	10:58	13:52	14:35	
63	1983.5.26	訓練	相模湾		970	970	井田	田代	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 05.50'N	139° 26.00'E	5	3.5	4:45	3:06	10:00	10:57	14:03	14:45	通信系故障
64	1983.7.7	沈降	横須賀港	第3区センター沖	5		坂倉	田代	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 18.83'N	139° 39.65'E	−	−	0:55		10:56			11:51	
65	1983.7.9	訓練	駿河湾		980	980	井田	内田	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 48.50'N	138° 30.50'E	5	3.26	3:21	1:47	11:34	12:31	14:18	14:55	
66	1983.7.11	訓練	駿河湾		970	970	坂倉	田代	橋本　裕幸	ＴＢＳ	34° 48.50'N	138° 30.50'E	5	3.43	3:30	1:52	10:45	11:42	13:34	14:15	Press共同取材
67	1983.7.12	訓練	駿河湾		960	960	井田	内田	堀田　宏	海洋科学技術センター	34° 48.50'N	138° 30.50'E	5	3.55	3:57	2:15	10:34	11:39	13:54	14:31	
68	1983.7.22	研究	日本海	富山湾	81	80	坂倉	田代	山田　悦正	石川県水産試験場	37° 22.70'N	137° 27.60'E	16	15.52	4:50	4:24	10:06	10:28	14:52	14:56	生物の調査
69	1983.7.23	研究	日本海	富山湾	240	240	井田	内田	榎原　資嗣	気象庁舞鶴海洋気象台	37° 20.20'N	137° 31.00'E	7	3.87	1:26	0:19	9:49	10:44	11:03	11:15	往復の海水採取
70	1983.7.25	研究	日本海	富山湾	586	586	坂倉	田代	又野　康男	石川県水産試験場	37° 13.20'N	137° 15.26'E	7	0.34	5:16	3:46	9:57	10:44	14:30	15:13	生物の調査

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域	最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
71	1983.7.26	研究	日本海	富山湾	1070	1070	井田	内田	伊藤　勝千代	日本海区水産研究所	37° 08.00'N	137° 12.15'E	6	0.11	5:53	4:08	10:00	11:03	15:11	15:53	ベニズワイガニ調査
72	1983.7.28	研究	日本海	富山湾	1070	1070	坂倉	田代	水戸　敏	水産庁研究部	37° 08.00'N	137° 12.15'E	7	0.13	5:30	3:39	9:56	11:04	14:43	15:26	生物の調査
73	1983.7.29	研究	日本海	富山湾	1050	1050	井田	内田	菊池　真一	海上保安庁水路部	37° 08.00'N	137° 12.15'E	6	0.13	4:47	3:14	10:18	11:19	14:33	15:05	海底地形の調査
74	1983.8.8	研究	日本海	富山湾	1065	1060	井田	内田	梨田　一也	日本海区水産研究所	37° 00.50'N	137° 12.50'E	5	0.2	5:13	3:23	10:04	11:09	14:32	15:17	ベニズワイガニの分布
75	1983.8.9	研究	日本海	富山湾	1060	1060	坂倉	田代	小田巻　実	海上保安庁水路部	37° 00.50'N	137° 12.50'E	6	0.12	5:04	3:26	10:01	11:00	14:26	15:05	海底地形の調査
76	1983.8.11	研究	日本海	富山湾	850	850	坂倉	田代	松坂　常弘	富山県水産試験場	36° 53.50'N	137° 14.00'E	5	0.15	5:24	3:45	10:04	11:06	14:51	15:28	カニカゴ設置及び観察
77	1983.8.12	研究	日本海	富山湾	800	710	井田	内田	橋本　惇	海洋科学技術センター	36° 53.50'N	137° 14.00'E	5	0.18	5:24	4:01	10:03	10:50	14:51	15:27	生物の調査
78	1983.8.15	研究	日本海	富山湾	40		坂倉	田代	土井　捷三郎	富山県水産試験場	36° 48.00'N	137° 13.50'E	−	−	0:08		10:02			10:10	海況急変のため中止し浮上
79	1984.1.25	沈降	神戸港	三菱神戸	5		井田	田代	山内　満喜男	三菱重工	34° 39.00'N	135° 11.00'E	−	−	1:01		10:15			11:16	
80	1984.1.30	試験	紀伊水道		590	550	井田	田代	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	33° 33.60'N	135° 11.60'E	7	6.1	3:17	1:44	10:08	11:17	13:01	13:25	
81	1984.2.1	試験	紀伊水道		610	515	井田	内田	櫻井　利明	海洋科学技術センター	33° 33.60'N	135° 11.60'E	6	6.53	3:45	2:40	9:44	10:25	13:05	13:29	
82	1984.2.2	試験	紀伊水道		990	990	井田	内田	渡辺　正之	海洋科学技術センター	33° 30.03'N	135° 11.27'E	6	3.68	3:51	1:21	10:04	12:01	13:22	13:55	
83	1984.2.4	試験	紀伊水道		1000	960	井田	内田	櫻井　利明	海洋科学技術センター	33° 30.03'N	135° 11.27'E	6	3.6	3:29	1:59	10:03	11:01	13:00	13:32	
84	1984.2.6	試験	南海トラフ	熊野灘	1995	1990	井田	田代	櫻井　利明	海洋科学技術センター	33° 47.95'N	136° 40.04'E	5	1.88	4:04	1:19	10:00	11:35	12:54	14:04	
85	1984.2.7	試験	南海トラフ	熊野灘	2000	1990	井田	内田	橋本　菊夫	海洋科学技術センター	33° 47.95'N	136° 40.04'E	6	1.86	3:58	1:22	10:02	11:31	12:53	14:00	
86	1984.2.14	研究	駿河湾		1740	1740	井田	内田	新妻　信明	静岡大学	34° 46.00'N	138° 37.00'E	4	2.06	4:55	2:22	10:02	11:39	14:01	14:57	駿河トラフの地形調査
87	1984.2.15	研究	駿河湾		1550	1550	井田	田代	古田　俊夫	東京大学海洋研究所	34° 46.00'N	138° 37.00'E	5	2.35	4:14	2:01	10:12	11:35	13:36	14:26	駿河トラフの地形調査
88	1984.2.17	研究	駿河湾		1570	1560	井田	内田	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	34° 54.50'N	138° 38.50'E	1	2.23	4:53	2:28	10:35	12:07	14:35	15:28	駿河トラフの地形調査
89	1984.2.18	研究	駿河湾		1530	1530	田代	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	34° 54.50'N	138° 38.50'E	3	2.35	4:44	2:29	10:09	11:32	14:01	14:53	駿河トラフの地形調査
90	1984.2.20	研究	駿河湾		1560	1560	井田	内田	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	34° 54.50'N	138° 38.50'E	2	2.32	5:14	3:03	10:11	11:31	14:34	15:25	駿河トラフの地形調査
91	1984.2.21	研究	駿河湾		1555	1555	田代	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	34° 54.50'N	138° 38.50'E	2	2.28	4:54	2:40	9:28	10:47	13:27	14:22	駿河トラフの地形調査
92	1984.2.23	研究	駿河湾		1540	1540	井田	内田	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	34° 54.50'N	138° 38.50'E	4	2.4	4:31	2:22	9:55	11:12	13:34	14:26	駿河トラフの地形調査
93	1984.2.24	研究	駿河湾		1550	1550	田代	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	34° 54.50'N	138° 38.50'E	2	2.33	4:57	2:51	10:07	11:25	14:16	15:04	駿河トラフの地形調査
94	1984.3.21	研究	駿河湾		1550	1550	井田	内田	中村　保明	静岡県農業水産部水産課	34° 54.50'N	138° 38.50'E	3	2.21	4:35	2:22	10:09	11:32	13:54	14:44	生物の生態調査
95	1984.3.22	研究	駿河湾		620	610	井田	田代	津久井　文夫	静岡県水産試験場	35° 05.00'N	138° 36.00'E	4	5.7	4:46	2:13	10:03	10:53	13:06	14:49	サクラエビの調査
96	1984.3.24	研究	駿河湾		800	800	井田	内田	川崎　正和	遠洋区水産研究所	34° 51.00'N	138° 26.00'E	5	4.35	4:40	3:21	9:54	10:47	14:08	14:34	イバラガニの調査
97	1984.3.27	研究	駿河湾		1050	1050	井田	内田	土屋　利雄	海洋科学技術センター	34° 45.00'N	138° 38.00'E	5	3.4	3:21	1:08	10:10	11:42	12:50	13:31	サブボトムプロファイラ、海況急変のため中止し浮上
98	1984.3.29	研究	駿河湾		1050	1030	井田	内田	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 45.00'N	138° 38.00'E	5	3.65	3:39	2:02	10:05	11:08	13:10	13:44	地形地質調査、海況急変のため中止し浮上
99	1984.3.30	研究	駿河湾		1020	1020	田代	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	34° 45.00'N	138° 38.00'E	6	3.53	4:59	3:07	10:16	11:36	14:43	15:15	生物捕獲器による採取
100	1984.4.17	研究	駿河湾		480	480	井田	内田	津久井　文夫	静岡県水産試験場	35° 03.50'N	138° 34.50'E	5	6.76	4:52	4:02	10:08	10:48	14:50	15:00	サクラエビの調査
101	1984.4.18	研究	駿河湾		410	410	井田	内田	津久井　文夫	静岡県水産試験場	35° 05.50'N	138° 36.50'E	4	7.3	4:17	3:26	10:03	10:46	14:12	14:20	サクラエビの調査
102	1984.4.20	研究	駿河湾		1560	1560	井田	田代	川崎　正和	遠洋区水産研究所	34° 47.00'N	138° 38.00'E	5	2.3	4:40	2:32	10:10	11:28	14:00	14:50	カニ類の観察
103	1984.4.21	研究	駿河湾		550	550	井田	内田	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 51.00'N	138° 22.00'E	5	7.3	4:35	3:40	10:10	10:53	14:33	14:45	地形地質の調査
104	1984.4.23	研究	駿河湾		605	595	田代	櫻井	堀田　宏	海洋科学技術センター	34° 51.50'N	138° 23.00'E	4	6.75	5:14	4:02	9:59	10:47	14:49	15:13	地形地質の調査
105	1984.4.24	研究	駿河湾		915	890	井田	内田	志村　明敏	海洋科学技術センター	34° 48.67'N	138° 30.50'E	4	4.12	5:00	3:29	9:59	10:58	14:27	14:59	地形地質の調査
106	1984.4.25	研究	南海トラフ		965	965	田代	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	34° 48.67'N	138° 30.50'E	3	3.54	4:34	2:48	9:34	10:44	13:32	14:08	生物調査
107	1984.5.23	研究	相模湾		570	570	井田	内田	杉浦　暁裕	神奈川県水産試験場	35° 06.00'N	139° 34.00'E	5	6.03	4:40	3:46	10:16	11:05	14:51	14:56	生物調査
108	1984.5.24	研究	相模湾		265	265	田代	櫻井	江川　公明	神奈川県水産試験場	35° 06.00'N	139° 34.50'E	6	10.7	4:53	4:18	10:03	10:34	14:52	14:56	底生生物の調査観察
109	1984.5.26	研究	相模湾		120	110	井田	田代	亀山　勝	神奈川県農政部水産課	35° 12.70'N	139° 31.50'E	7	14.3	4:46	4:23	10:08	10:28	14:51	14:54	魚礁の調査観察
110	1984.5.28	研究	相模湾		650	650	井田	内田	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 14.00'N	139° 13.00'E	5	4.65	4:57	3:47	9:59	10:47	14:34	14:56	生物調査
111	1984.5.29	研究	相模湾		1085	1050	田代	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 12.50'N	139° 16.50'E	5	3.26	5:03	3:12	9:57	11:08	14:20	15:00	生物調査
112	1984.5.31	研究	相模湾		760	710	井田	内田	藤田　俊助	海洋科学技術センター	35° 08.50'N	139° 18.50'E	6	4.24	4:34	3:20	10:11	11:06	14:26	14:45	海中環境計測装置テスト
113	1984.6.1	研究	相模湾		750	750	井田	内田	網谷　泰孝	海洋科学技術センター	35° 08.50'N	139° 18.50'E	7	4.39	4:44	3:35	10:02	10:51	14:26	14:46	海中環境計測装置テスト
114	1984.6.4	研究	相模湾		270	270	井田	内田	杉浦　暁裕	神奈川県水産試験場	35° 00.70'N	139° 12.00'E	7	10.13	4:57	4:28	9:57	10:22	14:50	14:54	底生生物の調査観察
115	1984.6.5	研究	相模湾		1130	1130	田代	櫻井	江川　公明	神奈川県水産試験場	35° 00.50'N	139° 13.00'E	7	3.08	5:06	3:28	9:58	11:18	14:46	15:04	底生生物の調査観察
116	1984.6.7	研究	相模湾		1190	1185	井田	内田	堀田　宏	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	139° 13.50'E	4	2.6	4:46	3:06	9:57	11:04	14:10	14:43	海底微地形の調査観察
117	1984.6.8	研究	相模湾		1190	1190	田代	櫻井	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	139° 13.50'E	4	2.46	4:52	3:10	9:59	11:11	14:21	14:51	海底微地形の調査観察
118	1984.6.11	研究	相模湾		1180	1180	井田	田代	中村　一明	東京大学地震研究所	34° 54.00'N	139° 13.00'E	4	2.68	5:13	3:29	10:12	11:20	14:49	15:25	断層の調査観察
119	1984.6.12	研究	相模湾		1160	1160	井田	内田	茂木　清夫	東京大学地震研究所	34° 57.50'N	139° 13.00'E	6	2.86	4:53	3:21	9:59	10:59	14:20	14:52	断層の調査観察
120	1984.6.13	研究	相模湾		1100	1100	田代	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	139° 13.50'E	5	3.01	2:40	0:51	10:25	11:30	12:21	13:05	地形調査、絶縁低下のため中止し浮上
121	1984.7.2	沈降	横須賀港	第３区センター沖	2		井田	田代	小原　孝文	海洋科学技術センター	35° 18.20'N	139° 39.70'E	−	−	0:50		14:15			15:05	
122	1984.7.9	試験	三陸	釜石沖	690	660	井田	内田	田代　省三	海洋科学技術センター	39° 25.50'N	142° 19.00'E	5	3.3	4:00	2:46	10:25	11:15	14:01	14:25	
123	1984.7.10	研究	三陸	釜石沖	510	510	田代	櫻井	北川　大二	岩手県水産試験場	39° 25.00'N	142° 17.00'E	6	3.17	3:52	2:40	11:19	12:02	14:42	15:11	メヌケ・キチジの観察
124	1984.7.12	研究	三陸	釜石沖	720	680	井田	内田	上野　康弘	岩手県水産試験場	39° 25.70'N	142° 19.00'E	6	3.3	4:26	3:12	10:25	11:14	14:26	14:51	メヌケ・キチジの観察
125	1984.7.13	研究	三陸	釜石沖	910	910	田代	櫻井	石田　亮一	岩手県水産試験場	39° 25.00'N	142° 23.50'E	6	2.84	5:06	3:29	9:52	10:55	14:24	14:58	メヌケ・キチジの観察
126	1984.7.16	研究	三陸	釜石沖	1260	1220	田代	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	39° 21.50'N	142° 33.00'E	6	2.62	4:55	2:54	10:00	11:08	14:02	14:55	小型深海カメラテスト
127	1984.7.17	研究	三陸	釜石沖	1230	1230	井田	内田	田中　武男	海洋科学技術センター	39° 22.00'N	142° 31.50'E	6	2.6	3:52	2:09	10:48	11:52	14:01	14:40	海底微地形の調査観察
128	1984.7.20	研究	三陸	釜石沖	1230	1230	井田	内田	田中　武男	海洋科学技術センター	39° 22.00'N	142° 31.50'E	5	2.56	4:56	3:14	10:12	11:18	14:32	15:08	海底微地形の調査観察
129	1984.7.23	研究	三陸	釜石沖	780	770	井田	内田	平岩　恒廣	海上保安庁水路部	39° 40.00'N	142° 29.00'E	6	3.06	3:54	2:36	10:24	11:14	13:50	14:18	地形調査、重力計測
130	1984.7.24	研究	三陸	釜石沖	675	675	田代	櫻井	菊池　真一	海上保安庁水路部	39° 25.50'N	142° 18.00'E	6	3.27	4:53	3:37	10:00	10:55	14:32	14:53	地形地質調査
131	1984.7.26	研究	三陸	釜石沖	1500	1500	井田	内田	太田　秀	東京大学海洋研究所	39° 17.00'N	142° 41.00'E	6	2.3	4:45	2:07	11:04	12:33	14:40	15:49	海底微生物の調査
132	1984.7.27	研究	三陸	釜石沖	1500	1500	井田	田代	白山　義久	東京大学海洋研究所	39° 17.00'N	142° 41.00'E	6	2.3	5:21	2:26	9:41	11:17	13:43	15:02	海底微生物の調査
133	1984.7.28	研究	三陸	釜石沖	1490	1490	井田	内田	太田　秀	東京大学海洋研究所	39° 17.00'N	142° 41.00'E	6	2.32	5:13	3:03	9:28	10:41	13:44	14:41	海底微生物の調査
134	1984.7.30	訓練	三陸	釜石沖	1500	1500	田代	櫻井	井田　正比古	海洋科学技術センター	39° 17.00'N	142° 41.00'E	6	2.33	4:53	2:13	10:37	12:23	14:36	15:30	
135	1984.9.4	研究	南西諸島	沖縄沖	640	640	井田	内田	喜屋武　俊彦	沖縄県水産試験場	26° 44.00'N	127° 29.50'E	8	7.6	4:38	3:17	9:52	10:46	14:03	14:30	魚類分布状況
136	1984.9.5	研究	南西諸島	沖縄沖	645	640	田代	櫻井	金城　清昭	沖縄県水産試験場	26° 44.00'N	127° 28.50'E	9	7.67	4:38	3:23	9:55	10:42	14:05	14:33	魚類分布状況
137	1984.9.6	研究	南西諸島	沖縄沖	520	520	井田	内田	橋本　惇	海洋科学技術センター	26° 41.00'N	127° 31.00'E	9	9.95	4:28	3:28	9:54	10:32	14:00	14:22	生物調査
138	1984.9.11	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1755	1750	田代	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 34.80'N	127° 09.50'E	6	3.95	5:02	2:18	9:54	11:34	13:52	14:56	沖縄トラフの地形地質
139	1984.9.12	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1765	1765	井田	内田	木村　政昭	琉球大学	27° 34.50'N	127° 09.00'E	6	3.96	5:28	3:02	9:56	11:23	14:25	15:24	沖縄トラフの地形地質
140	1984.9.13	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1595	1595	田代	櫻井	上田　誠也	東京大学地震研究所	27° 34.50'N	127° 09.00'E	9	3.96	5:44	2:29	9:58	12:14	14:43	15:42	沖縄トラフの地形地質

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度		潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
													視程m	水温							
141	1984.9.14	訓練	南西諸島	沖縄トラフ	1630	1590	井田	内田	田代　省三	海洋科学技術センター	27° 34.00'N	127° 10.00'E	6	3.97	5:38	3:16	9:54	11:15	14:31	15:32	
142	1985.1.16	沈降	横須賀港	第3区センター沖	5		井田	内田	奥田　隆一	三菱重工	35° 18.10'N	139° 39.50'E	−	−	0:49		11:52			12:41	
143	1985.1.18	試験	駿河湾		490	490	井田	内田	赤澤　克文	海洋科学技術センター	34° 52.70'N	138° 31.70'E	4	6.35	3:40	2:38	10:12	10:52	13:30	13:52	
144	1985.1.19	試験	駿河湾		530	490	田代	櫻井	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	34° 52.70'N	138° 31.70'E	4	6.79	3:20	2:11	10:09	10:52	13:03	13:29	
145	1985.1.21	試験	駿河湾		1030	1030	井田	内田	高橋　雅彦	海洋科学技術センター	35° 02.50'N	138° 36.00'E	3	3.3	3:25	1:46	10:10	11:17	13:03	13:35	
146	1985.1.22	試験	駿河湾		1125	1125	田代	櫻井	小原　孝文	海洋科学技術センター	35° 02.50'N	138° 36.00'E	3	3.13	3:34	1:45	10:06	11:19	13:04	13:40	
147	1985.1.24	試験	駿河湾		1998	1998	井田	内田	小倉　訓	海洋科学技術センター	34° 42.40'N	138° 35.40'E	4	1.8	5:26	2:19	9:52	11:31	13:50	15:18	
148	1985.1.25	試験	駿河湾		1985	1985	井田	田代	安藤　久司	海洋科学技術センター	34° 42.40'N	138° 35.40'E	4	1.84	5:30	2:36	9:49	11:26	14:02	15:19	
149	1985.1.28	試験	駿河湾		2000	2000	田代	櫻井	赤澤　克文	海洋科学技術センター	34° 42.50'N	138° 35.00'E	3	1.86	3:25	0:23	10:36	12:22	12:45	14:01	
150	1985.1.30	試験	駿河湾		2000	2000	井田	内田	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	34° 42.50'N	138° 35.00'E	4	1.85	3:25	0:38	9:52	11:27	12:05	13:17	
151	1985.2.6	研究	駿河湾		1145	1145	井田	内田	加藤　茂	海上保安庁水路部	35° 02.00'N	138° 36.00'E	3	2.96	5:00	3:14	9:59	11:12	14:26	14:59	地形地質の調査
152	1985.2.7	研究	駿河湾		1060	1060	田代	櫻井	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	35° 02.27'N	138° 36.00'E	2	2.98	4:57	3:18	9:58	11:08	14:26	14:55	地形地質の調査
153	1985.2.9	研究	駿河湾		1690	1690	井田	田代	河井　智康	中央水産研究所(東海区)	34° 48.30'N	138° 37.30'E	4	2.35	6:03	3:26	10:04	11:37	15:03	16:07	エサ付ロープの展張観察
154	1985.2.12	研究	駿河湾		490	490	井田	内田	大森　信	東京水産大学	35° 05.40'N	138° 36.50'E	5	6.43	4:50	3:41	9:53	10:35	14:16	14:43	サクラエビの調査
155	1985.3.12	研究	南西諸島	鬼界カルデラ	420	420	田代	櫻井	徳留　陽一郎	鹿児島県水産試験場	30° 34.00'N	130° 23.50'E	6	8.44	4:13	3:05	10:17	11:07	14:12	14:30	深海生物の観察
156	1985.3.14	研究	南西諸島	鬼界カルデラ	510		井田	内田	門馬　大和	海洋科学技術センター	30° 42.50'N	130° 21.00'E	−	9.56	4:02	3:01	12:21	13:18	16:19	16:23	曳航体の捜索
157	1985.3.18	研究	南西諸島	鬼界カルデラ	390		田代	櫻井	中村　光一	工業技術院地質調査所	30° 44.50'N	130° 17.00'E	6	11.01	4:34	3:54	11:53	12:26	16:20	16:27	海底火山の噴火様式
158	1985.3.19	研究	南西諸島	鬼界カルデラ	580	580	井田	田代	阪口　圭一	工業技術院地質調査所	30° 41.50'N	130° 21.00'E	6	9.74	4:44	3:24	9:44	10:51	14:15	14:28	海底火山の噴火様式
159	1985.4.17	研究	駿河湾		550	550	井田	田代	津久井　文夫	静岡県水産試験場	35° 05.50'N	138° 36.50'E	4	5.96	4:47	3:27	9:10	10:04	13:31	13:57	サクラエビの調査
160	1985.4.18	研究	駿河湾		284	245	井田	内田	津久井　文夫	静岡県水産試験場	35° 05.70'N	138° 37.50'E	4	9.8	4:44	4:01	10:11	10:41	14:42	14:55	サクラエビの調査
161	1985.4.19	研究	駿河湾		1980	1980	田代	櫻井	緑川　弘毅	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.20'E	4	1.94	5:03	1:53	10:10	11:52	13:45	15:13	底層流の調査
162	1985.4.22	研究	駿河湾		1020	960	内田	櫻井	土屋　利雄	海洋科学技術センター	34° 46.00'N	138° 39.00'E	5	3.66	4:01	1:10	10:14	12:21	13:31	14:15	サブボトムプロファイラ
163	1985.4.23	研究	駿河湾		1050	1050	井田	田代	網谷　泰孝	海洋科学技術センター	34° 46.00'N	138° 39.00'E	6	3.36	4:41	1:49	10:39	12:53	14:42	15:20	サブボトムプロファイラ
164	1985.4.25	研究	駿河湾		980	920	井田	内田	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 48.40'N	138° 31.20'E	5	3.8	5:06	3:39	10:06	10:56	14:35	15:12	石花海堆の地形調査
165	1985.4.26	研究	駿河湾		925	925	田代	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 48.40'N	138° 31.20'E	5	3.88	4:57	3:34	10:06	10:55	14:29	15:03	石花海堆の地形調査
166	1985.5.22	研究	相模湾		1020	1018	内田	櫻井	岡田　博有	静岡大学	35° 08.50'N	139° 26.50'E	5	3.12	4:48	3:14	10:01	10:58	14:12	14:49	堆積物の調査
167	1985.5.23	研究	相模湾		1100	1100	井田	田代	藤岡　換太郎	東京大学海洋研究所	35° 07.50'N	139° 26.50'E	5	2.92	5:13	3:29	10:08	11:04	14:33	15:21	断層崖の調査
168	1985.5.24	研究	相模湾		1395	1395	井田	内田	門馬　大和	海洋科学技術センター	35° 06.00'N	139° 20.00'E	5	2.6	5:01	3:05	10:02	11:19	14:24	15:03	ソーナーによる地質
169	1985.5.27	研究	相模湾		530	470	田代	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 09.50'N	139° 23.20'E	6	6.49	5:00	3:58	10:04	10:40	14:38	15:04	メガロベントスの生態
170	1985.5.28	研究	相模湾		1390	1390	内田	櫻井	松澤　誠二	海洋科学技術センター	35° 02.00'N	139° 23.50'E	6	2.42	5:06	2:53	10:01	11:09	14:02	15:07	メガロベントスの生態
171	1985.5.30	研究	相模湾		1177	1177	井田	田代	江川　公明	神奈川県水産試験場	35° 06.50'N	139° 26.00'E	5	2.84	5:04	3:41	10:01	11:02	14:43	15:05	底生生物の調査観察
172	1985.5.31	研究	相模湾		990	990	井田	内田	江川　公明	神奈川県水産試験場	35° 06.00'N	139° 26.50'E	5	3.3	5:01	3:48	9:57	10:48	14:36	14:58	底生生物の調査観察
173	1985.6.11	研究	相模湾		1250	1250	田代	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 54.40'N	139° 16.00'E	6	2.74	5:00	2:54	10:01	11:13	14:07	15:01	海底変動地形の調査
174	1985.6.12	研究	相模湾		1250	1243	内田	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 54.40'N	139° 16.00'E	6	2.69	5:05	3:12	9:58	11:00	14:12	15:03	海底変動地形の調査
175	1985.6.15	研究	相模湾		1400	1400	井田	内田	網谷　泰孝	海洋科学技術センター	35° 01.15'N	139° 22.80'E	6	2.55	6:15	3:08	10:02	11:42	14:50	16:17	水中画像の基礎実験
176	1985.6.17	研究	相模湾		1380	1380	田代	櫻井	植田　義夫	海上保安庁水路部	35° 01.00'N	139° 23.00'E	5	2.45	4:59	2:57	10:13	11:20	14:17	15:12	重力基準点の設置
177	1985.6.19	研究	相模湾		1250	1250	内田	櫻井	石井　輝秋	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.55	4:52	3:08	9:58	11:04	14:12	14:50	岩石調査
178	1985.6.20	研究	相模湾		1125	1125	井田	田代	大野　知多夫	神奈川県水試相模湾支所	35° 09.50'N	139° 15.50'E	6	2.73	4:54	3:11	10:21	11:19	14:30	15:15	底生生物の調査観察
179	1985.6.21	研究	相模湾		670	670	井田	内田	大森　信	東京水産大学	35° 13.50'N	139° 12.50'E	6	4.78	5:02	3:24	10:02	11:05	14:29	15:04	プランクトンの生態
180	1985.7.20	研究	南海トラフ	四国沖	710	710	内田	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	32° 29.00'N	133° 38.00'E	9		5:30	2:56	9:59	12:01	14:57	15:29	断層地形の調査、STD故障
181	1985.7.22	研究	南海トラフ	四国沖	380	380	井田	田代	岡村　行信	工業技術院地質調査所	32° 57.70'N	134° 12.70'E	8	−	3:17	2:18	12:33	13:02	15:20	15:50	地形地質の調査、流れ強く中止し浮上
182	1985.7.23	研究	南海トラフ	四国沖	760	660	井田	内田	中村　光一	工業技術院地質調査所	32° 29.10'N	133° 38.30'E	−	−	4:59	3:39	10:05	10:53	14:32	15:04	地形地質の調査
183	1985.7.25	研究	日向灘		385	360	田代	櫻井	黒木　敏行	宮崎県水産試験場	31° 53.00'N	131° 43.50'E	3	−	5:00	3:56	9:59	10:48	14:44	14:59	底魚甲殻類の観察
184	1985.7.26	研究	日向灘		246	246	内田	櫻井	栗田　寿男	宮崎県水産試験場	32° 00.90'N	131° 41.50'E	5	−	4:49	4:05	10:10	10:41	14:46	14:59	底魚甲殻類の観察
185	1985.7.29	研究	日向灘		360	360	井田	田代	橋本　惇	海洋科学技術センター	31° 52.20'N	131° 43.50'E	4	−	5:07	4:11	10:03	10:33	14:44	15:10	生物捕獲装置による採取
186	1985.8.6	研究	日本海	大和堆	690	690	井田	櫻井	土井　捷三郎	富山県水産試験場	39° 25.00'N	135° 31.00'E	5	−	3:12	1:56	11:44	12:32	14:28	14:56	エビ観察、海水ポンプ故障のため中止し浮上
187	1985.8.10	研究	日本海	大和堆	1780	1780	田代	内田	橋本　惇	海洋科学技術センター	39° 10.50'N	135° 28.00'E	7	−	3:26	0:43	11:59	13:32	14:15	15:25	生物調査、海水ポンプ故障のため中止し浮上
188	1985.8.12	研究	日本海	大和堆	515	515	井田	櫻井	玉木　賢策	工業技術院地質調査所	39° 12.40'N	134° 40.60'E	6	−	5:03	4:06	11:48	12:26	16:32	16:51	地形地質構造の調査
189	1985.8.13	研究	日本海	大和堆	790	790	田代	内田	佐藤　岱生	工業技術院地質調査所	39° 12.80'N	135° 16.32'E	8	−	4:58	3:51	12:35	13:15	17:06	17:33	地形地質構造の調査
190	1985.8.14	研究	日本海	大和堆	330	330	井田	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	39° 25.07'N	135° 14.59'E	6	−	5:16	4:36	11:44	12:10	16:46	17:00	岩層露頭の調査
191	1985.9.20	研究	駿河湾		740	740	田代	櫻井	大塚　謙一	静岡大学	35° 04.50'N	138° 38.50'E	5	4	4:57	3:45	10:05	10:50	14:35	15:02	地形地質構造の調査
192	1985.9.21	研究	駿河湾		1945	1945	内田	櫻井	古田　俊夫	東京大学海洋研究所	34° 43.50'N	138° 35.70'E	3	2.2	5:02	2:10	10:00	11:36	13:46	15:02	地形地質構造の調査
193	1985.9.24	研究	駿河湾		1945	1940	井田	田代	松本　文彬	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	1	2.14	5:25	1:58	10:12	11:46	13:44	15:37	海中環境計測装置
194	1985.9.25	研究	駿河湾		1965	1950	井田	内田	森鼻　英征	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	3	2.08	4:55	1:59	10:02	11:34	13:33	14:57	流向流速計の設置
195	1985.9.27	研究	駿河湾		500	490	田代	櫻井	高川　真一	海洋科学技術センター	34° 46.30'N	138° 41.00'E	6	6.4	4:07	3:02	10:00	10:39	13:41	14:07	生物捕圧装置の実験
196	1985.9.30	研究	駿河湾		1420		内田	櫻井	緑川　弘毅	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	−	−	1:53		9:59			11:52	底層流の調査、主推進機系絶縁不良のため中止し浮上
197	1985.10.8	研究	駿河湾		1340	1340	井田	内田	太田　秀	東京大学海洋研究所	35° 00.70'N	138° 40.50'E	5	2.7	5:18	3:13	10:06	11:13	14:26	15:24	ベントス群集の生態
198	1985.10.9	研究	駿河湾		1325	1325	田代	櫻井	白山　義久	東京大学海洋研究所	35° 00.70'N	138° 40.50'E	3	2.7	4:53	1:39	9:57	12:24	14:03	14:50	ベントス群集の生態
199	1985.10.11	研究	駿河湾		235	225	内田	櫻井	石橋　喜美子	中央水産研究所(東海区)	34° 54.00'N	138° 31.00'E	5	10.51	5:11	4:07	10:01	10:54	15:01	15:12	エサ付ロープの展張観察
200	1985.10.12	研究	駿河湾		235	220	井田	田代	河井　智康	中央水産研究所(東海区)	34° 54.00'N	138° 31.00'E	5	9.6	5:19	4:37	9:58	10:27	15:04	15:17	エサ付ロープの展張観察
201	1985.10.15	研究	駿河湾		1970	1970	井田	内田	加藤　茂	海上保安庁水路部	34° 43.80'N	138° 35.00'E	4	2.15	3:07	0:12	9:58	11:32	11:44	13:05	変動地形の地質調査、海水ポンプ故障のため中止し浮上
202	1986.3.7	沈降	横須賀港	第3区センター沖	5		井田	田代	奥田　隆一	三菱重工	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	0:54		14:14			15:08	
203	1986.3.14	試験	駿河湾		640	560	井田	内田	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.00'E	4	6.5	4:50	3:40	10:04	10:52	14:32	14:54	
204	1986.3.15	試験	駿河湾		590	590	田代	櫻井	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.00'E	3	6.6	4:21	3:01	10:04	11:00	14:01	14:25	
205	1986.3.17	試験	駿河湾		1040	1000	井田	田代	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	5	3.65	4:48	3:09	10:04	11:06	14:15	14:52	
206	1986.3.18	試験	駿河湾		1026	998	内田	櫻井	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.64	4:44	2:59	10:06	11:12	14:11	14:50	
207	1986.3.20	試験	駿河湾		1045	990	井田	櫻井	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.5	3:01	1:27	11:57	12:54	14:21	14:58	
208	1986.3.22	試験	駿河湾		1970	1970	田代	内田	赤澤　克文	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	4	1.7	5:08	1:54	10:05	11:40	13:34	15:13	

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度		潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
													視程m	水温							
209	1986.3.24	試験	駿河湾		1030	985	井田	櫻井	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.65	4:47	3:09	10:02	11:03	14:12	14:49	
210	1986.3.25	試験	駿河湾		1000	985	内田	田代	磯谷　實	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	5	3.83	3:47	2:06	10:03	11:07	13:13	13:50	
211	1986.4.15	訓練	駿河湾		570	570	井田	内田	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.00'E	4	5.5	4:45	3:49	10:04	10:42	14:31	14:49	
212	1986.4.16	訓練	駿河湾		580	580	田代	櫻井	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.00'E	3	5.25	5:08	4:00	10:03	10:47	14:47	15:11	
213	1986.4.17	訓練	駿河湾		1000	1000	井田	田代	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.52	4:50	3:13	10:05	10:59	14:12	14:55	
214	1986.4.22	訓練	駿河湾		990	990	内田	櫻井	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.68	4:44	3:14	10:05	10:58	14:12	14:49	
215	1986.4.24	訓練	駿河湾		1940		田代	内田	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	−	−	2:42	0:01	10:03	11:33	11:34	12:45	海水ポンプ故障のため中止し浮上
216	1986.5.15	研究	相模湾		1210	1210	井田	櫻井	吉田　則夫	防災科学技術センター	35° 00.00'N	139° 14.00'E	6	2.89	5:07	3:07	10:14	11:20	14:27	15:21	γ線計測
217	1986.5.16	研究	相模湾		1160	1160	田代	櫻井	吉田　則夫	防災科学技術センター	35° 00.00'N	139° 14.00'E	7	3	2:51	1:02	10:08	11:15	12:17	12:59	海況急変のため中止し浮上
218	1986.5.21	研究	相模湾		1335	1335	井田	櫻井	荒牧　重雄	東京大学地震研究所	34° 54.50'N	139° 18.00'E	5	2.6	5:41	3:47	10:00	11:06	14:53	15:41	地形地質の調査
219	1986.5.22	研究	相模湾		1175	1160	田代	鈴木	田中　武男	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 14.00'E	6	2.99	5:07	2:43	11:03	12:39	15:22	16:10	変動地形とコロニー関係
220	1986.5.23	研究	相模湾		1250	1235	田代	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	34° 54.00'N	139° 16.50'E	5	2.7	4:53	2:54	10:03	11:09	14:03	14:56	枕状溶岩の観察
221	1986.5.26	研究	相模湾		310	250	井田	櫻井	菅生　裕	神奈川県水産試験場	35° 06.50'N	139° 34.00'E	5	9.36	4:53	4:18	10:04	10:30	14:48	14:57	アカザエビの生態調査
222	1986.5.27	研究	相模湾		1180	1180	田代	赤澤	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.96	5:04	3:09	10:04	11:10	14:19	15:08	シロウリガイ群集の調査
223	1986.5.28	研究	相模湾		1230	1230	井田	鈴木	松澤　誠二	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.83	5:13	3:24	11:18	12:18	15:42	16:31	シロウリガイ群集の調査
224	1986.5.29	研究	相模湾		600	600	内田	櫻井	平本　紀久雄	千葉県水産試験場	35° 07.00'N	139° 33.50'E	5	5.49	5:07	4:09	9:58	10:43	14:52	15:05	タラバガニ、エビの調査
225	1986.6.2	研究	相模湾		1170	1170	井田	田代	太田　秀	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.9	5:12	3:15	10:33	11:47	15:02	15:45	シロウリガイ群集の調査
226	1986.6.3	研究	相模湾		1170	1155	田代	内田	酒井　均	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.93	5:19	3:30	9:58	10:57	14:27	15:17	コロニー内の採水
227	1986.6.7	研究	相模湾		1170	1170	井田	櫻井	半田　暢彦	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.96	4:55	3:08	10:03	11:07	14:15	14:58	堆積物中の有機物
228	1986.6.9	研究	相模湾		1150	1150	井田	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.93	5:00	3:14	10:04	11:03	14:17	15:04	シロウリガイ群集の調査
229	1986.6.10	試験	駿河湾		1975	1975	田代	内田	井田　正比古	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	2	2.2	3:27	0:44	9:59	11:31	12:15	13:26	海水ポンプ試験
230	1986.7.3	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1380	1360	井田	内田	木村　政昭	琉球大学	27° 34.50'N	127° 07.50'E	5	4.03	5:07	2:25	9:58	11:48	14:13	15:05	トラフ中央構造の調査
231	1986.7.4	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1760	1760	田代	櫻井	加藤　祐三	琉球大学	27° 34.50'N	127° 08.50'E	7	3.91	5:20	2:50	10:00	11:30	14:20	15:20	トラフ中央構造の調査
232	1986.7.5	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1585	1585	井田	赤澤	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 34.50'N	127° 08.50'E	7	3.9	5:27	2:29	10:04	11:40	14:09	15:31	マウンドの湧水観察
233	1986.7.7	研究	南西諸島	沖縄トラフ	975	970	田代	鈴木	仲　二郎	海洋科学技術センター	27° 31.50'N	126° 56.50'E	10	4.42	5:14	3:26	9:58	11:01	14:27	15:12	火山岩と堆積物調査
234	1986.7.8	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1335	1260	内田	櫻井	安藤　雅孝	京都大学防災研究所	27° 01.10'N	126° 37.50'E	10	4.07	4:51	2:29	9:59	11:37	14:06	14:50	正断層地形の調査
235	1986.7.14	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1600	1600	井田	櫻井	蒲生　俊敬	東京大学海洋研究所	27° 34.50'N	127° 08.50'E	7	3.9	5:12	2:39	9:59	11:26	14:05	15:11	マウンドの湧水採水
236	1986.7.22	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1840	1840	井田	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	27° 02.00'N	126° 39.00'E	7	3.78	4:57	2:21	13:16	14:44	17:05	18:13	地形地質の調査
237	1986.7.23	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1830	1830	内田	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	27° 04.00'N	126° 40.50'E	8	3.78	4:56	2:24	9:58	11:31	13:55	14:54	地形地質の調査
238	1986.7.24	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1540	1535	井田	内田	山野　誠	東京大学地震研究所	27° 34.50'N	127° 08.50'E	8	4.06	5:02	1:39	9:57	12:19	13:58	14:59	熱水活動に関する調査
239	1986.7.25	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1810	1800	内田	櫻井	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 00.20'N	126° 40.50'E	7	3.78	4:55	2:17	10:35	12:04	14:21	15:30	海底火山域の調査
240	1986.7.26	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1815	1740	井田	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	27° 00.50'N	126° 37.50'E	7	3.76	5:26	2:40	9:57	11:14	13:54	15:23	地形地質の調査
241	1986.8.28	研究	駿河湾		1925	1925	井田	櫻井	里村　幹夫	静岡大学	34° 43.80'N	138° 35.00'E	4	2.15	5:14	2:04	10:03	11:59	14:03	15:17	重力計測
242	1986.8.29	研究	駿河湾		1962	1961	内田	赤澤	萩原　廣治	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	3	2.05	4:21	1:27	10:05	11:45	13:12	14:26	底層流流向流速計テスト
243	1986.9.11	研究	日本海	大和堆	1705	1705	田代	櫻井	小林　和男	東京大学海洋研究所	39° 23.50'N	134° 31.00'E	5	0.11	4:11	1:50	13:12	14:33	16:23	17:23	成因と古環境調査
244	1986.9.12	研究	日本海	大和堆	390	390	井田	内田	安田　信也	石川県水産試験場	39° 28.00'N	135° 18.50'E	6	0.45	4:54	4:11	10:05	10:32	14:43	14:59	ホッコクアカエビ調査
245	1986.9.13	研究	日本海	大和堆	1810	1810	田代	赤澤	橋本　惇	海洋科学技術センター	39° 10.50'N	135° 28.00'E	6	0.09	4:59	2:18	11:35	13:09	15:27	16:34	甲殻類の生態調査
246	1986.9.20	研究	日本海	最上トラフ	620	620	田代	内田	玉木　賢策	東京大学海洋研究所	38° 54.50'N	139° 08.50'E	5	0.2	4:27	3:32	11:04	11:41	15:13	15:31	活断層の観察
247	1986.9.24	研究	日本海	最上トラフ	785	780	井田	内田	山洞　仁	山形県水産課	38° 40.00'N	138° 50.00'E	4	0.3	5:00	3:49	11:03	11:44	15:33	16:03	生物の分布観察
248	1986.9.25	研究	日本海	最上トラフ	780	780	田代	鈴木	松澤　誠二	海洋科学技術センター	38° 48.50'N	138° 55.00'E	4	0.3	5:12	3:52	10:02	10:54	14:46	15:14	断層付近の生物調査
249	1986.9.29	研究	日本海	青森西沖中部日本海地震域	580	580	井田	田代	黄金崎　栄一	青森県水産試験場	41° 04.50'N	139° 55.00'E	5	0.23	4:28	3:12	10:59	11:47	14:59	15:27	生物の生態と分布
250	1986.10.1	研究	日本海	青森沖中部日本海地震域	1930	1930	内田	赤澤	田中　武男	海洋科学技術センター	40° 35.50'N	139° 25.00'E	6	0.09	4:51	2:18	10:00	11:34	13:52	14:51	変動地形の調査
251	1986.10.2	研究	日本海	青森沖中部日本海地震域	1730	1730	井田	鈴木	田中　武男	海洋科学技術センター	40° 27.50'N	139° 24.50'E	5	0.2	5:14	2:47	9:59	11:27	14:14	15:13	変動地形の調査
252	1986.10.29	研究	伊豆諸島	八丈島周辺	1850	1850	井田	内田	藤岡　換太郎	東京大学海洋研究所	33° 38.50'N	139° 08.00'E	5	2.2	4:39	1:50	11:47	13:21	15:11	16:26	熱水活動に関する調査
253	1986.11.4	研究	小笠原諸島	父島西方	920	920	井田	田代	湯浅　真人	工業技術院地質調査所	26° 41.70'N	141° 05.20'E	3	9.03	4:59	3:46	10:00	10:48	14:34	14:59	海底火山域の調査
254	1986.11.5	研究	小笠原諸島	父島西方	925	915	田代	櫻井	浦辺　徹郎	工業技術院地質調査所	26° 41.70'N	141° 05.20'E	3	9.05	1:58	0:30	10:00	10:51	11:21	11:58	海況急変のため中止し浮上
255	1986.11.13	研究	伊豆諸島	八丈周辺	830	830	井田	櫻井	A.Malahoff	Hawaii Univ.	32° 51.40'N	139° 33.20'E	5	4.95	4:38	3:13	10:00	11:00	14:13	14:38	海底火山域の調査
256	1986.11.14	研究	伊豆諸島	八丈周辺	745	740	田代	内田	M.Reaka	メリーランド大学	33° 28.90'N	139° 35.90'E	6	5.17	3:58	2:27	10:37	11:39	14:06	14:35	深海生物の調査
257	1986.11.17	研究	伊豆諸島	八丈周辺	470	465	内田	櫻井	竹之内　卓夫	東京都水試八丈分場	33° 23.10'N	139° 33.30'E	7	12.36	1:25	0:29	10:45	11:23	11:52	12:10	エサ付ロープ絡まり中止し浮上
258	1986.11.18	研究	伊豆諸島	八丈周辺	710	710	田代	鈴木	仲　二郎	海洋科学技術センター	32° 51.40'N	139° 33.20'E	8	6.3	3:38	2:05	9:45	10:57	13:02	13:23	海底微地形の調査観察
259	1986.11.20	研究	駿河湾		1580	1580	井田	赤澤	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 50.00'N	138° 36.50'E	3	2.39	5:35	3:21	9:57	11:23	14:44	15:32	海底微地形の調査観察
260	1986.11.21	研究	駿河湾		1350	1350	田代	櫻井	田中　彰	東海大学	34° 49.00'N	138° 35.50'E	4	2.67	5:02	2:50	9:41	10:56	13:46	14:43	発光生物の観察と分布
261	1986.11.25	研究	駿河湾		390	390	田代	井田	村中　文夫	静岡県水産試験場	35° 04.30'N	138° 35.30'E	5	−	5:03	4:27	9:58	10:21	14:48	15:01	サクラエビの調査
262	1986.11.27	研究	駿河湾		1970	1970	井田	櫻井	加藤　茂	海上保安庁水路部	34° 44.00'N	138° 35.00'E	3	−	5:02	2:09	10:02	11:34	13:43	15:04	地形地質の調査
263	1986.11.28	研究	駿河湾		1990	1990	田代	櫻井	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	34° 43.00'N	138° 34.50'E	4	−	5:20	2:44	9:53	11:24	14:08	15:13	地形地質の調査
264	1987.3.19	沈降	横須賀港	第3区センター沖	5		井田	櫻井	奥田　隆一	三菱重工	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	1:11		13:28			14:39	
265	1987.3.24	試験	駿河湾		500		井田	鈴木	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.30'E	−	−	0:44		11:17			12:01	海況悪化のため途中浮上
266	1987.3.26	試験	駿河湾		555	555	田代	赤澤	鶴　啓介	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.30'E	3	6.21	3:44	2:45	10:02	10:42	13:27	13:46	
267	1987.3.27	試験	駿河湾		1006	1005	井田	櫻井	篠原　保	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.30'E	5	3.6	3:58	2:21	10:01	11:02	13:23	13:59	
268	1987.3.28	試験	駿河湾		1020	1020	田代	赤澤	間山　隆	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.30'E	4	3.63	4:13	2:26	10:00	11:01	13:27	14:13	
269	1987.3.30	試験	駿河湾		2000	1975	井田	櫻井	今井　義司	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	4	1.85	4:55	1:42	10:58	12:51	14:33	15:53	
270	1987.4.14	訓練	駿河湾		560	560	井田	赤澤	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.30'E	2	6.2	5:03	4:08	10:00	10:33	14:41	15:03	
271	1987.4.15	訓練	駿河湾		560	560	田代	鈴木	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.30'E	3	6.33	5:06	4:07	9:59	10:37	14:44	15:05	
272	1987.4.17	訓練	駿河湾		1080	1040	井田	鈴木	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.50'E	5	3.9	5:08	3:27	9:58	10:56	14:23	15:06	
273	1987.4.18	訓練	駿河湾		1100	1045	田代	内田	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.50'E	5	3.76	4:08	2:34	10:00	10:56	13:30	14:08	
274	1987.5.13	沈降	横須賀港	第3区センター沖	1		田代	赤澤	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	1:22		15:16			16:38	機器テスト、油漏れ確認
275	1987.5.15	試験	駿河湾		1060	1060	井田	櫻井	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 02.80'N	138° 39.30'E	5	3.23	4:43	2:56	10:11	11:06	14:02	14:54	
276	1987.5.19	試験	相模湾		1015	990	井田	櫻井	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	34° 50.70'N	139° 12.90'E	5	3.02	5:20	3:34	9:59	10:59	14:33	15:19	
277	1987.5.20	研究	相模湾		1250	1245	田代	櫻井	宇井　忠英	神戸大学	34° 53.50'N	139° 16.00'E	4	2.83	5:17	3:20	9:57	11:03	14:23	15:14	地形地質の調査
278	1987.5.22	研究	相模湾		1180	1180	井田	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	34° 58.20'N	139° 31.30'E	7	2.85	5:30	3:33	10:02	11:02	14:35	15:32	コロニーの調査観察

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
279	1987.5.25	研究	相模湾		1020	1000	井田	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	34° 50.70'N	139° 12.90'E	5	3.7	5:03	2:20	11:06	12:03	14:23	16:09	枕状溶岩の観察
280	1987.5.28	研究	伊豆諸島	八丈島周辺	795	750	井田	赤澤	岩淵　洋	海上保安庁水路部	33° 24.20'N	139° 41.00'E	7	13.18	2:29	1:13	12:02	12:48	14:01	14:31	地形地質の調査、海況急変のため中止し浮上
281	1987.5.30	研究	伊豆諸島	八丈島周辺	1150	1150	田代	鈴木	田中　武男	海洋科学技術センター	33° 36.00'N	139° 43.50'E	8	3.15	2:41	0:42	10:58	12:06	12:48	13:39	変動地形調査、海況急変のため中止し浮上
282	1987.6.14	沈降	横須賀港	第３区センター沖	5		田代	赤澤	鈴木　晋一	海洋科学技術センター	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	0:39		9:52			10:31	油漏れ確認
283	1987.6.30	沈降	横須賀港	第３区センター沖	3		井田	櫻井	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	0:32		10:09			10:41	油漏れ確認
284	1987.7.6	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1650	1650	田代	櫻井	木村　政昭	琉球大学	27° 34.30'N	127° 10.60'E	8	4	5:24	2:43	10:14	11:51	14:34	15:38	トラフ中央構造調査
285	1987.7.8	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1600	1600	井田	赤澤	安藤　雅孝	京都大学防災研究所	27° 34.50'N	127° 08.80'E	0	4.04	6:16	2:48	10:01	12:28	15:16	16:17	地震計設置
286	1987.7.9	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1745	1745	田代	鈴木	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 35.20'N	127° 11.80'E	7	3.96	5:35	2:43	10:02	11:35	14:18	15:37	海底火山地形の調査
287	1987.7.10	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1700	1700	井田	櫻井	仲　二郎	海洋科学技術センター	27° 29.50'N	126° 50.00'E	8	3.84	5:25	2:54	11:13	12:42	15:36	16:38	海底火山地形の調査
288	1987.7.18	研究	南西諸島	宮古島北東	710	710	田代	櫻井	久貝　一成	沖縄県水産試験場	25° 36.00'N	125° 51.50'E	8	6.05	5:11	3:34	10:01	11:00	14:34	15:12	漁場の調査観察
289	1987.7.24	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1665	1665	井田	赤澤	橋本　惇	海洋科学技術センター	27° 15.40'N	127° 04.00'E	6	4	3:56	1:09	13:55	15:22	16:31	17:51	生物の調査
290	1987.7.25	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1630	1630	田代	鈴木	岩淵　洋	海上保安庁水路部	27° 15.00'N	127° 04.20'E	7	3.97	5:21	2:47	9:58	11:22	14:09	15:19	地形地質の調査
291	1987.7.26	研究	南西諸島	沖縄トラフ	1540	1530	井田	櫻井	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 13.70'N	127° 04.20'E	7	3.98	5:37	3:09	10:00	11:15	14:24	15:37	地形地質の調査
292	1987.9.10	研究	日本海	能登半島沖	1125	1110	井田	赤澤	長屋　好治	海上保安庁水路部	37° 07.20'N	137° 17.00'E	5	0.1	4:41	2:44	11:35	12:43	15:27	16:16	重力計測
293	1987.9.11	研究	日本海	能登半島沖	1465	1465	田代	鈴木	田中　武男	海洋科学技術センター	37° 24.80'N	137° 43.80'E	6	0.11	4:48	2:45	11:38	12:55	15:40	16:26	変動地形の調査
294	1987.9.13	研究	日本海	能登半島沖	1615	1610	井田	櫻井	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	37° 30.10'N	137° 48.60'E	6	0.09	5:21	3:09	9:57	11:14	14:23	15:18	海底活構造調査
295	1987.9.14	研究	日本海	能登半島沖	1530	1530	田代	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	37° 25.90'N	137° 45.50'E	5	0.09	5:07	2:58	11:29	12:46	15:44	16:36	変動地形の調査
296	1987.9.15	研究	日本海	能登半島沖	1460	1460	井田	鈴木	松本　剛	海洋科学技術センター	37° 23.70'N	137° 44.70'E	6	0.09	5:10	3:07	11:30	12:40	15:47	16:40	変動地形の調査
297	1987.9.19	研究	日本海	能登半島沖	500	500	田代	櫻井	林　清志	富山県水産試験場	37° 26.00'N	137° 39.50'E	6	0.38	4:03	3:06	9:15	9:56	13:02	13:18	ホタルイカの調査
298	1987.9.22	研究	日本海	秋田県沖	270	270	井田	赤澤	佐藤　善雄	秋田県水産振興センター	39° 42.50'N	139° 37.50'E	5	1.73	4:22	3:45	11:09	11:35	15:20	15:31	ハタハタの調査
299	1987.9.25	研究	日本海	青森県沖	1145	1145	田代	鈴木	松澤　誠二	海洋科学技術センター	40° 35.80'N	139° 28.80'E	6	0.11	5:01	2:54	10:04	11:28	14:22	15:05	カニの摂餌生態観察
300	1987.9.28	研究	日本海	青森県沖	1735	1735	田代	赤澤	渡辺　修一	北海道大学	40° 39.60'N	139° 32.50'E	6	0.09	4:33	2:01	12:33	13:57	15:58	17:06	生物の炭素供給
301	1987.9.29	研究	日本海	青森県沖	430	430	井田	鈴木	涌坪　敏明	青森県水産試験場	41° 18.00'N	140° 09.70'E	7	7	4:45	4:04	9:56	10:30	14:34	14:41	生物の摂餌生態観察
302	1987.9.30	研究	日本海	青森県沖	1160	1130	井田	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	40° 35.80'N	139° 28.80'E	6	0.12	5:09	2:49	10:50	12:14	15:03	15:59	ベニズワイガニの調査
303	1987.10.3	研究	日本海	青森県沖	1510		田代	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	40° 33.00'N	139° 23.50'E	−	−	2:10		11:14			13:24	変動地形と堆積物。海況急変の為中止し浮上
304	1987.10.4	研究	日本海	青森県沖	1895	1895	井田	赤澤	山野　誠	東京大学地震研究所	40° 52.00'N	139° 32.60'E	6	0.09	4:50	2:10	11:26	12:53	15:03	16:16	熱水量の調査
305	1987.10.29	研究	駿河湾		1330	1330	井田	櫻井	松澤　誠二	海洋科学技術センター	34° 49.20'N	138° 35.70'E	3	2.53	5:19	3:07	9:58	11:11	14:18	15:17	深海生物相の調査
306	1987.10.30	研究	駿河湾		1970	1970	田代	鈴木	緑川　弘毅	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.98	4:53	1:25	9:42	11:43	13:08	14:35	底層流の測定
307	1987.11.2	研究	駿河湾		375	375	井田	赤澤	村中　文夫	静岡県水産試験場	34° 51.20'N	138° 21.70'E	3	7.6	5:05	4:27	9:58	10:24	14:51	15:03	サクラエビの調査
308	1987.11.6	研究	駿河湾		1950	1950	井田	赤澤	古田　俊夫	東京大学海洋研究所	34° 42.00'N	138° 36.00'E	3	1.98	5:08	2:29	9:57	11:36	14:05	15:05	地形地質調査
309	1987.11.7	研究	駿河湾		1940	1890	田代	櫻井	北里　洋	静岡大学	34° 44.00'N	138° 35.20'E	3	1.84	4:55	1:54	9:33	11:12	13:06	14:28	重力計測
310	1987.11.10	研究	相模湾	波浮海脚	315	300	田代	鈴木	楠　勝浩	海上保安庁水路部	34° 39.20'N	139° 28.50'E	6	9.53	4:54	4:11	9:56	10:30	14:41	14:50	海底火山地形の調査
311	1987.11.11	研究	相模湾		1090	1010	井田	櫻井	吉田　則夫	防災科学技術センター	34° 57.40'N	139° 12.50'E	5	3.4	5:31	3:44	9:57	10:55	14:39	15:28	シロウリガイ群集、γ線計測
312	1987.11.12	研究	相模湾		1210	1210	田代	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	34° 53.40'N	139° 15.10'E	5	2.75	5:13	3:15	9:55	11:00	14:15	15:08	枕状溶岩の観察
313	1987.11.15	研究	相模湾		1160	1160	井田	鈴木	小池　勲夫	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.80'E	5	3	4:54	1:36	10:01	12:16	13:52	14:55	コロニーの空間分布
314	1987.11.16	研究	相模湾		1165	1165	田代	櫻井	増澤　敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.80'E	5	2.98	5:07	3:26	10:03	10:57	14:23	15:10	コロニーの空間分布
315	1987.11.19	研究	相模湾		1170	1160	井田	赤澤	三浦　知之	鹿児島大学	35° 00.00'N	139° 13.80'E	5	2.8	5:10	3:07	9:20	10:27	13:34	14:30	コロニーの空間分布
316	1987.11.20	研究	相模湾		1160	1160	田代	鈴木	太田　秀	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.80'E	7	2.77	5:07	3:25	9:59	11:01	14:26	15:06	コロニーの空間分布
317	1987.11.21	研究	相模湾	沖ノ山西部	1170	1170	井田	櫻井	近藤　正臣	ＡＢＣ放送	34° 58.30'N	139° 31.70'E	6	2.68	5:00	2:58	9:31	10:44	13:42	14:31	
318	1987.11.24	研究	相模湾	初島南東方	1370	1370	田代	赤澤	瀬川　爾朗	東京大学海洋研究所	35° 00.50'N	139° 16.00'E	5	2.48	4:44	2:05	10:38	12:11	14:16	15:22	観測ステーション
319	1987.11.25	研究	相模湾	真鶴埼東方	1260	1260	井田	鈴木	伊東　二三夫	東京都水試八丈分場	35° 08.00'N	139° 16.10'E	3	2.5	5:09	3:10	9:56	11:05	14:15	15:05	甲殻類の調査観察
320	1988.3.3	沈降	横須賀港	第３区センター沖	5		田代	櫻井	奥田　隆一	三菱重工	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	1:00		10:35			11:35	
321	1988.3.5	試験	駿河湾	蒲原沖	580	540	井田	赤澤	福井　勉	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.00'E	2	6.28	4:02	2:56	10:01	10:46	13:42	14:03	
322	1988.3.6	試験	駿河湾	蒲原沖	640	535	田代	櫻井	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 05.00'N	138° 36.00'E	4	6.26	4:16	3:08	9:58	10:36	13:44	14:14	
323	1988.3.8	試験	駿河湾	蒲原沖	1010	1010	井田	鈴木	高岡　正直	三菱重工	35° 03.00'N	138° 39.00'E	2	3.36	3:00	1:04	10:02	11:16	12:20	13:02	海況急変の為中止し浮上
324	1988.3.9	試験	駿河湾	蒲原沖	1015	1010	田代	赤澤	金子　浩一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.22	4:31	2:45	10:03	11:07	13:52	14:34	
325	1988.3.10	試験	駿河湾	蒲原沖	1010	1010	井田	鈴木	今井　義司	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	3	3.38	4:29	1:37	10:41	12:56	14:33	15:10	海況不良の為海域変更
326	1988.3.11	試験	駿河湾	駿河トラフ	1980	1980	田代	櫻井	中戸　弘之	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.10'E	4	2.08	3:48	0:50	10:21	12:02	12:52	14:09	
327	1988.3.18	訓練	駿河湾	蒲原沖	1020	1010	井田	赤澤	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	2	2.6	5:00	3:21	9:59	11:00	14:21	14:59	
328	1988.3.19	訓練	駿河湾	蒲原沖	1020	1015	田代	鈴木	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	5	3.52	5:02	3:35	9:54	10:50	14:25	14:56	
329	1988.3.23	訓練	駿河湾	蒲原沖	1010	1010	井田	櫻井	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.61	5:00	3:30	9:58	10:53	14:23	14:58	
330	1988.3.24	訓練	駿河湾	蒲原沖	1010	1010	田代	赤澤	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	2	3.66	5:12	2:47	9:59	11:40	14:27	15:11	
331	1988.3.25	訓練	駿河湾	駿河トラフ	1960	1960	井田	鈴木	久保田　啓介	日本経済新聞社	34° 43.30'N	138° 35.40'E	1	1.95	5:04	2:17	9:27	11:08	13:25	14:31	
332	1988.3.27	訓練	駿河湾	蒲原沖	1010	1010	田代	櫻井	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	4.07	5:01	2:40	9:56	11:43	14:23	14:57	
333	1988.3.28	訓練	駿河湾	蒲原沖	1030	1030	井田	赤澤	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 39.00'E	4	3.65	2:39	1:07	9:57	10:51	11:58	12:36	絶縁低下の為中止し浮上
334	1988.5.3	研究	駿河湾	石花海北堆東部	1985	1985	井田	鈴木	千野　力	東京都水試八丈分場	34° 43.00'N	138° 34.80'E	4	2.15	5:30	1:59	10:00	12:07	14:06	15:30	深海生物の調査
335	1988.5.4	研究	駿河湾	石花海北堆東部	1855	1855	田代	櫻井	古田　俊夫	東京大学海洋研究所	34° 42.50'N	138° 36.50'E	5	2.23	5:53	3:29	9:38	11:14	14:43	15:31	地球物理学的研究
336	1988.5.5	研究	駿河湾	石花海北堆東部	1990	1990	井田	廣瀬	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.20'E	5	2.22	4:44	1:51	9:39	11:12	13:03	14:23	底層流と地形変化
337	1988.5.10	研究	伊豆諸島	利島北西方	490	490	井田	鈴木	岩淵　洋	海上保安庁水路部	34° 33.80'N	139° 14.60'E	7	8.75	5:27	4:46	10:00	10:30	15:16	15:27	利島カルデラの調査
338	1988.5.11	研究	伊豆諸島	黒瀬海穴	800	800	田代	櫻井	岩淵　洋	海上保安庁水路部	33° 24.50'N	139° 41.00'E	9	12.35	5:32	4:28	9:27	10:14	14:42	14:59	黒瀬海穴の地形調査
339	1988.5.17	研究	小笠原諸島	海形海山	580	580	田代	廣瀬	仲　二郎	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 05.00'E	10	9.45	5:59	4:56	9:30	10:15	15:11	15:29	海底火山地形と熱水
340	1988.5.18	研究	小笠原諸島	海形海山	640	470	井田	鈴木	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 05.00'E	8	12.2	6:11	3:43	9:27	11:35	15:18	15:38	熱水現象と流れの関係
341	1988.5.19	研究	小笠原諸島	海形海山	570	570	田代	廣瀬	橋本　惇	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 05.00'E	7	9.73	5:37	4:33	9:59	10:40	15:13	15:36	熱水現象とコロニー
342	1988.5.20	研究	小笠原諸島	海形海山	930	930	井田	櫻井	浦辺　徹郎	工業技術院地質調査所	26° 41.80'N	141° 05.20'E	5	8.35	5:58	4:39	9:30	10:23	15:02	15:28	熱水変質帯の観察
343	1988.5.24	研究	小笠原諸島	母島北西方	440	440	田代	赤澤	岡村　陽一	小笠原水産センター	26° 44.50'N	142° 03.30'E	10	14.25	3:45	3:02	10:44	11:19	14:21	14:29	魚類調査、海況急変の為中止し浮上
344	1988.6.28	研究	日本海	富山湾糸魚川北方	1520	1485	井田	赤澤	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	37° 25.00'N	137° 48.00'E	3	0.08	6:01	3:59	9:34	10:48	14:47	15:35	地形地質の調査
345	1988.6.29	研究	日本海	富山湾富山北方	320	305	田代	鈴木	土井　捷三郎	富山県水産試験場	36° 47.40'N	137° 13.50'E	2	1.7	5:44	5:00	9:50	10:22	15:22	15:34	シラエビの生息分布
346	1988.7.2	研究	日本海	富山湾糸魚川北方	1110	1110	井田	廣瀬	松本　剛	海洋科学技術センター	37° 21.70'N	137° 56.50'E	5	0.08	5:39	4:12	9:41	10:40	14:52	15:20	地質構造の調査
347	1988.7.3	研究	日本海	富山湾糸魚川北方	1110	1110	井田	廣瀬	高川　真一	海洋科学技術センター	37° 22.80'N	137° 53.20'E	5	0.1	4:39	2:58	9:52	10:52	13:50	14:31	微生物採取装置テスト
348	1988.7.4	研究	日本海	富山湾糸魚川北方	585	585	田代	赤澤	橋本　惇	海洋科学技術センター	37° 21.19'N	137° 57.42'E	7	0.27	5:48	4:20	9:40	10:45	15:05	15:28	ベニズワイガニの摂餌音収録

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域	最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
349	1988.7.7	研究	日本海	最上堆	730	730	田代	鈴木	佐藤　昭夫	山形県水産試験場	39° 06.80'N	139° 01.70'E	6	0.14	4:49	3:43	9:39	10:28	14:11	14:28	生物相の調査
350	1988.7.10	研究	日本海	秋田県沖	370	360	井田	櫻井	杉山　秀樹	秋田県水産振興センター	40° 06.00'N	139° 38.60'E	4	0.85	4:59	4:15	10:08	10:37	14:52	15:07	ハタハタの生息分布
351	1988.7.11	研究	日本海	秋田県沖	310	310	田代	赤澤	柴田　理	秋田県水産振興センター	39° 38.60'N	139° 40.30'E	3	1.31	5:04	4:29	9:58	10:24	14:53	15:02	ハタハタの生息分布
352	1988.7.20	研究	日本海	奥尻海嶺	2000	2000	井田	櫻井	田中　武男	海洋科学技術センター	43° 57.50'N	139° 12.30'E	5	0.08	6:05	3:21	9:27	11:06	14:27	15:32	変動地形に関する調査
353	1988.7.21	研究	日本海	奥尻海嶺	1680	1680	田代	廣瀬	門馬　大和	海洋科学技術センター	43° 57.50'N	139° 13.00'E	5	0.06	5:56	3:22	9:31	11:21	14:43	15:27	変動地形に関する調査
354	1988.7.25	研究	日本海	奥尻海嶺	1980	1950	井田	赤澤	宮下　純夫	新潟大学	43° 57.30'N	139° 12.00'E	4	0.08	6:01	3:29	9:28	11:03	14:32	15:29	変動地形に関する調査
355	1988.7.26	研究	日本海	奥尻海嶺	1995	1995	田代	鈴木	徳山　英一	東京大学海洋研究所	44° 00.00'N	139° 11.50'E	5	0.09	5:55	3:19	9:29	11:10	14:29	15:24	断層構造の調査
356	1988.7.27	研究	日本海	奥尻海嶺	1670	1650	井田	櫻井	竹内　章	富山大学	44° 00.60'N	139° 33.00'E	4	0.08	5:57	3:38	9:27	10:54	14:32	15:24	活断層構造の調査
357	1988.8.28	研究	南西諸島	奄西海丘	750	670	田代	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 24.50'N	127° 38.00'E	10	8.01	5:55	4:18	9:37	10:45	15:03	15:32	コロニーの観察
358	1988.8.29	研究	南西諸島	奄西海丘	760	670	井田	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 24.50'N	127° 38.00'E	10	7.97	6:06	4:08	9:34	10:54	15:02	15:40	コロニーの観察
359	1988.9.2	研究	南西諸島	伊是名海穴	1560	1560	田代	鈴木	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	27° 16.00'N	127° 05.00'E	9	4	5:57	3:41	9:33	10:54	14:35	15:30	チムニー群の観察
360	1988.9.3	研究	南西諸島	伊是名海穴	1430	1430	井田	櫻井	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 16.00'N	127° 05.00'E	5	4.03	6:11	3:56	9:29	10:44	14:40	15:40	チムニー群の観察
361	1988.9.4	訓練	南西諸島	伊是名海穴	1665	1665	田代	鈴木	小倉　訓	海洋科学技術センター	27° 15.00'N	127° 04.00'E	10	3.99	6:12	3:32	9:28	11:02	14:34	15:40	
362	1988.9.6	研究	南西諸島	沖縄南西	715	710	田代	鈴木	本永　文彦	沖縄県水産試験場	25° 49.40'N	127° 10.30'E	15	7.1	4:36	3:19	11:16	12:04	15:23	15:52	生物相の調査
363	1988.9.9	研究	南西諸島	伊是名海穴	1400	1400	井田	廣瀬	許　正憲	海洋科学技術センター	27° 16.00'N	127° 05.00'E	5	4	6:00	3:56	9:29	10:48	14:44	15:29	微生物採取装置テスト
364	1988.9.10	研究	南西諸島	伊是名海穴	1340	1340	櫻井	赤澤	木村　政昭	琉球大学	27° 16.00'N	127° 05.00'E	6	4.02	6:06	3:52	9:27	10:41	14:33	15:33	チムニー群の観察
365	1988.9.11	研究	南西諸島	伊是名海穴	1390	1390	井田	廣瀬	安藤　雅孝	京都大学防災研究所	27° 16.00'N	127° 05.00'E	5	3.98	6:02	3:53	9:46	10:59	14:52	15:48	
366	1988.9.12	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1410	1410	櫻井	赤澤	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.50'E	15	3.95	6:01	3:39	9:30	10:53	14:32	15:31	地震計回収
367	1988.9.16	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1410	1410	井田	廣瀬	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.50'E	7	4.01	6:00	3:39	9:30	10:53	14:32	15:30	熱水噴出観察
368	1988.9.17	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1410	1410	櫻井	赤澤	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.50'E	5	4	5:57	0:41	10:01	14:15	14:56	15:58	熱水現象と流れの関係
369	1988.9.22	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1400	1300	田代	廣瀬	仲　二郎	海洋科学技術センター	27° 30.50'N	126° 53.00'E	10	4.07	5:49	2:24	9:30	12:07	14:31	15:19	火山噴出物と熱水
370	1988.10.21	研究	伊豆諸島	八丈凹地	855	575	田代	鈴木	A.Malahoff	Hawaii Univ.	32° 51.00'N	139° 31.00'E	10	4.75	5:56	2:08	9:39	13:09	15:17	15:35	地形地質調査
371	1988.10.22	研究	伊豆諸島	八丈凹地	940	940	井田	廣瀬	仲　二郎	海洋科学技術センター	32° 48.00'N	139° 36.20'E	7	3.65	3:05	1:30	10:17	11:13	12:43	13:22	地形地質調査、海況急変の為中止し浮上
372	1988.10.24	研究	相模湾	沖ノ山堆	1150	1150	田代	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	34° 58.20'N	139° 31.80'E	5	2.81	5:45	3:58	10:15	11:14	15:12	16:00	コロニーの調査
373	1988.10.25	研究	相模湾	沖ノ山堆	1160	1160	井田	赤澤	田中　武男	海洋科学技術センター	34° 58.50'N	139° 31.70'E	5	2.78	5:59	4:26	9:44	10:45	15:11	15:43	沖ノ山堆の地形地質
374	1988.10.26	研究	相模湾	沖ノ山堆	1170	1170	田代	鈴木	石田　瑞穂	防災科学技術センター	34° 58.50'N	139° 31.70'E	6	2.95	6:01	4:23	9:45	10:45	15:08	15:46	コロニーでのγ線計測
375	1988.10.27	研究	相模湾	初島沖	1170	1170	井田	廣瀬	朝日　教之	朝日新聞社	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.9	5:00	3:10	10:00	11:03	14:13	15:00	プレス乗船取材
376	1988.10.29	研究	相模湾	熱川沖	1220	1220	田代	赤澤	高川　真一	海洋科学技術センター	34° 53.50'N	139° 15.50'E	4	2.76	5:27	1:53	10:19	13:01	14:54	15:46	ロックドリルのテスト
377	1988.10.30	研究	相模湾	川奈沖	1370	1370	櫻井	鈴木	藤本　博巳	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 16.20'E	5	2.36	5:07	3:01	9:59	11:07	14:08	15:06	海底ステーション
378	1988.10.31	研究	相模湾	川奈沖	1460	1450	田代	廣瀬	藤　浩明	東京大学海洋研究所	35° 00.80'N	139° 21.80'E	4	2.33	6:19	4:20	10:36	11:49	16:09	16:55	海底ステーション
379	1988.11.3	研究	相模湾	初島沖	1170	1170	櫻井	赤澤	蒲生　俊敬	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.80'E	5	2.97	6:00	4:17	9:35	10:37	14:54	15:35	コロニー内での採水
380	1988.11.4	研究	相模湾	初島沖	1160	1150	田代	鈴木	半田　暢彦	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.80'E	5	3.03	5:20	3:29	9:32	10:36	14:05	14:52	コロニー内での採泥
381	1988.11.5	研究	相模湾	初島沖	1170	1140	櫻井	廣瀬	太田　秀	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.80'E	5	3.05	5:47	4:05	9:38	10:41	14:46	15:25	コロニーの調査
382	1988.11.6	研究	相模湾	沖ノ山堆	1150	1150	田代	赤澤	太田　秀	東京大学海洋研究所	34° 58.50'N	139° 31.70'E	6	2.95	5:34	4:00	9:27	10:23	14:23	15:01	コロニーの調査
383	1988.11.8	研究	駿河湾	松崎沖	1975	1975	櫻井	鈴木	新井　嘉人	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.30'E	4	1.99	5:55	3:09	10:12	11:45	14:54	16:07	水中画像伝送の実験
384	1988.11.9	研究	駿河湾	松崎沖	1970	1970	田代	廣瀬	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.30'E	5	2.02	6:14	2:29	9:31	11:59	14:28	15:45	海底直上での流れ調査
385	1988.11.10	研究	相模湾	熱海沖	340	340	櫻井	赤澤	青山　雅俊	静岡県水試伊東分場	35° 06.50'N	139° 07.50'E	4	8.62	4:18	3:39	11:25	11:52	15:31	15:43	カゴに対する生物行動
386	1989.3.10	沈降	横須賀	第３区センター沖	5		櫻井	赤澤	奥田　隆一	三菱重工	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	1:27		10:41			12:08	
387	1989.3.11	試験	駿河湾		1050	1010	田代	鈴木	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.36	4:40	2:50	10:14	11:19	14:09	14:54	
388	1989.3.12	試験	駿河湾		1055	1010	櫻井	廣瀬	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.2	4:23	2:36	10:12	11:16	13:52	14:35	
389	1989.3.13	試験	駿河湾		1970	1970	井田	赤澤	今井　義司	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.50'E	5	1.96	4:25	1:32	10:31	12:10	13:42	14:56	
390	1989.3.16	試験	駿河湾		1970	1970	田代	鈴木	小倉　訓	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	4	1.88	5:06	2:03	10:04	11:42	13:45	15:10	
391	1989.3.17	訓練	駿河湾		1068	1026	赤澤	井田	廣瀬　重之	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	5	3.16	5:10	3:29	10:02	11:02	14:31	15:12	
392	1989.3.18	訓練	駿河湾		1050	1006	鈴木	田代	赤澤　克文	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	5	3.26	5:00	3:26	10:02	10:56	14:22	15:02	
393	1989.3.19	訓練	駿河湾		1000	1000	櫻井	廣瀬	厚木　進	大蔵省	35° 03.00'N	138° 38.50'E	5	3.18	2:50	0:58	10:10	11:17	12:15	13:00	
394	1989.3.22	訓練	駿河湾		1170	1170	鈴木	田代	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 02.00'N	138° 42.50'E	5	3.11	4:22	1:48	10:46	12:14	14:02	15:08	
395	1989.3.23	訓練	駿河湾		1060	995	櫻井	廣瀬	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.4	5:01	3:17	10:02	11:00	14:17	15:03	
396	1989.3.24	訓練	駿河湾		1960	1960	赤澤	井田	小倉　訓	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	5	2.04	4:52	2:09	10:04	11:34	13:43	14:56	
397	1989.3.26	訓練	駿河湾		1005	1005	田代	鈴木	稲葉　興作	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	5	3.4	2:07	0:32	9:35	10:30	11:02	11:42	
398	1989.3.27	訓練	駿河湾		1050	1005	櫻井	廣瀬	小倉　訓	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.45	3:28	1:47	10:26	11:29	13:16	13:54	
399	1989.4.12	訓練	駿河湾		1960	1945	田代	廣瀬	鑓崎　俊二	海洋科学技術センター	34° 43.20'N	138° 35.50'E	5	1.93	5:53	3:06	9:40	11:15	14:21	15:33	無菌採泥器による採泥、調査訓練
400	1989.4.13	訓練	駿河湾		1960	1940	赤澤	小倉	辻　義人	海洋科学技術センター	34° 43.20'N	138° 35.50'E	4	1.95	5:55	3:11	9:41	11:11	14:22	15:36	無菌採泥器による採泥、調査訓練
401	1989.4.14	訓練	駿河湾		1965	1960	櫻井	鈴木	長沼　毅	海洋科学技術センター	34° 43.20'N	138° 35.50'E	4	2	6:21	2:54	9:35	11:28	14:22	15:56	無菌採泥器による採泥、調査訓練
402	1989.4.20	研究	小笠原諸島	父島北方	490	490	櫻井	廣瀬	岡村　陽一	小笠原水産センター	27° 14.00'N	142° 17.00'E	15	12.84	3:42	2:51	10:48	11:27	14:18	14:30	底魚とサンゴの観察
403	1989.4.28	研究	小笠原諸島	海形海山	1160	1160	櫻井	小倉	大路　樹生	東京大学理学部	26° 41.50'N	140° 55.50'E	10	3.56	6:00	4:21	9:34	10:40	15:01	15:34	底質と底生生物の調査
404	1989.4.29	研究	小笠原諸島	海形海山	625	625	田代	廣瀬	橋本　惇	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 05.00'E	7	9.84	4:39	3:38	9:35	10:15	13:53	14:14	熱水域の生物群集調査
405	1989.5.25	研究	伊豆諸島	須美寿海盆	1830	1830	田代	赤澤	村上　文敏	工業技術院地質調査所	31° 06.50'N	139° 54.50'E	5	2.22	5:50	3:21	9:46	11:12	14:33	15:36	海底熱水活動の研究
406	1989.5.28	研究	伊豆諸島	須美寿海盆	1700	1490	櫻井	小倉	A.Malahoff	Hawaii Univ.	31° 05.50'N	139° 53.20'E	10	2.43	6:11	3:34	9:35	11:10	14:44	15:46	火山微地形と噴出物調査
407	1989.5.29	研究	伊豆諸島	須美寿海盆	820	820	田代	廣瀬	P.Rona	マイアミ大学	31° 16.00'N	140° 04.50'E	14	8.93	3:01	1:41	9:37	10:23	12:04	12:38	火山微地形と噴出物調査、海況急変の為中止し浮上
408	1989.6.3	研究	小笠原諸島	海形海山	1220	1220	櫻井	鈴木	臼井　朗	工業技術院地質調査所	26° 41.80'N	140° 55.50'E	8	3.07	6:01	3:52	9:42	11:09	15:01	15:43	海底熱水活動の研究
409	1989.6.10	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1405	1400	田代	小倉	太田　秀	東京大学海洋研究所	27° 32.70'N	126° 58.20'E	10	3.96	6:29	0:42	9:37	14:37	15:19	16:06	熱水の生物群集調査
410	1989.6.11	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1425	1395	鈴木	赤澤	太田　秀	東京大学海洋研究所	27° 32.50'N	126° 58.50'E	10	3.92	6:26	4:21	9:35	10:45	15:06	16:01	熱水の生物群集調査
411	1989.6.12	研究	南西諸島	伊是名海穴	1410	1410	櫻井	廣瀬	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 16.00'N	127° 05.00'E	8	3.93	6:24	4:22	9:50	11:06	15:28	16:14	熱水鉱床の研究、ブラックスモーカー発見
412	1989.6.13	研究	南西諸島	伊是名海穴	1395	1395	田代	鈴木	丸茂　克美	工業技術院地質調査所	27° 16.00'N	127° 05.00'E	5	3.96	5:52	3:53	9:42	10:50	14:43	15:34	海底熱水鉱床の研究
413	1989.6.16	研究	南西諸島	伊是名海穴	1395	1395	赤澤	廣瀬	酒井　均	東京大学海洋研究所	27° 16.00'N	127° 05.00'E	8	3.92	6:40	4:34	9:58	11:05	15:39	16:38	熱水採水器による採水
414	1989.6.18	訓練	南西諸島	伊是名海穴	1365	1365	櫻井	小倉	松本　剛	海洋科学技術センター	27° 16.00'N	127° 05.00'E	8	3.91	5:31	3:33	9:41	10:48	14:21	15:12	熱水採水、重力測定、調査訓練
415	1989.6.20	研究	南西諸島	伊是名海穴	1340	1335	鈴木	小倉	山野　誠	東京大学地震研究所	27° 16.00'N	127° 05.00'E	10	3.92	6:14	4:00	9:43	11:03	15:03	15:57	熱水活動、冷水湧水観察
416	1989.6.22	研究	南西諸島	伊是名凹地	1395	1390	櫻井	赤澤	蒲生　俊敬	東京大学海洋研究所	27° 32.70'N	126° 58.20'E	6	3.89	6:06	3:40	9:41	11:08	14:48	15:47	熱水採水器による採水
417	1989.7.5	研究	南西諸島	伊是名堆	740	740	田代	小倉	川崎　一男	沖縄県水産試験場	27° 03.00'N	127° 11.60'E	12	7.3	5:35	4:44	10:15	10:58	15:42	15:50	底魚とサンゴの観察
418	1989.7.7	研究	南西諸島	伊是名海穴	1538	1538	赤澤	鈴木	木村　政昭	琉球大学	27° 16.00'N	127° 05.00'E	6	3.91	5:52	3:41	9:42	10:57	14:38	15:34	チムニーと熱水の観察

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
419	1989.7.8	研究	南西諸島	伊是名海穴	340		田代	赤澤	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	27° 16.00'N	127° 04.50'E	−	−	0:37		9:40			10:17	油圧系不調の為340mから浮上
420	1989.7.9	研究	南西諸島	伊是名海穴	1504	1503	田代	赤澤	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	27° 16.00'N	127° 05.00'E	6	3.92	5:50	3:32	9:42	11:10	14:42	15:32	熱水性鉱床の地質調査
421	1989.7.10	訓練	南西諸島	伊是名海穴	1220	1220	櫻井	廣瀬	松本　剛	海洋科学技術センター	27° 16.50'N	127° 05.30'E	7	4.02	5:52	3:34	9:43	11:22	14:56	15:35	熱水観察、重力測定、調査訓練
422	1989.7.12	研究	南西諸島	伊是名海穴	1384	1384	鈴木	廣瀬	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 16.00'N	127° 05.00'E	5	3.96	6:09	3:59	9:55	11:05	15:04	16:04	熱水地形の観察
423	1989.7.13	研究	南西諸島	伊是名海穴	1395	1395	櫻井	小倉	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 16.00'N	127° 05.00'E	8	3.91	6:24	4:15	9:40	10:52	15:07	16:04	熱水地形の観察
424	1989.7.14	訓練	南西諸島	伊是名海穴	1560	1560	田代	廣瀬	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 16.00'N	127° 05.00'E	7	3.95	6:22	3:46	9:42	11:17	15:03	16:04	熱水地形の観察
425	1989.7.15	訓練	南西諸島	伊是名海穴	1612	1612	赤澤	小倉	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 16.70'N	127° 04.00'E	5	3.91	6:05	4:03	9:39	11:00	15:03	15:44	熱水地形の観察
426	1989.7.21	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1395	櫻井	鈴木	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.20'E	10	3.91	5:43	3:03	10:20	12:03	15:06	16:03	流れ可視化装置の観察
427	1989.7.22	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1395	田代	小倉	長沼　毅	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.20'E	8	3.9	6:03	3:12	9:42	11:39	14:51	15:45	熱水域の生物群集調査
428	1989.7.27	訓練	南西諸島	奄西海丘	710	710	田代	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 23.50'N	127° 38.50'E	15	7.09	6:04	4:33	9:41	10:39	15:12	15:45	湧水と生物群集調査
429	1989.8.13	研究	日本海	山陰沖	255	245	田代	廣瀬	伊東　弘	日本海区水産研究所	35° 45.50'N	132° 15.00'E	3	0.52	5:57	5:21	9:45	10:08	15:29	15:42	深海性重要生物の観察
430	1989.8.14	研究	日本海	山陰沖	248	230	鈴木	小倉	安達　二郎	島根県水産試験場	35° 50.50'N	132° 25.50'E	2	0.69	6:05	5:25	10:09	10:30	15:55	16:14	深海性重要生物の観察
431	1989.8.18	研究	日本海	若狭湾	265	260	櫻井	赤澤	山崎　淳	京都府立海洋センター	35° 59.50'N	135° 08.00'E	3	2.49	6:06	5:24	9:40	10:07	15:31	15:46	ズワイガニ保護区の観察
432	1989.8.21	研究	日本海	隠岐海嶺	1595	1595	赤澤	廣瀬	藤倉　克則	海洋科学技術センター	36° 49.70'N	133° 59.70'E	7	0.06	5:25	3:14	11:18	12:33	15:47	16:43	カニの餌に対する誘集
433	1989.8.22	研究	日本海	隠岐海嶺	1595	1595	櫻井	小倉	長沼　毅	海洋科学技術センター	36° 49.70'N	133° 59.70'E	6	0.08	5:44	3:33	9:42	11:02	14:35	15:26	無菌採泥器による採泥
434	1989.8.23	研究	日本海	隠岐海嶺	352	340	田代	鈴木	山本　博文	工業技術院地質調査所	36° 53.90'N	134° 41.10'E	5	0.56	5:57	5:17	9:41	10:06	15:23	15:38	隠岐海嶺の形成プロセス
435	1989.8.26	研究	日本海	富山湾	1510	1500	櫻井	廣瀬	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	37° 26.50'N	137° 47.00'E	8	0.08	5:41	3:38	9:42	11:00	14:38	15:23	富山トラフの地質構造
436	1989.8.29	研究	日本海	富山湾	1130	1130	田代	小倉	松本　剛	海洋科学技術センター	37° 30.00'N	137° 57.50'E	5	0.1	5:58	4:21	10:12	11:10	15:31	16:10	富山トラフの地下構造
437	1989.9.2	研究	日本海	能代沖	500		田代	廣瀬	杉山　秀樹	秋田県水産振興センター	40° 27.80'N	139° 44.00'E	−	−	0:48		9:52			10:40	ハタハタの調査、海況急変の為中止し浮上
438	1989.9.7	研究	日本海	奥尻海嶺	1950	1950	赤澤	小倉	宮下　純夫	新潟大学	44° 01.00'N	139° 11.00'E	5	0.08	5:58	3:05	9:37	11:38	14:43	15:35	構成岩石とテクトニクス
439	1989.9.8	研究	日本海	奥尻海嶺	1985	1810	櫻井	鈴木	徳山　英一	東京大学海洋研究所	44° 02.50'N	139° 10.00'E	7	0.09	6:02	3:32	9:36	11:09	14:41	15:38	形成解明と岩石採取
440	1989.9.12	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	870	843	鈴木	廣瀬	竹内　章	富山大学	43° 34.00'N	139° 32.00'E	7	0.2	3:22	2:04	9:41	10:33	12:37	13:03	変動地形と地震地質、海況急変の為中止し浮上
441	1989.9.13	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1995	1995	櫻井	小倉	田中　武男	海洋科学技術センター	43° 53.50'N	139° 15.00'E	3	0.08	5:50	3:09	9:51	11:41	14:50	15:41	地形地質調査
442	1989.9.14	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	735	735	田代	赤澤	田中　武男	海洋科学技術センター	43° 34.00'N	139° 32.50'E	10	0.27	5:46	4:54	9:37	10:22	15:16	15:23	火山微地形の調査
443	1989.10.9	研究	相模湾	熱海沖	350	275	櫻井	小倉	青木　一永	静岡県水試伊東分場	35° 06.50'N	139° 07.50'E	4	9.8	4:42	4:03	10:55	11:21	15:24	15:37	アカザエビの生態調査
444	1989.10.10	研究	相模湾	熱海沖	313	280	田代	鈴木	青木　一永	静岡県水試伊東分場	35° 06.50'N	139° 07.50'E	5	9.29	5:33	4:56	9:41	10:05	15:01	15:14	アカザエビの生態調査
445	1989.10.12	研究	駿河湾		1880	1880	田代	小倉	新妻　信明	静岡大学	34° 45.00'N	138° 35.50'E	2	2.15	5:33	2:29	9:33	11:35	14:04	15:06	駿河湾プレート境界調査
446	1989.10.14	研究	駿河湾		1962	1961	赤澤	廣瀬	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.10'E	0	1.99	5:55	2:22	9:26	11:43	14:05	15:21	底層流と海底形状変化
447	1989.10.15	研究	相模湾	熱川沖	990	988	鈴木	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	34° 50.50'N	139° 13.00'E	5	3.08	6:02	4:19	9:41	10:44	15:03	15:43	溶岩流の調査
448	1989.10.18	研究	相模湾	初島沖	1168	1160	櫻井	鈴木	大和田　紘一	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.6	5:46	3:26	9:46	11:20	14:46	15:32	湧水域の微生物群集
449	1989.10.19	研究	相模湾	初島沖	1175	1163	赤澤	小倉	増澤　敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.67	5:52	2:26	10:14	12:48	15:14	16:06	間隙水採取装置
450	1989.10.21	研究	相模湾	初島沖	1195	1195	田代	廣瀬	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	8	2.81	6:32	4:40	9:33	10:34	15:14	16:05	シロウリガイ群集の生態
451	1989.10.22	研究	相模湾	初島沖	1175	1163	櫻井	鈴木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	3.01	5:51	3:39	9:36	11:07	14:46	15:27	シロウリガイ群集の生態
452	1989.10.23	研究	相模湾	初島沖	1190	1163	田代	赤澤	菊池　知彦	横浜国立大学	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.8	6:04	3:57	9:37	11:03	15:00	15:41	湧水域のプランクトン
453	1989.10.24	研究	相模湾	相模海丘	1390	1390	櫻井	廣瀬	田中　武男	海洋科学技術センター	35° 06.00'N	139° 20.50'E	5	2.47	5:52	3:54	9:38	10:55	14:49	15:30	変動地形の調査
454	1989.10.26	研究	相模湾	初島沖	1191	1170	赤澤	小倉	吉田　則夫	防災科学技術研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.77	6:01	4:15	9:43	10:39	14:54	15:44	シロウリガイ群集の採取
455	1989.10.27	研究	相模湾	初島沖	1359	1359	鈴木	廣瀬	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 00.50'N	139° 16.50'E	5	2.48	6:05	3:18	9:34	11:32	14:50	15:39	海底ステーション
456	1990.3.9	沈降	横須賀港	第３区住重追浜前	5		赤澤	廣瀬	下門　文雄	三菱重工	35° 18.80'N	139° 40.00'E	−	−	1:03		10:59			12:02	
457	1990.3.13	試験	駿河湾	富士川沖	1075	1075	櫻井	赤澤	大江　淳一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	3	2.99	4:55	2:05	10:13	12:28	14:33	15:08	
458	1990.3.14	試験	駿河湾	松崎沖	1961	1961	鈴木	廣瀬	佐々木　義高	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.85	4:58	1:01	10:26	13:19	14:20	15:24	
459	1990.3.17	訓練	駿河湾	富士川沖	1077	1077	赤澤	鈴木	大江　淳一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	5	3.16	5:34	3:12	9:50	11:26	14:38	15:24	
460	1990.3.18	訓練	駿河湾	富士川沖	1077	1077	櫻井	廣瀬	佐々木　義高	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.17	5:39	3:35	9:52	11:15	14:50	15:31	
461	1990.3.19	訓練	駿河湾	富士川沖	1077	1077	赤澤	鈴木	大江　淳一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	5	3.16	5:29	3:25	9:59	11:16	14:41	15:28	
462	1990.3.20	訓練	駿河湾	富士川沖	1097	1097	櫻井	廣瀬	佐々木　義高	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.37	5:29	3:35	9:59	11:05	14:40	15:28	
463	1990.3.22	訓練	駿河湾	土肥沖	1550	1550	鈴木	赤澤	佐々木　義高	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	4	2.39	5:24	2:14	9:41	11:55	14:09	15:05	
464	1990.3.23	訓練	駿河湾	土肥沖	1550	1550	櫻井	佐々木	吉梅　剛	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	2	2.39	5:36	2:47	9:54	11:50	14:37	15:30	
465	1990.3.24	訓練	駿河湾	土肥沖	1549	1548	鈴木	赤澤	大江　淳一	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	4	2.44	5:35	2:48	9:51	11:45	14:33	15:26	
466	1990.3.25	訓練	駿河湾	富士川沖	1318	1305	櫻井	廣瀬	蛯川　由彦	産経新聞社	35° 01.50'N	138° 38.50'E	4	2.69	4:09	2:11	11:13	12:23	14:34	15:22	
467	1990.3.27	訓練	駿河湾	松崎沖	1950	1950	櫻井	大江	牧　哲司	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	5	1.83	5:03	2:17	9:39	11:18	13:35	14:42	
468	1990.3.28	訓練	駿河湾	松崎沖	1940	1940	鈴木	廣瀬	笹川　陽平	日本船舶振興会	34° 43.50'N	138° 35.00'E	5	1.85	3:54	1:03	10:21	12:01	13:04	14:15	
469	1990.4.21	研究	駿河湾	松崎沖	1951	1951	鈴木	廣瀬	中山　昭彦	中央水産研究所(東海区)	34° 43.00'N	138° 35.50'E	5	2.01	5:33	2:39	9:42	11:24	14:03	15:15	海洋微生物の分布、生態調査
470	1990.4.22	研究	駿河湾	松崎沖	350	350	櫻井	赤澤	河尻　正博	静岡県水産試験場	34° 41.50'N	138° 42.00'E	8	8.24	5:44	5:07	9:41	10:11	15:18	15:25	タカアシガニの資源生態の研究
471	1990.4.23	研究	駿河湾	松崎沖	1949	1949	鈴木	廣瀬	鷸崎　俊二	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	4	1.85	3:06	0:22	9:55	11:29	11:51	13:01	深海微生物の基礎代謝
472	1990.4.26	研究	駿河湾	松崎沖	1960	1960	櫻井	鈴木	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	3	1.84	5:35	1:16	10:02	13:05	14:21	15:37	微細地形の経年変化
473	1990.4.27	研究	駿河湾	松崎沖	1872	1835	赤澤	廣瀬	新妻　信明	静岡大学	34° 45.00'N	138° 36.00'E	5	2.06	5:58	2:11	9:34	12:12	14:23	15:32	プレート境界の直視観察
474	1990.4.28	研究	駿河湾	田子沖	1620	1562	櫻井	鈴木	大塚　謙一	静岡大学	34° 50.00'N	138° 37.00'E	3	2.42	6:04	2:32	9:33	12:10	14:42	15:37	プレート境界の直視観察
475	1990.4.29	研究	駿河湾	松崎沖	1972	1972	赤澤	廣瀬	辻　義人	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.50'E	7	1.95	4:08	0:09	9:47	12:34	12:43	13:55	海中懸濁物の撮影
476	1990.5.10	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1683	1083	櫻井	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	27° 31.50'N	127° 02.00'E	8	3.85	5:13	2:44	9:37	11:03	13:47	14:50	火山噴出物の調査
477	1990.5.11	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1379	鈴木	廣瀬	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.20'E	10	3.89	6:13	3:57	9:37	10:59	14:56	15:50	水温及び流れ構造
478	1990.5.12	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1395	櫻井	赤澤	許　正憲	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.20'E	7	3.84	6:11	4:01	9:38	10:55	14:56	15:49	保圧型深海微生物採集器
479	1990.5.13	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1394	1394	鈴木	廣瀬	長沼　毅	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.20'E	10	3.87	6:09	3:07	9:42	11:53	15:00	15:51	熱水生物群集の観察
480	1990.5.16	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1405	1405	櫻井	鈴木	太田　秀	東京大学海洋研究所	27° 32.70'N	126° 58.20'E	6	3.91	6:23	4:06	9:44	11:04	15:10	16:07	熱水生物群集の生態研究
481	1990.5.17	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1400	1395	赤澤	廣瀬	太田　秀	東京大学海洋研究所	27° 32.70'N	126° 58.20'E	5	4.01	6:01	3:38	9:47	11:19	14:57	15:48	熱水生物群集の生態研究
482	1990.6.2	研究	南西諸島	伊是名海穴	1475	1475	櫻井	鈴木	丸茂　克美	工業技術院地質調査所	27° 14.00'N	127° 03.00'E	8	3.93	6:11	4:01	9:30	10:45	14:46	15:41	熱水鉱床の研究
483	1990.6.3	研究	南西諸島	伊是名海穴	1410	1410	赤澤	廣瀬	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 13.00'N	127° 07.00'E	7	3.96	3:46	1:38	10:19	11:34	13:12	14:05	熱水鉱床の研究
484	1990.6.5	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1395	1395	櫻井	鈴木	丸茂　克美	工業技術院地質調査所	27° 27.50'N	127° 02.80'E	8	3.93	5:53	3:41	9:41	10:59	14:40	15:34	熱水鉱床の研究
485	1990.6.6	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1394	1394	赤澤	廣瀬	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 27.00'N	127° 02.00'E	8	3.97	6:19	4:15	9:34	10:47	15:02	15:53	熱水鉱床の研究
486	1990.6.10	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1394	1394	鈴木	廣瀬	石橋　純一郎	東京大学理学部	27° 32.70'N	126° 58.20'E	7	4.02	6:08	2:52	9:38	12:04	14:56	15:46	溶存気体成分の挙動
487	1990.6.11	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1395	櫻井	赤澤	蒲生　俊敬	東京大学海洋研究所	27° 32.70'N	126° 58.20'E	7	3.98	6:10	3:36	9:48	11:25	15:01	15:58	熱水活動の地球学的研究
488	1990.6.12	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1395	鈴木	廣瀬	酒井　均	東京大学海洋研究所	27° 33.00'N	126° 58.20'E	7	3.98	6:11	3:38	9:44	11:25	15:03	15:55	熱水活動の地球学的研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度		潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
													視程m	水温							
489	1990.6.13	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1585	1585	櫻井	赤澤	松本　剛	海洋科学技術センター	27° 32.50'N	126° 58.50'E	8	3.91	6:19	3:54	9:42	11:12	15:06	16:01	熱水域の重力測定
490	1990.6.15	研究	南西諸島	第５徳之島海丘	1097	1095	櫻井	鈴木	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	28° 00.80'N	127° 11.50'E	7	4.4	4:53	2:59	9:39	10:46	13:45	14:32	地形地質調査、主蓄電池故障のため中止し浮上
491	1990.7.22	研究	小笠原諸島	木曜海山	1310	1170	櫻井	鈴木	長岡　信治	海上保安庁水路部	28° 19.00'N	140° 33.50'E	4	3.77	6:02	4:16	9:38	10:45	15:01	15:40	地形地質調査
492	1990.7.23	研究	小笠原諸島	木曜海山	1367	1290	赤澤	廣瀬	長岡　信治	海上保安庁水路部	28° 19.30'N	140° 34.00'E	3	3.76	5:20	2:52	10:45	12:39	15:31	16:05	地形地質調査
493	1990.7.24	研究	小笠原諸島	土曜海山	930	885	櫻井	鈴木	長岡　信治	海上保安庁水路部	27° 41.00'N	140° 48.70'E	5	4.48	5:30	3:56	10:09	11:27	15:23	15:39	地形地質調査
494	1990.7.27	研究	小笠原諸島	海形海山	546	449	赤澤	廣瀬	橋本　惇	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 05.00'E	7	12.73	6:06	3:49	9:42	11:40	15:29	15:48	海底火山の生物群集調査
495	1990.8.8	研究	伊豆諸島	須美寿凹地	1880	1880	櫻井	赤澤	仲　二郎	海洋科学技術センター	31° 19.00'N	139° 47.20'E	6	2.2	6:09	3:33	9:32	11:05	14:38	15:41	火山微地形と噴出物調査
496	1990.8.13	研究	伊豆諸島	青ヶ島リフト	1575	1575	鈴木	廣瀬	山崎　俊嗣	工業技術院地質調査所	32° 17.50'N	139° 42.80'E	7	2.71	6:09	3:48	9:29	10:59	14:47	15:38	青ケ島リフトの調査
497	1990.8.14	研究	伊豆諸島	八丈凹地	1135	1135	櫻井	赤澤	藤岡　換太郎	東京大学海洋研究所	32° 47.80'N	139° 33.00'E	5	3.91	6:05	4:31	9:32	10:36	15:07	15:37	リフトと火山活動の研究
498	1990.8.15	研究	伊豆諸島	八丈拓南山	438	436	鈴木	廣瀬	武藤　光盛	東京都水試八丈分場	33° 15.00'N	140° 12.50'E	8	11.02	5:52	4:45	9:56	10:41	15:26	15:48	底釣漁場の生態
499	1990.9.6	研究	日本海	奥尻海嶺	1965	1965	鈴木	廣瀬	松本　剛	海洋科学技術センター	43° 57.00'N	139° 10.50'E	6	0.09	6:18	3:03	9:55	12:01	15:04	16:13	浅部構造調査重力計測
500	1990.9.7	研究	日本海	奥尻海嶺	1630	1624	赤澤	廣瀬	松本　剛	海洋科学技術センター	43° 57.00'N	139° 12.00'E	5	0.07	6:36	4:00	9:40	11:17	15:17	16:16	浅部構造調査重力計測
501	1990.9.8	研究	日本海	奥尻海嶺	1590	1578	櫻井	佐々木	大塚　清	海洋科学技術センター	43° 57.00'N	139° 12.00'E	6	0.07	6:18	4:00	9:37	11:03	15:03	15:55	ストロボテレビの性能調査
502	1990.9.10	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	535	535	赤澤	佐々木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	43° 34.00'N	139° 33.00'E	7	0.35	5:39	4:51	9:40	10:22	15:13	15:19	深海生物の調査
503	1990.9.11	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	620	620	廣瀬	佐々木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	43° 35.00'N	139° 34.60'E	8	0.26	5:44	4:59	9:38	10:18	15:17	15:22	
504	1990.9.12	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	1563	1560	櫻井	鈴木	内田　幹夫	日本テレビ	43° 35.50'N	139° 36.00'E	5	0.07	6:01	3:44	9:39	11:10	14:54	15:40	
505	1990.9.17	研究	日本海	奥尻海嶺武蔵海盆	1560	1545	櫻井	赤澤	徳山　英一	東京大学海洋研究所	43° 59.00'N	139° 34.00'E	5	0.09	4:59	2:44	9:37	10:58	13:42	14:36	海洋地殻の研究
506	1990.10.6	研究	日本海	若狭湾	238	232	櫻井	鈴木	領家　一博	福井県水産試験場	35° 52.50'N	135° 43.50'E	3	1.47	4:52	4:15	10:40	11:07	15:22	15:32	漁場環境に関する研究
507	1990.10.10	研究	日本海	鳥取沖	227	220	鈴木	赤澤	小林　啓二	鳥取県水産試験場	35° 49.20'N	133° 59.00'E	3	1.5	3:19	2:40	10:24	10:51	13:31	13:43	人工魚礁の蝟集状況観察
508	1990.10.11	研究	日本海	隠岐堆	212	197	櫻井	廣瀬	濱野　明	水産大学校	36° 25.00'N	133° 39.00'E	4	1.08	5:50	5:18	9:39	10:04	15:22	15:29	人工魚礁の蝟集状況観察
509	1990.10.12	研究	日本海	日御崎沖	261	260	赤澤	鈴木	安達　二郎	島根県水産試験場	35° 48.00'N	132° 22.50'E	3	0.9	5:25	4:33	9:40	10:20	14:53	15:05	人工魚礁の蝟集状況観察
510	1990.10.30	研究	相模湾	大磯海脚	648	648	赤澤	廣瀬	中田　尚宏	神奈川県水産試験場	35° 15.00'N	139° 17.00'E	5	5.05	5:47	5:00	9:45	10:28	15:28	15:32	プランクトンの群集構造調査
511	1990.10.31	研究	相模湾	初島北東沖	1402	1402	櫻井	鈴木	吉田　則夫	防災科学技術研究所	35° 06.00'N	139° 20.50'E	3	2.35	5:48	3:44	9:42	11:00	14:44	15:30	炭素14年代とテクトニクス
512	1990.11.1	研究	相模湾	初島南東沖	1187	1187	廣瀬	佐々木	掘越　弘毅	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.71	5:44	3:58	9:45	10:48	14:46	15:29	特殊生態系の観察
513	1990.11.2	研究	相模湾	初島南東沖	170	170	櫻井	佐々木	大路　樹生	東京大学理学部	35° 01.50'N	139° 11.50'E	6	14.74	6:09	5:40	9:38	10:03	15:43	15:47	ウミユリ類の研究
514	1990.11.5	研究	相模湾	初島南東沖	1188	1175	鈴木	廣瀬	菊池　知彦	横浜国立大学	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.79	5:43	3:33	10:11	11:33	15:06	15:54	近底層性プランクトンの調査
515	1990.11.6	研究	相模湾	初島南東沖	1166	1166	櫻井	赤澤	大和田　紘一	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.79	5:37	2:50	9:40	11:41	14:31	15:17	メタンに関与する細菌の生態
516	1990.11.7	研究	相模湾	初島東沖	1371	1356	櫻井	鈴木	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 17.00'E	5	2.51	5:46	3:31	9:48	11:04	14:35	15:34	電磁場の長期変化の研究
517	1990.11.8	研究	相模湾	初島東沖	1357	1356	赤澤	廣瀬	瀬川　爾朗	東京大学海洋研究所	35° 00.50'N	139° 16.00'E	5	2.55	3:51	1:39	10:40	11:58	13:37	14:31	電磁場の長期変化の研究
518	1990.11.11	研究	相模湾	初島南東沖	1172	1168	鈴木	佐々木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.64	5:19	2:44	10:43	12:32	15:16	16:02	シロウリガイ群集の調査
519	1990.11.12	研究	相模湾	初島南東沖	1197	1197	櫻井	赤澤	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.64	6:04	4:19	9:44	10:45	15:04	15:48	シロウリガイ群集の調査
520	1990.11.13	研究	相模湾	初島南東沖	1161	1156	鈴木	廣瀬	藤倉　克則	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.74	6:16	4:04	9:42	11:06	15:10	15:58	シロウリガイ群集の調査
521	1990.11.14	研究	相模湾	初島南東沖	1177	1148	櫻井	赤澤	増澤　敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.84	5:51	3:59	9:39	10:43	14:42	15:30	間隙水の採水
522	1990.11.17	研究	相模湾	大島北方沖	747	734	櫻井	鈴木	市川　忠史	中央水産研究所(東海区)	34° 49.50'N	139° 22.00'E	6	4.26	4:52	3:41	9:39	10:25	14:06	14:31	相模トラフ斜面の生物調査
523	1990.11.18	研究	相模湾	初島南東沖	1215	1215	赤澤	佐々木	仲　二郎	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.81	6:05	4:09	9:38	10:45	14:54	15:43	初島沖の底質調査
524	1990.11.19	研究	相模湾	熱川沖	1197	1190	廣瀬	佐々木	和田　一育	海洋科学技術センター	34° 53.50'N	139° 15.50'E	5	2.84	5:52	3:57	9:40	10:46	14:43	15:32	ロックドリルの作動実験
525	1991.3.26	沈降	横須賀港	第３区住重追浜前	5		櫻井	佐々木	奥田　隆一	三菱重工	35° 18.80'N	139° 40.00'E	−	−	0:55		10:55			11:50	
526	1991.3.28	試験	駿河湾	富士川沖	1133	1050	鈴木	廣瀬	小堀　宏一	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.02	3:54	1:59	10:55	12:06	14:05	14:49	
527	1991.3.30	試験	駿河湾	松崎沖	1961	1961	鈴木	廣瀬	今井　義司	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.9	4:34	1:11	10:41	12:55	14:06	15:15	
528	1991.3.31	試験	駿河湾	松崎沖	1961	1958	櫻井	佐々木	柴田　桂	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.96	4:57	2:03	9:34	11:09	13:12	14:31	
529	1991.4.2	訓練	駿河湾	富士川沖	1112	1112	廣瀬	佐々木	吉梅　剛	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.08	4:38	2:43	9:46	10:52	13:35	14:24	
530	1991.4.3	訓練	駿河湾	土肥沖	1548	1548	櫻井	鈴木	林　弘	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	3	2.39	4:00	1:37	10:37	12:04	13:41	14:37	
531	1991.4.4	訓練	駿河湾	土肥沖	1540	1540	廣瀬	佐々木	西田　光紀	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	4	2.36	4:39	2:29	9:47	11:05	13:34	14:26	
532	1991.4.5	訓練	駿河湾	松崎沖	1960	1960	櫻井	鈴木	加藤　美志彦	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	6	2.07	5:08	2:28	9:40	11:12	13:40	14:48	
533	1991.4.7	訓練	駿河湾	富士川沖	1100	1100	鈴木	佐々木	吉梅　剛	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	3.02	3:29	1:35	11:56	13:09	14:44	15:25	
534	1991.4.8	訓練	駿河湾	富士川沖	1082	1082	櫻井	廣瀬	薗田　敏晴	海洋科学技術センター	35° 03.00'N	138° 38.50'E	4	2.9	4:29	2:36	10:31	11:39	14:15	15:00	
535	1991.4.9	訓練	駿河湾	松崎沖	1962	1962	鈴木	佐々木	柴田　桂	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	5	1.94	5:00	2:01	9:57	11:44	13:45	14:57	
536	1991.4.10	訓練	駿河湾	土肥沖	1556	1556	櫻井	廣瀬	今井　義司	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	2	2.27	4:54	2:13	10:01	11:49	14:02	14:55	
537	1991.4.13	訓練	駿河湾	土肥沖	1556	1540	櫻井	鈴木	蔵重　栄治	海洋科学技術センター	34° 55.50'N	138° 39.00'E	4	2.39	5:30	3:00	10:00	11:31	14:31	15:30	
538	1991.5.20	研究	南西諸島	南奄西海丘	719	710	櫻井	廣瀬	千葉　仁	岡山大学	28° 23.50'N	127° 38.50'E	10	7.15	3:32	2:03	10:30	11:24	13:27	14:02	南奄西海丘の海底熱水活動の地球化学的研究
539	1991.5.21	研究	南西諸島	第５徳之島海丘	958	958	鈴木	佐々木	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	27° 59.50'N	127° 11.50'E	10	4.71	5:56	4:26	9:34	10:38	15:04	15:30	第５徳之島海丘の地形・地質に関する研究
540	1991.5.24	研究	南西諸島	慶良間凹地	577	577	櫻井	廣瀬	木村　政昭	琉球大学	25° 40.00'N	126° 49.50'E	10	8.33	5:50	4:31	9:40	10:39	15:10	15:30	沖縄トラフ、リフト形成機構に関する研究
541	1991.5.25	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1394	1393	鈴木	佐々木	白山　義久	東京大学海洋研究所	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	4.07	6:19	3:43	9:42	11:17	15:00	16:01	伊平屋海嶺の熱水噴出孔生物に関する生態学的研究
542	1991.5.26	研究	南西諸島	南奄西海丘	695	675	櫻井	鈴木	太田　秀	東京大学海洋研究所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	10	7.7	4:16	2:45	9:47	10:46	13:31	14:03	南奄西海丘の熱水噴出孔生物に関する生態学的研究
543	1991.5.28	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1395	1395	廣瀬	佐々木	小林　哲夫	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	8	3.88	5:23	3:12	9:40	11:03	14:15	15:03	熱水噴出域に生息する特異微生物の採取及び観察
544	1991.5.29	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1395	1394	櫻井	鈴木	服巻　辰則	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.91	6:03	3:06	9:42	11:42	14:48	15:45	熱水噴出域に生息する特異微生物の採取及び観察
545	1991.5.30	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1402	1392	櫻井	佐々木	山口　寿之	千葉大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	4.43	5:54	3:04	9:42	11:36	14:40	15:36	熱水噴出孔周辺の原始的なフジツボ類の系統の研究
546	1991.5.31	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1403	1394	鈴木	廣瀬	大森　保	琉球大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	5	4.1	5:07	2:00	9:53	12:02	14:02	15:00	沖縄トラフ熱水性堆積物の生成年代・分布の地球化学的研究
547	1991.6.3	研究	南西諸島	南奄西海丘	711	711	廣瀬	佐々木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	6.79	4:10	2:21	9:41	11:03	13:24	13:51	南奄西海丘の深海生物群集の分布状態の観察及び記録
548	1991.6.4	研究	南西諸島	南奄西海丘	709	680	櫻井	鈴木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	6.89	5:59	4:50	9:39	10:19	15:09	15:38	南奄西海丘の熱水依存生物の呼吸量測定実験
549	1991.6.5	研究	南西諸島	南奄西海丘	707	694	廣瀬	佐々木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 23.50'N	127° 38.50'E	7	6.7	5:54	4:31	9:37	10:31	15:02	15:31	南奄西海丘の深海生物群集の分布状態の観察及び記録
550	1991.6.8	研究	南西諸島	黒島南沖	430	424	櫻井	鈴木	山口　厚人	鹿児島県水産試験場	30° 44.00'N	129° 56.20'E	6	8.16	5:20	4:26	10:09	10:44	15:10	15:29	ミノエビの籠網に対する行動及び生態の観察
551	1991.6.26	研究	伊豆諸島	八丈西之瀬	722	722	櫻井	廣瀬	床枝　真吉	東京都水試八丈分場	33° 18.50'N	139° 17.20'E	10	3.7	4:57	3:59	11:09	11:49	15:48	16:06	底釣漁場における動物相とそれらの生態観察
552	1991.6.29	研究	伊豆諸島	南須美寿凹地	1750	1750	廣瀬	佐々木	仲　二郎	海洋科学技術センター	30° 59.50'N	139° 48.50'E	6	2.25	5:51	3:35	9:45	11:12	14:47	15:36	伊豆・小笠原弧の背弧凹地の地質学的研究
553	1991.6.30	研究	伊豆諸島	八丈凹地	1026	1026	櫻井	鈴木	仲　二郎	海洋科学技術センター	32° 44.20'N	139° 32.00'E	8	3.15	3:25	1:34	9:42	10:45	12:19	13:07	背弧凹地の地質学的研究　海況不良により浮上早めた
554	1991.7.3	研究	伊豆諸島	八丈凹地	930	930	廣瀬	佐々木	仲　二郎	海洋科学技術センター	32° 44.20'N	139° 32.00'E	6	3.25	3:41	2:24	11:11	12:07	14:31	14:52	伊豆・小笠原弧の背弧凹地の地質学的研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域	最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
555	1991.7.4	研究	伊豆諸島	明神海丘	1334	1120	櫻井	鈴木	湯浅　真人	工業技術院地質調査所	32° 06.00'N	139° 50.00'E	7	3.95	6:08	4:20	9:35	10:57	15:17	15:43	島弧海底カルデラの構造と変質作用に関する研究
556	1991.7.8	研究	小笠原諸島	天保海山	1553	1553	櫻井	廣瀬	臼井　朗	工業技術院地質調査所	27° 08.00'N	139° 38.00'E	10	2.45	6:20	4:03	9:35	10:58	15:01	15:55	海山産マンガン団塊・マンガンクラストの地質学的研究
557	1991.7.9	研究	小笠原諸島	天保海山	1346	1346	鈴木	佐々木	西村　昭	工業技術院地質調査所	27° 09.00'N	139° 37.50'E	10	3.02	6:20	4:12	9:35	10:50	15:02	15:55	海山産マンガン団塊・マンガンクラストの地質学的研究
558	1991.7.15	研究	小笠原諸島	海形海山	486	486	櫻井	佐々木	橋本　惇	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 05.00'E	6	12.02	6:16	5:20	9:34	10:10	15:30	15:50	海底火山活動に伴う深海生物群集の調査
559	1991.7.16	研究	小笠原諸島	海形海山	451	449	鈴木	廣瀬	藤倉　克則	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 05.00'E	6	12.89	5:54	4:01	9:39	10:34	14:35	15:33	海形海山に生息する甲殻類の呼吸速度試験
560	1991.7.17	研究	小笠原諸島	海形海山	915	913	櫻井	佐々木	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 05.00'E	5	9.29	5:24	3:53	9:34	10:28	14:21	14:58	海形海山カルデラ内の水温及び流れ構造の研究
561	1991.7.18	研究	小笠原諸島	木曜海山	1370	940	鈴木	廣瀬	春日　茂	海上保安庁水路部	28° 19.30'N	140° 34.00'E	5	4.53	5:58	4:18	9:42	10:35	14:53	15:40	伊豆・小笠原弧の海底火山の成因に関する調査研究
562	1991.7.19	研究	小笠原諸島	水曜海山	1370	1370	櫻井	佐々木	春日　茂	海上保安庁水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.78	6:00	4:09	9:33	10:51	15:00	15:33	伊豆・小笠原弧の海底火山の成因に関する調査研究
563	1991.7.24	研究	伊豆諸島	八丈黒瀬西海穴	1469	1450	鈴木	廣瀬	藤岡　換太郎	東京大学海洋研究所	33° 19.50'N	139° 33.20'E	5	−	6:15	4:23	9:37	10:56	15:19	15:52	伊豆・小笠原弧黒瀬西海穴の地形学と成因
564	1991.8.25	研究	日本海	石狩川北西沖	577	574	鈴木	廣瀬	三橋　正基	北海道立中央水産試験場	43° 39.50'N	140° 50.50'E	5	0.36	5:31	4:27	10:56	11:37	16:04	16:27	石狩川起源海底の堆積物の堆積状況　底棲生物の水深別分布状況
565	1991.8.31	研究	日本海	奥尻海嶺	1337	1337	廣瀬	佐々木	竹内　章	富山大学	44° 25.00'N	139° 35.00'E	4	0.08	5:34	3:48	10:02	11:17	15:05	15:36	東縁新生プレート境界に関する変動地形及び地震地質の研究
566	1991.9.1	研究	日本海	奥尻海嶺	1921	1921	櫻井	鈴木	徐　垣	静岡大学	44° 00.00'N	139° 11.50'E	7	0.09	5:58	3:23	9:32	11:07	14:30	15:30	東縁新生プレート境界に関する変動地形及び地震地質の研究
567	1991.9.3	研究	日本海	奥尻海嶺	1855	1855	櫻井	吉梅	辻　義人	海洋科学技術センター	43° 40.00'N	139° 35.50'E	5	0.08	5:52	1:00	9:36	13:11	14:11	15:28	海中懸濁物の撮影に関する基礎的研究
568	1991.9.4	研究	日本海	奥尻海嶺	1828	1828	鈴木	佐々木	鰤崎　俊二	海洋科学技術センター	43° 40.00'N	139° 35.50'E	5	0.08	4:09	1:21	9:49	11:34	12:55	13:58	保圧型深海微生物培養装置作動試験無菌柱状採泥器の採泥
569	1991.9.5	研究	日本海	奥尻海嶺	447	447	櫻井	吉梅	森屋　和仁	海洋科学技術センター	43° 34.50'N	139° 33.50'E	7	0.5	4:52	4:12	9:49	10:21	14:33	14:41	深海の特異性質を保有する微生物の分離の底泥、生物採取
570	1991.9.11	研究	日本海	佐渡赤泊沖	389	389	廣瀬	佐々木	浜渦　清	新潟県水産試験場	37° 52.00'N	138° 30.50'E	5	0.56	3:51	2:52	10:07	10:50	13:42	13:58	ホッコクアカエビの分布生態・蝟集観察
571	1991.9.12	研究	日本海	佐渡赤泊沖	354	326	櫻井	鈴木	柿元　晧	水産大学校	37° 52.00'N	138° 30.50'E	5	0.78	4:42	3:54	9:35	10:08	14:02	14:17	ホッコクアカエビ増殖場漁場造成調査
572	1991.9.16	研究	日本海	北陸沖ゲンタツ瀬	723	709	鈴木	佐々木	片山　肇	工業技術院地質調査所	36° 34.00'N	135° 43.50'E	6	0.05	5:47	4:38	9:37	10:23	15:01	15:24	山陰・北陸沖における構造運動に伴う地質現象の研究
573	1991.9.17	研究	日本海	隠岐舟状海盆	1563	1563	櫻井	廣瀬	山本　博文	福井大学	36° 40.00'N	135° 10.50'E	6	0.06	6:07	4:08	9:35	10:54	15:02	15:42	山陰・北陸沖における構造運動に伴う地質現象の研究
574	1991.9.20	研究	日本海	島根県日御碕沖	260	253	櫻井	佐々木	金丸　信一	日本海区水産研究所	35° 48.00'N	132° 21.50'E	2	1.49	5:23	4:36	9:59	10:29	15:05	15:22	ズワイガニの人工漁礁に対する謂集状況の観察
575	1991.10.4	研究	南西諸島	南奄西海丘	710	654	廣瀬	佐々木	青木　正博	工業技術院地質調査所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	10	7.54	6:19	4:55	9:40	10:29	15:24	15:59	沖縄トラフ海底熱水系の化学状態と地質規制の研究
576	1991.10.20	研究	駿河湾	松崎沖	1957	1955	櫻井	吉梅	門馬　大和	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	1	1.99	5:56	2:52	10:15	11:56	14:48	16:11	底層流による海底微細地形の変化の追跡調査
577	1991.10.21	研究	駿河湾	松崎沖	1951	1951	櫻井	鈴木	鰤崎　俊二	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	2	1.92	4:44	2:03	9:58	11:32	13:35	14:42	保圧型微生物培養装置、無菌採泥器による微生物採取
578	1991.10.22	研究	駿河湾	松崎沖	1971	1971	廣瀬	吉梅	辻　義人	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.94	5:00	0:31	9:22	12:47	13:18	14:22	海中懸濁物測定装置によるマリンスノーの生成・分解過程の調査
579	1991.10.29	研究	駿河湾	松崎沖	1850	1850	鈴木	廣瀬	小山　真人	静岡大学	34° 45.00'N	138° 36.00'E	2	1.98	6:05	3:18	9:34	11:24	14:42	15:39	駿河湾に於けるプレート境界の直視観察
580	1991.11.12	研究	相模湾	相模海丘	1298	1298	廣瀬	佐々木	工藤　孝浩	神奈川県水産試験場	35° 08.00'N	139° 18.00'E	4	2.54	5:57	4:09	9:46	10:53	15:02	15:43	深海性魚類の採集を目的とした籠網の開発
581	1991.11.13	研究	相模湾	初島南東沖	1182	1168	櫻井	鈴木	矢野　豊	中央水産研究所(東海区)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.71	6:08	4:21	9:40	10:39	15:00	15:48	深海底に於ける海洋微生物の分布・生態調査
582	1991.11.14	研究	相模湾	三崎海丘	1199	1199	廣瀬	佐々木	G.Green	米国地質調査所	35° 02.50'N	139° 31.50'E	5	2.75	6:25	4:35	9:36	10:40	15:15	16:01	三崎海丘の地質調査
583	1991.11.15	研究	相模湾	相模海丘	1400	1400	櫻井	鈴木	B.Robison	モンテレー湾水族館	35° 06.00'N	139° 20.50'E	4	2.45	6:26	4:27	9:33	10:46	15:13	15:59	相模海丘の生物学的観察及び採取
584	1991.11.18	研究	相模湾	初島南東沖	1194	1160	廣瀬	佐々木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.75	6:12	3:23	9:39	11:44	15:07	15:51	冷水湧出生物群集の生態調査甲殻類の酸素消費速度測定
585	1991.11.19	研究	相模湾	初島南東沖	1175	1159	櫻井	吉梅	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.84	5:14	3:13	9:38	10:53	14:06	14:52	深海生物棲息環境の物理・化学的計測
586	1991.11.21	研究	相模湾	初島南東沖	1170	1165	鈴木	佐々木	浜本　哲郎	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	7	2.72	4:56	3:08	9:42	10:49	13:57	14:38	特異な性質を保持する微生物を分離するための採泥
587	1991.11.22	研究	相模湾	初島南東沖	1198	1160	櫻井	吉梅	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.69	6:11	3:46	9:40	11:16	15:02	15:51	深海生物棲息環境の物理・化学的計測
588	1991.11.24	研究	相模湾	初島南東沖	1227	1227	櫻井	鈴木	石井　輝秋	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.73	6:12	4:40	9:37	10:40	15:20	15:49	相模湾東方の急崖の構造・構成物とその成因に関する研究
589	1991.11.25	研究	相模湾	初島東沖	1357	1355	廣瀬	佐々木	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 16.50'E	6	2.4	6:14	4:16	9:34	10:42	14:58	15:48	相模湾海底に於ける電磁場の長期変動の研究
590	1991.11.26	研究	相模湾	初島南東沖	1206	1206	櫻井	鈴木	木下　正高	東海大学	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.72	5:03	3:02	9:33	10:44	13:46	14:36	生物群集周辺の熱構造精査
591	1991.11.27	研究	相模湾	初島東沖	1450	1450	廣瀬	佐々木	北里　洋	静岡大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	3	2.39	5:59	3:57	9:34	10:48	14:45	15:33	Sediment-Water　Interfaceの生物活性
592	1991.12.2	研究	相模湾	初島南東沖	1222	1176	鈴木	廣瀬	塚原　弘昭	防災科学技術研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.73	5:35	3:19	9:40	11:11	14:30	15:15	相模湾海底シロウリガイ群集における間隙水の採取
593	1991.12.3	研究	相模湾	初島南東沖	1178	1177	櫻井	佐々木	増澤　敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.67	5:55	4:16	9:35	10:34	14:50	15:30	相模湾海底シロウリガイ群集における物質代謝の研究
594	1992.3.26	沈降	横須賀港	第３区住重追浜前	5		鈴木	吉梅	奥田　隆一	三菱重工	35° 18.80'N	139° 40.00'E	−	−	1:08	1:06	11:19	11:20	12:26	12:27	
595	1992.3.28	試験	駿河湾	土肥沖	1560	1560	廣瀬	吉梅	植木　博文	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	1	2.44	4:29	1:53	10:40	12:17	14:10	15:09	
596	1992.3.29	試験	駿河湾	土肥沖	1515	1515	櫻井	佐々木	川端　良和	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	2	2.59	4:37	2:28	10:36	11:52	14:20	15:13	
597	1992.3.30	試験	駿河湾	松崎沖	1955	1955	廣瀬	吉梅	川間　格	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.95	4:46	1:52	10:00	11:43	13:35	14:46	
598	1992.3.31	試験	駿河湾	松崎沖	1958	1958	鈴木	佐々木	立田　学	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	2	1.88	4:44	1:45	9:29	11:16	13:01	14:13	
599	1992.4.2	訓練	駿河湾	松崎沖	1955	1955	櫻井	佐々木	G.Stone	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	2	1.86	3:11	0:09	10:54	12:32	12:41	14:05	
600	1992.4.3	訓練	駿河湾	土肥沖	1520	1518	鈴木	吉梅	川間　格	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	2	2.51	5:05	2:50	9:41	11:02	13:52	14:46	
601	1992.4.6	訓練	相模湾	初島南東沖	1245	1176	櫻井	廣瀬	青木　太郎	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	3.1	5:07	3:17	9:42	10:46	14:03	14:49	
602	1992.4.7	訓練	相模湾	初島南東沖	1170	1155	鈴木	吉梅	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	3.07	4:53	2:38	9:56	11:27	14:05	14:49	
603	1992.4.8	訓練	相模湾	三崎沖	400	400	櫻井	佐々木	今井　義司	海洋科学技術センター	35° 06.00'N	139° 34.00'E	7	7.29	4:21	3:44	10:44	11:16	15:00	15:05	
604	1992.4.9	訓練	相模湾	三崎沖	455	455	鈴木	廣瀬	立田　学	海洋科学技術センター	35° 06.50'N	139° 34.00'E	5	7.2	1:47	0:55	10:02	10:38	11:33	11:49	
605	1992.4.11	訓練	相模湾	初島南東沖	1172	1154	櫻井	廣瀬	引野　肇	中日新聞社	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.94	4:25	2:41	10:26	11:28	14:09	14:51	
606	1992.4.12	訓練	相模湾	初島南東沖	1206	1166	鈴木	佐々木	川間　格	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.95	4:16	1:56	9:57	11:36	13:32	14:13	
607	1992.4.13	訓練	相模湾	初島南東沖	1192	1192	廣瀬	吉梅	立田　学	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.9	4:00	2:13	10:15	11:16	13:29	14:15	
608	1992.4.14	訓練	相模湾	初島南東沖	1189	1187	櫻井	吉梅	佐々木　義高	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.87	4:09	2:09	9:57	11:02	13:11	14:06	
609	1992.5.23	研究	南西諸島	トカラギャップ	1426	1416	櫻井	廣瀬	木村　政昭	琉球大学	29° 08.50'N	130° 04.50'E	8	2.3	6:02	3:52	9:40	11:02	14:54	15:42	北部沖縄トラフ東縁のテクトニクス
610	1992.5.24	研究	南西諸島	南奄西海丘	705	684	鈴木	吉梅	藤倉　克則	海洋科学技術センター	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	7.24	6:01	4:17	9:52	11:07	15:24	15:53	熱水噴出孔生物群集の生理・生態学的研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
611	1992.5.25	研究	南西諸島	南奄西海丘	710	660	櫻井	佐々木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	28° 23.50'N	127° 38.50'E	9	7.44	6:15	4:54	9:44	10:32	15:26	15:59	熱水噴出孔生物群集の生理・生態学的研究
612	1992.5.26	研究	南西諸島	南奄西海丘	715	705	鈴木	廣瀬	片尾　浩	京都大学防災研究所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	7	7.26	6:07	3:20	9:46	12:03	15:23	15:53	中部沖縄トラフにおけるリフティングの地震学的研究
613	1992.5.29	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1395	1393	廣瀬	吉梅	太田　秀	東京大学海洋研究所	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	3.86	6:19	3:49	9:39	11:16	15:05	15:58	沖縄背孤海盆熱水噴出孔生物群集の比較生態学的研究
614	1992.5.30	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1395	1393	櫻井	佐々木	野崎　義行	東京大学海洋研究所	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	3.88	5:59	3:53	9:52	11:08	15:01	15:51	熱水性沈殿物および大型ベント生物の年代学的研究
615	1992.5.31	研究	南西諸島	南奄西海丘	709	615	廣瀬	鈴木	太田　秀	東京大学海洋研究所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	7.8	6:24	5:14	9:38	10:19	15:33	16:02	沖縄背孤海盆熱水噴出孔生物群集の比較生態学的研究
616	1992.6.1	研究	南西諸島	南奄西海丘	713	624	櫻井	吉梅	三浦　知之	鹿児島大学	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	7.2	6:17	4:55	9:37	10:27	15:22	15:54	南奄西海丘の底生生物相調査
617	1992.6.4	研究	南西諸島	南奄西海丘	705	603	櫻井	吉梅	中村　光一	工業技術院地質調査所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	7.71	6:12	4:58	9:42	10:26	15:24	15:54	その場測定による沖縄トラフ海底熱水系の化学と鉱物の研究
618	1992.6.6	研究	南西諸島	南奄西海丘	718	684	鈴木	佐々木	中村　光一	工業技術院地質調査所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	7	7.28	6:20	5:05	9:39	10:24	15:29	15:59	その場測定による沖縄トラフ海底熱水系の化学と鉱物の研究
619	1992.6.8	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1398	1394	鈴木	佐々木	畠山　智之	ＮＨＫ	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.9	6:12	2:32	9:48	12:29	15:01	16:00	取材潜航
620	1992.6.10	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1395	1381	廣瀬	吉梅	柳谷　周作	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	3.9	6:08	3:59	9:56	11:08	15:07	16:04	熱水噴出域に生息する特異な微生物及び宿主生物の研究
621	1992.6.11	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1394	1377	鈴木	佐々木	中島　和夫	山形大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	5	3.96	6:33	3:51	9:39	11:22	15:13	16:12	中部沖縄トラフ熱水活動の地球科学的研究
622	1992.6.12	研究	南西諸島	南奄西海丘	709	657	櫻井	廣瀬	千葉　仁	九州大学	28° 23.50'N	127° 38.50'E	8	7.64	6:16	5:05	9:37	10:18	15:23	15:53	中部沖縄トラフ熱水活動の地球化学的研究
623	1992.7.3	研究	伊豆諸島	須美寿凹地	1488	1381	櫻井	吉梅	A.Malahoff	Hawaii Univ.	31° 22.00'N	139° 50.00'E	8	2.73	6:30	4:30	9:45	10:51	15:21	16:15	須美寿凹地の地質学的研究
624	1992.7.5	研究	伊豆諸島	明神海丘	1395	1395	鈴木	佐々木	飯笹　幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.50'N	139° 52.00'E	6	4.35	4:25	2:08	9:42	11:02	13:10	14:07	伊豆・小笠原弧明神海丘（北ベヨネーズ海底カルデラ）の熱水活動
625	1992.7.9	研究	小笠原諸島	天保海山	1415	1415	櫻井	吉梅	臼井　朗	工業技術院地質調査所	27° 11.00'N	139° 38.00'E	10	2.64	6:08	4:10	9:37	10:53	15:03	15:45	海山産マンガン団塊・マンガンクラストの地学的研究
626	1992.7.11	研究	小笠原諸島	水曜海山	1380	1374	櫻井	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	10	3.43	5:53	3:32	10:35	12:00	15:32	16:28	海底火山活動に伴う深海生物群集の調査
627	1992.7.12	研究	小笠原諸島	水曜海山	1380	1380	櫻井	佐々木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	8	3.35	6:42	4:19	9:36	10:46	15:05	16:18	海底火山活動に伴う深海生物群集の調査
628	1992.7.13	研究	小笠原諸島	木曜海山	1364	1364	廣瀬	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	28° 19.00'N	140° 34.00'E	4	3.55	6:52	4:30	9:40	11:13	15:43	16:32	海底火山活動に伴う深海生物群集の調査
629	1992.7.15	研究	小笠原諸島	水曜海山	1380	1369	鈴木	廣瀬	渡辺　一樹	海上保安庁水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	8	3.33	6:18	4:04	9:39	11:13	15:17	15:57	伊豆・小笠原弧の海底火山の成因に関する調査研究
630	1992.7.16	研究	小笠原諸島	水曜海山	1380	1378	櫻井	佐々木	梶村　徹	海上保安庁水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	6	3.3	6:31	4:18	9:34	10:54	15:12	16:05	水曜海山の熱水活動域のマッピングに関する調査研究
631	1992.7.17	研究	小笠原諸島	水曜海山	1379	1368	櫻井	廣瀬	渡辺　一樹	海上保安庁水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	6	3.54	6:26	4:19	9:36	11:02	15:21	16:02	伊豆・小笠原弧の海底火山の成因に関する調査研究
632	1992.7.19	研究	小笠原諸島	母島海山	1040	1010	鈴木	廣瀬	石井　輝秋	東京大学海洋研究所	26° 13.20'N	143° 04.50'E	10	3.11	6:16	4:40	9:40	10:36	15:16	15:56	小笠原海台付近の海山の地質学的・岩石学的研究
633	1992.7.22	研究	小笠原諸島	海形海山	520	520	廣瀬	吉梅	藤倉　克則	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 04.50'E	10	10.5	5:47	4:49	9:40	10:19	15:08	15:27	熱水噴出孔生物群集の生理・生態学的研究
634	1992.7.23	研究	小笠原諸島	海形海山	488	488	櫻井	佐々木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 04.50'E	10	10.99	6:06	5:11	9:44	10:20	15:31	15:50	熱水噴出孔生物群集の生理・生態学的研究
635	1992.7.24	研究	小笠原諸島	海形海山	915	887	鈴木	吉梅	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 05.00'E	4	3.41	5:46	4:14	11:09	12:06	16:20	16:55	海形海山カルデラ内の海底形状と流れの構造の観察
636	1992.8.15	研究	三陸	大船渡沖	1145	1145	櫻井	廣瀬	池上　清治	海洋水産資源開発センター	38° 40.00'N	142° 29.00'E	6	2.54	6:06	4:14	9:44	10:48	15:02	15:50	トロール曳網による海底面変化の把握
637	1992.8.19	研究	日本海	海洋海山	1159	1159	廣瀬	吉梅	中田　淳	北海道立中央水産試験場	43° 57.00'N	139° 15.00'E	7	0.07	6:01	4:14	9:40	10:49	15:03	15:41	日中及び深海におけるスルメイカの生態に関する研究
638	1992.8.20	研究	日本海	武蔵堆	151	151	櫻井	佐々木	中田　淳	北海道立中央水産試験場	44° 31.00'N	140° 30.00'E	6	5.26	5:30	5:01	9:37	10:02	15:03	15:07	日中及び深海におけるスルメイカの生態に関する研究
639	1992.8.23	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	1985	1985	櫻井	吉梅	浜本　哲郎	海洋科学技術センター	43° 35.00'N	139° 44.00'E	4	0.08	6:00	3:19	9:39	11:21	14:40	15:39	浅い水深と深い水深で採取された低温性細菌の比較
640	1992.8.24	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	1885	1885	鈴木	廣瀬	高田　信久	海洋科学技術センター	43° 35.00'N	139° 28.00'E	5	0.07	5:45	3:20	9:42	11:20	14:40	15:27	浅い水深と深い水深で採取された低温性細菌の比較
641	1992.8.31	研究	日本海	佐渡島北沖	496	496	廣瀬	吉梅	金本　自由生	愛媛大学	38° 40.50'N	138° 20.00'E	7	0.3	5:39	5:01	9:40	10:12	15:13	15:19	浅所で産卵する魚類の深海での生活観察
642	1992.9.1	研究	日本海	佐渡島赤泊沖	386	382	櫻井	佐々木	吉澤　良輔	新潟県水産試験場	37° 52.00'N	138° 30.50'E	4	0.53	4:25	3:29	9:50	10:32	14:01	14:15	ホッコクアカエビの保護・増殖場造成にかかるエビの観察・造成
643	1992.9.4	研究	日本海	金沢沖	242	228	櫻井	鈴木	大橋　洋一	石川県水産試験場	36° 41.50'N	136° 14.00'E	3	2.5	5:33	4:47	10:43	11:18	16:05	16:16	漁礁設置区域におけるズワイガニの分布生態
644	1992.9.5	研究	日本海	石川県橋立沖	284	277	廣瀬	吉梅	沢矢　隆之	石川県農林水産部水産課	36° 31.50'N	136° 03.00'E	6	1.3	5:31	4:43	9:48	10:21	15:04	15:19	増殖場造成区域におけるズワイガニの分布生態
645	1992.9.7	研究	日本海	若狭沖	449	449	鈴木	佐々木	粕谷　芳夫	福井県水産試験場	36° 29.50'N	135° 45.00'E	4	0.25	5:39	4:33	9:38	10:27	15:00	15:17	ホッコクアカエビ・ズワイガニ増殖事業実施海域の周辺環境の解明
646	1992.9.9	研究	日本海	若狭湾ゲンタツ瀬	699	689	廣瀬	鈴木	池原　研	工業技術院地質調査所	36° 33.50'N	135° 43.50'E	5	0.07	4:50	3:35	9:44	10:36	14:11	14:34	北陸沖日本海に於ける構造運動に伴う地質現象の研究
647	1992.9.13	研究	日本海	日御碕沖	255	252	櫻井	廣瀬	安達　二朗	島根県水産試験場	35° 48.00'N	132° 22.00'E	4	1.01	5:13	4:32	9:40	10:10	14:42	14:53	ズワイガニの人工漁礁に対する蝟集状況の研究
648	1992.9.14	研究	日本海	日御碕沖	261	245	鈴木	吉梅	安達　二朗	島根県水産試験場	35° 48.00'N	132° 22.00'E	6	0.93	5:17	4:30	9:38	10:12	14:42	14:55	ズワイガニの人工漁礁に対する蝟集状況の研究
649	1992.10.10	研究	南西諸島	南奄西海丘	710	645	鈴木	吉梅	青木　正博	工業技術院地質調査所	28° 23.50'N	127° 38.50'E	7	6.83	5:00	3:39	12:10	12:59	16:38	17:10	その場測定による沖縄トラフ海底熱水系の化学と鉱床の研究
650	1992.11.17	研究	駿河湾	松崎沖	1943	1939	櫻井	立田	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	3	1.97	5:58	0:13	9:42	14:20	14:33	15:40	海中懸濁物形状・密度の鉛直分布の観測・研究
651	1992.11.18	研究	駿河湾	松崎沖	1953	1951	櫻井	川間	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	34° 43.50'N	138° 35.00'E	2	1.95	6:00	3:08	9:38	11:23	14:31	15:38	駿河トラフの海底地形と流れ構造の研究
652	1992.11.19	研究	駿河湾	松崎沖	1974	1964	鈴木	立田	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.95	5:30	2:23	9:39	11:27	13:50	15:09	駿河トラフの海底地形と流れ構造の研究
653	1992.11.20	研究	駿河湾	松崎沖	1977	1948	廣瀬	川間	高橋　一昭	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	2.03	4:20	1:46	9:47	11:18	13:04	14:07	汚染源に対する分解能力を持つ微生物の採取、難分解性物質の回収
654	1992.11.23	研究	相模湾	初島南東沖	1215	1215	廣瀬	鈴木	高木　善弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	3.15	3:58	2:07	9:46	10:53	13:00	13:44	冷水湧出域の微生物採取、観察・宿主生物の採取と研究
655	1992.11.24	研究	相模湾	初島東沖	1356	1355	櫻井	吉梅	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 16.50'E	2	2.52	5:40	2:02	9:57	12:52	14:54	15:37	相模湾海底定点における地球磁場長期変動の研究
656	1992.11.25	研究	相模湾	初島東沖	1445	1445	鈴木	廣瀬	北里　洋	静岡大学	35° 01.00'N	139° 21.50'E	2	2.17	5:16	2:32	10:04	11:57	14:29	15:20	セジメントウォーター・インターフェイスの構造と生物活性の観察・研究
657	1992.11.28	研究	相模湾	初島南東沖	1202	1168	廣瀬	吉梅	牧　陽之助	岩手大学	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.85	5:46	3:45	9:54	11:16	15:01	15:40	シロウリ貝群落周辺の微生物学的研究
658	1992.11.29	研究	相模湾	初島南東沖	1197	1197	櫻井	鈴木	中西　正男	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.57	5:10	3:23	9:59	11:04	14:27	15:09	シロウリ貝群集域における長期的な熱流量の測定・研究
659	1992.11.30	研究	相模湾	初島南東沖	1192	1152	廣瀬	吉梅	中塚　武	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.69	6:12	3:02	9:50	12:14	15:16	16:02	深海生物群集の維持機構に関する地球化学的研究
660	1992.12.1	研究	相模湾	大磯海脚	668	668	櫻井	鈴木	一色　竜也	神奈川県水産試験場	35° 14.50'N	139° 16.00'E	6	4.51	4:08	3:09	9:42	10:26	13:35	13:50	サクラエビの遊泳及びパッチの状態の目視観察及び深度による分布密度計測

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
661	1992.12.4	研究	相模湾	相模海丘	1255	1248	櫻井	吉梅	山崎　晴雄	工業技術院地質調査所	35° 09.00'N	139° 18.00'E	4	2.61	5:27	3:58	10:08	11:10	15:08	15:35	相模海丘の地形・地質調査
662	1993.3.26	沈降	横須賀港	第3区住重追浜前	5		櫻井	立田	上原　篤	三菱重工	35° 18.80'N	139° 40.00'E	−	−	1:02		11:01			12:03	
663	1993.3.28	試験	駿河湾	土肥沖	1534	1505	廣瀬	川間	伊藤　一寿	日本海洋事業	34° 54.00'N	138° 39.50'E	4	2.43	4:00	1:35	11:42	13:08	14:43	15:42	
664	1993.3.30	試験	駿河湾	松崎沖	1970	1970	鈴木	立田	大野　芳生	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 36.00'E	−	−	2:49	0:06	9:49	11:21	11:27	12:38	
665	1993.3.31	試験	駿河湾	松崎沖	1974	1974	櫻井	川間	伊藤　一寿	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 36.00'E	4	2.07	4:25	1:10	9:38	11:21	12:31	14:03	
666	1993.4.8	訓練	相模湾	初島南東沖	1180	1163	鈴木	櫻井	伊藤　一寿	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.88	4:03	1:19	12:10	14:17	15:36	16:13	
667	1993.4.9	訓練	相模湾	初島南東沖	1200	1200	廣瀬	吉梅	伊藤　一寿	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.86	6:00	4:11	9:50	10:56	15:07	15:50	
668	1993.4.10	訓練	相模湾	初島南東沖	1246	1234	鈴木	吉梅	柴田　桂	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.94	4:58	3:13	9:49	10:53	14:06	14:47	
669	1993.4.11	訓練	相模湾	初島南東沖	1255	1255	佐々木	廣瀬	伊藤　一寿	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	3.02	5:33	3:36	9:54	11:08	14:44	15:27	
670	1993.4.16	訓練	相模湾	初島南東沖	1227	1227	佐々木	櫻井	伊藤　一寿	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.89	5:46	3:59	9:52	11:02	15:01	15:38	
671	1993.4.17	訓練	相模湾	初島南東沖	1222	1222	佐々木	吉梅	伊藤　一寿	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.88	5:39	3:56	9:58	11:04	15:00	15:37	
672	1993.5.14	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1398	1390	佐々木	櫻井	橋本　惇	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	8	3.74	6:33	4:18	9:46	11:04	15:22	16:19	伊平屋海嶺における熱水噴出孔生物群集の生態調査
673	1993.5.17	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1398	1398	廣瀬	鈴木	太田　秀	東京大学海洋研究所	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.8	6:32	4:18	9:37	11:01	15:19	16:09	沖縄海盆熱水噴出孔生物群集の生態学的研究
674	1993.5.19	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1407	1407	櫻井	廣瀬	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.83	6:25	4:11	9:57	11:21	15:32	16:22	伊平屋海嶺熱水域における熱水地形と熱水現象の空間分析
675	1993.5.20	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1404	1404	佐々木	鈴木	日下部　正志	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	3.83	6:02	3:42	9:48	11:10	14:52	15:50	伊平屋海嶺熱水域における物質循環に関する研究
676	1993.5.21	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1419	1419	廣瀬	吉梅	田中　武男	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	8	3.83	6:11	4:05	11:02	12:17	16:22	17:13	伊平屋海嶺熱水域における熱水地形と熱水現象の空間分布
677	1993.5.22	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1363	櫻井	鈴木	木下　正高	東海大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.87	6:42	3:52	9:43	11:35	15:27	16:25	伊平屋海嶺熱水域における間隙水循環の時間変動の研究
678	1993.5.25	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1410	1410	櫻井	廣瀬	中島　和夫	山形大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	10	3.87	7:10	4:43	9:42	10:57	15:40	16:52	沖縄トラフ伊平屋凹地熱水系の地球化学的研究
679	1993.5.26	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1397	1380	佐々木	吉梅	中林　成人	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.9	5:49	3:37	9:44	11:01	14:38	15:33	伊平屋海嶺熱水域における熱水地形と熱水現象の空間分布
680	1993.5.31	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1233	1233	櫻井	廣瀬	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 37.50'N	127° 00.00'E	10	3.97	6:20	4:33	9:58	11:07	15:40	16:18	沖縄トラフの火成活動と海底熱水鉱床の形成機構の研究
681	1993.6.1	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1547	1547	鈴木	吉梅	中村　光一	工業技術院地質調査所	27° 34.00'N	127° 01.00'E	8	3.79	5:40	3:21	9:38	11:00	14:21	15:18	沖縄トラフの火成活動と海底熱水鉱床の形成機構の研究
682	1993.6.3	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1514	1514	廣瀬	佐々木	コーネル・デ・ロンド	工業技術院地質調査所	27° 32.50'N	127° 01.50'E	10	3.81	6:49	4:19	9:46	11:22	15:41	16:35	沖縄トラフの火成活動と海底熱水鉱床の形成機構の研究
683	1993.6.4	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1392	1387	鈴木	吉梅	青木　正博	工業技術院地質調査所	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.86	6:47	4:32	9:34	10:54	15:26	16:21	沖縄トラフの火成活動と海底熱水鉱床の形成機構の研究
684	1993.6.20	研究	小笠原諸島	水曜海山	1374	1371	櫻井	鈴木	渡辺　一樹	海上保安庁水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	4	10	6:43	1:56	9:46	13:34	15:30	16:29	伊豆・小笠原弧の海底火山の成因に関する調査研究
685	1993.6.22	研究	小笠原諸島	水曜海山	1383	1374	廣瀬	佐々木	芝田　厚	海上保安庁水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	8	3.5	6:48	4:37	9:46	11:06	15:43	16:34	伊豆・小笠原弧の海底火山の成因に関する調査研究
686	1993.6.26	研究	小笠原諸島	母島海山	1303	1303	櫻井	廣瀬	石井　輝秋	東京大学海洋研究所	26° 14.00'N	143° 05.50'E	10	2.72	6:10	4:21	9:37	10:51	15:12	15:47	母島海山の地質学的・岩石学的研究
687	1993.6.27	研究	小笠原諸島	小笠原海台	973	854	鈴木	吉梅	臼井　朗	工業技術院地質調査所	26° 10.00'N	144° 16.00'E	6	4.62	6:10	4:45	9:41	10:34	15:19	15:51	小笠原海台東海山のマンガン団塊及びクラストに関する地質学的研究
688	1993.6.28	研究	小笠原諸島	小笠原海台	1117	1117	櫻井	廣瀬	西村　昭	工業技術院地質調査所	26° 07.00'N	144° 10.00'E	8	3.37	5:47	4:10	9:35	10:41	14:51	15:22	小笠原海台東海山のマンガン団塊及びクラストに関する地質学的研究
689	1993.7.1	研究	小笠原諸島	水曜海山	1380	1379	佐々木	櫻井	増地　矢恵子	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	10	3.3	6:28	4:10	10:03	11:16	15:26	16:31	熱水噴出域における生物群集の観察及び微生物の採取
690	1993.7.2	研究	小笠原諸島	水曜海山	1380	1380	佐々木	吉梅	佐藤　孝子	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	8	3.3	6:04	3:50	11:34	12:45	16:35	17:38	熱水噴出域における生物群集の観察及び微生物の採取
691	1993.7.4	研究	小笠原諸島	海形海山	796	796	佐々木	廣瀬	藤倉　克則	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 04.50'E	6	8.07	6:00	4:55	9:55	10:44	15:39	15:55	海形海山の熱水噴出孔生物群集の生理・生態に関する研究
692	1993.7.5	研究	小笠原諸島	海形海山	798	798	櫻井	鈴木	藤倉　克則	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 04.50'E	5	8.67	6:09	4:58	9:37	10:29	15:27	15:46	海形海山の熱水噴出孔生物群集の生理・生態に関する研究
693	1993.7.6	研究	小笠原諸島	水曜海山	1377	1373	佐々木	吉梅	藤原　義弘	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	7	3.27	6:02	3:49	9:31	10:46	14:35	15:33	水曜海山の熱水噴出孔生物群集の生理・生態に関する研究
694	1993.7.9	研究	小笠原諸島	木曜海山	1334	1334	廣瀬	鈴木	石橋　純一郎	東京大学理学部	28° 19.00'N	140° 34.00'E	6	3.47	6:51	4:41	9:51	11:09	15:50	16:42	七曜海山列における海底熱水活動の地球学的研究
695	1993.7.11	研究	伊豆諸島	須美寿凹地	1290	1261	櫻井	吉梅	仲　二郎	海洋科学技術センター	31° 32.50'N	139° 38.00'E	8	3.07	6:20	4:19	9:29	10:42	15:01	15:49	背弧凹地火山の火山噴出物の調査
696	1993.7.12	研究	伊豆諸島	明神海丘	1361	1361	廣瀬	鈴木	R.S.Fiske	スミソニアン博物館	32° 05.20'N	139° 51.50'E	6	3.91	6:33	4:49	9:38	10:51	15:40	16:11	背弧凹地火山の火山噴出物の調査
697	1993.8.4	研究	三陸沖	釜石沖	304	302	佐々木	吉梅	藤田　敏彦	東北区水産研究所	39° 18.50'N	142° 09.00'E	7	2.78	6:04	5:14	9:54	10:31	15:45	15:58	大陸斜面最上部のクモヒトデ類の高密度ベッドの生態学的研究
698	1993.8.16	研究	日本海	奥尻島南西沖	1793	1793	廣瀬	鈴木	竹内　章	富山大学	41° 58.50'N	139° 22.00'E	4	0.08	6:40	4:14	9:43	11:15	15:29	16:23	平成5年北海道南西沖地震域の調査
699	1993.8.17	研究	日本海	奥尻島西沖	1741	1741	櫻井	吉梅	田中　武男	海洋科学技術センター	42° 03.50'N	139° 18.60'E	3	0.09	6:38	4:27	9:56	11:23	15:50	16:34	平成5年北海道南西沖地震域の調査
700	1993.8.18	研究	日本海	奥尻島南西沖	1780	1777	廣瀬	鈴木	倉本　真一	工業技術院地質調査所	41° 59.80'N	139° 21.00'E	4	0.1	6:40	4:19	9:44	11:21	15:40	16:24	平成5年北海道南西沖地震域の調査
701	1993.8.19	研究	日本海	奥尻島南西沖	1610	1610	櫻井	吉梅	戸沢　真介	時事通信社	41° 58.50'N	139° 22.50'E	5	0.08	5:17	3:02	9:37	11:00	14:02	14:54	平成5年北海道南西沖地震域の調査
702	1993.8.21	研究	日本海	奥尻島西沖	1610	1583	櫻井	廣瀬	藤岡　換太郎	海洋科学技術センター	42° 03.50'N	139° 19.10'E	5	0.09	6:22	4:01	9:50	11:33	15:34	16:12	平成5年北海道南西沖地震域の調査
703	1993.8.22	研究	日本海	奥尻島南西沖	1335	1335	鈴木	吉梅	加藤　茂	海上保安庁水路部	41° 58.50'N	139° 23.50'E	5	0.08	2:27	0:18	8:53	10:15	10:33	11:20	平成5年北海道南西沖地震域の調査
704	1993.9.9	研究	南西諸島	トカラ	1235	1235	鈴木	吉梅	木村　政昭	琉球大学	29° 12.50'N	130° 03.00'E	7	2.78	3:34	1:29	13:15	14:35	16:04	16:49	沖縄トラフ東縁のテクトニクス－背弧海盆形成メカニズムの解明
705	1993.10.15	研究	南海トラフ	東部	1475	1475	廣瀬	吉梅	J.P.Cadet	パリ大学	34° 00.00'N	137° 42.00'E	5	2.65	3:51	1:42	9:58	11:21	13:03	13:49	東部南海トラフ断層崖の精密観察
706	1993.10.17	研究	南海トラフ	東部	819	807	櫻井	鈴木	X.L.Pichon	パリ高等大学院	34° 09.00'N	137° 54.50'E	5	3.88	5:31	4:12	10:01	10:56	15:08	15:32	東部南海トラフ断層崖の精密観察
707	1993.10.20	研究	駿河湾	松崎沖	1886	1886	櫻井	鈴木	新妻　信明	静岡大学	34° 45.00'N	138° 35.50'E	2	1.89	7:07	4:10	9:34	11:12	15:22	16:41	駿河湾におけるプレート境界の直視観察
708	1993.10.21	研究	駿河湾	松崎沖	1857	1857	廣瀬	吉梅	大塚　謙一	静岡大学	34° 45.20'N	138° 35.50'E	3	2	6:21	3:40	9:34	11:22	15:02	15:55	駿河湾におけるプレート境界の直視観察
709	1993.10.22	研究	南海トラフ	遠州灘金洲ノ瀬	739	739	櫻井	伊藤	山田　万樹	静岡県水産試験場	34° 17.50'N	138° 14.70'E	6	3.91	5:08	4:10	9:45	10:31	14:41	14:53	御前崎沖海山におけるキンメダイの分布・生態の研究
710	1993.10.26	研究	駿河湾	土肥沖	1517	1489	廣瀬	吉梅	藤倉　克則	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	5	2.49	6:51	3:58	9:41	11:41	15:39	16:32	駿河湾シロウリガイ群生の生理・生態に関する研究
711	1993.10.27	研究	駿河湾	土肥沖	1515	1515	櫻井	伊藤	藤倉　克則	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	5	2.52	6:15	4:07	9:38	10:55	15:02	15:53	駿河湾シロウリガイ群生の生理・生態に関する研究
712	1993.10.28	研究	駿河湾	土肥沖	1560	1560	廣瀬	鈴木	橋本　惇	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	3	2.41	6:24	4:13	9:42	11:00	15:13	16:06	駿河湾シロウリガイ群生の生理・生態に関する研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
713	1993.10.29	訓練	駿河湾	土肥沖	1558	1558	櫻井	伊藤	大野　芳生	日本海洋事業	34° 55.00'N	138° 39.00'E	4	2.43	5:28	3:04	10:04	11:27	14:31	15:32	パイロット養成訓練
714	1993.11.15	研究	相模湾	初島南東沖	1187	1158	廣瀬	吉梅	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.93	6:08	3:26	9:44	11:45	15:11	15:52	相模湾初島沖におけるシロウリガイ群集の生態調査
715	1993.11.16	研究	相模湾	初島南東沖	1193	1193	櫻井	伊藤	藤原　義弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.81	6:05	4:15	9:43	10:49	15:04	15:48	相模湾初島沖におけるシロウリガイ群集の生態調査
716	1993.11.17	研究	相模湾	初島南東沖	1186	1169	廣瀬	鈴木	吉田　則夫	防災科学技術研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.8	6:19	3:59	9:42	11:14	15:13	16:01	深海生物の炭素同位体比と物質の循環
717	1993.11.20	研究	相模湾	初島南東沖	375	375	廣瀬	吉梅	藤田　敏彦	東北区水産研究所	35° 01.50'N	139° 12.00'E	7	7.06	4:22	3:48	9:53	10:22	14:10	14:15	海底に生息する懸濁物食棘皮動物の生態学的研究
718	1993.11.21	研究	相模湾	初島南東沖	1174	1169	櫻井	鈴木	石原　賢司	中央水産研究所(東海区)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.69	3:27	1:41	10:12	11:16	12:57	13:39	深海無脊椎動物の脂質の特性解明
719	1993.11.23	研究	相模湾	初島南東沖	1195	1195	廣瀬	吉梅	服部　睦男	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.8	3:21	1:19	9:47	11:00	12:19	13:08	相模湾・駿河湾及びその周辺の海洋地学的研究
720	1993.11.26	研究	相模湾	初島南東沖	1175	1175	櫻井	鈴木	増澤　敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.72	5:35	3:42	10:39	11:50	15:32	16:14	深海生物群集の維持機構に関する地球科学的研究
721	1993.11.27	研究	相模湾	初島南東沖	1200	1200	廣瀬	吉梅	脇田　宏	東京大学理学部	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.66	6:23	4:21	10:03	11:09	15:30	16:26	相模湾湧水系における溶存気体成分の挙動の地球科学的研究
722	1993.11.29	研究	相模湾	初島南東沖	1200	1200	鈴木	伊藤	吉田　雅浩	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.47	4:48	2:52	9:41	10:49	13:41	14:29	冷水生物群集の観察及び微生物採取
723	1993.12.2	研究	相模湾	相模トラフ	1445	1445	櫻井	廣瀬	西田　周平	東京大学海洋研究所	35° 01.10'N	139° 21.50'E	5	2.21	6:32	1:18	9:49	11:24	12:42	16:21	相模湾の中深層性プランクトンの分布と生態に関する研究
724	1993.12.4	研究	相模湾	相模トラフ	1446	1445	吉梅	鈴木	北里　洋	静岡大学	35° 01.00'N	139° 21.50'E	4	2.27	5:32	2:57	9:45	11:29	14:26	15:17	Sediment Water Interfaceの構造と生物活性の観察と実験
725	1993.12.5	研究	相模湾	相模トラフ	1354	1354	吉梅	伊藤	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 16.00'E	4	2.45	4:29	1:46	9:39	11:33	13:19	14:08	相模湾海底における地磁気永年変化の研究
726	1994.3.24	沈降	横須賀港	第3区住重追浜前	5	5	廣瀬	伊藤	上原　篤	三菱重工	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	1:18		11:06			12:24	
727	1994.3.27	試験	駿河湾	土肥沖	1512	1512	櫻井	伊藤	大野　芳生	日本海洋事業	34° 57.00'N	138° 39.00'E	0.5	2.44	5:11	2:48	9:43	11:22	14:10	14:54	機器作動試験
728	1994.3.30	試験	駿河湾	松崎沖	1947	1944	鈴木	吉梅	小杉　芳信	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	1.5m	1.97	4:27	1:30	10:13	12:05	13:35	14:40	機器作動試験
729	1994.4.5	研究	相模湾	伊豆大島南西沖	373	365	吉梅	伊藤	高木　康次	静岡県水産試験場	34° 38.50'N	139° 19.50'E	5	8.28	4:23	3:24	11:12	12:02	15:26	15:35	海底斜面に沿ってキンメダイの分布と行動を観察
730	1994.4.6	研究	相模湾	稲取沖	823	823	廣瀬	鈴木	高木　康次	静岡県水産試験場	34° 50.00'N	139° 11.50'E	4	4.35	5:28	4:08	10:06	11:04	15:12	15:34	海底斜面に沿ってキンメダイの分布と行動を観察
731	1994.4.9	試験	駿河湾	富士川沖	1026	999	櫻井	吉梅	奥田　隆一	三菱重工	35° 03.00'N	138° 38.00'E	1.5	3.22	3:17	1:42	10:37	11:38	13:20	13:54	
732	1994.4.18	研究	伊豆・小笠原諸島	金曜海山	1015	1015	吉梅	伊藤	芝田　厚	海上保安庁水路部	28° 05.00'N	140° 48.00'E	7	4.31	4:35	3:11	9:37	10:33	13:44	14:12	底質の観察と岩石の採取、火口壁の観察
733	1994.4.21	研究	伊豆・小笠原諸島	金曜海山	1135	1135	吉梅	伊藤	渡辺　一樹	海上保安庁水路部	28° 03.00'N	140° 46.00'E	7	3.47	5:20	3:53	9:35	10:40	14:33	14:55	底質の観察と岩石の採取、火口壁の観察
734	1994.4.25	研究	伊豆・小笠原諸島	明神海丘	1398	1398	廣瀬	鈴木	R.S.Fiske	スミソニアン博物館	32° 07.00'N	139° 51.50'E	7	4.44	6:03	4:19	9:40	10:57	15:16	15:43	カルデラ壁の観察と岩石の採取、堆積物の温度測定
735	1994.4.26	研究	伊豆・小笠原諸島	明神海丘	1392	1392	吉梅	伊藤	飯笹　幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.50'N	139° 52.50'E	7	4.46	6:17	4:13	9:41	11:07	15:20	15:58	カルデラ壁の観察と試料の採取
736	1994.4.27	研究	伊豆・小笠原諸島	明神海丘	1398	1398	櫻井	廣瀬	仲　二郎	海洋科学技術センター	32° 06.50'N	139° 51.00'E	8	4.46	6:45	4:13	9:39	11:00	15:13	16:24	カルデラ壁の観察と岩石の採取、堆積物の温度測定
737	1994.4.30	研究	伊豆・小笠原諸島	明神海丘	1401	1387	櫻井	鈴木	飯笹　幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.50'N	139° 50.00'E	7	4.47	6:17	4:04	10:28	12:10	16:14	16:45	カルデラ壁の観察と試料の採取
738	1994.7.1	試験	駿河湾	松崎沖	1966	1966	伊藤	大野	櫻井　利明	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	2	4:32	1:48	10:43	12:26	14:14	15:15	音響航法装置の総合試験
739	1994.7.3	試験	駿河湾	富士川沖	1029	1024	伊藤	大野	鈴木　晋一	日本海洋事業	35° 03.00'N	138° 37.00'E	2	3.24	3:02	1:12	12:46	13:53	15:05	15:48	音響航法装置の総合試験
740	1994.7.7	訓練	日本海	奥尻海嶺後志海山	824	824	廣瀬	伊藤	松本　恵太	日本海洋事業	43° 35.00'N	139° 31.00'E	8	0.22	4:49	3:37	11:37	12:28	16:05	16:26	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
741	1994.7.8	訓練	日本海	奥尻海嶺後志海山	788	788	櫻井	大野	小杉　芳信	日本海洋事業	43° 35.00'N	139° 31.00'E	8	0.22	5:25	4:25	9:49	10:36	15:01	15:14	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
742	1994.7.9	訓練	日本海	奥尻海嶺後志海山	981	981	廣瀬	伊藤	松本　恵太	日本海洋事業	43° 35.00'N	139° 30.70'E	8	0.17	5:41	4:19	9:37	10:45	15:04	15:18	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
743	1994.7.12	訓練	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1430	1429	吉梅	松本	小杉　芳信	日本海洋事業	43° 58.00'N	139° 17.00'E	7	0.12	5:45	3:42	9:58	11:20	15:02	15:43	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
744	1994.7.13	訓練	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1437	1437	櫻井	小杉	松本　恵太	日本海洋事業	43° 58.00'N	139° 17.00'E	7	0.13	3:55	1:51	9:40	11:00	12:51	13:35	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
745	1994.7.17	訓練	日本海	奥尻海嶺後志海山	512	474	伊藤	大野	吉梅　剛	日本海洋事業	43° 34.00'N	139° 33.00'E	6	0.53	6:03	5:13	9:40	10:25	15:38	15:43	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
746	1994.7.18	訓練	日本海	奥尻海嶺後志海山	1243	983	廣瀬	小杉	松本　恵太	日本海洋事業	43° 35.50'N	139° 35.80'E	8	0.18	5:00	2:10	11:02	13:23	15:33	16:02	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
747	1994.7.19	訓練	日本海	奥尻海嶺後志海山	503	503	鈴木	松本	小杉　芳信	日本海洋事業	43° 36.00'N	139° 33.50'E	5	0.43	5:00	4:07	9:41	10:29	14:36	14:41	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
748	1994.7.24	研究	三陸沖	金華山沖	252	249	伊藤	大野	和泉　祐司	宮城県水産研究開発センター	38° 20.00'N	141° 55.00'E	6	2.58	4:59	4:11	10:05	10:44	14:55	15:04	ツノナシオキアミ底付き群の行動観察
749	1994.8.6	研究	日本海	若狭沖	500	467	櫻井	伊藤	領家　一博	福井県水産試験場	36° 26.50'N	135° 43.00'E	5	0.37	5:27	4:25	9:56	10:38	15:03	15:23	ホッコクアカエビ、ズワイガニ漁場、特に増殖事業実施海域の周辺環境の解明
750	1994.8.9	研究	日本海	富山湾南部	300	275	吉梅	大野	小谷口　正樹	富山県水産試験場	36° 46.50'N	137° 18.00'E	7	1.53	5:30	4:46	9:51	10:22	15:08	15:21	トヤマエビ人工種苗放流後の行動生態について
751	1994.8.19	研究	日本海	秋田沖	388	387	伊藤	大野	藤田　学	秋田県水産振興センター	39° 34.50'N	139° 31.00'E	8	0.61	4:38	3:46	10:18	10:53	14:39	14:56	マダラの根付群に関する研究
752	1994.8.22	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1950	1950	廣瀬	小杉	徳山　英一	東京大学海洋研究所	44° 00.00'N	139° 11.50'E	6	0.14	6:32	3:59	9:49	11:35	15:34	16:21	海洋海山の海底地形変動の直視観察
753	1994.8.23	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1972	1972	櫻井	伊藤	徐　垣	九州大学	43° 59.50'N	139° 12.00'E	5	0.13	6:27	3:52	9:55	11:38	15:30	16:22	海洋海山の海底地形変動の直視観察
754	1994.8.24	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1484	1484	鈴木	松本	徳山　英一	東京大学海洋研究所	44° 00.00'N	139° 13.00'E	5	0.14	5:50	3:48	9:34	11:01	14:49	15:24	海洋海山の海底地形変動の直視観察
755	1994.8.27	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	1612	1612	櫻井	小杉	平　清	海洋科学技術センター	43° 34.50'N	139° 36.50'E	6	0.16	5:39	3:39	10:01	11:32	15:11	15:40	深海微生物実験システム採泥器試験
756	1994.8.28	研究	日本海	奥尻海嶺後志海山	653	653	鈴木	大野	田中　武男	海洋科学技術センター	43° 34.00'N	139° 33.00'E	8	0.36	5:50	4:48	9:41	10:38	15:26	15:31	断層、火山地形の調査及び北海道南西沖地震の影響調査
757	1994.8.29	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1593	1591	廣瀬	松本	宮本　元行	海洋科学技術センター	44° 04.00'N	139° 31.50'E	5	0.13	6:34	4:13	10:05	11:36	15:49	16:39	武蔵海盆南部西縁から海洋海山東斜面域の海底観察
758	1994.9.1	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1802	1802	櫻井	松本	倉本　真一	工業技術院地質調査所	44° 02.50'N	139° 22.00'E	5	0.13	6:30	4:01	9:39	11:12	15:13	16:09	日本海東縁における沈み込みテクトニクスの研究
759	1994.9.2	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1833	1833	伊藤	大野	沖野　郷子	海上保安庁水路部	44° 04.00'N	139° 21.50'E	7	0.14	6:37	4:03	9:32	11:12	15:15	16:09	日本海東縁における沈み込みテクトニクスの研究
760	1994.9.3	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1743	1743	鈴木	小杉	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	44° 04.50'N	139° 21.50'E	5	0.13	6:28	4:07	9:50	11:25	15:32	16:18	日本海東縁における沈み込みテクトニクスの研究
761	1994.9.4	研究	日本海	奥尻海嶺海洋海山	1999	1999	廣瀬	大野	竹内　章	富山大学	43° 58.50'N	139° 25.00'E	6	0.13	6:23	3:33	9:40	11:35	15:08	16:03	日本海東縁における沈み込みテクトニクスの研究
762	1994.10.2	研究	南海トラフ	東部南海トラフ	1247	1240	櫻井	伊藤	芦　寿一郎	東京大学理学部	34° 15.00'N	138° 02.00'E	6	2.99	6:17	4:00	9:52	11:22	15:22	16:09	南海トラフ付加帯上部斜面の構造地質学的研究
763	1994.10.3	研究	南海トラフ	東部南海トラフ	1250	1250	伊藤	大野	P.Huchon	パリ高等大学院	34° 14.50'N	138° 03.00'E	7	2.97	6:07	4:08	9:44	11:01	15:09	15:51	海底地殻変動測定の基礎実験
764	1994.10.5	研究	南海トラフ	東部南海トラフ	1230	1230	櫻井	廣瀬	F.Thoue	東京大学海洋研究所	34° 16.00'N	138° 02.50'E	6	2.94	6:22	4:29	9:47	11:05	15:34	16:09	日仏KAIKO-TOKAI計画　東海沖衝突テクトニクスの解明
765	1994.10.6	研究	南海トラフ	東部南海トラフ	1253	1243	廣瀬	松本	瀬川　爾朗	東京大学海洋研究所	34° 14.50'N	138° 02.00'E	8	2.17	5:37	3:42	9:52	11:09	14:51	15:29	南海トラフ付加帯上部斜面の構造地質学的研究
766	1994.10.16	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1394	1387	鈴木	伊藤	笠原　順三	東京大学地震研究所	27° 33.00'N	126° 58.00'E	7	3.88	6:28	4:22	9:45	11:05	15:27	16:13	伊平屋海丘における熱水活動の広帯域地震観測
767	1994.10.27	研究	鹿児島湾	北東部	121	121	伊藤	大野	橋本　惇	海洋科学技術センター	31° 39.60'N	130° 48.20'E	4	16.61	5:07	4:33	10:10	10:37	15:10	15:17	鹿児島湾における熱水噴出孔生物群衆の生態調査
768	1994.10.28	訓練	鹿児島湾	北東部	200	194	櫻井	大野	小杉　芳信	日本海洋事業	31° 39.50'N	130° 46.50'E	3	16.08	3:45	3:12	10:28	10:53	14:05	14:13	

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
769	1994.11.10	研究	南西諸島	沖縄本島南西沖	302	302	伊藤	大野	藤岡 義三	南西海区水産研究所	25° 53.00'N	127° 14.00'E	10	16.05	5:20	4:36	8:46	9:20	13:56	14:06	深海性刺胞動物の生態学的研究
770	1994.11.24	研究	南海トラフ	遠州灘金洲ノ瀬	343	343	櫻井	小杉	橋本 惇	海洋科学技術センター	34° 17.50'N	138° 15.00'E	7	9.54	5:02	4:21	11:04	11:33	15:54	16:06	化学合成生物群集についての研究
771	1994.11.25	研究	南海トラフ	遠州灘金洲ノ瀬	1220	1220	鈴木	松本	太田 秀	東京大学海洋研究所	34° 15.00'N	138° 02.00'E	6	3.07	6:11	4:18	9:58	11:12	15:30	16:09	冷湧水深海生物群集の比較生態学研究
772	1994.11.26	研究	南海トラフ	遠州灘金洲ノ瀬	323	309	廣瀬	小杉	橋本 惇	海洋科学技術センター	34° 17.50'N	138° 15.00'E	8	13.16	5:34	4:56	10:42	11:09	16:05	16:16	化学合成生物群集についての研究
773	1994.11.28	研究	相模湾	初島南東沖	1209	1209	伊藤	大野	斉藤 洋昭	中央水産研究所(東海区)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.73	6:20	4:30	9:40	10:50	15:20	16:00	深海甲殻類等の脂質成分の研究
774	1994.11.29	研究	相模湾	初島南東沖	1171	1134	櫻井	松本	脇田 宏	東京大学理学部	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.81	6:21	4:37	9:51	10:50	15:27	16:12	相模湾湧水系における地球化学的研究
775	1994.12.1	研究	相模湾	相模トラフ	1447	1447	鈴木	小杉	戸田 龍樹	創価大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	4	2.4	6:26	4:51	9:42	11:00	15:51	16:08	中深層性プランクトンの分布と生態に関する研究
776	1994.12.2	研究	相模湾	相模トラフ	1449	1449	廣瀬	松本	白山 義久	東京大学海洋研究所	35° 00.50'N	139° 22.00'E	7	2.41	4:42	2:32	10:30	11:50	14:22	15:12	Sediment-Water Interfaceの構造と生物活性の観測
777	1994.12.6	研究	相模湾	初島南東沖	1172	1009	伊藤	大野	服部 陸男	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	7	3.21	6:16	4:39	9:32	10:27	15:06	15:48	冷水湧水環境の総合的な研究
778	1994.12.7	研究	相模湾	初島南東沖	1201	1201	廣瀬	松本	阿部 晃久	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.85	3:00	0:48	10:19	11:24	12:12	13:19	微生物培養缶の設置と回収
779	1994.12.8	研究	相模湾	初島南東沖	1198	1198	鈴木	小杉	服部 陸男	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.68	5:50	3:51	9:29	10:41	14:32	15:19	冷水湧水環境の総合的な研究
780	1994.12.10	研究	相模湾	初島南東沖	1181	1181	櫻井	大野	藤原 義弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.57	4:51	3:07	10:57	12:00	15:07	15:48	化学合成生物群集の生態学的研究
781	1994.12.11	研究	相模湾	初島南東沖	1188	1188	伊藤	大野	藤原 義弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.98	5:45	3:49	9:27	10:42	14:31	15:12	初島沖長期ステーション及び周辺生物の観察ならびに地震計確認
782	1995.5.11	沈降	横須賀港第３区	住重追浜沖	5		櫻井	伊藤	奥田 隆一	三菱重工	35° 19.10'N	139° 38.90'E	−	−	0:40		11:26			12:06	母船絶縁不良により試験途中にて浮上
783	1995.5.12	沈降	横須賀港第３区	住重追浜沖	5		櫻井	伊藤	奥田 隆一	三菱重工	35° 19.10'N	139° 38.90'E	−	−	0:51		10:44			11:35	
784	1995.5.13	試験	駿河湾	土肥沖	1503	1503	伊藤	大野	千葉 和宏	日本海洋事業	34° 57.00'N	138° 38.50'E	1	2.51	5:32	3:00	9:47	11:17	14:17	15:19	
785	1995.5.14	試験	駿河湾	松崎沖	1970	1970	廣瀬	松本	菅原 孝夫	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	3	1.97	4:49	2:04	10:42	12:18	14:22	15:31	懸濁物が非常に多く視程が悪かった
786	1995.5.15	試験	駿河湾	松崎沖	1973	1973	伊藤	大野	千葉 和宏	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	2	1.89	3:42	0:45	9:28	11:08	11:53	13:10	この潜航にてH6年度の試験潜航終了
787	1995.5.18	訓練	駿河湾	土肥沖	1519	1519	櫻井	松本	菅原 孝夫	日本海洋事業	34° 57.00'N	138° 38.50'E	1	2.43	5:18	3:05	9:33	10:54	13:59	14:51	海底より高度３０m程度まで濁りがあり視程が悪かった
788	1995.5.20	訓練	相模湾	初島南東沖	1247	1229	櫻井	伊藤	千葉 和宏	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 14.00'E	3	2.72	5:56	4:06	9:40	10:48	14:54	15:36	ベントス製トランスポンダの回収を行った
789	1995.5.21	訓練	相模湾	初島南東沖	1185	1185	廣瀬	大野	菅原 孝夫	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 14.00'E	6	2.85	5:31	3:40	9:47	10:57	14:37	15:18	ガイドラインが、かなり海底に埋まっていた
790	1995.5.22	訓練	相模湾	初島南東沖	1177	1167	櫻井	松本	和田 智明	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.94	2:18	0:20	10:31	11:44	12:04	12:49	海況不良のため途中浮上 バイオ缶１缶設置１缶回収
791	1995.5.23	訓練	相模湾	相模トラフ	1449	1449	廣瀬	伊藤	千葉 和宏	日本海洋事業	35° 00.50'N	139° 22.00'E	3	2.29	6:07	3:49	9:42	11:01	14:50	15:49	ステーション（OBBⅡ）脇の牛骨のそばに、新たに牛骨を設置した
792	1995.5.24	訓練	相模湾	初島南東沖	1195	1195	櫻井	大野	菅原 孝夫	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.71	5:10	3:19	9:34	10:38	13:57	14:44	94年度設置のバイオ缶１缶回収 海況不良のため途中浮上
793	1995.5.25	訓練	相模湾	初島南東沖	1238	1214	廣瀬	松本	千葉 和宏	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.77	3:26	1:24	9:30	10:41	12:05	12:56	海況不良のため途中浮上 ベントストラポンは、水深1222～1223mにてCTFMソーナー反応が良好に現れる
794	1995.5.26	訓練	相模湾	相模トラフ	1366	1354	櫻井	伊藤	菅原 孝夫	日本海洋事業	35° 00.50'N	139° 16.50'E	3	2.4	5:57	3:22	9:36	11:13	14:35	15:33	プロトン磁力計の回収及び設置を行った
795	1995.5.27	訓練	相模湾	初島南東沖	1234	1223	廣瀬	大野	千葉 和宏	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.67	5:47	3:51	9:42	10:52	14:43	15:29	伸大王ブイの周辺のコロニーが北側へ動いていた
796	1995.5.28	訓練	相模湾	初島南東沖	1182	1182	櫻井	松本	北川 憲彦	テレビ朝日	35° 00.00'N	139° 14.00'E	6	2.8	4:45	3:01	9:56	10:58	13:59	14:41	テレビ朝日が潜航しての取材潜航タコ、エゾイバラガニ、エイ等テレビ撮影
797	1995.6.23	研究	南西諸島	西表島北北東沖	1726	1726	伊藤	大野	渡辺 一樹	海上保安庁水路部	24° 51.00'N	124° 05.00'E	8	3.8	5:16	2:32	10:51	12:40	15:12	16:07	海底火山群の火山地形と火山岩の調査・研究
798	1995.6.25	研究	南西諸島	西表島北北東沖	1650	1650	廣瀬	伊藤	瀬田 英憲	海上保安庁水路部	24° 50.50'N	124° 07.50'E	9	3.78	5:49	3:40	10:22	11:50	15:30	16:11	海底火山群の火山地形と火山岩の調査・研究
799	1995.6.29	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1393	1384	伊藤	大野	大森 保	琉球大学	27° 32.80'N	126° 58.30'E	8	3.89	6:03	3:43	9:57	11:19	15:02	16:00	沖縄トラフ熱水性堆積物の生成・分布の地球学的研究
800	1995.6.30	研究	南西諸島	伊平屋凹地	670		櫻井	松本	石橋 純一郎	東京大学理学部	27° 33.00'N	126° 59.00'E	−	−	1:11		10:55			12:06	現場化学分析計による熱水フラックスの測定
801	1995.7.4	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1050		廣瀬	松本	本多 牧生	海洋科学技術センター	27° 32.80'N	126° 58.30'E	−	−	1:40		9:55			11:35	熱水噴出域における物質循環
802	1995.8.14	沈降	日本海	小樽沖	5		伊藤	大野	奥田 隆一	三菱重工	43° 12.00'N	141° 02.00'E	−	−	1:18		13:22			14:40	各機器整備後の作動試験
803	1995.8.16	研究	日本海	北海道 島牧沖	222	222	伊藤	松本	吉田 英雄	北海道立中央水産試験場	42° 46.70'N	140° 00.40'E	7	2.83	4:19	3:47	9:44	10:07	13:54	14:03	マダラの人工構造物への蝟集応答機構の解明
804	1995.8.18	研究	日本海	西津軽堆	81	96	櫻井	菅原	塩垣 優	青森県水産試験場	41° 08.50'N	140° 02.00'E	8	16.62	2:20	1:55	9:50	10:12	12:07	12:10	西津軽堆におけるソイ・メバル類の分布生態調査
805	1995.8.21	研究	日本海	奥尻海嶺	1996	1996	廣瀬	松本	倉本 真一	工業技術院地質調査所	41° 55.50'N	139° 24.00'E	7	0.12	6:16	3:25	9:49	11:41	15:06	16:05	日本海東縁における沈み込みテクトニクスの地質学研究
806	1995.8.22	研究	日本海	奥尻海嶺	1653	1653	櫻井	伊藤	倉本 真一	工業技術院地質調査所	42° 22.00'N	139° 34.00'E	7	0.11	6:08	4:04	9:48	11:12	15:16	15:56	日本海東縁における沈み込みテクトニクスの地質学研究
807	1995.8.23	研究	日本海	奥尻海嶺	1708	1699	廣瀬	大野	片尾 浩	京都大学防災研究所	41° 55.00'N	139° 25.00'E	7	0.11	5:44	3:18	9:59	11:29	14:47	15:43	奥尻海嶺における海底地震・地殻変動調査
808	1995.8.30	研究	日本海	粟島西方	606	563	櫻井	千葉	林 育男	日本海区水産研究所	38° 38.00'N	139° 00.00'E	6	0.33	5:35	4:21	9:51	10:40	15:01	15:26	ベニズワイの稚ガニ期における生息状況の解明
809	1995.9.1	研究	日本海	佐渡海嶺	825	825	伊藤	松本	巌谷 敏光	工業技術院地質調査所	39° 02.00'N	138° 55.00'E	7	0.26	5:27	4:02	9:49	10:49	14:51	15:16	佐渡海嶺のバライトノジュールの産状観察
810	1995.9.2	研究	日本海	秋田沖	1781	1781	廣瀬	大野	岡村 行信	工業技術院地質調査所	39° 34.00'N	138° 28.00'E	3	0.1	6:06	3:37	9:47	11:21	14:58	15:53	秋田沖の活断層の研究
811	1995.9.4	研究	日本海	佐渡島西方沖	1819	1819	櫻井	松本	岡村 行信	工業技術院地質調査所	38° 03.50'N	138° 03.00'E	7	0.12	6:33	4:04	9:37	11:14	15:18	16:10	佐渡島西方沖の活断層の研究
812	1995.9.9	研究	日本海	富山市沖	318	315	伊藤	大野	村上 恵佑	日本栽培漁業協会	36° 46.80'N	137° 18.00'E	2	1.39	5:21	4:31	10:13	10:49	15:20	15:34	富山湾におけるトヤマエビ親エビの放流後の行動生態観察
813	1995.9.10	研究	日本海	能登沖	1547	1455	櫻井	松本	満澤 巨彦	海洋科学技術センター	37° 28.00'N	137° 44.50'E	6	0.12	6:01	3:42	9:39	11:02	14:44	15:40	富山トラフにおいて深海域における流れと海底微地形に関する調査
814	1995.9.12	研究	日本海	富山市沖	270	266	廣瀬	伊藤	由藤 庸二郎	共同通信社	36° 46.80'N	137° 18.20'E	3	1.51	3:35	2:56	9:52	10:19	13:15	13:27	取材潜航
815	1995.10.1	沈降	横須賀港	第３区	5		伊藤	大野	福田 誠光	日本海洋事業	35° 19.10'N	139° 38.90'E	−	−	0:46		13:13			13:59	各機器整備後の作動確認
816	1995.10.2	研究	遠州灘	金州ノ瀬	363	363	櫻井	千葉	橋本 惇	海洋科学技術センター	34° 17.50'N	138° 15.00'E	8	6.25	3:25	2:29	11:00	11:38	14:07	14:25	化学合成生物群集の生態調査
817	1995.10.4	研究	遠州灘	金州ノ瀬	307	306	伊藤	松本	小島 茂明	東京大学海洋研究所	34° 17.50'N	138° 15.00'E	7	6.34	4:57	4:11	9:54	10:28	14:39	14:51	化学合成生物群集の生態調査・遺伝学的研究
818	1995.10.18	研究	駿河湾	松崎沖	1998	1996	廣瀬	千葉	満澤 巨彦	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	1	1.77	7:07	3:14	9:43	11:55	15:09	16:50	深海底境界内の物理現象に関する研究
819	1995.10.19	研究	駿河湾	松崎沖	1983	1983	櫻井	大野	阿部 文快	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.87	5:47	3:01	10:04	11:37	14:38	15:51	深海研究への蛍光顕微技術の導入及び微生物群集の解析
820	1995.10.26	研究	南西諸島	駒橋第二海山	1345	1345	伊藤	松本	西村 昭	工業技術院地質調査所	29° 52.50'N	133° 20.00'E	9	3.15	5:48	4:07	9:35	10:46	14:53	15:23	海山産マンガン団塊・マンガンクラストの地質学的研究
821	1995.11.6	研究	南海トラフ	第一天竜海丘南西	1120	1092	伊藤 一寿	大野 芳生	芦 寿一郎	東京大学理学部	34° 11.50'N	137° 46.00'E	7	3.03	5:54	4:07	9:40	10:45	14:52	15:34	南海トラフ付加体上部の活構造の研究
822	1995.11.7	研究	南海トラフ	第一天竜海丘南西	1238	1220	伊藤 一寿	大野 芳生	瀬川 爾朗	東京大学海洋研究所	34° 09.00'N	137° 43.00'E	7	2.94	5:33	3:40	9:31	10:38	14:18	15:04	東部南海トラフ付加体上部の断層分布と湧水の研究
823	1995.11.12	研究	南海トラフ	第二天竜海丘南西	1769	1768	伊藤 一寿	千葉 和宏	X.LPichon	パリ高等大学	33° 59.00'N	137° 40.00'E	6	2.05	5:37	3:11	10:20	11:47	14:58	15:57	KAIKO-TOKAI計画 沈み込み帯上部のテクトニクス

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
824	1995.11.13	研究	南海トラフ	第二天竜海丘南西	1970	1969	大野 芳生	松本 恵太	S.Lallemant	パリ高等大学	33° 59.50'N	137° 38.50'E	5	1.69	5:45	3:03	10:23	12:00	15:03	16:08	KAIKO-TOKAI計画　沈み込み帯上部のテクトニクス
825	1995.11.15	研究	駿河湾	土肥沖	1512	1490	伊藤 一寿	菅原 孝夫	斉藤　洋昭	中央水産研究所	34° 54.50'N	138° 39.50'E	4	2.53	5:34	2:38	10:43	12:34	15:12	16:17	深海無脊椎動物の脂質特性の解明
826	1995.11.16	研究	駿河湾	土肥沖	1528	1528	大野 芳生	松本 恵太	石原　賢司	中央水産研究所	34° 54.50'N	138° 39.50'E	5	2.35	4:58	2:51	9:49	11:06	13:57	14:47	深海二枚貝スルガシロウリガイの脂質特性の解明
827	1995.11.17	訓練	駿河湾	土肥沖	1546	1544	大野 芳生	千葉 和宏	菅原　孝夫	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	6	2.37	4:44	2:25	9:30	10:49	13:14	14:14	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上の為の訓練
828	1995.11.22	研究	相模湾	初島南東沖	1167	1158	伊藤 一寿	大野 芳生	橋本　惇	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	7	2.6	5:40	3:54	9:33	10:33	14:27	15:13	相模湾初島南東沖シロウリガイ群衆の生態調査
829	1995.11.23	研究	相模湾	初島南東沖	1180	1180	伊藤 一寿	千葉 和宏	Jim Barry	モンテレー湾水族館	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.62	5:27	3:39	10:12	11:10	14:49	15:39	相模湾初島南東沖シロウリガイ群衆の生態調査
830	1995.11.24	研究	相模湾	初島南東沖	1180	1180	大野 芳生	松本 恵太	R Kochevar	モンテレー湾水族館	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.77	2:51	1:05	9:36	10:37	11:42	12:27	相模湾初島南東沖シロウリガイ群衆の生態調査
831	1995.11.25	研究	相模湾	初島南東沖	1204	1170	伊藤 一寿	菅原 孝夫	藤原　義弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.75	6:20	4:01	9:43	11:13	15:14	16:03	化学合成生物群集の生態学、分子生物学的研究
832	1995.11.26	研究	相模湾	初島南東沖	1195	1195	大野 芳生	千葉 和宏	藤原　義弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.74	5:40	3:43	10:26	11:31	15:14	16:06	化学合成生物群集の生態学、分子生物学的研究
833	1995.11.27	研究	相模湾	初島南東沖	1188	1131	伊藤 一寿	菅原 孝夫	服部　陸男	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.82	5:50	3:40	9:36	10:57	14:37	15:26	相模湾初島南東沖の地質学的研究
834	1995.11.30	研究	相模湾	初島南東沖	1175	1140	大野 芳生	松本 恵太	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	7	2.79	5:42	3:25	9:31	10:54	14:19	15:13	初島南東沖長期観測ステーションのCTD及び地震計キャリブレーション
835	1995.12.1	研究	相模湾	初島南東沖	1215	1136	伊藤 一寿	千葉 和宏	宮崎　貴央	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.84	6:13	3:39	9:43	11:25	15:04	15:56	深海研究への蛍光顕微技術の導入及び微生物群集の解析
836	1995.12.2	研究	相模湾	相模トラフ	1368	1353	大野 芳生	松本 恵太	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 00.50'N	139° 17.00'E	5	2.54	5:14	3:05	10:31	11:53	14:58	15:45	相模湾における地磁気経年変化の研究
837	1995.12.3	研究	相模湾	相模トラフ	1373	1368	伊藤 一寿	菅原 孝夫	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 17.50'E	5	2.56	3:59	1:24	9:34	11:12	12:36	13:33	相模湾における地磁気経年変化の研究
838	1995.12.6	研究	相模湾	初島南東沖	1180	1149	大野 芳生	千葉 和宏	増澤　敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.79	6:49	4:56	9:47	10:47	15:43	16:36	相模湾シロウリガイ群集冷湧水の地球科学的研究
839	1995.12.7	研究	相模湾	初島南東沖	1193	1165	伊藤 一寿	菅原 孝夫	石橋　純一郎	東京大学理学部	35° 00.00'N	139° 13.50'E	7	2.85	5:15	2:53	11:02	12:39	15:32	16:17	相模湾湧水の起源に関する地球科学的研究
840	1995.12.8	研究	相模湾	相模トラフ	1446	1445	大野 芳生	松本 恵太	北里　洋	静岡大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	5	2.37	6:01	3:31	9:38	11:13	14:44	15:39	Sediment-Water Interfaceの構造と生物活性の観察と実験
841	1995.12.9	研究	相模湾	相模トラフ	1449	1447	伊藤 一寿	千葉 和宏	大塚　攻	広島大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	4	2.31	6:06	1:06	9:41	12:08	13:14	15:47	中深層性プランクトンの分布と生態に関する研究
842	1995.12.10	訓練	相模湾	初島南東沖	1188	1177	大野 芳生	菅原 孝夫	千葉　和宏	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.77	5:34	3:54	10:28	11:31	15:25	16:02	潜航士養成及び潜水船オペレーションの熟練度向上のための訓練
843	1996.3.22	沈降	横須賀第4区	センター沖	-	-	伊藤 一寿	大野 芳生	上原　篤	三菱重工	35° 19.50'N	139° 40.30'E	-	-	1:22		10:58			12:20	
844	1996.3.24	試験	駿河湾	土肥沖	1268	1268	伊藤 一寿	千葉 和宏	櫻井　利明	日本海洋事業	35° 02.00'N	138° 39.00'E	4	2.96	4:01	1:21	9:55	11:47	13:08	13:56	海上試験実施要領に基ずいた作動確認
845	1996.3.25	試験	駿河湾	土肥沖	1234	1229	大野 芳生	菅原 孝夫	櫻井　利明	日本海洋事業	35° 02.00'N	138° 39.00'E	5	3.04	3:56	1:16	9:54	11:47	13:03	13:50	各機器作動試験
846	1996.3.26	試験	駿河湾	松崎沖	1973	1973	大野 芳生	千葉 和宏	櫻井　利明	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	4	2.01	4:30	0:45	9:50	12:15	13:00	14:20	海上試験実施要領に基ずいた作動確認
847	1996.3.27	試験	駿河湾	松崎沖	1964	1964	伊藤 一寿	松本 恵太	櫻井　利明	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	4	2.04	4:36	1:03	9:43	12:05	13:08	14:19	海上試験実施要領に基ずいた作動確認
848	1996.4.1	訓練	相模湾	初島南東沖	1192	1190	大野 芳生	菅原 孝夫	三浦　豊司	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.68	5:35	3:31	9:53	11:13	14:44	15:28	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練
849	1996.4.2	訓練	相模湾	初島南東沖	1190	1190	伊藤 一寿	千葉 和宏	光藤　数也	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.92	5:37	3:48	9:45	10:53	14:41	15:22	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練
850	1996.4.3	訓練	相模湾	三崎南西沖	731	720	大野 芳生	松本 恵太	三浦　豊司	日本海洋事業	35° 05.50'N	139° 31.50'E	3	4.44	5:27	3:58	10:04	11:04	15:02	15:31	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練及び海底における船体付きトランスポンダに対する雑音計測
851	1996.4.4	訓練	相模湾	三崎南西沖	731	722	伊藤 一寿	菅原 孝夫	光藤　数也	日本海洋事業	35° 05.50'N	139° 31.50'E	2	4.24	4:44	3:29	10:17	11:05	14:34	15:01	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練及び海底における船体付きトランスポンダに対する雑音計測
852	1996.4.5	訓練	駿河湾	土肥沖	1275	1200	大野 芳生	千葉 和宏	三浦　豊司	日本海洋事業	35° 02.00'N	138° 39.00'E	3	2.94	5:00	2:54	9:47	11:08	14:02	14:47	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練及び音響による誘導訓練
853	1996.4.7	訓練	駿河湾	松崎沖	1990	1986	伊藤 一寿	松本 恵太	光藤　数也	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	3	1.99	4:09	1:15	10:36	12:17	13:32	14:45	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練
854	1996.4.8	訓練	駿河湾	松崎沖	1965	1965	大野 芳生	菅原 孝夫	三浦　豊司	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.50'E	3	2	5:16	2:31	9:40	11:22	13:53	14:56	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練
855	1996.4.9	訓練	駿河湾	松崎沖	1963	1963	伊藤 一寿	千葉 和宏	光藤　数也	日本海洋事業	34° 43.30'N	138° 35.20'E	0.5	2.01	4:52	2:01	9:13	10:52	12:53	14:05	運航技術の習得と機器操作の慣熟訓練
856	1996.4.23	研究	南西諸島	鬼界カルデラ	526	499	伊藤 一寿	千葉 和宏	中村　光一	工業技術院地質調査所	30° 47.00'N	130° 24.00'E	5	10.64	5:51	4:59	9:43	10:23	15:22	15:34	北部沖縄トラフの火山性、構造性海底湧水活動の調査研究
857	1996.4.29	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1055	1035	伊藤 一寿	松本 恵太	千葉　仁	九州大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.07	6:00	4:19	9:46	10:44	15:03	15:46	伊平屋海底熱水系の地球化学的研究
858	1996.4.30	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1397	1396	大野 芳生	菅原 孝夫	上野　宏共	鹿児島大学	27° 32.80'N	126° 58.30'E	8	3.82	5:28	2:58	10:30	12:08	15:06	15:58	海底熱水鉱床構成鉱物の化学組成と熱水捕獲流体含有物中の二酸化炭素量の研究
859	1996.5.1	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1060	1048	伊藤 一寿	千葉 和宏	大森　保	琉球大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	8	4.04	5:50	4:11	9:45	10:39	14:50	15:35	沖縄トラフにおける海底鉱床の分布と生成年代の地球化学
860	1996.5.2	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1394	1394	大野 芳生	松本 恵太	石橋　純一郎	東京大学理学部	27° 32.80'N	126° 58.30'E	6	3.86	5:46	3:37	9:56	11:12	14:49	15:42	伊平屋海底熱水系の地球化学的研究
861	1996.5.3	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1016	985	伊藤 一寿	菅原 孝夫	上野　宏共	鹿児島大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	4	4.28	5:23	3:43	10:24	11:23	15:06	15:47	海底熱水鉱床構成鉱物の化学組成と熱水捕獲流体含有物中の二酸化炭素量の研究
862	1996.5.6	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1394	1394	大野 芳生	千葉 和宏	加藤　千明	海洋科学技術センター	27° 32.80'N	126° 58.30'E	5	3.86	5:10	2:49	11:27	12:47	15:36	16:37	新規な超好熱性古細菌の分離及び嫌気性単細胞生物の探索
863	1996.5.7	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1055	1045	伊藤 一寿	松本 恵太	藤原　義弘	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.07	5:03	3:05	9:23	10:19	13:24	14:26	化学合成生物群集の生態学、分子生物学的研究
864	1996.5.10	研究	南西諸島	伊平屋海嶺	1055	1029	大野 芳生	菅原 孝夫	藤原　義弘	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	6	4.13	6:16	4:31	9:52	10:56	15:27	16:08	化学合成生物群集の生態学、分子生物学的研究
865	1996.5.13	研究	南西諸島	西表島北北東沖	1860	1860	大野 芳生	松本 恵太	渡辺　一樹	海上保安庁水路部	24° 46.00'N	123° 56.50'E	5	3.71	5:52	3:13	9:44	11:21	14:34	15:36	西表島北北東沖海底火山群の火山地形と火山岩の調査・研究
866	1996.5.14	研究	南西諸島	西表島北北東沖	1861	1861	千葉 和宏	伊藤 一寿	渡辺　一樹	海上保安庁水路部	24° 46.00'N	123° 59.00'E	6	3.71	5:51	3:21	9:44	11:13	14:34	15:35	西表島北北東沖海底火山群の火山地形と火山岩の調査・研究
867	1996.5.24	研究	南西諸島	徳之島南方沖	216	216	伊藤 一寿	松本 恵太	藤岡　義三	南西海区水産研究所	27° 36.00'N	128° 55.00'E	8	20.1	5:11	4:43	9:40	10:02	14:45	14:51	深海性刺胞動物の生態観察
868	1996.5.27	研究	南西諸島	駒橋第２海山	1260	1256	大野 芳生	菅原 孝夫	臼井　朗	工業技術院地質調査所	29° 52.50'N	133° 19.00'E	8	3.33	5:50	3:49	9:45	11:03	14:52	15:35	海山産マンガン団塊・マンガンクラフトの地質学的研究
869	1996.6.10	研究	駿河湾	土肥沖	1532	1532	伊藤 一寿	千葉 和宏	藤倉　克則	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	138° 39.50'E	4	2.48	6:02	2:14	9:36	10:55	13:09	15:38	駿河湾土肥沖の化学合成生物群集に関する生態学的研究
870	1996.6.11	研究	駿河湾	富士川沖	1162	1151	大野 芳生	松本 恵太	小松　徹史	海洋科学技術センター	35° 02.50'N	138° 37.50'E	4	3.09	5:47	3:55	9:23	10:25	14:20	15:10	新規溶媒耐性難分解性物質分解細菌の探索
871	1996.6.12	研究	駿河湾	土肥沖	1521	1521	伊藤 一寿	菅原 孝夫	藤倉　克則	海洋科学技術センター	34° 54.50'N	138° 39.50'E	1	2.55	5:28	1:59	9:42	11:02	13:01	15:10	駿河湾土肥沖の化学合成生物群集に関する生態学的研究
872	1996.6.13	研究	相模湾	初島南東沖	1196	1196	千葉 和宏	大野 芳生	服部　陸男	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.76	5:47	3:58	9:36	10:44	14:42	15:23	相模湾、初島南東沖の地質学的研究
873	1996.6.14	研究	相模湾	相模トラフ	1441	1441	伊藤 一寿	三浦 豊司	戸田　龍樹	創価大学	35° 00.00'N	139° 22.00'E	1	2.43	5:53	1:21	9:45	13:26	14:47	15:38	中深層水プランクトンの分布と生態に関する研究
874	1996.6.15	研究	相模湾	相模トラフ	1445	1441	大野 芳生	松本 恵太	北里　洋	静岡大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	3	2.31	6:04	4:00	9:37	10:47	14:47	15:41	海底表層部の構造と生物活性の観測の実験

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
875	1996.6.24	研究	日本海	渡島大島沖	1932	1932	伊藤 一寿	菅原 孝夫	加藤 幸弘	海上保安庁水路部	41° 38.50'N	139° 20.00'E	4	0.11	5:56	3:08	9:34	11:17	14:25	15:30	渡島大島、山体崩壊堆積物に関する研究
876	1996.6.26	研究	日本海	秋田沖	916	915	千葉 和宏	大野 芳生	池原 研	工業技術院地質調査所	39° 26.00'N	139° 08.00'E	6	0.17	5:36	4:23	9:33	10:23	14:46	15:09	秋田沖の活断層の研究
877	1996.6.28	研究	日本海	佐渡海嶺	823	820	伊藤 一寿	光藤 数也	巌谷 敏光	工業技術院地質調査所	39° 02.00'N	138° 54.00'E	3	0.33	4:37	3:30	9:48	10:38	14:08	14:25	佐渡海嶺のバライトニジュールの産状観察
878	1996.7.4	研究	日本海	富山市沖	347	345	大野 芳生	菅原 孝夫	大津 順	富山県水産試験場	36° 48.00'N	137° 13.00'E	4	1.03	5:45	4:57	9:41	10:16	15:13	15:26	富山湾におけるトヤマエビ雌エビの分布生態について
879	1996.7.5	研究	日本海	富山市沖	346	322	伊藤 一寿	松本 恵太	二階堂 英城	日本栽培漁業協会	36° 48.00'N	137° 13.00'E	3	1.11	5:36	4:50	9:34	10:08	14:58	15:10	富山湾におけるトヤマエビ雌エビの分布生態について
880	1996.7.6	研究	日本海	富山湾	985	979	大野 芳生	千葉 和宏	武野 泰之	富山県水産試験場	37° 00.00'N	137° 17.00'E	1	0.17	5:47	3:53	9:38	10:53	14:46	15:25	富山湾におけるベニズワイ雌の分布密度調査
881	1996.7.15	研究	三陸	金華山沖	168	163	松本 恵太	伊藤 一寿	児玉 純一	宮城県水産研究開発センター	38° 29.50'N	141° 48.00'E	4	7.14	5:07	3:51	10:14	11:01	14:52	15:21	ツノナシオキアミの資源生態調査
882	1996.7.16	研究	三陸	金華山沖	171	171	大野 芳生	菅原 孝夫	柴久喜 光朗	宮城県水産研究開発センター	38° 29.00'N	141° 48.50'E	5	8.21	5:20	3:24	9:45	10:40	14:04	15:05	ツノナシオキアミの資源生態調査
883	1996.7.17	研究	三陸	釜石沖	364	363	伊藤 一寿	光藤 数也	藤田 敏彦	国立科学博物館	39° 18.50'N	142° 11.00'E	3	2.62	5:57	5:08	9:32	10:07	15:15	15:29	キタクシノハクモヒトデの高密度ベッドの生態学的研究
884	1996.8.3	研究	伊豆諸島	万治海山	1671	1671	伊藤 一寿	千葉 和宏	石塚 治	工業技術院地質調査所	31° 53.50'N	138° 56.50'E	15	2.2	5:55	3:33	9:36	11:04	14:37	15:31	背弧海山列（西七島海嶺）における火成活動及び熱水活動に関する研究
885	1996.8.6	研究	小笠原諸島	天保海山	1491	1489	大野 芳生	松本 恵太	井上 明	海洋科学技術センター	27° 08.00'N	139° 38.00'E	15	2.15	5:48	3:31	9:59	11:18	14:49	15:47	新規金属化合物分解微生物の探索
886	1996.8.15	研究	小笠原諸島	海形海山	499	499	大野 芳生	松本 恵太	海宝 由佳	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 04.70'E	7	12.5	5:53	4:51	9:53	10:34	15:25	15:46	海形海山のマグマと熱水活動に関する地震学的研究
887	1996.8.16	研究	小笠原諸島	海形海山	516	516	伊藤 一寿	三浦 豊司	橋本 惇	海洋科学技術センター	26° 42.30'N	141° 04.70'E	10	11.46	6:01	4:05	9:36	10:16	14:21	15:37	海形海山における熱水噴出孔生物群集の生態調査
888	1996.8.17	訓練	小笠原諸島	海形海山	801	801	大野 芳生	菅原 孝夫	光藤 数也	日本海洋事業	26° 42.30'N	141° 04.70'E	4	8.06	5:05	3:34	10:30	11:41	15:15	15:35	運航技術の習得と機器操作の習熟訓練
889	1996.8.18	研究	小笠原諸島	水曜海山	1374	1371	伊藤 一寿	松本 恵太	橋本 惇	海洋科学技術センター	28° 34.00'N	140° 39.00'E	6	3.51	6:11	2:25	9:37	11:11	13:36	15:48	水曜海山における熱水噴出孔生物群集の生態調査
890	1996.8.19	研究	小笠原諸島	水曜海山	1382	1340	千葉 和宏	大野 芳生	海宝 由佳	海洋科学技術センター	28° 34.00'N	140° 39.00'E	10	3.13	6:07	4:03	9:39	10:47	14:50	15:46	水曜海山のマグマと熱水活動に関する地震学的研究
891	1996.8.20	研究	小笠原諸島	水曜海山	1382	1353	大野 芳生	菅原 孝夫	長沼 毅	広島大学	28° 34.00'N	140° 39.00'E	6	3.16	6:04	3:47	9:34	10:51	14:38	15:38	熱水自動採水装置の開発及び熱水微生物の生理生態学的研究
892	1996.8.23	研究	伊豆諸島	明神海丘	1399	1399	伊藤 一寿	菅原 孝夫	仲 二郎	海洋科学技術センター	32° 07.00'N	139° 50.00'E	5	4.43	5:52	4:07	9:42	10:55	15:02	15:34	明神海丘海底火山における海底火山地質の研究
893	1996.8.24	研究	伊豆諸島	明神海丘	1172	1172	大野 芳生	千葉 和宏	R.S.Fiske	スミソニアン博物館	32° 05.50'N	139° 52.00'E	6	4.44	5:39	4:14	9:34	10:36	14:50	15:13	明神海丘海底火山における海底火山地質の研究
894	1996.8.27	研究	伊豆諸島	明神海丘	1397	1397	伊藤 一寿	光藤 数也	飯笹 幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.00'N	139° 52.00'E	6	4.42	3:12	0:58	9:28	10:52	11:50	12:40	烏弧海底における酸性火山活動及び熱水活動に関する研究
895	1996.8.28	研究	伊豆諸島	明神海丘	1399	1398	大野 芳生	千葉 和宏	湯浅 真人	工業技術院地質調査所	32° 07.50'N	139° 49.50'E	6	4.43	5:55	4:07	9:31	10:44	14:51	15:26	烏弧海底における酸性火山活動及び熱水活動に関する研究
896	1996.8.29	研究	伊豆諸島	明神海丘	1397	1397	伊藤 一寿	菅原 孝夫	飯笹 幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.50'N	139° 52.00'E	6	4.41	6:11	4:07	10:03	11:11	15:18	16:14	烏弧海底における酸性火山活動及び熱水活動に関する研究
897	1996.9.16	研究	南海トラフ	竜洋海底谷	1120	1118	伊藤 一寿	千葉 和宏	藤倉 克則	海洋科学技術センター	34° 11.50'N	137° 45.50'E	6	3.03	5:50	3:24	9:32	10:30	13:54	15:22	化学合成生物群集の群集生態学的研究
898	1996.9.17	研究	南海トラフ	竜洋海底谷	1101	1098	大野 芳生	松本 恵太	藤倉 克則	海洋科学技術センター	34° 12.00'N	137° 46.00'E	3	2.87	5:25	3:06	9:44	10:55	14:01	15:09	化学合成生物群集の群生生態学的研究
899	1996.9.19	研究	南海トラフ	金洲ノ瀬西方	1250	1249	伊藤 一寿	菅原 孝夫	斎藤 洋昭	中央水産研究所	34° 15.00'N	138° 02.00'E	5	2.97	6:11	4:20	9:32	10:42	15:02	15:43	遠州灘新種シロウリガイの脂質成分の研究
900	1996.9.20	研究	南海トラフ	金洲ノ瀬	331	331	千葉 和宏	大野 芳生	村田 昌一	中央水産研究所	34° 17.50'N	138° 15.00'E	10	7.04	4:37	3:52	9:19	9:51	13:43	13:56	オオツキガイモドキなどの軟体動物の脂質成分の研究
901	1996.9.24	研究	南海トラフ	北部天竜海底谷	1247	1247	大野 芳生	菅原 孝夫	小林 和男	海洋科学技術センター	34° 21.00'N	137° 42.50'E	3	2.84	6:11	4:22	9:30	10:36	14:58	15:41	南海トラフのテクトニクス（KAIKO-TOKAI計画）
902	1996.9.25	研究	南海トラフ	金洲ノ瀬南西方	1761	1761	伊藤 一寿	千葉 和宏	服部 陸男	海洋科学技術センター	34° 12.50'N	138° 09.00'E	7	2.15	5:52	3:22	9:31	11:00	14:22	15:23	KAIKO-TOKAI計画による金洲ノ瀬西方の地質学的研究
903	1996.9.26	研究	南海トラフ	竜洋海底谷	1103	1087	大野 芳生	松本 恵太	蒲生 俊敬	東京大学海洋研究所	34° 12.00'N	137° 46.00'E	4	2.88	6:11	4:22	9:30	10:27	14:49	15:41	南海トラフ付加体上部からの冷湧水の化学的性質とフラックスの解明
904	1996.9.27	研究	南海トラフ	竜洋海底谷	1093	1087	伊藤 一寿	三浦 豊司	芦 寿一郎	東京大学理学部	34° 12.00'N	137° 46.00'E	5	2.89	5:18	3:35	9:36	10:34	14:09	14:54	南海トラフ付加体の活構造研究
905	1996.10.3	研究	相模湾	初島南東沖	1208	1208	大野 芳生	千葉 和宏	James Hunt	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.6	5:18	1:34	10:11	11:15	12:49	15:29	相模湾シロウリガイ群集直上及び中層に生息する生物の行動生態学的調査
906	1996.10.4	研究	相模湾	熱川沖	1006	1003	伊藤 一寿	三浦 豊司	坂本 泉	海洋科学技術センター	34° 51.00'N	139° 12.50'E	6	3.06	6:03	4:18	9:28	10:27	14:45	15:31	相模湾西部、伊豆熱川沖の海底溶岩流の流動様式研究
907	1996.10.5	研究	相模湾	相模トラフ	1366	1365	大野 芳生	松本 恵太	小泉 金一郎	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 17.00'E	5	2.3	4:28	2:28	10:49	11:57	14:25	15:17	相模湾海底ステーション上における地磁気絶対測定
908	1996.10.6	研究	相模湾	初島南東沖	1194	1180	伊藤 一寿	光藤 数也	増澤 敏行	名古屋大学水圏科学研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.75	6:00	4:10	9:30	10:32	14:42	15:30	相模湾シロウリガイ群集冷湧水の地球科学的研究
909	1996.10.29	研究	マヌス海盆		デスモス	1966	1923	伊藤 一寿	松本 恵太	西村 清和	工業技術院地質調査所	3° 41.50'S	151° 52.00'E	5	2.9	7:27	3:16	10:23	13:02	16:18	17:50	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
910	1996.10.31	研究	マヌス海盆		デスモス	1926	1896	大野 芳生	千葉 和宏	J.M.Auzende	IFREMER	3° 41.50'S	151° 52.00'E	7	2.9	5:58	3:12	9:25	10:58	14:10	15:23	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
911	1996.11.1	研究	マヌス海盆		バックマヌス	1654	1654	伊藤 一寿	松本 恵太	橋本 惇	海洋科学技術センター	3° 43.50'S	151° 40.50'E	5	3.42	6:19	2:30	9:31	12:07	14:37	15:50	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
912	1996.11.2	研究	マヌス海盆		バックマヌス	1715	1715	大野 芳生	千葉 和宏	A.Fiala	パリ大学	3° 43.50'S	151° 40.50'E	7	2.93	6:06	3:35	9:50	11:14	14:49	15:56	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
913	1996.11.3	研究	マヌス海盆		バックマヌス	1651	1627	伊藤 一寿	光藤 数也	三浦 知之	鹿児島大学	3° 43.50'S	151° 40.50'E	7	2.91	6:22	1:41	9:23	12:58	14:39	15:45	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
914	1996.11.4	研究	マヌス海盆		バックマヌス	1651	1625	千葉 和宏	大野 芳生	小島 茂明	東京大学海洋研究所	3° 43.50'S	151° 40.50'E	5	3.21	3:58	0:39	9:22	11:37	12:16	13:20	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
915	1996.11.14	試験	マヌス海盆		マヌス海盆	1057	1057	伊藤 一寿	大野 芳生	千葉 和宏	日本海洋事業	3° 08.00'S	150° 43.00'E	10	4.06	3:25	1:36	8:20	9:26	11:02	11:45	推進操縦装置の作動確認
916	1996.11.18	研究	マヌス海盆		デスモス	1928	1917	伊藤 一寿	松本 恵太	太田 秀	東京大学海洋研究所	3° 41.50'S	151° 52.00'E	8	2.9	6:19	3:23	9:25	11:00	14:23	15:44	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
917	1996.11.19	研究	マヌス海盆		デスモス	1924	1852	大野 芳生	千葉 和宏	Kaul Gena	秋田大学	3° 41.50'S	151° 52.00'E	6	2.89	6:18	3:04	9:39	11:31	14:35	15:57	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
918	1996.11.20	研究	マヌス海盆		デスモス	1921	1902	伊藤 一寿	松本 恵太	菊池 知彦	横浜国立大学	3° 41.50'S	151° 52.00'E	5	3.24	6:27	2:41	9:23	11:42	14:23	15:50	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
919	1996.11.21	研究	マヌス海盆		デスモス	1971	1924	大野 芳生	千葉 和宏	J.L.Birrien	CNRS	3° 41.50'S	151° 52.00'E	6	2.9	6:56	4:04	9:26	10:53	14:57	16:22	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
920	1996.11.22	研究	マヌス海盆		バックマヌス	1689	1673	伊藤 一寿	松本 恵太	仲 二郎	海洋科学技術センター	3° 43.00'S	151° 41.00'E	8	2.91	6:04	3:02	9:48	11:39	14:41	15:52	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
921	1996.11.24	研究	マヌス海盆	デスモス	1925	1896	大野 芳生	千葉 和宏	藤原 義弘	海洋科学技術センター	3° 41.50'S	151° 52.00'E	7	2.9	6:13	3:24	9:24	10:54	14:18	15:37	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
922	1996.11.25	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1714	1653	伊藤 一寿	光藤 数也	藤原 義弘	海洋科学技術センター	3° 43.50'S	151° 40.50'E	6	3.05	6:30	3:09	9:21	11:29	14:38	15:51	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
923	1996.11.26	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1732	1662	大野 芳生	千葉 和宏	菊池 知彦	横浜国立大学	3° 43.50'S	151° 40.50'E	7	2.88	6:19	3:39	9:27	10:50	14:29	15:46	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的特徴の解明（BIOACCESS Cruise）
924	1996.11.27	研究	マヌス海盆	デスモス	1918	1906	伊藤 一寿	光藤 数也	太田 秀	東京大学海洋研究所	3° 41.50'S	151° 52.00'E	7	2.9	6:11	3:18	9:22	10:54	14:12	15:33	熱水噴出孔生物群集の分布及び生物学的、地質学的
925	1997.3.25	沈降	横須賀第３区	センター沖	2	-	伊藤 一寿	大野 芳生	上原 篤	三菱重工	35° 18.90'N	139° 40.28'E	−	−	1:25		10:20			11:45	特徴の解明（BIOACCESS Cruise）各機器作動試験
926	1997.3.27	試験	駿河湾	土肥沖	1016	-	伊藤	松本	植木 博文	日本海洋事業	35° 02.00'N	138° 39.00'E	−	−	1:23		9:28			10:51	各機器作動確認
927	1997.3.29	試験	駿河湾	土肥沖	1253	1240	大野	千葉	植木 博文	日本海洋事業	35° 02.00'N	138° 39.00'E	2	2.7	5:26	3:23	9:28	10:49	14:12	14:54	各機器作動試験
928	1997.4.2	訓練	駿河湾	松崎沖	1971	1971	伊藤	光藤	松本 恵太	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	2	1.91	6:19	3:28	9:32	11:09	14:37	15:51	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
929	1997.4.3	訓練	駿河湾	松崎沖	1967	1836	千葉	大野	三浦 豊司	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	2	1.98	5:12	1:13	9:28	12:16	13:29	14:40	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
930	1997.4.4	訓練	駿河湾	土肥沖	1269	1267	松本	光藤	伊藤 一寿	日本海洋事業	35° 02.00'N	138° 39.00'E	2	2.91	5:29	3:35	9:25	10:35	14:10	14:54	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
931	1997.4.8	訓練	南西諸島	駒橋第２海山	1395	1395	千葉	三浦	大野 芳生	日本海洋事業	29° 52.50'N	133° 20.00'E	10	2.69	6:09	4:27	9:24	10:34	15:01	15:33	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
932	1997.4.9	訓練	南西諸島	駒橋第２海山	1042	1025	松本	光藤	伊藤 一寿	日本海洋事業	29° 52.50'N	133° 20.00'E	8	3.87	4:06	2:35	9:29	10:23	12:58	13:35	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
933	1997.4.10	訓練	南西諸島	駒橋第２海山	1375	1375	千葉	三浦	大野 芳生	日本海洋事業	29° 52.50'N	133° 20.00'E	8	2.87	6:00	4:03	9:25	10:40	14:43	15:25	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
934	1997.4.14	訓練	南海トラフ	北部天竜海底谷	1241	1241	松本	光藤	植木 博文	日本海洋事業	34° 21.00'N	137° 42.00'E	3	2.18	6:11	4:10	9:26	10:31	14:41	15:37	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
935	1997.4.15	訓練	南海トラフ	北部天竜海底谷	1250	1250	千葉	植木	伊藤 一寿	日本海洋事業	34° 21.00'N	137° 42.00'E	2	2.9	6:17	3:48	9:33	10:43	14:31	15:50	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
936	1997.4.16	訓練	南海トラフ	金洲ノ瀬南西方	1767	1767	伊藤	光藤	千場 静夫	海洋科学技術センター	34° 12.00'N	138° 09.00'E	4	2.36	3:32	0:42	9:55	11:30	12:12	13:27	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
937	1997.5.12	沈降	横須賀第３区	センター沖	3	-	大野 芳生	千葉 和宏	伊藤 一寿	日本海洋事業	35° 18.85'N	139° 39.87'E	−	−	2:40		11:23			14:03	各機器作動試験
938	1997.5.13	試験	駿河湾	松崎沖	1973	1973	伊藤 一寿	大野 芳生	千葉 和宏	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	5	2.06	3:55	1:07	9:29	11:06	12:13	13:24	各機器の作動確認
939	1997.5.14	研究	相模湾	初島南東沖	1206	1206	伊藤 一寿	三浦 豊司	小泉 金一郎	東京大学海洋研究所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	2	2.65	6:15	4:27	9:38	10:42	15:09	15:53	海底湧水流量の実測による海底における水循環の解明
940	1997.5.15	研究	相模湾	初島南東沖	1215	1215	大野 芳生	光藤 数也	小川 勇二郎	筑波大学	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.7	6:19	4:29	9:34	10:42	15:11	15:53	相模湾西部の断層系シロウリガイの分布に関する研究
941	1997.5.16	研究	相模湾	初島南東沖	1192	1190	千葉 和宏	松本 恵太	藤原 義弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.69	6:04	4:14	10:33	11:37	15:51	16:37	化学合成生物群集の生態学的・分子生物学的研究
942	1997.5.18	研究	相模湾	初島南東沖	1195	1195	伊藤 一寿	三浦 豊司	岩瀬 良一	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.79	6:06	4:17	9:21	10:24	14:41	15:27	相模湾初島沖長期観測ステーションのCTD・地震計のキャリブレーション及び計測
943	1997.5.19	研究	相模湾	相模トラフ	1449	1449	大野 芳生	光藤 数也	久保田 信	京都大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	3	2.45	5:42	0:42	9:55	12:44	13:26	15:37	中深層性プランクトンの分布と生態に関する研究
944	1997.5.20	研究	相模湾	相模トラフ	1452	1448	千葉 和宏	松本 恵太	北里 洋	静岡大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	2.5	2.43	6:14	4:03	9:28	10:40	14:43	15:42	Sediment-Water Interfaceの構造と生物活性の観測と実験
945	1997.5.21	研究	相模湾	相模トラフ	1450	1450	伊藤 一寿	三浦 豊司	James Hunt	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 22.00'E	2.5	2.37	6:49	0:03	9:39	14:18	14:21	16:28	中深層生物の行動生態学的調査
946	1997.6.2	研究	伊豆諸島	須美寿カルデラ	961	954	伊藤 一寿	三浦 豊司	岩淵 洋	海上保安庁水路部	31° 28.50'N	140° 01.00'E	8	10.95	5:22	4:05	9:19	10:13	14:18	14:41	須美寿カルデラの地形・地質に関する調査研究
947	1997.6.6	研究	小笠原諸島	水曜海山	1381	1348	大野 芳生	光藤 数也	D.Roberts	海洋科学技術センター	28° 34.00'N	140° 39.00'E	7	3.24	5:22	3:05	9:31	10:53	13:58	14:53	親規な超好熱性放細菌の分離及び嫌気性単細胞生物の探索
948	1997.6.7	研究	小笠原諸島	水曜海山	1384	1349	千葉 和宏	松本 恵太	牧 陽之助	岩手大学	28° 34.00'N	140° 39.00'E	10	3.21	5:22	3:18	11:08	12:15	15:33	16:30	硫黄同位体による湧水生物群集の食物連鎖に関する研究
949	1997.6.8	研究	小笠原諸島	水曜海山	1381	1363	伊藤 一寿	三浦 豊司	小林 英城	海洋科学技術センター	28° 34.00'N	140° 39.00'E	10	3.17	6:02	3:46	9:35	10:48	14:34	15:37	現場培養による深海微生物の分離及びチムニー岩石中からの微生物の分離
950	1997.6.9	研究	小笠原諸島	水曜海山	1378	1334	大野 芳生	光藤 数也	D.Lindsay	海洋科学技術センター	28° 34.00'N	140° 38.80'E	8	3.17	6:44	1:11	9:38	12:47	13:58	16:22	中層に生息する生物の行動生態学的調査
951	1997.6.18	研究	伊豆諸島	明神海丘	1231	1231	伊藤 一寿	三浦 豊司	堀井 善弘	東京都水産試験場	32° 07.50'N	139° 50.00'E	6	4.46	6:21	4:39	9:34	10:45	15:24	15:55	明神海丘におけるベントス分布による漁場特性の解明
952	1997.6.22	研究	伊豆諸島	明神海丘	1355	1355	大野 芳生	光藤 数也	飯笹 幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.00'N	139° 52.50'E	6	4.39	5:45	3:30	10:38	12:02	15:32	16:23	明神海丘カルデラの形成に伴う硫化物鉱化作用の研究
953	1997.6.23	研究	伊豆諸島	天和海山	1223	1223	千葉 和宏	大野 芳生	臼井 朗	工業技術院地質調査所	31° 22.50'N	138° 47.00'E	8	3.56	5:51	4:07	9:28	10:37	14:44	15:19	西七島海嶺背弧海山の鉄マンガン酸化物の形成条件・形成史に関する研究
954	1997.6.24	研究	伊豆諸島	明神海丘	1358	1358	伊藤 一寿	三浦 豊司	石橋 純一郎	東京大学理学部	32° 06.00'N	139° 52.50'E	6	4.42	5:49	3:36	10:38	11:56	15:32	16:27	伊豆・小笠原弧海底火山に伴う熱水活動の地球科学的研究
955	1997.6.25	研究	伊豆諸島	明神海丘	1357	1346	大野 芳生	千葉 和宏	橋本 惇	海洋科学技術センター	32° 06.00'N	139° 52.50'E	7	4.39	6:49	4:29	9:35	10:48	15:17	16:24	明神海丘における化学合成生物群集の生物学的研究
956	1997.7.11	研究	相模湾	大磯海脚	554	554	伊藤	松本	山本 章太郎	神奈川県水産総合研究所	35° 14.50'N	139° 17.50'E	4	5.53	5:38	4:42	9:23	10:05	14:47	15:01	漁場における魚類等の分布状況調査
957	1997.7.12	研究	相模湾	熱川沖	1204	1196	大野	光藤	坂本 泉	海洋科学技術センター	34° 53.00'N	139° 5.50'E	4	2.86	4:57	3:02	11:41	12:44	15:46	16:38	相模湾伊豆熱川沖海底溶岩流のメカニズムの解明
958	1997.7.13	研究	相模湾	伊東沖	1357	1357	伊藤	三浦	佐藤 利典	東京大学地震研究所	34° 57.50'N	139° 16.50'E	4	2.43	6:34	4:32	9:24	10:34	15:06	15:58	伊豆伊東沖の群発地震における海底傾斜観測実験
959	1997.7.14	研究	相模湾	熱川沖	1008	1008	大野	松本	坂本 泉	海洋科学技術センター	34° 51.00'N	139° 13.00'E	4	2.96	4:22	2:27	10:04	11:08	13:35	14:26	相模湾伊豆熱川沖海底溶岩流のメカニズムの解明
960	1997.7.17	研究	相模湾	熱川沖	1333	1333	伊藤	光藤	阿部 文彦	読売新聞	34° 54.50'N	139° 18.00'E	3	2.52	5:35	2:09	9:35	12:06	14:15	15:10	中層観察並びに海底溶岩流の観察（取材潜航）
961	1997.7.19	研究	駿河湾	松崎沖	1985	1985	大野	光藤	金子 浩幸	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	2.1	6:26	3:28	9:18	10:57	14:25	15:44	難分解性物質に対して分解能力を持つ微生物の採取及び深海現場での微生物増殖の確認
962	1997.7.20	研究	南海トラフ	第２天竜海丘南方	685	684	伊藤	三浦	倉本 真一	工業技術院地質調査所	34° 04.00'N	137° 47.50'E	10	6.14	5:13	3:41	10:11	11:18	14:59	15:24	精密重力探査によるガスハイドレート層の物性研究
963	1997.7.21	研究	南海トラフ	第２天竜海丘南方	753	750	大野	光藤	上嶋 正人	工業技術院地質調査所	34° 03.50'N	137° 47.00'E	7	4.46	5:52	4:34	9:31	10:19	14:53	15:23	精密重力探査によるガスハイドレート層の物性研究
964	1997.8.5	研究	日本海	経ヶ岬北北西沖	265	261	千葉	松本	藤田 眞吾	京都府立海洋センター	35° 59.50'N	135° 08.00'E	3	0.8	5:51	4:52	9:34	10:16	15:08	15:25	重油流出事故の底棲魚介類に与える影響に関する調査
965	1997.8.6	研究	日本海	経ヶ岬北北西沖	243	233	大野	三浦	戸嶋 孝	京都府立海洋センター	35° 55.00'N	135° 05.50'E	3	0.94	6:08	5:09	9:20	9:54	15:03	15:28	重油流出事故の底棲魚介類に与える影響に関する調査
966	1997.8.7	研究	日本海	経ヶ岬北北西沖	248	242	伊藤	植木	内野 憲	京都府立海洋センター	35° 57.00'N	135° 11.50'E	3	0.82	5:47	4:51	9:29	10:08	14:59	15:16	重油流出事故の底棲魚介類に与える影響に関する調査
967	1997.8.12	研究	日本海	渡島大島沖	1482	1480	千葉	大野	加藤 幸弘	海上保安庁水路部	41° 35.50'N	139° 21.50'E	6	0.19	5:54	3:47	10:15	11:30	15:17	16:09	渡島大島山体崩壊堆積物に関する調査研究（HOKUTO CRUISE）
968	1997.8.13	研究	日本海	奥尻海盆	1275	1270	伊藤	松本	池原 研	工業技術院地質調査所	41° 56.50'N	139° 47.00'E	4	0.17	6:19	4:27	8:54	9:56	14:23	15:13	海底での変動に関した地質過程・海底地形形成過程に関する総合研究（HOKUTO CRUISE）
969	1997.8.14	研究	日本海	奥尻海嶺西側斜面	1936	1936	大野	千葉	竹内 章	富山大学	41° 49.00'N	139° 27.50'E	5	0.19	6:34	4:18	9:36	11:11	15:29	16:10	日本海東縁新生プレート境界の変動地形及び地震地質に関する研究（HOKUTO CRUISE）

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
970	1997.8.15	研究	日本海	奥尻島南方沖	1765	1753	伊藤	松本	竹内　章	富山大学	41° 58.00'N	139° 23.00'E	4	0.2	6:26	4:19	9:28	10:53	15:12	15:54	日本海東縁新生プレート境界の変動及び地震地質に関する研究（HOKUTO CRUISE）
971	1997.9.8	研究	南西諸島	喜界島南方	313	313	伊藤	松本	藤岡　義三	南西海区水産研究所	28° 09.50'N	129° 54.50'E	8	18.56	5:35	5:00	9:26	9:52	14:52	15:01	深海性刺胞動物の分布と生態
972	1997.9.9	研究	南西諸島	喜界島南東沖	1812	1777	大野	光藤	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	27° 57.50'N	130° 13.50'E	6	2.26	6:37	3:53	9:23	10:59	14:52	16:00	奄美大島近海地震震源域における変動地形、地質に関する調査研究
973	1997.9.10	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1971	1957	伊藤	三浦	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	28° 27.00'N	130° 19.00'E	4	2	6:47	4:11	9:22	10:59	15:10	16:09	奄美大島近海地震震源域における変動地形、地質に関する調査研究
974	1997.9.13	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	990	989	大野	松本	大森　保	琉球大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.34	6:09	4:19	9:37	10:48	15:07	15:46	沖縄トラフにおける海水熱水鉱床の分布と生成年代の地球科学
975	1997.9.21	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1061	1027	伊藤	松本	山本　智子	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	5	4.44	5:35	3:54	9:20	10:19	14:13	14:55	伊平屋北部海域の化学合成生物群集の生物学的調査
976	1997.9.23	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	990	988	大野	光藤	小林　哲夫	鹿児島大学理学部	27° 47.00'N	126° 54.00'E	5	4.52	6:14	4:43	9:17	10:09	14:52	15:31	伊平屋北部海域の海底熱水活動域の火山岩類
977	1997.9.24	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1406	1396	伊藤	植木	仲宗根　薫	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.30'E	6	3.94	6:22	4:09	9:28	10:42	14:51	15:50	新規な超好熱性古細菌の分離及び嫌気性単細胞生物の探索
978	1997.9.25	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1008	992	大野	松本	中尾　征三	工業技術院地質調査所	27° 47.00'N	126° 54.00'E	5	4.37	6:28	4:49	9:26	10:24	15:13	15:54	沖縄トラフ熱水サイトの地質学、地球科学的研究
979	1997.9.26	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1073	1072	伊藤	光藤	山本　智子	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.50'E	5	4.12	5:34	3:53	9:13	10:08	14:01	14:47	伊平屋海嶺北部における化学合成生物群集の生物学的調査
980	1997.9.30	研究	南西諸島	鹿児島湾北部	109	107	伊藤	松本	三浦　知之	鹿児島大学	31° 39.60'N	130° 48.20'E	5	16.99	5:31	5:13	9:03	9:17	14:30	14:34	鹿児島湾の熱水噴出孔生物群集の生態学的研究
981	1997.10.8	研究	南西諸島	黒島海丘	800	800	千葉	大野	松本　剛	海洋科学技術センター	24° 07.50'N	124° 12.00'E	7	7.01	5:50	4:33	9:21	10:09	14:42	15:11	南西諸島海溝陸側斜面における崩壊と断層に関する研究
982	1997.10.26	研究	マリアナ	南硫黄島南方	1952	1950	伊藤	三浦	村上　文敏	工業技術院地質調査所	23° 56.50'N	141° 25.00'E	6	1.97	6:02	3:33	9:33	11:10	14:43	15:35	マリアナ島弧北端部におけるリフト構造の調査研究
983	1997.10.27	研究	マリアナ	西マリアナ海嶺北端部	1992	1980	千葉	光藤	湯浅　真人	工業技術院地質調査所	23° 50.50'N	141° 28.50'E	6	1.96	6:40	4:02	8:53	10:29	14:31	15:33	マリアナ島弧古期基盤岩類に関する研究
984	1997.10.28	研究	マリアナ	小日吉海山	1388	1387	伊藤	三浦	仲　二郎	海洋科学技術センター	23° 22.00'N	141° 58.00'E	7	2.63	6:10	4:05	9:25	10:38	14:43	15:35	小日吉海山の海底火山地質の調査研究
985	1997.10.29	研究	マリアナ	西マリアナ海嶺北端部	1563	1563	千葉	松本	湯浅　真人	工業技術院地質調査所	23° 50.50'N	141° 28.50'E	8	2.28	6:41	4:28	8:58	10:15	14:43	15:39	マリアナ島弧古期基盤岩類に関する研究
986	1997.11.23	研究	マリアナ	第２春日海山	556	556	伊藤	三浦	藤倉　克則	海洋科学技術センター	21° 36.00'N	143° 38.50'E	7	7.07	5:20	4:23	9:46	10:24	14:47	15:06	第２春日海山にある熱水系生物群集の生物学的調査
987	1997.11.24	研究	マリアナ	第２春日海山	567	567	大野	光藤	土田　真二	海洋科学技術センター	21° 36.00'N	143° 38.50'E	7	8.17	5:57	4:59	9:22	10:02	15:01	15:19	第２春日海山にある熱水系生物群集の生物学的調査
988	1997.11.25	研究	マリアナ	第３春日海山	1610	1602	千葉	松本	上野　宏共	鹿児島大学	21° 23.50'N	143° 38.50'E	7	2.19	6:21	4:03	9:27	10:56	14:59	15:48	マリアナ海域におけるチムニーの分布と構成鉱物に関する研究
989	1997.11.26	研究	マリアナ	第３春日海山	1514	1514	伊藤	三浦	William Gaze	海洋科学技術センター	21° 23.50'N	143° 38.50'E	8	2.36	6:21	4:07	9:21	10:43	14:50	15:42	新規な超好熱性古細菌の分離及び嫌気性単細胞生物の探索
990	1997.11.30	研究	マリアナ	第２春日海山	614	612	大野	光藤	牧　陽之助	岩手大学	21° 36.00'N	143° 38.50'E	7	6.54	5:59	5:05	9:22	9:59	15:04	15:21	硫黄同位体による湧水生物群集の植物連鎖に関する研究
991	1997.12.1	研究	マリアナ	第３春日海山	1877	1877	千葉	松本	土田　真二	海洋科学技術センター	21° 23.50'N	143° 38.50'E	6	2	7:20	4:42	9:33	10:59	15:41	16:53	第３春日海山にある熱水系生物群集の生物学的調査
992	1998.3.25	沈降	横須賀第３区	センター沖	2	-	大野	千葉	上原　篤	三菱重工	35° 19.00'N	139° 40.00'E	−	−	1:40		10:25			12:05	各機器作動試験
993	1998.3.27	試験	駿河湾	土肥沖	1524	1524	大野	三浦	吉中　忠雄	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	4	2.71	5:24	2:54	9:30	11:05	13:59	14:54	海上試験実施要領による各機器の作動試験
994	1998.3.28	試験	駿河湾	松崎沖	1967	1966	千葉	植木	植木　光弘	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	6	2.17	4:44	1:56	10:07	11:43	13:39	14:51	海上試験実施要領による各機器の作動試験
995	1998.3.29	試験	駿河湾	松崎沖	1970	1970	松本	大野	千田　要介	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	2.15	5:05	2:11	9:27	11:04	13:15	14:32	海上試験実施要領による各機器の作動試験
996	1998.3.30	試験	駿河湾	土肥沖	1535	1535	千葉	光藤	植木　光弘	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	4	2.62	4:58	2:44	9:30	10:45	13:29	14:28	海上試験実施要領による各機器の作動試験
997	1998.4.4	訓練	相模湾	初島南東沖	1196	1196	松本	大野	千田　要介	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	3.17	6:14	4:25	9:31	10:36	15:01	15:45	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
998	1998.4.5	訓練	相模湾	初島南東沖	1205	1205	千葉	植木	植木　光弘	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.93	5:27	3:36	9:25	10:33	14:09	14:52	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
999	1998.4.6	訓練	相模湾	初島南東沖	1201	1201	松本	大野	千田　要介	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.84	5:10	3:20	9:30	10:36	13:56	14:40	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
1000	1998.4.11	訓練	南西諸島	伊平屋凹地北部	1027	1048	千葉	大野	原田　成樹	日本工業新聞社	27° 47.00'N	126° 54.00'E	8	4.44	6:11	3:54	9:14	10:27	14:21	15:25	取材潜航を行いながら慣熟訓練を行った。
1001	1998.4.15	訓練	南西諸島	伊平屋凹地	1409	1409	松本	光藤	千田　要介	日本海洋事業	27° 32.70'N	126° 58.30'E	7	3.96	6:05	3:44	9:59	11:17	15:01	16:04	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
1002	1998.4.16	訓練	南西諸島	伊平屋凹地	1393	1404	大野	植木	植木　光弘	日本海洋事業	27° 32.70'N	126° 58.30'E	6	3.93	6:14	4:05	9:30	10:46	14:51	15:44	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
1003	1998.4.17	訓練	南西諸島	伊平屋凹地北部	1028	1054	千葉	植木	松本　恵太	日本海洋事業	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.28	6:04	4:27	9:24	10:22	14:49	15:28	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
1004	1998.4.18	訓練	南西諸島	伊平屋凹地北部	1045	1045	松本	光藤	千田　要介	日本海洋事業	27° 47.00'N	126° 54.00'E	6	4.28	6:12	4:04	9:26	10:30	14:34	15:38	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
1005	1998.4.20	訓練	南西諸島	伊平屋凹地北部	1012	1035	大野	千田	千葉　和宏	日本海洋事業	27° 47.00'N	126° 54.00'E	8	4.44	6:23	3:12	9:19	10:38	13:50	15:42	慣熟訓練及びパイロット養成訓練
1006	1998.5.4	研究	伊豆諸島	明神海丘	1363	1380	千葉	光藤	堀井　善弘	東京都水産試験場	32° 06.20'N	139° 52.00'E	6	4.52	6:31	4:16	9:25	10:44	15:00	15:56	伊豆・小笠原火山フロント上海山における底生性生物分布による漁場特性の解明
1007	1998.5.5	研究	伊豆諸島	明神海丘	1319	1319	松本	大野	藤原　義弘	海洋科学技術センター	32° 06.20'N	139° 52.00'E	8	4.53	5:29	3:27	10:54	12:04	15:31	16:23	明神海丘に生息するシンカイヒバリガイ類の栄養摂取方法と成長速度の検討
1008	1998.5.6	研究	伊豆諸島	明神海丘	1369	1369	大野	植木	石塚　治	工業技術院地質調査所	32° 06.20'N	139° 52.00'E	8	4.52	6:23	4:11	9:28	10:47	14:58	15:51	海洋性島弧における島弧発達過程と熱水活動の変遷
1009	1998.5.7	研究	伊豆諸島	明神海丘	1328	1328	松本	千葉	藤原　義弘	海洋科学技術センター	32° 06.20'N	139° 52.00'E	6	4.53	6:30	4:27	9:24	10:35	15:02	15:54	明神海丘に生息するシンカイヒバリガイ類の栄養摂取方法と成長速度の検討
1010	1998.5.9	研究	伊豆諸島	明神海丘	1310	1310	大野	植木	湯浅　真人	工業技術院地質調査所	32° 07.50'N	139° 50.50'E	6	4.53	6:21	4:21	9:48	11:10	15:31	16:09	明神カルデラの形成に伴う硫化物鉱化作用の研究
1011	1998.5.10	研究	伊豆諸島	明神海丘	1317	1319	松本	光藤	小山　純弘	海洋科学技術センター	32° 06.20'N	139° 52.00'E	6	4.55	5:07	3:04	9:24	10:32	13:36	14:31	小笠原明神海丘に生息するシンカイヒバリガイの組織培養
1012	1998.5.11	研究	伊豆諸島	明神海丘	1342	1342	伊藤	植木	石橋　純一郎	東京大学理学部	32° 06.20'N	139° 52.00'E	7	4.54	5:31	3:32	9:24	10:32	14:04	14:55	海洋性島弧の火山活動に伴う海底熱水活動の地球化学的・微生物学的研究
1013	1998.5.17	研究	小笠原諸島	海形海山	903	910	大野	植木	長屋　好治	海上保安庁水路部	26° 42.00'N	141° 05.00'E	6	8.89	6:09	4:51	9:19	10:15	15:06	15:28	シントレックス携帯型重力計を用いた海形カルデラの海底重力測定
1014	1998.5.18	研究	小笠原諸島	海形海山	552	552	松本	光藤	土田　真二	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 04.50'E	5	9.34	5:14	4:12	10:58	11:39	15:51	16:12	海形海山熱水噴出孔周辺域における短尾類の成長と繁殖生態
1015	1998.5.19	研究	小笠原諸島	海形海山	901	917	伊藤	植木	長屋　好治	海上保安庁水路部	26° 41.50'N	141° 05.50'E	4	8.73	5:57	4:31	9:28	10:22	14:53	15:25	シントレックス携帯型重力計を用いた海形カルデラの海底重力測定
1016	1998.5.22	研究	小笠原諸島	水曜海山	1351	1375	大野	植木	W.H.Gaze	海洋科学技術センター	28° 34.00'N	140° 39.00'E	6	3.41	5:24	2:54	9:35	11:10	14:04	14:59	深海からの原生単細胞生物の分離とその分類に関する研究
1017	1998.5.26	研究	伊豆諸島	須美寿カルデラ	923	925	松本	光藤	岩淵　洋	海上保安庁水路部	31° 27.50'N	140° 04.50'E	4	11.22	5:59	4:44	9:19	10:08	14:52	15:18	須美寿カルデラの地形・地質に関する研究
1018	1998.5.27	研究生	伊豆諸島	須美寿カルデラ	1084	1084	伊藤	植木	岩淵　洋	海上保安庁水路部	31° 25.00'N	140° 07.00'E	6	4.14	6:00	4:25	9:46	10:43	15:08	15:46	須美寿カルデラの地形・地質に関する研究
1019	1998.6.23	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1461	1418	大野	植木	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	28° 26.50'N	130° 19.00'E	8	2.69	6:33	4:20	9:23	10:42	15:02	15:56	奄美海台衝突に伴う琉球弧前弧域の変動様式に関する研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1020	1998.6.24	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1461	1442	松本	光藤	藤倉　克則	海洋科学技術センター	28° 26.50'N	130° 19.00'E	6	2.63	6:44	4:28	9:20	10:28	14:56	16:04	南西諸島海溝喜界島北東沖における冷水系生物群集の生態学的研究
1021	1998.6.25	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1480	1456	伊藤	植木	塚原　潤三	鹿児島大学	28° 26.50'N	130° 19.00'E	7	2.64	6:33	4:21	9:18	10:26	14:47	15:51	奄美海台に生息する化学合成生物群集の生態系と生息環境に関する研究
1022	1998.6.26	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1453	1453	松本	光藤	伊藤　健二	海洋科学技術センター	28° 26.50'N	130° 19.00'E	7	2.69	6:09	3:49	9:14	10:22	14:11	15:23	南西諸島海溝喜界島北東沖における冷水系生物群集の生態学的研究
1023	1998.6.27	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1393		大野	植木	James C.Hunt	海洋科学技術センター	28° 26.50'N	130° 19.50'E	−	−	6:12		9:34			15:46	喜界島北東沖における中・深層生物調査
1024	1998.6.29	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1583	1580	松本	光藤	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	28° 27.00'N	130° 19.50'E	7	2.44	6:39	0:16	9:19	14:36	14:52	15:58	喜界島北東沖における中・深層生物調査
1025	1998.6.30	研究	南西諸島	喜界島北方	1284	1284	伊藤	植木	加藤　幸弘	海上保安庁水路部	28° 44.00'N	130° 09.00'E	7	2.96	6:20	4:23	9:18	10:25	14:48	15:38	奄美海台衝突に伴う琉球弧前弧域の変動様式に関する研究
1026	1998.7.1	研究	南西諸島	喜界島北東沖	1452	1452	大野	植木	塚原　潤三	鹿児島大学	28° 26.50'N	130° 19.00'E	8	2.7	6:42	4:26	9:22	10:37	15:03	16:04	奄美大島に生息する化学合成生物群集の生態系と生息環境に関する研究
1027	1998.7.6	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1438	1437	大野	植木	小林　哲夫	鹿児島大学	27° 45.00'N	126° 53.00'E	8	4.4	6:34	4:26	9:25	10:41	15:07	15:59	伊平屋海丘は巨大な溶岩流なのか？
1028	1998.7.7	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1045	1000	松本	光藤	千葉　仁	岡山大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	6	4.55	5:52	4:06	9:13	10:13	14:19	15:05	伊平屋凹地北部海丘海底熱水系の地球化学的研究
1029	1998.7.8	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	983	972	大野	植木	大森　保	琉球大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.66	6:01	4:31	9:22	10:14	14:45	15:23	沖縄トラフにおける海底熱水鉱床の分布と生成年代の地球科学
1030	1998.7.9	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	995	986	松本	光藤	蒲生　俊敬	東京大学海洋研究所	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.52	6:10	4:28	9:13	10:08	14:36	15:23	沖縄トラフ海底熱水活動の長期モニタリング
1031	1998.7.12	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1390	1389	大野	千田	藤井　真介	海洋科学技術センター	27° 32.70'N	126° 58.30'E	7	4.08	6:18	4:04	9:28	10:49	14:53	15:46	熱水鉱床の微生物の研究
1032	1998.7.13	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1049	1042	松本	植木	高井　研	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	6	4.42	6:22	4:44	9:26	10:18	15:02	15:48	深海底熱水孔環境における微生物の系統的多様性の解析と新奇超好熱細菌の分離
1033	1998.7.14	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1049	1045	大野	千田	井上　明	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.42	6:22	4:43	9:42	10:39	15:22	16:04	現場培養による深海微生物の探索及び深海地底微生物の探索
1034	1998.8.3	研究	日本海	富山湾中央	1056	1054	千葉	光藤	辻本　良	富山県水産試験場	37° 15.50'N	137° 33.00'E	4	0.28	6:43	4:57	9:17	10:17	15:14	16:00	富山湾におけるベニズワイガニの分布密度及び摂餌行動の観察。
1035	1998.8.4	研究	日本海	富山市沖	332	329	大野	植木 博文	角　祐二	富山県水産試験場	36° 48.00'N	137° 12.50'E	4	1.49	5:03	4:14	11:13	11:47	16:01	16:16	富山湾における深海性トヤマエビの生態研究。
1036	1998.8.5	研究	日本海	富山深海長谷	1963	1935	千葉	光藤	竹内　章	富山大学	37° 58.00'N	137° 49.00'E	4	0.28	6:37	3:57	9:19	10:53	14:50	15:56	富山トラフの形成プロセスとアクティブテクトニクス。
1037	1998.8.6	研究	日本海	富山トラフ東縁	1672	1672	大野	千田	竹内　章	富山大学	37° 57.00'N	138° 05.00'E	6	0.26	6:08	3:46	9:27	10:56	14:42	15:35	富山トラフの形成プロセスとアクティブテクトニクス。
1038	1998.8.18	研究	日本海	忍路海山	1305	1305	千葉	植木	佐竹　健治	工業技術院地質調査所	44° 21.50'N	139° 35.00'E	5	0.27	6:06	4:24	9:16	10:23	14:47	15:22	日本海東縁の歴史地震及び空白域の潜航調査に基づいた地震発生ポテンシャルの推定。
1039	1998.8.19	研究	日本海	礼文島西方	586	585	松本	光藤	荒井　晃作	工業技術院地質調査所	45° 34.00'N	140° 52.00'E	4	0.59	6:16	5:22	9:13	9:50	15:12	15:29	日本海東縁の歴史地震及び空白域の潜航調査に基づいた地震発生ポテンシャルの推定。
1040	1998.8.20	研究	日本海	忍路海山南方	1595	1594	大野	植木	岡村　行信	工業技術院地質調査所	44° 03.00'N	139° 32.00'E	4	0.27	6:15	4:02	9:18	10:38	14:40	15:33	日本海東縁の歴史地震及び空白域の潜航調査に基づいた地震発生ポテンシャルの推定。
1041	1998.8.22	研究	日本海	神威トラフ	1375	1375	千葉	光藤	岡村　行信	工業技術院地質調査所	43° 39.00'N	139° 59.00'E	5	0.27	6:44	4:49	9:12	10:22	15:11	15:56	日本海東縁の歴史地震及び空白域の潜航調査に基づいた地震発生ポテンシャルの推定。
1042	1998.8.26	研究	日本海	男鹿半島西方	813	813	松本	大野	平野　聡	海洋科学技術センター	39° 46.00'N	139° 29.00'E	5	0.36	5:57	4:40	9:22	10:11	14:51	15:19	日本海東縁プレート境界近傍の活構造とテクトニクス。
1043	1998.8.27	研究	日本海	男鹿半島西方	745	667	千葉	光藤	P.R.Cummins	海洋科学技術センター	39° 46.00'N	139° 29.00'E	4	0.41	5:58	4:54	9:20	9:57	14:51	15:18	日本海東縁プレート境界近傍の活構造とテクトニクス。
1044	1998.8.30	研究	北海道道東沖	広尾海底谷	1240	1179	松本	光藤	豊川　雅哉	中央水産研究所	42° 10.50'N	144° 10.50'E	5	2.69	6:03	1:00	9:17	10:16	11:16	15:20	北海道東方海域における中深層ならびに深海近底層性ゼラチン質プランクトン動物相とそれを巡るエナジーフローの解明
1045	1998.9.2	研究	北海道道東沖	広尾海底谷	1240	1239	大野	千田	橋本　惇	海洋科学技術センター	42° 10.50'N	144° 10.50'E	6	2.68	6:42	2:47	9:23	10:35	13:22	16:05	北海道釧路沖における未記載のシロウリガイ類を優占種とする冷水湧水帯生物群集の生物学的調査
1046	1998.9.6	研究	伊豆小笠原	新八丈カルデラ	542	533	千葉	千田	坂本　泉	海洋科学技術センター	32° 42.00'N	139° 45.00'E	6	10.13	5:51	4:51	9:17	9:50	14:41	15:08	「新八丈カルデラ」周辺の海底火山活動の解明と地下物質の推定
1047	1998.9.20	研究	相模湾	相模海丘	1401	1401	大野	植木	牧　陽之助	岩手大学	35° 06.00'N	139° 20.00'E	4	2.55	6:15	4:06	9:14	10:25	14:31	15:29	冷湧水孔の硫黄酸化細菌共生生物の硫黄同位体組成
1048	1998.9.21	研究	相模湾	初島南東沖	1202	1202	千葉	千田	高木　善弘	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.87	4:55	3:11	9:18	10:20	13:31	14:13	離分解生物質を分解する微生物の深海環境からの分離と多細胞生物組織培養のためのシロウリガイの採取
1049	1998.9.24	研究	相模湾	初島南東沖	1199	1199	松本	光藤	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.89	6:12	4:27	9:16	10:14	14:41	15:28	相模湾初島南東沖長期観測ステーション周辺の深海底環境変動観測
1050	1998.9.25	研究	相模湾	相模トラフ	1445	1445	千葉	千田	金沢　敏彦	東京大学地震研究所	35° 00.50'N	139° 22.00'E	5	2.59	5:49	3:46	9:32	10:40	14:26	15:21	広帯域型海底地震計の設置及びケーブル式海底地震計との比較観測
1051	1998.9.26	研究	相模湾	初島南東沖	1193	1193	大野	植木	小川　勇二郎	筑波大学地球科学系	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.99	5:56	4:11	9:56	11:00	15:11	15:52	西相模湾断層におけるシロウリガイ群集の定向配列パターンの時空的変化
1052	1998.9.27	研究	相模湾	相模トラフ	1444	1444	松本	光藤	戸田　龍樹	創価大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	3	2.33	6:03	1:25	10:00	11:12	12:37	16:03	日本近海における中深層生物の多様性と物質輸送に関する研究
1053	1998.9.28	研究	相模湾	相模トラフ	1397	-	大野	植木	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	34° 58.00'N	139° 17.00'E	−	−	5:50		9:19			15:09	相模湾における中・深層生物群集調査
1054	1998.9.29	研究	相模湾	相模トラフ	1446	1427	松本	光藤	北里　洋	静岡大学理学部	35° 00.50'N	139° 22.00'E	4	2.43	5:33	3:16	9:09	10:19	13:35	14:42	堆積物—水境界における物質循環ならびに生物・堆積過程の研究
1055	1998.9.30	研究	相模湾	相模トラフ	-	1000	大野	千田	James C.Hunt	海洋科学技術センター	34° 58.00'N	139° 17.00'E	−	−	5:59		9:19			15:18	相模湾における中・深層生物群集調査
1056	1998.10.4	研究	南海トラフ	南部第２天竜海丘	610	604	千葉	千田	上嶋　正人	工業技術院地質調査所	34° 04.50'N	137° 48.00'E	6	4.7	5:55	4:48	9:10	9:50	14:38	15:05	精密重力探査によるガスハイドレート層の物性研究
1057	1998.10.6	研究	南海トラフ	浜名湖沖	954	948	大野 芳生	光藤 数也	岡本　一利	静岡県水産試験場	34° 29.00'N	137° 36.00'E	3	3.6	6:33	5:00	9:34	10:30	15:30	16:07	遠州灘沖の深海大型甲殻類の生息状況調査
1058	1998.10.7	研究	南海トラフ	安乗口海底谷	1757	1757	千葉	植木	徐　垣	九州大学理学部	34° 07.50'N	137° 13.00'E	7	2.37	4:52	2:27	9:11	10:34	13:01	14:03	海底活断層の活動度と変位センスを求める
1059	1998.10.9	研究	南海トラフ	南部第２天竜海丘	599	598	大野	千田	倉本　真一	工業技術院地質調査所	34° 04.50'N	137° 47.50'E	8	4.53	6:19	5:14	9:14	9:50	15:04	15:33	南海トラフ沈み込み帯一前弧域におけるガスハイドレートと冷湧水帯の地質学的・地球科学的研究
1060	1998.10.10	研究	南海トラフ	第２天竜海丘南方	1375	1375	千葉	光藤	芦　寿一郎	東京大学理学部	34° 00.00'N	137° 52.00'E	5	2.75	6:58	5:01	9:05	10:15	15:16	16:03	ガスハイドレートの発達と海底斜面崩壊の研究
1061	1998.10.11	研究	南海トラフ	安乗口海底谷	1762	1761	大野	植木	徳山　英一	東京大学海洋研究所	34° 08.00'N	137° 13.00'E	5	2.39	4:29	1:46	8:56	10:25	12:11	13:25	ガスハイドレートの発達と海底斜面崩壊の研究
1062	1998.11.2	研究	マヌス海盆	バックマヌス	1725	1697	千葉	千田	太田　秀	東京大学海洋研究所	03° 43.50'S	151° 40.00'E	7	3.1	6:49	4:19	9:16	10:36	14:55	16:05	マヌス海盆の熱水噴出孔生物群集の比較生態学的研究。(BIO ACCESS Cruise'98)
1063	1998.11.3	研究	マヌス海盆	バックマヌス	1696	1688	大野	植木	C.Laporte	太平洋大学	03° 43.00'S	151° 41.00'E	8	3.08	6:52	4:17	9:13	10:36	14:53	16:05	マヌス背弧海盆熱水噴出孔環境の硫化鉱物を中心とする地球化学的研究。

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域	最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1064	1998.11.4	研究	マヌス海盆	デスモス	1914	1877	松本	光藤	M.Zbinden	パリ第６大学	03° 41.50'S	151° 52.00'E	3	3.1	6:41	3:25	10:19	12:16	15:41	17:00	熱水噴出孔の金属環境と生物の相互作用の研究。
1065	1998.11.5	研究	マヌス海盆	パツクマヌス	1684	1684	千葉	千田	井上　明	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	3.09	7:05	3:40	9:10	11:23	15:03	16:15	現場培養による海底微生物および深海地底微生物の探索。
1066	1998.11.7	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1682	1647	大野	植木	Chris Yeats	ＣＳＩＲＯ	03° 43.50'S	151° 40.00'E	7	3.12	6:54	4:25	9:14	10:34	14:59	16:08	PACMANUS熱水噴出孔の硫化鉱物と熱水変質作用の研究。
1067	1998.11.8	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1730	1652	松本	光藤	太田　秀	東京大学海洋研究所	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	3.17	7:00	4:27	9:05	10:28	14:55	16:05	マヌス海盆の熱水噴出孔生物群集の比較生態学的研究。
1068	1998.11.9	研究	マヌス海盆	デスモス	1917	1905	千葉	千田	小島　茂明	東京大学海洋研究所	03° 41.50'S	151° 52.00'E	5	3.15	7:05	4:17	9:20	10:49	15:06	16:25	マヌス海盆化学合成生物群集固有生物群の分子生態学。
1069	1998.11.15	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1677	1647	千葉	千田	橋本　惇	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	3.11	6:51	4:25	9:07	10:25	14:50	15:58	PACMANUSサイトにおける熱水噴出孔生物群集の生態学的調査。
1070	1998.11.16	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1680	1671	松本	光藤	James C.Hunt	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	6	3.08	7:24	4:24	9:07	11:01	15:25	16:31	Comparative survery of thermal effects on the resident pelagic fauna of Manus Basin.
1071	1998.11.17	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1684	1684	大野	植木	土田　真二	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	6	3.14	6:46	4:11	9:11	10:31	14:42	15:57	マヌス海盆における大型甲殻類の繁殖生態の研究
1072	1998.11.18	研究	マヌス海盆	デスモス	1916	1888	千葉	千田	藤原　義弘	海洋科学技術センター	03° 41.50'S	151° 52.00'E	4	3.08	6:59	4:10	10:20	11:48	15:58	17:19	マヌス海盆熱水噴出孔域化学合成生物群集固有種の成長速度の検討及び液体成分分析。
1073	1998.11.20	研究	マヌス海盆	デスモス	1919	1910	松本	光藤	Kaul Gena	秋田大学	03° 41.50'S	151° 52.00'E	5	3.07	7:10	4:19	9:07	10:31	14:50	16:17	マヌス海盆の熱水堆積物、変質および新鮮な岩石の組織学的、鉱物学的、地球科学的研究。
1074	1998.11.21	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1690	1685	大野 芳生	千葉 和宏	Katell Henry	IFREMER	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	3.12	6:58	4:35	9:06	10:19	14:54	16:04	マヌス海盆における熱水活動の地球科学的研究。
1075	1998.11.22	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1691	1688	千葉	光藤	山口　寿之	千葉大学	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	3.15	6:46	4:16	9:46	11:03	15:19	16:32	マヌス海盆の深海熱水噴出孔周辺のフジツボ類の進化及び系統関係の研究。
1076	1998.11.23	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1678	1650	大野	松本	M.Segonzac	IFREMER	03° 43.50'S	151° 40.00'E	7	3.11	6:32	3:59	9:21	10:45	14:44	15:53	マヌス海盆における熱水噴出孔生物群集の生態学的研究。
1077	1999.3.24	沈降	横須賀港	横須賀第３区		2	大野	松本	上原　篤	三菱重工神戸造船所	35° 18.80'N	139° 40.00'E	−	−	1:34		10:16			11:50	各機器作動試験
1078	1999.3.25	試験	相模湾	初島南東沖	1235	1175	大野	植木	千葉　勝志	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.83	6:07	4:17	9:30	10:31	14:48	15:37	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1079	1999.3.26	試験	相模湾	初島南東沖	1208	1204	千葉	千田	柴田　裕之	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.88	6:20	4:23	9:20	10:23	14:46	15:40	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1080	1999.3.27	試験	駿河湾	松崎沖	1977	1977	松本	大野	千葉　勝志	日本海洋事業	34° 43.00'N	138° 35.00'E	2	1.9	5:49	1:52	9:19	12:01	13:53	15:08	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1081	1999.3.28	試験	駿河湾	土肥沖	1509	1507	光藤	千葉	千葉　勝志	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.51	5:35	3:25	9:52	11:05	14:30	15:27	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1082	1999.4.2	訓練	駿河湾	土肥沖	1541	1541	松本	植木	大野　芳生	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	2.5	2.55	4:57	2:42	9:23	10:38	13:20	14:20	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1083	1999.4.3	訓練	駿河湾	土肥沖	1546	1546	光藤	千葉	千葉　勝志	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.55	5:32	3:13	10:45	12:00	15:13	16:17	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1084	1999.4.4	訓練	駿河湾	土肥沖	1537	1527	千葉	千葉	大野　芳生	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.52	6:27	4:03	9:22	10:37	14:40	15:49	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1085	1999.4.5	訓練	駿河湾	土肥沖	1546	1541	松本	千田	植木　博文	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.44	6:42	3:16	9:16	10:29	13:45	15:58	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1086	1999.4.6	訓練	駿河湾	土肥沖	1531	1530	光藤	千葉	千葉　和宏	日本海洋事業	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.52	5:56	2:33	9:15	10:26	12:59	15:11	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1087	1999.4.12	訓練	相模湾	初島南東沖	1198	1186	千葉	千田	大貫　純一	日刊工業新聞社	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	3.2	5:22	2:23	10:15	11:18	13:41	15:37	取材潜航
1088	1999.4.14	訓練	相模湾	初島南東沖	1202	1202	松本	千葉	大野　芳生	日本海洋事業	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.96	4:46	2:37	9:20	10:28	13:05	14:06	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1089	1999.4.15	訓練	南海トラフ	南部第２天竜海丘	606	603	光藤	植木	松本　恵太	日本海洋事業	34° 04.50'N	137° 47.50'E	6	6.07	4:41	3:37	12:00	12:38	16:15	16:41	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1090	1999.4.16	訓練	南海トラフ	南部第２天竜海丘	605	605	光藤	千葉	大野　芳生	日本海洋事業	34° 04.50'N	137° 47.50'E	7	5.3	5:19	4:18	9:35	10:13	14:31	14:54	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1091	1999.4.17	訓練	南海トラフ	竜洋海底谷	1106	1089	千葉	千田	植木　博文	日本海洋事業	34° 11.50'N	137° 46.00'E	5	3.02	6:03	4:19	9:56	10:57	15:16	15:59	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1092	1999.5.6	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1046	1046	千葉	植木	千葉　仁	岡山大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	8	4.37	5:39	3:58	9:13	10:08	14:06	14:52	伊平屋凹地北部海底熱水系の詳細なマッピングと熱水化学組成の継続的観察
1093	1999.5.7	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1053	1003	大野	千田	塚原　潤三	鹿児島大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	10	4.43	5:59	4:26	9:16	10:06	14:32	15:15	沖縄トラフ伊平屋北部における熱水噴出孔生物群集の生殖生態と生活環境に関する研究
1094	1999.5.8	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1055	1013	松本	植木	土田　真二	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.49	5:46	4:12	9:23	10:16	14:28	15:09	伊平屋凹地北部海丘における甲殻類の繁殖生態に関する研究
1095	1999.5.10	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1008	1008	大野	光藤	F Canganella	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.45	4:49	3:13	12:25	13:18	16:31	17:14	微生物、好熱性微生物の研究及び熱水鉱床域における微生物学的多様性の解明
1096	1999.5.11	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1058	976	千葉	千葉	小林　英城	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.47	5:59	4:19	9:29	10:25	14:44	15:28	現場培養による深海微生物及び深海地殻微生物の探査研究
1097	1999.5.12	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1061	982	大野	千田	斎藤 洋昭	中央水産研究所	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.53	6:28	4:52	9:46	10:40	15:32	16:14	シロウリガイ群集と周辺生物の生態調査と脂質移動の解明
1098	1999.5.13	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1051	1040	光藤	千葉	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.34	6:10	4:27	9:17	10:15	14:42	15:27	沖縄トラフ熱水活動域における海底環境変動に関する研究
1099	1999.5.21	研究	南西諸島	黒島海丘西側斜面	1411	1411	千葉	光藤	中村　衛	琉球大学	24° 05.50'N	124° 06.00'E	7	2.61	6:24	4:35	9:04	10:12	14:47	15:28	南西諸島黒島海丘及び周辺の潜水調査
1100	1999.5.22	研究	南西諸島	黒島海丘頂部平坦部	692	691	大野	千葉	松本　剛	海洋科学技術センター	24° 07.00'N	124° 11.00'E	8	7.13	5:24	4:10	9:09	9:51	14:01	14:33	南西諸島八重山南岸沖黒島海丘におけるシロウリガイ群集の分布とテクトニクスに関する研究
1101	1999.5.23	研究	南西諸島	黒島海丘西側斜面	1371	1348	光藤	松本	James C.Hunt	海洋科学技術センター	24° 05.50'N	124° 05.00'E	7	2.78	6:23	0:42	9:16	13:50	14:32	15:39	Midwater and benthopelagic studies
1102	1999.5.28	研究	南西諸島	鳩間海丘	1883	1882	松本	大野	渡辺　一樹	海上保安庁 水路部	24° 51.00'N	123° 51.00'E	7	3.77	6:42	4:15	9:06	10:30	14:45	15:48	西表島北北東沖海丘群の海底火山群の火山地形と火山岩の調査、研究
1103	1999.5.29	研究	南西諸島	鳩間海丘	1520	1468	光藤	千葉	渡辺　一樹	海上保安庁 水路部	24° 51.00'N	123° 51.00'E	5	3.82	6:44	4:14	9:12	10:38	14:52	15:56	西表島北北東沖海丘群の海底火山群の火山地形と火山岩の調査、研究
1104	1999.5.30	研究	南西諸島	石垣海丘群	1707	1707	千葉	千葉	渡辺　一樹	海上保安庁 水路部	24° 59.00'N	124° 10.00'E	7	3.82	6:49	4:24	9:07	10:23	14:47	15:56	西表島北北東沖海丘群の海底火山群の火山地形と火山岩の調査、研究
1105	1999.6.18	研究	小笠原諸島	安永海山	1198	1175		光藤	臼井　朗	工業技術院地質調査所	29° 15.50'N	138° 39.50'E	5	3.44	6:00	4:04	9:14	10:17	14:21	15:14	西七島海嶺背弧海山の発達史と鉄、マンガン酸化物の生成
1106	1999.6.19	研究	小笠原諸島	安永海山	1260	1180	千葉	千田	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	29° 16.00'N	138° 38.50'E	8	3.68	6:30	0:43	9:16	14:10	14:53	15:46	安永海山における中・深層生物群集の比較検討

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1107	1999.6.20	研究	小笠原諸島	安永海山	1841	1840	光藤	植木	渡慶次 睦範	九州大学理学部	29° 15.00'N	138° 37.00'E	7	2.2	6:23	4:03	9:34	10:59	15:02	15:57	深海動物群集の構造解析
1108	1999.6.21	研究	伊豆諸島	万治海山	1129	1129	千葉	千葉	石塚 治	工業技術院地質調査所	31° 52.00'N	138° 57.00'E	6	4.11	5:38	4:09	9:17	10:13	14:22	14:55	海洋性島弧発達過程と熱水活動の変遷
1109	1999.6.22	研究	伊豆諸島	南八丈カルデラ	543	541	松本	千田	坂本 泉	海洋科学技術センター	32° 42.00'N	139° 45.00'E	7	15.08	4:44	3:57	10:00	10:33	14:30	14:44	南八丈海底カルデラの海底火山活動と地下物質の解明
1110	1999.6.24	研究	伊豆諸島	万治海山	1158	1158	光藤	植木	石塚 治	工業技術院地質調査所	31° 52.00'N	138° 55.50'E	5	3.7	5:26	3:46	9:09	10:15	14:01	14:35	海洋性島弧発達過程と熱水活動の変遷
1111	1999.6.8	研究	伊豆諸島	明神海丘	1359	1359	大野	千田	R.S.Fiske	スミソニアン博物館	32° 05.50'N	139° 52.00'E	8	4.57	5:34	3:52	9:31	10:42	14:34	15:05	明神海丘域における火山岩類の熱水変質及び発泡現象の解明
1112	1999.6.29	研究	伊豆諸島	明神海丘	1362	1346	千葉	光藤	山口 寿之	千葉大学	32° 06.20'N	139° 52.00'E	5	4.59	6:03	3:18	9:16	11:06	14:24	15:19	明神海丘における熱水噴出孔フジツボ類の系統解析
1113	1999.7.1	研究	伊豆諸島	明神海丘	1349	1328	松本	大野	堀井 善弘	東京都水産試験場	32° 06.20'N	139° 52.00'E	6	4.59	6:10	4:04	10:02	11:17	15:21	16:12	伊豆・小笠原火山フロント上海山における底生生物分布による漁場特性の解明
1114	1999.7.2	研究	伊豆諸島	明神海丘	1299	1298	光藤	千田	二重作 豊	北里大学	32° 06.20'N	139° 52.00'E	7	4.59	5:05	3:00	9:14	10:16	13:16	14:19	化学合成生物群集の構成種の解明
1115	1999.7.3	研究	伊豆諸島	明神海丘	1326	1326	松本	大野	土田 真二	海洋科学技術センター	32° 06.20'N	139° 52.00'E	7	4.59	6:12	4:14	9:21	10:23	14:37	15:33	明神海丘におけるユノハナガニの繁殖生態に関する研究
1116	1999.7.4	研究	伊豆諸島	明神海丘	1331	1306	千葉	千田	藤原 義弘	海洋科学技術センター	32° 06.20'N	139° 52.00'E	6	4.6	6:14	4:22	9:14	10:14	14:36	15:28	明神海丘シチヨウシンカイヒバリガイの成長速度の解明
1117	1999.7.6	研究	伊豆諸島	明神海丘	1306	1306	光藤	大野	飯笹 幸吉	工業技術院地質調査所	32° 06.00'N	139° 52.50'E	7	4.6	6:20	4:24	9:06	10:11	14:35	15:26	明神海丘カルデラの黒鉱型硫化物鉱床及びカルデラ形成史
1118	1999.7.27	研究	日本海	富山湾中央	999	998	千葉	植木	辻本 良	富山県水産試験場	37° 17.00'N	137° 33.50'E	7	0.19	6:20	4:43	9:22	10:19	15:02	15:42	富山湾における未成体ベニズワイガイの生態調査
1119	1999.7.28	研究	日本海	富山湾中央	986		大野	千田	James C.Hunt	海洋科学技術センター	37° 16.50'N	137° 33.50'E	−	−	6:14		9:37			15:51	中層生物の生態調査
1120	1999.07.0	研究	日本海	富山市沖	339	249	千葉	千葉	瀬戸 陽一	富山県水産試験場	36° 47.50'N	137° 17.50'E	4	3.06	6:08	5:14	9:15	9:48	15:02	15:23	富山湾におけるトヤマエビの分布生態調査
1121	1999.8.5	研究	日本海	奥尻島東方	1206	1206	千葉	植木	池原 研	工業技術院地質調査所	42° 00.50'N	139° 46.00'E	5	0.15	6:38	4:44	9:15	10:18	15:02	15:53	海底での変動と関連した海底地形形成過程・地質過程に関する総合研究（SQUID Cruise）
1122	1999.8.6	研究	日本海	奥尻島南西方	1507		大野	千田	James C.Hunt	海洋科学技術センター	42° 01.00'N	139° 19.00'E	−	−	6:28		9:30			15:58	中層生物の生態調査（SQUID Cruise）
1123	1999.8.7	研究	日本海	茂津多海脚西方	1949	1949	光藤	千葉	加藤 幸弘	海上保安庁 水路部	42° 43.00'N	139° 47.00'E	6	0.18	6:52	4:20	9:11	10:40	15:00	16:03	海底での変動と関連した海底地形形成過程・地質過程に関する総合研究（SQUID Cruise）
1124	1999.8.8	研究	日本海	茂津多海脚西方	1466	1466	大野	千田	加藤 幸弘	海上保安庁 水路部	42° 42.50'N	139° 49.00'E	7	0.19	6:18	4:20	9:13	10:26	14:46	15:31	海底での変動と関連した海底地形形成過程・地質過程に関する総合研究（SQUID Cruise）
1125	1999.8.10	研究	日本海	奥尻島南西方	1938	1938	光藤	植木	長沼 毅	広島大学	41° 57.00'N	139° 23.00'E	7	0.17	7:15	4:39	9:09	10:42	15:21	16:24	海底での変動と関連した海底地形形成過程・地質過程に関する総合研究（SQUID Cruise）
1126	1999.8.14	研究	道東沖	広尾海底谷	1252	1252	松本	植木	豊川 雅哉	中央水産研究所	42° 10.50'N	144° 10.50'E	3	2.57	6:26	1:45	9:15	13:07	14:52	15:41	北海道東方海域における中深層性ならびに深海近底層性プランクトンとそれを巡るエナジーフローの解明
1127	1999.8.15	研究	道東沖	広尾海底谷	1252	1233	大野	千田	菊池 知彦	横浜国立大学	42° 10.50'N	144° 10.50'E	4	2.52	6:41	3:10	9:10	11:47	14:57	15:51	北海道東方海域における中深層性ならびに深海近底層性プランクトンの分類学ならびに物質循環に関する研究
1128	1999.8.16	研究	道東沖	広尾海底谷	1234		光藤	植木	豊川 雅哉	中央水産研究所	42° 10.50'N	144° 10.50'E	−	−	6:08		9:09			15:17	北海道東方海域における中深層性ならびに深海近底層性プランクトンとそれを巡るエナジーフローの解明
1129	1999.8.18	研究	道東沖	広尾海底谷	1251	1237	大野	千葉	三宅 裕志	海洋科学技術センター	42° 10.50'N	144° 10.50'E	5	2.49	6:34	1:59	9:08	12:52	14:51	15:42	十勝沖広尾海底谷における冷湧水帯生物群集の生態調査
1130	1999.8.24	研究	三陸沖	八戸沖	493	485	松本	千田	石塚 治	工業技術院地質調査所	40° 44.50'N	142° 03.50'E	5	3.44	4:46	3:31	9:09	9:42	13:13	13:55	東北日本太平洋側の新第三系火山岩類の時空分布に関する研究
1131	1999.8.26	研究	三陸沖	三陸沖	1265	1263	千葉	千葉	藤田 敏彦	国立科学博物館	38° 50.00'N	142° 48.50'E	5	2.52	7:10	5:18	9:12	10:12	15:30	16:22	ヤギ類に付着して生活するキヌズサモズルの分布パターンと摂餌行動
1132	1999.8.27	研究	三陸沖	八戸沖	500	500	松本	千田	石塚 治	工業技術院地質調査所	40° 44.50'N	142° 03.50'E	6	3.55	5:53	5:02	9:01	9:30	14:32	14:54	東北日本太平洋側の新第三系火山岩類の時空分布に関する研究
1133	1999.9.23	研究	南海トラフ	南部第２天竜海丘	600	600	大野	千田	棚橋 学	工業技術院地質調査所	34° 04.50'N	137° 47.50'E	6	4.37	2:51	1:48	9:23	10:00	11:48	12:14	南海トラフ沈み込み帯－前弧域におけるガスハイドレートと冷湧水帯の地質学的・地球科学的研究
1134	1999.9.25	研究	南海トラフ	南部第２天竜海丘	600	597	松本	植木	徳山 英一	東京大学海洋研究所	34° 04.50'N	137° 47.50'E	7	4.16	2:58	1:58	14:14	14:49	16:47	17:12	御前崎沖活断層に伴う湧水・ガス噴出活動の変動を、地温の長期観測から明らかにする。
1135	1999.9.28	研究	駿河湾	妻良沖	435	431	千葉	千葉	村中 文夫	静岡県水産試験場	34° 38.00'N	138° 42.50'E	5	7.08	6:28	5:42	9:10	9:40	15:22	15:38	駿河湾深海生物資源調査、タカハシガニの資源調査
1136	1999.9.29	研究	駿河湾	土肥沖	1547	1547	大野	千田	久保田 信	京都大学理学研究科	34° 55.00'N	138° 39.50'E	4	2.36	6:48	0:34	9:21	14:28	15:02	16:09	日本近海における中・深層生物の多様性と物質輸送に関する研究
1137	1999.9.30	研究	相模湾	相模トラフ	1447	1445	松本	植木	久保田 信	京都大学理学研究科	35° 00.50'N	139° 22.00'E	4	2.46	6:58	0:46	9:12	14:26	15:12	16:10	日本近海における中・深層生物の多様性と物質輸送に関する研究
1138	1999.10.2	研究	相模湾	相模トラフ	1446	1446	千葉	千葉	戸田 龍樹	創価大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	5	2.39	5:56	1:55	9:14	10:27	12:22	15:10	相模湾における中深層性ならびに深海近底層性プランクトンの分類学並びに物質環境に関する研究
1139	1999.10.3	研究	相模湾	相模トラフ	1447	1445	大野	千田	James C.Hunt	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 22.00'E	4	2.31	6:17	1:29	10:33	14:20	15:49	16:50	Midwater and benthopelagic studies
1140	1999.10.5	研究	相模湾	初島南東沖	1345	1343	松本	植木	北沢 菜穂子	神奈川県水産総合研究所	34° 57.50'N	139° 16.50'E	4	2.66	7:02	5:00	9:13	10:17	15:17	16:15	深海性ソコダラ類イバラヒゲの摂餌行動の解明
1141	1999.10.6	研究	相模湾	初島南東沖	1353	1342	千葉	千葉	秋元 清治	神奈川県水産総合試験所	34° 57.50'N	139° 16.50'E	6	2.64	6:39	4:28	9:11	10:22	14:50	15:50	深海性ソコダラ類イバラヒゲの摂餌行動の解明
1142	1999.10.9	研究	相模湾	初島南東沖	1203	1200	大野	植木	三輪 哲也	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.73	5:32	3:38	9:06	10:04	13:42	14:38	相模湾初島沖の生態系及び細胞系における環境応答性の探究
1143	1999.10.10	研究	相模湾	初島南東沖	1215	1215	松本	大野	牧 陽之助	岩手大学	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.73	6:07	4:17	9:19	10:17	14:34	15:26	化学合成生物群集おける食物連鎖の硫黄同位体組成による解析
1144	1999.10.11	研究	相模湾	初島南東沖	1199	1199	千葉	千葉	奥谷 喬司	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	5	2.87	5:44	4:04	10:40	11:36	15:40	16:24	相模湾化合成生物群集のバイオマス評価
1145	1999.10.13	研究	相模湾	相模海丘	1368	1339	松本	植木	小川 勇二郎	筑波大学	35° 06.50'N	139° 19.50'E	4	2.65	6:18	4:16	9:08	10:15	14:31	15:26	関東地震震源域におけるテクトニクスとシロウリガイ群集との関連
1146	1999.10.14	研究	相模湾	相模トラフ	1446	1445	大野	千葉	北里 洋	静岡大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	5	2.5	6:33	4:10	9:30	10:55	15:05	16:03	堆積物－水境界における物質循環並びに生物・堆積過程の研究
1147	1999.11.3	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1685	1646	大野	植木	菊池 知彦	横浜国立大学	03° 43.50'S	151° 40.00'E	7	3.02	6:53	4:25	9:18	10:37	15:02	16:11	マヌス海盆における熱水噴出孔生物群集の分類学並びに熱水噴出孔周辺に分布する動物プランクトンの生理・生態学研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1148	1999.11.4	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1690		千葉	光藤	三宅　裕志	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	−	−	6:56	15:00	9:18		15:00	16:14	マヌス海盆における海洋生物群集生態の熱量効果による比較調査
1149	1999.11.5	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1724	1707	松本	光藤	Kaul Gena	秋田大学	03° 43.50'S	151° 40.00'E	4	3	6:47	4:14	10:00	11:16	15:30	16:47	マヌス海盆の熱水性変成岩に関する研究
1150	1999.11.7	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1684	1681	千葉	植木	土田　真二	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	7	2.98	6:54	3:26	9:14	11:26	14:52	16:08	マヌス海盆PACMANUSにおける甲殻類の成長と繁殖に関する研究
1151	1999.11.8	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1676	1648	大野	松本	Gwaibo Kopi	パプアニューギニア地質調査所	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	2.94	6:21	3:50	10:14	11:31	15:21	16:35	マヌス海盆の熱水性変成岩に関する研究
1152	1999.11.9	研究	マヌス海盆	パックマヌス	1707	1674	千葉	植木	橋本　惇	海洋科学技術センター	03° 43.50'S	151° 40.00'E	5	2.96	6:18	2:08	9:29	12:25	14:33	15:47	マヌス海盆PACMANUSにおける熱水噴出孔生物群集の生態調査
1153	1999.11.10	研究	マヌス海盆	デスモス	1932	1932	松本	大野	菊池　知彦	横浜国立大学	03° 41.50'S	151° 52.00'E	7	2.96	5:32	2:41	11:22	12:52	15:33	16:54	マヌス海盆における熱水噴出孔生物群集の分類学並びに熱水噴出孔に分布する動物プランクトンの生理・生態学研究
1154	1999.11.11	研究	マヌス海盆	デスモス	1938	1918	光藤	千葉	橋本　惇	海洋科学技術センター	03° 41.50'S	151° 52.00'E	4	2.96	5:09	2:04	12:13	13:58	16:02	17:22	マヌス海盆DESMOSにおける熱水噴出孔生物群集の生態調査
1155	1999.11.16	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	1814	1797	大野	植木	都司　嘉宣	東京大学地震研究所	02° 49.50'S	142° 11.50'E	5	2.64	5:50	3:07	9:10	10:36	13:43	15:00	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1156	1999.11.17	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	1511	1510	千葉	光藤	Horst Letz	パプアニューギニア地質調査所	02° 52.50'S	142° 12.00'E	4	3.07	5:46	3:49	9:17	10:29	14:18	15:03	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1157	1999.11.18	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	921	886	松本	大野	松本　剛	海洋科学技術センター	02° 54.00'S	142° 13.50'E	4	4.96	5:29	4:01	9:54	10:56	14:57	15:23	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1158	1999.11.20	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	1962	1962	光藤	植木	Wilfred Lus	パプアニューギニア大学	02° 48.50'S	142° 14.00'E	5	2.33	6:05	3:18	9:09	10:42	14:00	15:14	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1159	1999.11.21	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	1695	1664	大野	松本	David Tappin	英国地質調査所	02° 52.50'S	142° 16.00'E	5	2.79	6:02	3:53	9:55	11:11	15:04	15:57	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1160	1999.11.23	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	1649	1631	千葉	植木	M Moihoi	パプアニューギニア地質調査所	02° 52.50'S	142° 15.50'E	5	2.97	5:41	3:11	9:24	10:37	13:48	15:05	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1161	1999.11.24	研究	アイタペ沖	アイタペ沖	1758	1663	光藤	千葉	MNongkas	パプアニューギニア大学	02° 52.00'S	142° 16.50'E	5	2.98	6:59	4:26	10:16	11:34	16:00	17:15	パプア島北岸沖における変動地形と地震津波発生メカニズムに関する研究
1162	2000.3.24	沈降	横須賀港	横須賀第４区		1	千葉	大野	上原　篤	三菱重工神戸造船所			−	−	1:33		10:47			12:20	各機器作動試験
1163	2000.3.27	試験	相模湾	初島南東沖	1205	1205	大野	千田	松本　恵太	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.94	6:43	4:55	9:16	10:21	15:16	15:59	海上試験実施要領による各機器の作動試験
1164	2000.3.28	試験	相模湾	初島南東沖	1215	1215	千葉	光藤 数也	伊藤　一寿	日本海洋事業株式会社	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.83	5:27	3:37	10:32	11:35	15:12	15:59	海上試験実施要領による各機器の作動試験
1165	2000.3.30	試験	駿河湾	土肥沖	1533	1533	松本	植木	伊藤　一寿	日本海洋事業(株)	34° 54.50'N	138° 39.50'E	2.5	2.39	3:24	1:03	10:49	12:07	13:10	14:13	海上試験実施要領による各機器の作動試験
1166	2000.4.2	訓練	駿河湾	松崎沖	1964	1963	大野	千葉	北村　勝利	日本海洋事業(株)	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.76	5:33	2:41	9:36	11:14	13:55	15:09	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1167	2000.4.3	訓練	駿河湾	土肥沖	1546	1542	千葉	植木	水井　吉之	日本海洋事業(株)	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.39	5:32	3:16	9:21	10:35	13:51	14:53	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1168	2000.4.4	訓練	駿河湾	松崎沖	1968	1967	光藤	千田	宮崎　武晃	海洋科学技術センター	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.78	4:30	1:23	9:49	11:18	12:41	14:19	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1169	2000.4.6	訓練	駿河湾	松崎沖	1972	1971	松本	千葉	水井　吉之	日本海洋事業(株)	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.82	6:52	4:01	9:45	11:20	15:21	16:37	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1170	2000.4.7	訓練	駿河湾	土肥沖	1533	1523	光藤	植木	北村　勝利	日本海洋事業(株)	34° 54.50'N	138° 39.50'E	3	2.57	5:47	3:33	9:16	10:27	14:00	15:03	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1171	2000.4.8	取材	駿河湾	土肥沖	1549	1544	松本	千田	高野　聡	毎日新聞社	34° 54.50'N	138° 39.50'E	4	2.47	5:30	2:36	9:16	10:26	13:02	14:46	取材潜航
1172	2000.4.13	訓練	駿河湾	松崎沖	1964	1963	千葉	千葉	水井　吉之	日本海洋事業(株)	34° 43.00'N	138° 35.00'E	3	1.83	4:32	1:37	9:38	11:11	12:48	14:10	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1173	2000.4.15	訓練	相模湾	初島南東沖	1195	1195	松本	植木	水井　吉之	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 14.00'E	3	2.85	4:48	3:00	9:01	10:01	13:01	13:49	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1174	2000.4.16	訓練	相模湾	初島南東沖	1192	1192	大野	千田	三浦　豊司	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 14.00'E	4	2.89	4:10	2:22	9:25	10:30	12:52	13:35	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1175	2000.4.18	訓練	相模湾	初島南東沖	1204	1204	千葉	三浦	千葉　勝志	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 14.00'E	5	3.05	5:19	3:29	9:12	10:12	13:41	14:31	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と操作の慣熟訓練
1176	2000.5.9	研究	南西諸島	沖縄トラフ西端	1390	1388	千葉	千田	新城　竜一	琉球大学	24° 52.00'N	122° 43.50'E	7	3.86	7:03	4:50	9:25	10:42	15:32	16:28	沖縄トラフ西端部における火山活動とマグマ組成
1177	2000.5.10	研究	南西諸島	沖縄トラフ西端	1903	1903	大野	千葉	新城　竜一	琉球大学	24° 57.00'N	123° 12.00'E	7	3.76	6:43	3:50	10:40	12:12	16:02	17:23	沖縄トラフ西端部における火山活動とマグマ組成
1178	2000.5.11	研究	南西諸島	沖縄トラフ南部	1592	1592	松本	千田	本山　功	筑波大学	24° 42.50'N	123° 06.00'E	4	3.77	6:43	4:30	9:55	11:11	15:41	16:38	沖縄トラフの地質学的特性と形成過程の研究
1179	2000.5.13	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	729	720	千葉	千葉	町山　栄章	海洋科学技術センター	24° 08.00'N	124° 11.50'E	6	7.52	6:13	5:04	9:11	9:50	14:54	15:24	南西諸島南西部のテクトニクスの解明
1180	2000.5.14	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	878	878	大野	千田	牧　陽之助	岩手大学	24° 08.00'N	124° 12.50'E	6	5.18	5:54	4:42	9:14	10:00	14:42	15:08	硫化水素依存性化学合成生物群集におけるエネルギーフローの解明
1181	2000.5.18	研究	南西諸島	鳩間海丘	1526	1526	松本	千葉	渡辺　一樹	海上保安庁 水路部	24° 51.00'N	123° 51.00'E	5	3.8	6:34	4:14	9:20	10:32	14:46	15:54	西表島北北東沖海丘群の海底火山群の火山地形と火山岩の調査研究
1182	2000.5.19	研究	南西諸島	鳩間海丘	1627	1627	大野	千葉	土田　真二	海洋科学技術センター	24° 51.50'N	123° 50.50'E	5	3.82	6:57	4:28	9:49	11:15	15:43	16:46	鳩間海丘における甲殻類の繁殖生態に関する研究
1183	2000.5.20	研究	南西諸島	鳩間海丘	1521	1454	千葉	千田	三宅　裕志	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	123° 51.00'E	5	3.84	6:24	1:39	9:42	13:24	15:03	16:06	沖縄トラフ鳩間海丘における生物群集の生態調査
1184	2000.5.21	研究	南西諸島	鳩間海丘	1524	1454	松本	大野	渡部　元	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	123° 50.50'E	6	3.8	6:09	3:46	9:03	10:22	14:08	15:12	鳩間海丘シンカイヒバリガイ類の系統解析と成長速度の解明
1185	2000.5.24	研究	南西諸島	鳩間海丘	1524	1438	千葉	千葉	山口　寿之	千葉大学	24° 51.00'N	123° 50.50'E	5	3.81	6:44	4:31	9:19	10:29	15:00	16:03	沖縄トラフの熱水活動と噴出孔生物群集の調査
1186	2000.5.25	研究	南西諸島	鳩間海丘	1520	1520	大野	千田	渡辺　一樹	海上保安庁 水路部	24° 51.00'N	123° 50.50'E	7	3.82	6:33	4:17	9:30	10:45	15:02	16:03	西表島北北東沖海丘群の海底火山群の火山地形と火山岩の調査研究
1187	2000.5.26	研究	南西諸島	鳩間海丘	1522	1493	松本	千葉	土田　真二	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	123° 50.50'E	4	3.83	6:08	3:18	10:43	12:30	15:48	16:51	鳩間海丘における甲殻類の繁殖生態に関する研究
1188	2000.5.28	研究	南西諸島	鳩間海丘	1524	1524	千葉	千田	三宅　裕志	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	123° 50.50'E	5	3.83	6:44	1:35	9:13	13:23	14:58	15:57	沖縄トラフ鳩間海丘における生物群集の生態調査
1189	2000.5.29	研究	南西諸島	鳩間海丘	1526	1524	大野	松本	渡部　元	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	123° 50.50'E	5	3.8	6:59	3:43	9:15	11:29	15:12	16:14	鳩間海丘シンカイヒバリガイ類の系統解析と成長速度の解明
1190	2000.5.30	研究	南西諸島	水納海丘	1932	1932	千葉	千葉	渡辺　一樹	海上保安庁 水路部	24° 54.00'N	124° 15.00'E	7	3.78	7:21	4:51	9:14	10:50	15:41	16:35	西表島北北東沖海丘群の海底火山群の火山地形と火山岩の調査研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1191	2000.6.17	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1052	1055	大野	千田	山本　智子	鹿児島大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	6	4.31	5:52	4:17	9:33	10:26	14:43	15:25	伊平屋北部における熱水噴出孔生物群集の群集構造と生物生産性に関する研究
1192	2000.6.18	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1034	1034	千葉	千葉	千葉　仁	岡山大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.52	6:03	4:19	9:24	10:18	14:37	15:27	伊平屋凹地北部海底熱水系の詳細なマッピングと熱水化学組成の継続的観察
1193	2000.6.19	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1061	1047	松本	千田	藤岡　換太郎	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	4	4.39	6:47	4:52	9:27	10:18	15:10	16:14	沖縄トラフ熱水活動の分布の研究
1194	2000.6.21	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1041	1041	千葉	千葉	井上　明	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	6	4.5	5:57	4:15	10:45	11:39	15:54	16:42	深海地殻微生物の探索及び現場培養の回収
1195	2000.6.22	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1062	1020	大野	千田	Russell Hill	メリーランド大学	27° 47.00'N	126° 54.00'E	7	4.66	6:02	4:25	9:52	10:48	15:13	15:54	深海熱水域に適応した微生物、好熱性微生物の研究及び熱水鉱床における微生物学的多様性の解明
1196	2000.6.23	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1025	1014	松本	千葉	満澤　巨彦	海洋科学技術センター	27° 47.00'N	126° 54.00'E	5	4.59	6:42	1:23	9:24	14:04	15:27	16:06	沖縄トラフにおける熱水プルームの長期モニタリング手法の開発及び観察
1197	2000.6.30	研究	相模湾	相模海丘	1405	1405	千葉	千葉	斉藤　実篤	東京大学海洋研究所	35° 06.00'N	139° 20.50'E	3	2.41	6:22	4:27	9:21	10:31	14:58	15:43	相模トラフ付加プリズムの発達過程と流体環境の解明
1198	2000.7.2	研究	駿河湾	松崎沖	1841	1840	松本	大野	冨山　新一	海上保安庁 水路部	34° 45.50'N	138° 36.00'E	4	2.23	5:46	3:20	9:18	10:47	14:07	15:04	駿河トラフにおける海底音響測距実験
1199	2000.7.3	研究	相模湾	相模トラフ	1451	1449	千葉	千田	小泉　金一郎	東京大学海洋研究所	35° 00.50'N	139° 22.00'E	5	2.42	4:04	1:36	10:08	11:37	13:13	14:12	海底ベンチマークを利用した海底重力の繰り返し観測と海底圧力の長期観測による計測実験
1200	2000.7.4	研究	相模湾	相模トラフ	1449	1448	松本	千葉	佐藤　利典	千葉大学	35° 00.50'N	139° 22.00'E	3	2.83	3:41	1:21	9:06	10:29	11:50	12:47	自己浮上型海底傾斜計の開発及び観測実験
1201	2000.7.6	研究	相模湾	初島南東沖	1202	1202	大野	千田	三宅　裕志	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 13.50'E	4	2.92	5:59	2:00	9:12	12:24	14:24	15:11	相模湾初島沖における冷水帯生物群集の生態調査
1202	2000.7.9	研究	相模湾	初島南東沖	1201	1170	千葉	千葉	D Lindsay	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 13.50'E	4	2.81	6:14	0:41	10:26	14:30	15:11	16:40	相模湾おける中・深層生物群集の比較研究
1203	2000.7.10	研究	相模湾	初島南東沖	1239	1239	松本	千田	渡部　元	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 13.50'E	4	2.68	6:32	4:57	9:14	10:14	15:11	15:46	相模湾における化学合成生物群集を構成する軟体動物の分類学的研究
1204	2000.7.11	研究	相模湾	初島南東沖	1000		大野	千葉	D Lindsay	海洋科学技術センター	35° 00.50'N	139° 13.50'E	−	−	7:28		9:19			16:47	相模湾における中・深層生物群集の比較研究
1205	2000.7.12	研究	相模湾	相模海丘	1405	1404	松本	千葉	小川　勇二郎	筑波大学	35° 05.50'N	139° 20.50'E	4	2.36	6:48	4:42	9:16	10:22	15:04	16:04	相模湾北部の新しいプレート境界における冷湧水、シロウリガイ及び地殻構造の研究
1206	2000.8.9	研究	日本海	隠岐堆	914	913	大野	千葉	北里　洋	静岡大学	37° 03.50'N	134° 42.50'E	6	0.19	6:46	4:30	9:21	10:53	15:23	16:07	酸素に富む深海環境における海底表層部の構造と生物活性の観察と実験
1207	2000.8.10	研究	日本海	隠岐堆	916	913	千葉	千田	J.C.Hunt	海洋科学技術センター	37° 03.50'N	134° 42.50'E	4	0.23	6:51	0:53	9:18	14:31	15:24	16:09	日本海海域における中深層生物及び近底層生物の環境生物学的研究
1208	2000.8.11	研究	日本海	富山湾中央	1082	1082	松本	千田	前田　経雄	富山県水産試験場	37° 10.50'N	137° 24.00'E	5	0.19	6:13	4:26	9:01	9:55	14:21	15:14	富山湾におけるベニズワイガニの生息密度調査
1209	2000.8.13	研究	日本海	七尾湾沖	1011	1011	大野	千葉	張　勁	富山大学	37° 07.50'N	137° 10.00'E	7	0.21	6:37	5:14	10:16	11:00	16:14	16:53	日本海東縁変動帯南端部の地殻生物活動に関する学際的研究
1210	2000.8.14	研究	日本海	七尾湾沖	1020	1020	千葉	千田	竹内　章	富山大学	37° 07.50'N	137° 10.00'E	5	0.21	6:14	4:50	9:59	10:51	15:41	16:13	日本海東縁変動帯における地震空白域の海底地震地質調査
1211	2000.8.15	研究	日本海	秋田市沖	1120	1116	松本	千葉	竹内　章	富山大学	39° 30.00'N	138° 45.00'E	4	0.19	6:11	4:39	9:15	10:10	14:49	15:26	日本海東縁変動帯における地震空白域の海底地震地質調査
1212	2000.8.16	研究	日本海	秋田市沖	1083		千葉	千田	J.C.Hunt	海洋科学技術センター	39° 30.00'N	138° 47.00'E	−	−	7:35		9:16			16:51	日本海海域における中深層生物及び近底層生物の環境生物学的研究
1213	2000.8.23	研究	道西沖	後志海山	1649	1649	光藤	千葉	岡村　行信	工業技術院地質調査所	43° 38.00'N	139° 38.50'E	5	0.15	7:01	4:40	9:19	10:38	15:18	16:20	日本海東縁の海底活断層と地震発生ポテンシャル評価
1214	2000.8.24	研究	道西沖	忍路海山北方	1383	1383	大野	植木	佐竹　健治	工業技術院地質調査所	44° 39.50'N	139° 24.50'E	6	0.2	6:18	4:37	9:16	10:24	15:01	15:34	日本海東縁の海底活断層と地震発生ポテンシャル評価
1215	2000.8.25	研究	道西沖	積丹岬北方	797	797	光藤	植木	荒井　晃作	工業技術院地質調査所	43° 49.50'N	140° 22.00'E	5	0.51	6:28	5:20	9:16	9:57	15:17	15:44	日本海東縁の海底活断層と地震発生ポテンシャル評価
1216	2000.9.12	研究	道東沖	釧路港南西沖	318	318	光藤	植木	柳本　卓	北海道区水産研究所	42° 36.50'N	143° 59.00'E	3	2.47	2:40	2:01	9:33	10:00	12:01	12:13	スケトウダラの遊泳行動の観察
1217	2000.9.14	研究	道東沖	釧路港南西沖	326	326	大野	千葉	濱津　友紀	北海道区水産研究所	42° 35.50'N	143° 58.00'E	4	2.48	6:50	6:13	9:12	9:39	15:52	16:02	スケトウダラの遊泳行動の観察
1218	2000.9.15	研究	道東沖	広尾海底谷	1246	1243	光藤	千田	三宅　裕志	海洋科学技術センター	42° 11.00'N	144° 10.50'E	4	2.59	6:49	0:41	9:11	14:25	15:06	16:00	道東海域における中深層性及び近底層生物の環境生物学的研究
1219	2000.9.16	研究	道東沖	広尾海底谷	1275	1259	光藤	植木	豊川　雅哉	中央水産研究所	42° 11.00'N	144° 11.00'E	4	2.58	6:40	1:32	10:14	14:32	16:04	16:54	道東方海域における中深層性ならびに深海近底層性プランクトン相と生態に関する研究
1220	2000.9.19	研究	三陸沖	金華山沖	791	791	大野	水井	佐伯　光広	宮城県水産研究開発センター	38° 14.50'N	142° 12.50'E	4	3.51	7:01	4:49	9:24	10:12	15:01	16:25	深海性異体類（サメガレイ）の分布特性に関する研究
1221	2000.10.5	研究	小笠原諸島	水曜海山	1388	1345	松本	千田	小山　純弘	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.55	6:33	4:25	9:17	10:26	14:51	15:50	水曜海山における深海生物群集の組織培養
1222	2000.10.6	研究	小笠原諸島	水曜海山	1388	1388	光藤	植木	小塚　芳道	北里大学	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.53	6:34	4:29	9:24	10:29	14:58	15:58	化学合成生物群集の構成種の解明
1223	2000.10.7	研究	小笠原諸島	水曜海山	1389	1385	千葉	千田	浦辺　徹郎	東京大学	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.62	6:09	3:56	9:18	10:29	14:25	15:27	水曜海山の熱水域においてのマッピングおよび海底設置型の予備的研究
1224	2000.10.8	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1367	松本	植木	海宝　由佳	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.56	6:43	4:43	9:21	10:27	15:10	16:04	海底火山におけるマグマ性地震波検出の試み
1225	2000.10.9	研究	小笠原諸島	水曜海山	1389	1387	光藤	千田	横尾　頴子	工業技術院地質調査所	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.61	6:46	4:42	9:18	10:24	15:06	16:04	水曜海山の熱水海域においてのマッピングおよび海底設置型コアリング装置の予備的研究
1226	2000.10.16	研究	駿河湾	松崎沖	1964	1949	光藤	植木	三澤　良文	東海大学	34° 43.50'N	138° 35.00'E	3	2.03	6:38	4:04	9:13	10:40	14:44	15:51	駿河トラフ東西の大陸斜面の地質構造の解明
1227	2000.10.17	研究	伊豆諸島	黒瀬海穴	778	757	大野	千田	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	33° 24.50'N	139° 41.00'E	7	11.11	7:02	0:54	9:19	13:50	14:44	16:21	黒瀬海穴における中・深層生物群集の比較検討
1228	2000.10.20	研究	小笠原諸島	水曜海山	1375	1359	光藤	千葉	西澤　あずさ	海上保安庁 水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	4	3.37	2:41	0:28	13:27	14:43	15:11	16:08	海底火山におけるマグマ性地震波検出の試み
1229	2000.10.21	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1387	大野	植木	臼井　朗	工業技術院地質調査所	28° 34.50'N	140° 38.50'E	7	3.45	6:27	4:22	9:14	10:23	14:45	15:41	海底活火山に伴う熱水起源鉄マンガン酸化物の形成機構
1230	2000.10.22	研究	小笠原諸島	水曜海山	1388	1386	光藤	千田	西澤　あずさ	海上保安庁 水路部	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.51	7:06	5:03	9:10	10:17	15:20	16:16	海底火山におけるマグマ性地震波検出の試み
1231	2000.10.24	研究	相模湾	相模海丘	1000		大野	千葉	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	35° 05.50'N	139° 20.00'E	−	−	5:18		11:12			16:30	相模海丘における中・深層生物群集の比較検討
1232	2000.10.25	研究	駿河湾	松崎沖	1962	1962	光藤	植木	三澤　良文	東海大学	34° 43.00'N	138° 34.50'E	2	1.97	6:58	3:27	9:15	10:44	14:11	16:13	駿河トラフ東西の大陸斜面の地質構造の解明
1233	2000.11.2	研究	小笠原諸島	海形海山	880	880	大野	千葉	熊谷　英憲	海洋科学技術センター	26° 42.00'N	141° 01.50'E	7	4.13	6:18	4:55	9:15	10:07	15:02	15:33	伊豆小笠原弧、海形海山の火山地質の研究
1234	2000.11.3	研究	小笠原諸島	海形海山	572	552	松本	植木	土田　真二	海洋科学技術センター	26° 42.50'N	141° 04.50'E	7	9.35	5:36	4:30	9:19	10:03	14:33	14:55	海形海山における短尾類の繁殖生態に関する研究
1235	2000.11.4	研究	小笠原諸島	海形海山	905	905	大野	千田	熊谷 英憲	海洋科学技術センター	26° 42.00'N	141° 04.50'E	5	7.91	5:42	4:33	9:21	10:09	14:42	15:03	伊豆小笠原弧、海形海山の火山地質の研究
1236	2000.11.5	研究	小笠原諸島	海形海山	466	466	松本	千葉	石橋　純一郎	九州大学	26° 42.50'N	141° 04.50'E	7	11.64	4:16	3:25	9:18	9:48	13:13	13:34	島弧型海底熱水活動の地球的・微生物学的研究
1237	2000.11.8	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1386	大野	植木	高井　研	海洋科学技術センター	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.42	6:01	3:56	9:35	10:44	14:40	15:36	深海地殻微生物の探索及び生態の解明と未知の遺伝子資源の開発
1238	2000.11.9	研究	小笠原諸島	水曜海山	1385	1385	松本	千田	福居　俊昭	京都大学	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.42	5:48	3:43	9:19	10:25	14:08	15:07	島弧型海底熱水活動の地球的・微生物学的研究
1239	2000.11.25	研究	相模湾	熱海市沖	393	393	松本	千田	川嶋　尚正	静岡県水産試験場	35° 06.50'N	139° 08.00'E	4	8.05	6:20	5:31	9:10	9:40	15:11	15:30	禁魚による底生生物資源のその増殖効果の検討
1240	2000.11.26	研究	相模湾	熱海市沖	342	340	千葉	千葉	川嶋　尚正	静岡県水産試験場	35° 07.00'N	139° 08.00'E	4	8.44	4:58	4:16	9:10	9:35	13:51	14:08	禁魚による底生生物資源のその増殖効果の検討
1241	2000.11.27	研究	相模湾	小田原市沖	648	648	大野	植木	木下　淳司	神奈川県水産総合研究所	35° 13.00'N	139° 10.50'E	4	4.92	5:20	4:24	9:10	9:47	14:11	14:30	相模湾深層水の利用を目的とした基礎研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1242	2000.11.29	研究	相模湾	初島南東沖	1179	1177	松本	千葉	三宅　裕志	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.64	6:29	1:18	9:11	13:28	14:46	15:40	相模湾における中深層および近底層生物の環境生物学的研究
1243	2000.12.1	研究	南海トラフ	金洲ノ瀬西方	645	644	千葉	千田	松本　良	東京大学	34° 19.00'N	137° 56.50'E	5	4.44	4:23	3:27	9:09	9:45	13:12	13:32	ダブルBSRの起源とガスハイドレード安定領域の変動要因の解明
1244	2000.12.2	研究	相模湾	初島南東沖	1199	1173	大野	植木	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.88	5:41	3:43	9:04	10:28	14:11	14:45	初島沖長期ステーション周辺の深海環境変動観測及びリアルタイム深海底ネットワーク観測技術の開発研究
1245	2000.12.3	研究	駿河湾	石花海南堆	302	243	松本	千田	沼波　秀樹	東京家政学院大学	34° 36.50'N	138° 24.50'E	5	9.86	5:02	4:28	9:05	9:29	13:57	14:07	駿河湾におけるアケビガイを優占種とした底生生物群集の生態調査と群集成因の解明
1246	2000.12.4	研究	相模湾	初島南東沖	1184	1169	大野	千葉	藤倉　克則	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.83	6:18	4:14	9:27	10:45	14:59	15:45	相模湾化学合成生物群集のバイオマス評価
1247	2000.12.5	訓練 潜航	相模湾	初島南東沖	1196	1196	植木	千葉	千葉　和宏	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	6	2.9	4:26	1:58	9:02	10:31	12:29	13:28	特徴のある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1248	2001.3.22	沈降	横須賀港	横須賀第３区	1		大野	松本	生田　頭弘	三菱重工神戸造船所			−	−	1:32		11:11			12:43	各機器作動試験
1249	2001.3.23	試験	相模湾	初島南東沖	1204	1204	千葉	植木	上原　篤	三菱重工神戸造船所	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.9	5:25	3:39	9:45	10:45	14:24	15:10	海上試験実施要領による各機器の作動試験
1250	2001.3.24	試験	相模湾	初島南東沖	1203	1203	松本	千葉	水井　吉之	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.8	4:15	2:27	11:12	12:17	14:44	15:27	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1251	2001.3.26	試験	駿河湾	松崎沖	1966	1966	大野	千田	北村　勝利	日本海洋事業(株)	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.8	5:29	2:40	9:40	11:16	13:56	15:09	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1252	2001.3.27	試験	駿河湾	土肥沖	1528	1528	千葉	植木	水井　吉之	日本海洋事業(株)	34° 55.00'N	138° 39.00'E	4	2.7	5:18	2:51	9:42	11:12	14:03	15:00	海上試験実施要領による各機器の作動確認
1253	2001.4.2	訓練	駿河湾	土肥沖	1529	1529	大野	水井	千田　要介	日本海洋事業(株)	34° 55.00'N	138° 39.00'E	3	2.5	4:15	1:52	10:23	11:49	13:41	14:38	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1254	2001.4.4	訓練	駿河湾	土肥沖	1544	1543	植木	千葉	千葉　勝志	日本海洋事業(株)	34° 55.00'N	138° 39.00'E	3	2.5	5:49	3:00	9:47	11:32	14:32	15:36	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1255	2001.4.5	訓練	駿河湾	松崎沖	1974	1974	光藤	千葉	辻　晶久	日本海洋事業(株)	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.9	6:34	3:19	9:24	11:22	14:41	15:58	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1256	2001.4.6	訓練	駿河湾	松崎沖	1979	1979	大野	水井	辻　晶久	日本海洋事業(株)	34° 43.50'N	138° 35.00'E	4	1.9	6:59	3:25	9:28	11:48	15:13	16:27	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1257	2001.4.8	訓練	駿河湾	松崎沖	1966	1965	植木	千葉	北村　勝利	日本海洋事業(株)	34° 43.50'N	138° 35.00'E	5	1.9	7:08	3:22	9:28	11:50	15:12	16:36	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1258	2001.4.9	訓練	駿河湾	土肥沖	1529	1529	大野	辻	千田　要介	日本海洋事業(株)	34° 55.00'N	138° 39.00'E	3	2.6	5:44	2:46	9:21	11:24	14:10	15:05	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1259	2001.4.12	取材	駿河湾	土肥沖	1509	1509	松本	光藤	植之原　英彦	フジテレビ	34° 55.00'N	138° 39.00'E	3	2.6	4:25	0:20	9:39	12:45	13:05	14:04	中層及び海底の観察
1260	2001.4.14	訓練	駿河湾	土肥沖	1537	1537	植木	千葉	野村　陽	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	4	2.5	5:20	2:43	9:12	10:48	13:31	14:32	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1261	2001.4.16	訓練	相模湾	初島南東沖	1191	1172	光藤	水井	千葉　勝志	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.9	6:40	4:54	9:15	10:14	15:08	15:55	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1262	2001.4.17	訓練	相模湾	初島南東沖	1203	1203	松本	北村	千田　要介	日本海洋事業(株)	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.9	6:28	4:11	9:19	10:50	15:01	15:47	特徴ある地形地質・視界・潮流・急崖などを体験し、運航技術の取得と機器操作の慣熟訓練
1263	2001.5.7	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	649	649	千葉	植木	町山　栄章	海洋科学技術センター	24° 07.80'N	124° 11.05'E	7	6.2	5:32	4:24	9:24	10:03	14:27	14:56	ガスハイドレートの分解、生成過程に伴う冷湧水形成と斜面崩壊（テクトニクス）の解明
1264	2001.5.8	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	665	665	松本	千葉	松本　良	東京大学	24° 07.80'N	124° 11.50'E	6	7.5	5:38	4:24	10:38	11:19	15:43	16:16	ガスハイドレートの分解、生成過程に伴う冷湧水形成と斜面崩壊（テクトニクス）の解明
1265	2001.5.9	研究	南西諸島	黒島海丘南斜面	1771	1771	植木	千葉	松本　剛	海洋科学技術センター	24° 03.00'N	124° 09.00'E	7	2.3	6:39	4:06	9:28	10:54	15:00	16:07	ガスハイドレートの分解、生成過程に伴う冷湧水形成と斜面崩壊（テクトニクス）の解明
1266	2001.5.11	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	665	663	松本	千田	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	24° 07.80'N	124° 11.55'E	8	6.6	3:13	2:08	9:17	9:53	12:01	12:30	ガスハイドレートの分解、生成過程に伴う冷湧水形成と斜面崩壊（テクトニクス）の解明
1267	2001.5.16	研究	南西諸島	第４与那国海丘	1388	1379	大野	水井	藤倉　克則	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	122° 42.00'E	5	4	7:21	4:55	9:27	10:45	15:40	16:48	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1268	2001.5.17	研究	南西諸島	第４与那国海丘	1377	1369	松本	千田	山中　寿朗	筑波大学	24° 51.00'N	122° 42.00'E	4	4	6:30	4:24	9:19	10:30	14:54	15:49	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1269	2001.5.18	研究	南西諸島	鳩間海丘	1528	1528	植木	千葉	石橋　純一郎	九州大学	24° 51.55'N	123° 50.50'E	4	3.8	6:06	3:52	9:38	10:51	14:43	15:44	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1270	2001.5.20	研究	南西諸島	鳩間海丘	1524	1489	大野	水井	土田　真二	海洋科学技術センター	24° 51.55'N	123° 50.50'E	5	3.8	7:18	4:50	9:16	10:41	15:31	16:34	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1271	2001.5.21	研究	南西諸島	第４与那国海丘	1385	1371	松本	千田	藤原　義弘	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	122° 42.00'E	4	4.1	7:01	4:43	9:08	10:23	15:06	16:09	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1272	2001.5.22	研究	南西諸島	鳩間海丘	1522	1472	植木	千葉	小松　徹史	海洋科学技術センター	24° 51.55'N	123° 50.50'E	4	3.8	5:22	1:51	9:22	11:47	13:38	14:44	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1273	2001.5.24	研究	南西諸島	第４与那国海丘	1386	1370	植木	大野	山口　寿之	千葉大学	24° 51.00'N	122° 42.00'E	4	4.1	6:19	4:02	9:30	10:43	14:45	15:49	沖縄トラフの熱水フジツボ類エボシガイ亜目及びハナカゴ亜目とその起源の研究
1274	2001.5.25	研究	南西諸島	第４与那国海丘	1384	1370	松本	光藤	大越　健嗣	石巻専修大学	24° 51.00'N	122° 42.00'E	4	4	6:47	4:38	9:12	10:21	14:59	15:59	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1275	2001.5.26	研究	南西諸島	鳩間海丘	1522	1421	植木	大野	土田　真二	海洋科学技術センター	24° 51.55'N	123° 50.50'E	5	3.8	6:32	4:03	9:45	11:11	15:14	16:17	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1276	2001.5.28	研究	南西諸島	第４与那国海丘	1387	1383	光藤	松本	藤倉　克則	海洋科学技術センター	24° 51.00'N	122° 42.00'E	4	4	6:37	4:31	9:11	10:20	14:51	15:48	熱水生態系の現存量及び生産量と生物群集の生物多様性に関する研究
1277	2001.5.29	訓練	南西諸島	鳩間海丘	1528	1516	植木	光藤	北村　勝利	日本海洋事業(株)	24° 51.55'N	123° 50.50'E	3	3.8	6:02	3:32	9:14	10:33	14:05	15:16	特徴のある地形・熱水噴出孔及び生物群集での操船技術の習得と機器操作の慣熟訓練
1278	2001.7.1	研究	富山湾	七尾湾沖	1007	1007	光藤	水井	竹内　章	富山大学	37° 05.00'N	137° 09.00'E	3	0.2	6:17	5:09	9:43	10:37	15:46	16:00	化学合成生態系と光合成生態系におけるエネルギー調査
1279	2001.7.2	研究	富山湾	七尾湾沖	989	987	大野	千葉	張　勁	富山大学	37° 10.00'N	137° 12.00'E	5	0.2	5:19	3:58	9:15	10:14	14:12	14:34	化学合成生態系と光合成生態系におけるエネルギー調査
1280	2001.7.3	研究	富山湾	七尾湾沖	900	900	光藤	千田	斉藤　康典	筑波大学	37° 08.00'N	137° 09.50'E	4	0.3	5:00	3:47	9:00	9:43	13:30	14:00	化学合成生態系と光合成生態系におけるエネルギー調査
1281	2001.7.5	研究	富山湾	水橋沖	274	260	松本	水井	吉田　一範	日本栽培漁業協会	36° 47.00'N	137° 17.50'E	3	3.5	5:15	4:42	10:27	10:50	15:32	15:42	富山湾における天然及び放流トヤマエビの分布生態調査
1282	2001.7.6	研究	富山湾	水橋沖	276	272	大野	千葉	吉田　一範	日本栽培漁業協会	36° 47.00'N	137° 17.50'E	3	3.2	6:05	5:23	9:10	9:37	15:00	15:15	富山湾における天然及び放流トヤマエビの分布生態調査

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1283	2001.7.18	研究	道西沖	後志海山	1139	1139	松本	千葉	小川　麻里	慶應義塾大学	43° 35.50'N	139° 35.00'E	5	0.2	6:14	5:03	9:16	10:11	15:14	15:30	化学合成生態系と光合成生態系におけるエネルギー調査
1284	2001.7.19	研究	道西沖	後志海山	713	712	千葉	植木	三宅　裕志	海洋科学技術センター	43° 34.00'N	139° 33.00'E	4	0.4	6:05	3:33	9:18	11:39	15:12	15:23	中深層性および近底層生物の環境生物学的研究
1285	2001.7.20	研究	道西沖	後志海山	877	877	大野	水井	井上　勲	筑波大学	43° 34.00'N	139° 33.00'E	6	0.2	6:24	5:29	9:16	10:03	15:32	15:40	化学合成生態系と光合成生態系におけるエネルギー調査
1286	2001.7.22	研究	道西沖	後志海山	555	540	松本	千葉	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	43° 35.50'N	139° 34.50'E	5	0.5	6:15	3:11	9:07	12:00	15:11	15:22	中深層性および近底層生物の環境生物学的研究
1287	2001.7.23	研究	道西沖	後志海山	790	790	植木	千葉	長沼　毅	広島大学	43° 36.50'N	139° 33.00'E	5	0.3	5:57	5:04	9:06	9:48	14:52	15:03	化学合成生態系と光合成生態系におけるエネルギー調査
1288	2001.7.24	研究	道西沖	後志海山	1891	1891	大野	水井	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	43° 39.00'N	139° 32.50'E	5	0.2	7:02	0:48	9:09	14:13	15:01	16:11	中深層性および近底層生物の環境生物学的研究
1289	2001.8.6	研究	道東沖	襟裳海底谷	329	318	松本	千葉	柳本　卓	北海道区水産研究所	41° 41.00'N	143° 38.00'E	4	1.4	5:49	5:05	9:15	9:46	14:51	15:04	海底谷における底魚類の分布状態の観察
1290	2001.8.7	研究	道東沖	襟裳海底谷	791	791	光藤	水井	濱津　友紀	北海道区水産研究所	41° 40.00'N	143° 49.00'E	3	2.8	6:35	5:25	9:08	9:51	15:16	15:43	海底谷における底魚類の分布状態の観察
1291	2001.8.8	研究	道東沖	釧路海底谷	810	810	松本	千葉	濱津　友紀	北海道区水産研究所	42° 44.50'N	144° 18.50'E	3	2.9	6:24	4:59	9:11	10:01	15:00	15:35	海底谷における底魚類の分布状態の観察
1292	2001.8.9	研究	道東沖	釧路海底谷	415	415	光藤	水井	柳本　卓	北海道区水産研究所	42° 51.50'N	144° 17.50'E	3	1.8	5:37	4:58	9:01	9:24	14:22	14:38	海底谷における底魚類の分布状態の観察
1293	2001.8.25	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1387	千葉	植木	角皆　潤	北海道大学	28° 34.50'N	140° 38.50'E	7	3.1	5:53	3:39	9:22	10:36	14:15	15:15	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水環境系の様式の推定
1294	2001.8.26	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1359	大野	水井	岡村　慶	京都大学	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.3	5:57	3:50	10:02	11:12	15:02	15:59	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水環境系の様式の推定
1295	2001.8.27	研究	小笠原諸島	水曜海山	1384	1377	松本	千葉	田中　明子	産業技術総合研究所	28° 34.50'N	140° 38.50'E	5	3.2	7:05	4:49	9:17	10:25	15:14	16:22	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1296	2001.8.28	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1385	植木	千葉	下島　公紀	電力中央研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	7	3.2	5:53	2:50	11:35	13:40	16:30	17:28	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1297	2001.8.29	研究	小笠原諸島	水曜海山	1383	1382	大野	千田	角皆　潤	北海道大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.3	6:19	4:11	9:17	10:29	14:40	15:36	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1298	2001.9.1	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1386	松本	水井	岡村　慶	京都大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.3	6:31	4:24	9:14	10:23	14:47	15:45	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1299	2001.9.2	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1372	植木	千葉	下島　公紀	電力中央研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	7	3.3	6:47	1:35	9:16	13:31	15:06	16:03	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1300	2001.9.5	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1375	大野	千葉	中村　光一	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	6	3.4	6:14	4:05	9:13	10:23	14:28	15:27	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水環境系の様式の推定
1301	2001.9.6	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1385	松本	水井	木下　正高	海洋科学技術センター	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.3	6:21	4:17	9:14	10:20	14:37	15:35	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1302	2001.9.14	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1386	千葉	千田	中村　光一	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.4	6:28	4:24	9:15	10:19	14:43	15:43	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1303	2001.9.15	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1384	植木	大野	木下　正高	海洋科学技術センター	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.3	6:26	4:11	9:32	10:49	15:00	15:58	物理・化学環境の時間変動観測による島弧型熱水循環系の様式の推定
1304	2001.10.3	研究	小笠原諸島	明神海丘	1398	1397	光藤	植木	飯笹　幸吉	産業技術総合研究所	32° 06.00'N	139° 52.00'E	5	4.2	6:57	4:56	9:07	10:16	15:12	16:04	明神海丘カルデラにおける黒鉱型鉱床の研究
1305	2001.10.6	研究	小笠原諸島	水曜海山	1385	1385	千葉	千田	丸山　明彦	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.5	6:45	4:33	9:21	10:32	15:05	16:06	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1306	2001.10.10	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1369	光藤	千葉	難波　謙二	東京大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.5	6:39	4:18	9:19	10:32	14:50	15:58	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1307	2001.10.11	研究	小笠原諸島	水曜海山	1382	1380	大野	水井	桑原　朋彦	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.4	6:24	4:17	9:28	10:34	14:51	15:52	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1308	2001.10.12	研究	小笠原諸島	水曜海山	1384	1383	植木	千葉	内海　真生	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.5	5:59	3:48	9:37	10:44	14:32	15:36	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1309	2001.10.13	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1386	光藤	千田	砂村　倫成	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.6	6:14	4:12	9:02	10:03	14:15	15:16	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物
1310	2001.10.14	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1386	光藤	水井	掛川　武	東北大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.4	6:03	4:02	10:06	11:09	15:11	16:09	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1311	2001.10.23	研究	小笠原諸島	水曜海山	1383	1382	大野	松本	石橋　純一郎	九州大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.7	6:56	4:47	8:57	10:09	14:56	15:53	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1312	2001.10.24	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1369	松本	千葉	東　陽介	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	4	3.4	6:15	3:16	10:09	11:52	15:08	16:24	水曜海山における島弧型海底熱水系の化学・微生物学
1313	2001.11.14	研究	駿河湾	妻良沖	860	859	千葉	千葉	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	34° 39.00'N	138° 39.50'E	5	3.7	5:56	4:45	9:19	10:06	14:51	15:15	大陸斜面における中層・海底生態系の相互作用
1314	2001.11.15	研究	駿河湾	妻良沖	560	560	大野	植木	藤田　敏彦	国立科学博物館	34° 40.00'N	138° 41.50'E	3	5.1	6:01	4:54	9:05	9:53	14:47	15:06	大陸斜面における中層・海底生態系の相互作用
1315	2001.11.16	研究	駿河湾	妻良沖	394	394	松本	千田	遠藤　宜成	東北大学	34° 40.00'N	138° 41.50'E	3	7.7	4:29	3:44	11:31	12:07	15:51	16:00	大陸斜面における中層・海底生態系の相互作用
1316	2001.11.17	研究	駿河湾	妻良沖	556	556	植木	大野	杢　雅利	東京大学海洋研究所	34° 40.00'N	138° 41.50'E	3	4.7	2:43	1:17	9:07	10:17	11:34	11:50	大陸斜面における中層・海底生態系の相互作用
1317	2001.11.19	研究	相模湾	相模海丘	831	462	千葉	水井	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	35° 10.00'N	139° 23.00'E	7	6.7	6:22	4:45	9:00	9:57	14:42	15:22	中深層生物及び近底層生物の環境生物学的研究
1318	2001.11.20	研究	相模湾	初島北東沖	1021	1021	松本	千葉	三宅　祐志	海洋科学技術センター	35° 03.50'N	139° 13.00'E	3	3.2	6:31	1:21	9:01	13:35	14:56	15:32	中深層生物及び近底層生物の環境生物学的研究
1319	2001.11.23	研究	相模湾	相模トラフ	1450	1448	千葉	千田	中塚　武	北海道大学	35° 01.00'N	139° 21.50'E	4	2.5	5:05	2:54	10:06	11:14	14:08	15:11	堆積物－水境界における物質環境ならびに生物・堆積過程の研究
1320	2001.11.24	研究	相模湾	初島南東沖	1186	1170	松本	水井	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	3	6:28	4:25	8:52	10:03	14:28	15:20	相模湾初島沖深海底長期変動観測および観測技術の開発
1321	2001.11.25	研究	相模湾	相模トラフ	1450	1448	大野	植木	Petra Heinz	Tuebingen　大学	35° 01.00'N	139° 21.50'E	3	2.6	5:30	3:00	8:59	10:30	13:30	14:29	堆積物－水境界における物質環境ならびに生物・堆積過程の研究
1322	2001.11.26	研究	相模湾	相模トラフ	1452	1447	千葉	千田	加藤　義久	東海大学	35° 01.00'N	139° 21.50'E	5	2.7	4:19	2:02	8:51	10:04	12:06	13:10	堆積物－水境界における物質環境ならびに生物・堆積過程の研究
1323	2001.11.28	研究	相模湾	初島南東沖	1173	1173	植木	大野	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	3.4	6:00	3:53	8:56	10:18	14:11	14:56	相模湾初島沖深海底長期変動観測及び観測技術の開発
1324	2001.11.29	研究	相模湾	相模トラフ	1450	1450	松本	水井	鳩永　元裕	東京大学海洋研究所	35° 01.00'N	139° 21.50'E	3	2.6	6:25	3:58	8:54	10:20	14:18	15:19	堆積物－水境界における物質環境ならびに生物・堆積過程の研究
1325	2001.12.3	研究	相模湾	初島南東沖	1187	1169	光藤	千葉	加藤　千明	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.8	6:39	2:38	9:13	12:25	15:03	15:52	微生物および生物細胞における高圧環境下への進化適応の現場実験
1326	2001.12.4	研究	相模湾	初島南東沖	1199	1164	植木	松本	三輪　哲也	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	4	2.8	6:27	4:14	9:14	10:35	14:49	15:41	深海多細胞生物の組織培養に関する研究
1327	2001.12.5	研究	相模湾	初島南東沖	1200	1163	光藤	千葉	三輪　哲也	海洋科学技術センター	35° 00.00'N	139° 13.50'E	3	2.8	6:18	3:51	9:16	10:49	14:40	15:34	深海多細胞生物の組織培養に関する研究
1328	2002.3.20	沈降	横須賀港	横須賀第３区	1		松本	植木	上原　篤	三菱重工神戸造船所			－	－	1:26		10:37			12:03	沈降試験実施要領に基づき、各機器の作動試験を行った。
1329	2002.3.21	試験	相模湾	初島南東沖	1201	1201	千葉	水井	近藤　友栄	日本海洋事業(株)	35° 00.23'N	139° 13.59'E	5	3	3:18	1:36	8:47	9:45	11:21	12:05	海上試験方案に基づき、各機器の作動確認を行った。
1330	2002.3.22	試験	相模湾	相模トラフ	1431	1429	大野	千葉	佚　経	日本海洋事業(株)	35° 00.80'N	139° 21.70 'E	3	2.4	4:54	2:38	9:23	10:43	13:21	14:17	海上試験方案に基づき、各機器の作動確認を行った。
1331	2002.3.25	試験	駿河湾	松崎沖	1970	1970	松本	千田	菊谷　茂	日本海洋事業(株)	34° 43.30'N	138° 34.82'E	5	1.8	6:17	3:15	10:19	12:00	15:15	16:36	海上試験法案に基づき、各機器の作動確認を行った。

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1332	2002.3.26	試験	駿河湾	松崎沖	1971	1971	植木	水井	大野　芳生	日本海洋事業(株)	34° 43.30'N	138° 34.82'E	4	2	7:14	4:14	9:26	11:03	15:17	16:40	各機器の作動が、良好であることを確認した。
1333	2002.4.1	訓練	相模湾	相模トラフ	1451	1447	千田	松本	千葉　和宏	日本海洋事業(株)	35° 00.85'N	139° 21.70'E	3	2.3	7:16	4:40	9:15	10:35	15:15	16:31	海底でのマニピュレータ操作訓練・航走訓練及び中層生物をターゲットとした操船訓練を行った。
1334	2002.4.2	訓練	相模湾	初島南東沖	1223	1162	植木	千葉	大野　芳生	日本海洋事業(株)	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	2.9	6:29	0:36	10:06	15:09	15:45	16:35	中層にて生物の観察及び採集訓練を行った。
1335	2002.4.5	研究	駿河湾	土肥沖	1526	1526	大野	千葉	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	34° 55.00'N	138° 39.00'E	3	2.6	7:28	0:55	9:09	14:39	15:34	16:37	中層・近底層の生物観察及び採集訓練を行った。
1336	2002.4.6	研究	駿河湾	妻良沖	531	531	千葉	植木	三宅　裕志	海洋科学技術センター	34° 40.40'N	138° 41.70'E	4	6.9	5:47	3:27	9:14	11:17	14:44	15:01	中層・近底層の生物観察及び採集を行った。
1337	2002.4.7	研究	駿河湾	松崎沖	1970	1970	松本	千田	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	34° 43.30'N	138° 34.82'E	2.5	2	8:09	1:03	8:57	14:34	15:37	17:06	中層・近底層の生物観察及び採集を行った
1338	2002.4.9	研究	相模湾	初島南東沖	1046	856	大野	千葉	D.J.Lindsay	海洋科学技術センター	35° 00.95'N	139° 13.50'E	4	3.8	6:32	0:26	9:08	14:39	15:05	15:40	中層・近底層の生物観察及び採集を行った。
1339	2002.4.10	研究	相模湾	相模トラフ	1451	1449	植木	千葉	中塚　武	北海道大学	35° 00.85'N	139° 21.70'E	3	2.6	6:36	4:09	9:22	10:42	14:51	15:58	現場測定装置設置・回収及び採水・採泥を行った。
1340	2002.4.11	研究	相模湾	相模トラフ	1447		松本	千田	D.J.Lindasy	海洋科学技術センター	35° 00.85'N	139° 22.36'E	−	−	7:41		9:00			16:41	中層・近底層の生物観察及び採集を行った。
1341	2002.4.12	研究	相模湾	相模トラフ	1450	1450	大野	千葉	北里　洋	海洋科学技術センター	35° 00.85'N	139° 21.70'E	3	2.5	4:44	1:46	12:34	14:30	16:16	17:18	観察しながら航走し、現場測定器の回収及び柱状採泥を行った。
1342	2002.4.22	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1052	1050	植木	千葉	藤岡　換太郎	海洋科学技術センター	27° 47.48'N	126° 53.90'E	5	4.2	6:38	4:29	9:27	10:47	15:16	16:05	航走しながら観察し採水・採泥・生物採集及びSＡＨＦの設置を行った。
1343	2002.4.23	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1031	1030	松本	千田	高井　研	海洋科学技術センター	27° 47.50'N	126° 54.00'E	5	4.2	5:55	3:57	10:24	11:39	15:36	16:19	航走しながら観察し採水及びSＡＨＦの設置を行った。
1344	2002.4.24	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1016	997	大野	千葉	千葉　仁	岡山大学	27° 47.50'N	126° 54.00'E	7	4.2	6:59	5:22	9:01	9:49	15:11	16:00	観察しながら航走し、採水及びチムニーの採取を行った。
1345	2002.4.26	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1040	1040	植木	千葉	高井　研	海洋科学技術センター	27° 47.50'N	126° 54.00'E	5	4.3	5:49	4:06	9:36	10:33	14:39	15:25	観察しながら航走し、自己記録式温度計付現場培養装置の設置及び採水を行った。
1346	2002.4.27	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1390	松本	千田	土居　克実	九州大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	3.9	6:11	3:53	9:29	10:40	14:33	15:40	観察しながら航走し,採水及び生物のサンプリングを行った。
1347	2002.4.30	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1020	1020	千葉	植木	稲垣　史生	海洋科学技術センター	27° 47.50'N	126° 54.00'E	5	4.4	5:58	4:26	9:14	9:59	14:25	15:12	観察しながら航走し、自己記録式温度計付現場培養装置の回収及び、採水を行った。
1348	2002.5.1	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1054	1052	大野	千葉	平山　仙子	海洋科学技術センター	27° 47.50'N	126° 54.00'E	6	4.2	6:30	4:52	9:20	10:13	15:05	15:50	観察しながら航走し、採水・採泥及び生物の採集を行った。
1349	2002.5.2	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1399	1393	松本	千田	布浦　拓郎	海洋科学技術センター	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	3.9	7:21	5:13	9:23	10:31	15:44	16:44	観察しながら航走し、採水・採泥及び生物の採集を行った。
1350	2002.5.14	研究	南西諸島	伊平屋凹地北部	1049	1017	松本	植木	渡慶次　睦範	九州大学	27° 47.50'N	126° 54.00'E	5	4.8	6:17	4:40	9:20	10:12	14:52	15:37	観察しながら航走し、生物及び岩石の採集を行った。
1351	2002.5.15	研究	南西諸島	伊平屋凹地	1395	1376	植木	大野	渡慶次　睦範	九州大学	27° 33.00'N	126° 58.00'E	6	4	4:32	2:20	10:35	11:52	14:12	15:07	観察しながら航走し、生物の観察及び採集を行った。
1352	2002.5.27	研究	南西諸島	鳩間海丘	1523	1523	千葉	光藤	土田　真二	海洋科学技術センター	24° 51.55'N	123° 50.50'E	5	3.8	5:34	2:57	9:22	11:59	14:56	14:56	観察しながら航走し、生物の観察及び採集を行った。
1353	2002.5.28	研究	南西諸島	鳩間海丘	1523	1523	植木	千田	藤原　義弘	海洋科学技術センター	24° 51.50'N	123° 50.50'E	5	3.8	7:47	5:30	9:25	10:38	16:08	17:12	観察しながら航走し、化学進化セット及びデフュージョンチャンバーの設置・生物採集を行った
1354	2002.5.29	研究	南西諸島	鳩間海丘	1523	1523	光藤 数也	水井	加藤　憲二	静岡大学	24° 51.50'N	123° 50.50'E	4	3.8	6:58	4:34	10:43	11:57	16:31	17:41	航走しながら観察し、放流ネット等の設置、採水・採泥・生物採集及び岩石採取を行った。
1355	2002.6.1	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	665	652	千葉 水井	水井	藤倉　克則	海洋科学技術センター	24° 08.00'N	124° 11.50'E	5	7.8	5:38	-5:33	9:23	9:57	4:24	15:01	観察しながら航走し,生物の観察及び採集を行った。
1356	2002.6.2	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	645	637	植木	千田	溝田　智俊	岩手大学	24° 08.00'N	124° 11.50'E	6	7.8	5:11	3:45	11:52	12:44	16:29	17:03	観察しながら航走し、放流ネット・デフュージョンチャンバーの設置及び採水・生物採集を行った。
1357	2002.6.3	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	644	644	光藤	千葉	大越　健嗣	石巻専修大学	24° 08.00'N	124° 11.50'E	5	8.2	5:43	4:35	10:16	10:49	15:24	15:59	観察しながら航走し、放流ネットの設置及び採水・生物採集を行った。
1358	2002.6.5	研究	南西諸島	鳩間海丘	1524	1524	植木	千田	藤倉　克則	海洋科学技術センター	24° 51.50'N	123° 50.50'E	4	3.8	6:42	4:19	10:32	11:44	16:03	17:14	観察しながら航走し、採水及び生物採集を行った。
1359	2002.6.6	研究	南西諸島	鳩間海丘	1525	1522	千葉	水井	山中　寿朗	九州大学	24° 51.50'N	123° 50.5'0E	5	3.9	6:54	4:37	9:54	11:00	15:37	16:48	観察しながら航走し、放流ネットの設置・採水及び生物採集を行った。
1360	2002.6.7	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	647	642	光藤	千葉	中山　典子	北海道大学	24° 08.00'N	124° 11.50'E	5	6.8	6:01	4:55	9:38	10:10	15:05	15:39	観察しながら航走し,放流ネット及びディフュージョンチャンバーの回収,生物採集・採水を行った。
1361	2002.6.9	研究	南西諸島	鳩間海丘	1507	1492	千葉	水井	藤原　義弘	海洋科学技術センター	24° 51.50'N	123° 50.50'E	5	3.8	6:34	4:03	9:03	10:25	14:28	15:37	観察しながら航走し、化学進化セットの設置及び放流ネットの回収を行った。
1362	2002.6.10	研究	南西諸島	鳩間海丘	1524	1506	植木	千田	LaszIo G Toth	静岡大学	24° 51.50'N	123° 50.50'E	6	3.8	7:10	4:48	9:26	10:41	15:29	16:36	観察しながら航走し、生物採集及び放流ネットの回収を行った。
1363	2002.6.13	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	654	654	光藤	千田	松本　良	東京大学	24° 08.00'N	124° 11.50'E	7	7.5	5:46	4:40	9:24	9:57	14:37	15:10	観察しながら航走し,採水・採泥・生物採集及び岩石採取を行った。
1364	2002.6.14	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	654	642	植木	水井	牧　陽之助	岩手大学	24° 08.00'N	124° 11.50'E	6	7.4	5:24	3:49	9:16	10:17	14:06	14:40	観察しながら航走し、採泥及び生物採集を行った。
1365	2002.6.21	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	654	640	植木 博文	千葉 勝志	町山　栄章	海洋科学技術センター	24° 08.00'N	124° 11.50'E	4	8.6	5:35	4:15	9:26	10:15	14:30	15:01	ガスハイドレートの分解イベントとそれに伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1366	2002.6.22	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	644	632	松本 恵太	千田 要介	岩瀬　良一	海洋科学技術センター	24° 08.00'N	124° 11.50'E	7	8.4	5:30	4:22	9:25	10:03	14:25	14:55	ガスハイドレートの分解イベントとそれに伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1367	2002.6.23	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	655	638	植木 博文	千葉 和宏	Kevin　M.Brown	スクリップス研究所	24° 08.00'N	124° 11.50'E	6	8.5	5:21	4:14	9:31	10:06	14:20	14:52	ガスハイドレートの分解イベントとそれに伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1368	2002.6.24	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	646	640	松本 恵太	千葉 勝志	町山　栄章	海洋科学技術センター	24° 08.00'N	124° 11.50'E	6	8.5	5:47	4:27	9:25	10:15	14:42	15:12	ガスハイドレートの分解イベントとそれに伴う冷湧水形成・循環プロセスの解明
1369	2002.6.28	研究	南西諸島	鳩間海丘	1520	1473	千葉 和宏	千田 要介	山本　啓之	聖マリアンナ医科大学	24° 51.50'N	123° 50.50'E	5	3.8	7:15	4:16	9:24	11:12	15:28	16:39	化学合成生態系における生物生産力の定量化研究
1370	2002.6.30	研究	南西諸島	黒島海丘頂部	654	641	植木 博文	千葉 勝志	宮崎　淳一	筑波大学	24° 08.00'N	124° 11.50'E	6	8.9	5:26	3:53	9:15	10:11	14:04	14:41	化学合成生態系における生物生産力の定量化研究
1371	2002.7.1	研究	南西諸島	鳩間海丘	1522	1522	松本 恵太	千田 要介	石橋　純一郎	九州大学	24° 51.50'N	123° 50.50'E	5	3.8	3:58	1:42	8:40	9:49	11:31	12:38	化学合成生態系における生物生産力の定量化研究
1372	2002.7.27	研究	南海トラフ	本宮山海底谷	1195	1193	植木 博文	千葉 和宏	荒井　晃作	産業技術総合研究所	34° 22.00'N	137° 39.50'E	4	2.8	6:42	5:02	9:17	10:22	15:24	15:59	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1373	2002.7.28	研究	南海トラフ	本宮山海底谷	1149	1134	松本 恵太	千葉 勝志	倉本　真一	産業技術総合研究所	34° 23.00'N	137° 41.50'E	4	2.8	6:18	4:47	9:39	10:38	15:25	15:57	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1374	2002.7.29	研究	南海トラフ	本宮山海底谷	1186	1182	千葉 和宏	千田 要介	荒井　晃作	産業技術総合研究所	34° 22.00'N	137° 39.50'E	5	3.1	7:02	5:29	9:08	10:02	15:31	16:10	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1375	2002.8.6	研究	南海トラフ	志摩海脚	1125	1117	千葉 和宏	水井 吉之	岩淵　洋	海上保安庁水路部	33° 56.50'N	136° 55.00'E	4	3.1	6:49	4:59	9:21	10:19	15:18	16:10	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1376	2002.8.7	研究	南海トラフ	第２湘美海丘	1190	1160	光藤 数也	植木 博文	芦　寿一郎	東京大学海洋研究所	33° 51.00'N	137° 22.00'E	7	2.8	6:22	4:37	9:19	10:21	14:58	15:41	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1377	2002.8.8	研究	南海トラフ	第２天竜海丘	692	692	千葉 和宏	水井 吉之	倉本　真一	産業技術総合研究所	34° 04.00'N	137° 47.50'E	5	3.9	5:48	4:43	9:14	9:50	14:33	15:02	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1378	2002.8.9	研究	南海トラフ	第２湘美海丘	1068	1055	植木 博文	光藤 数也	芦　寿一郎	東京大学海洋研究所	33° 51.50'N	137° 22.50'E	5	2.9	6:17	4:37	9:20	10:17	14:54	15:37	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究
1379	2002.8.10	研究	南海トラフ	志摩海脚	1245	1219	千葉 和宏	水井 吉之	岩淵　洋	海上保安庁水路部	33° 56.50'N	136° 49.00'E	4	3	7:00	5:11	9:12	10:13	15:24	16:12	南海トラフ巨大地震発生帯の総合研究

潜水調査船「しんかい2000」潜航記録

DIV No.	年月日	目的	海域		最大深度 m	着底深度 m	船長	補助者	同乗者	所属機関	緯度	経度	経度 視程m	経度 水温	潜航時間	海底時間	潜航開始時間	着底時間	離底時間	浮上時刻	備考
1380	2002.8.31	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1387	光藤 数也	千葉 勝志	木下 正高	海洋科学技術センター	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.1	6:47	4:29	9:27	10:38	15:07	16:14	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1381	2002.9.5	研究	小笠原諸島	水曜海山	1385	1385	松本 恵太	千田 要介	砂村 倫成	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	7	3.1	5:52	3:44	10:27	11:32	15:16	16:19	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1382	2002.9.6	研究	小笠原諸島	水曜海山	1385	1385	千葉 和宏	水井 吉之	内海 真生	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.2	6:15	4:03	9:24	10:28	14:31	15:39	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1383	2002.9.7	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1386	光藤 数也	千葉 勝志	板橋 志保	東京薬科大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	6	3.1	6:09	4:04	9:34	10:37	14:41	15:43	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1384	2002.9.8	研究	小笠原諸島	水曜海山	1385	1385	松本 恵太	水井 吉之	桑原 朋彦	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	6	3.1	5:57	3:50	9:18	10:22	14:12	15:15	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1385	2002.9.10	研究	小笠原諸島	水曜海山	1384	1384	千葉 和宏	千葉 勝志	山中 寿朗	九州大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.1	6:22	4:12	9:21	10:24	14:36	15:43	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1386	2002.9.11	研究	小笠原諸島	水曜海山	1386	1383	光藤 数也	千田 要介	内海 真生	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	7	3	5:40	3:36	9:16	10:17	13:53	14:56	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1387	2002.9.12	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1387	松本 恵太	水井 吉之	山中 寿朗	九州大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	7	3	5:53	3:18	9:21	10:53	14:11	15:14	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1388	2002.9.14	研究	小笠原諸島	水曜海山	1385	1385	千葉 和宏	千葉 勝志	砂村 倫成	産業技術総合研究所	28° 34.30'N	140° 38.50'E	5	3.1	6:37	4:23	9:18	10:22	14:45	15:55	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1389	2002.9.15	研究	小笠原諸島	水曜海山	1390	1387	光藤 数也	千田 要介	内海 真生	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	6	3.3	6:04	3:58	9:16	10:18	14:16	15:20	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1390	2002.9.16	研究	小笠原諸島	水曜海山	1387	1386	松本 恵太	水井 吉之	内海 真生	筑波大学	28° 34.30'N	140° 38.50'E	4	3.3	6:07	4:02	9:23	10:24	14:26	15:30	水曜海山熱水循環系の物理・化学・生態系環境解明のための潜水船総合観測
1391	2002.10.5	研究	小笠原諸島	須美寿島沖	935	915	光藤 数也	千葉 勝志	田村 芳彦	海洋科学技術センター	31° 28.00'N	140° 05.10'E	4	10.1	4:13	2:43	9:14	10:07	12:50	13:27	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグマ組成の研究
1392	2002.10.7	研究	小笠原諸島	須美寿島沖	966	966	松本 恵太	水井 吉之	宿野 浩司	海洋科学技術センター	31° 28.70'N	140° 02.30'E	7	10.1	5:29	3:59	11:25	12:17	16:16	16:54	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグマ組成の研究
1393	2002.10.8	研究	小笠原諸島	須美寿島沖	902	902	植木 博文	光藤 数也	入野 直子	海洋科学技術センター	31° 30.20'N	140° 02.80'E	4	10.1	5:45	4:30	9:14	10:00	14:30	14:59	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグマ組成の研究
1394	2002.10.10	研究	小笠原諸島	須美寿島沖	943	943	松本 恵太	千葉 勝志	谷 健一郎	海洋科学技術センター	31° 28.10'N	140° 04.00'E	4	10.1	5:38	4:17	8:54	9:42	13:59	14:32	伊豆・小笠原海洋性島弧の形成過程とマグマ組成の研究
1395	2002.10.13	研究	相模湾	初島南東沖	1198	1158	千葉 和宏	水井 吉之	吉村 英恭	明治大学	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	3	5:49	3:13	10:28	12:07	15:20	16:17	現場環境保存型捕獲器を用い深海生物を実験室まで輸送し組織培養方法を確立する研究
1396	2002.10.14	研究	相模湾	相模トラフ	1451	1450	植木 博文	千田 要介	北里 洋	海洋科学技術センター	35° 00.85'N	139° 21.70'E	4	2.2	6:13	3:28	9:43	11:26	14:54	15:56	海洋の堆積物ー水境界における深海底生生物の活動と堆積物の形成過程の研究
1397	2002.10.15	研究	相模湾	初島南東沖	1192	1176	千葉 和宏	水井 吉之	石川 陽一	エイブル株式会社	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	2.8	4:28	2:19	9:16	10:29	12:48	13:44	現場環境保存型捕獲器を用い深海生物を実験室まで輸送し組織培養方法を確立する研究
1398	2002.10.16	研究	相模湾	相模トラフ	1451	1449	植木 博文	千田 要介	Petra Heinz	チュービンゲン大学	35° 00.85'N	139° 21.70'E	3	2.3	4:09	1:09	8:52	10:49	11:58	13:01	海洋の堆積物ー水境界における深海底生生物の活動と堆積物の形成過程の研究
1399	2002.10.26	訓練	相模湾	初島南東沖	1190	1177	千葉 和宏	千田 要介	渡邊 淳	文部科学省	35° 00.23'N	139° 13.59'E	6	2.9	3:44	1:38	9:35	10:30	12:08	13:19	体験乗船潜航
1400	2002.10.27	訓練	相模湾	初島南東沖	1207	1207	光藤 数也	植木 博文	内田 昌男	海洋科学技術センター	35° 00.23'N	139° 13.50'E	4	2.8	3:01	1:04	9:34	10:38	11:42	12:35	堆積物並びにシロウリガイからの生物有機分子の探索
1401	2002.10.29	訓練	相模湾	初島南東沖	1192	1164	千葉 和宏	千田 要介	青木 美澄	日本海洋事業(株)	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	2.9	6:04	3:58	9:24	10:40	14:38	15:28	潜水船の「五月蠅さ」と生物への影響の観察
1402	2002.10.31	訓練	相模湾	初島南東沖	1170	1164	植木 博文	光藤 数也	小西 聡史	海洋科学技術センター	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	3.2	5:29	3:31	8:56	10:01	13:32	14:25	深海生物の走光特性の可能性と解析研究
1403	2002.11.1	訓練	相模湾	初島南東沖	1194	1194	松本 恵太	千葉 勝志	石黒 雄一	神奈川県水産総合研究所	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	3.1	3:29	1:37	9:22	10:20	11:57	12:51	体験乗船潜航
1404	2002.11.2	訓練	相模湾	初島南東沖	1184	1184	千葉 和宏	千田 要介	大島 弘義	中日新聞	35° 00.23'N	139° 13.59'E	5	3.3	4:26	1:52	9:06	9:59	11:51	13:32	取材潜航
1405	2002.11.3	訓練	相模湾	初島南東沖	1202	1200	光藤 数也	植木 博文	山根 一眞	山根事務所	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	3.1	4:11	1:53	9:43	10:40	12:33	13:54	体験乗船潜航
1406	2002.11.5	訓練	相模湾	初島南東沖	1197	1197	松本 恵太	千葉 勝志	飯山 繁	長井町漁業協同組合	35° 00.23'N	139° 13.59'E	3	2.6	5:09	2:26	9:10	10:07	12:33	14:19	体験乗船潜航
1407	2002.11.6	訓練	相模湾	相模トラフ	1449	1449	千葉 和宏	千田 要介	野中 ともよ	ティーオーエムファクトリー	35° 00.85'N	139° 21.70'E	3	2.3	4:06	0:47	10:16	11:39	12:26	14:22	体験乗船潜航
1408	2002.11.7	訓練	相模湾	相模トラフ	1449	1448	松本 恵太	植木 博文	原田 稔也	映像館	35° 00.85'N	139° 21.70'E	3	2.4	5:38	0:57	8:41	12:21	13:18	14:19	取材潜航
1409	2002.11.9	訓練	相模湾	初島南東沖	1200		千葉 和宏	千田 要介	喜多村 稔	海洋科学技術センター	35° 00.23'N	139° 13.59'E	-	-	5:02		9:29			14:31	中深層におけるクラゲ類の観察
1410	2002.11.10	訓練	相模湾	初島南東沖	1183	1183	植木 博文	千葉 勝志	鈴木 義享	初島漁業協同組合	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	2.8	4:59	1:50	9:21	10:18	12:08	14:20	体験乗船潜航
1411	2002.11.11	訓練	相模湾	初島南東沖	1220	1200	松本 恵太	千田 要介	大関 久美子	海洋科学技術センター	35° 00.23'N	139° 13.59'E	4	2.9	5:04	2:17	9:14	10:12	12:29	14:18	潜水船の費用対効果分析と観測結果の定量化の試み

付表1

生　物

Abe, A., Inoue, A., et al (1995) Degradation of Polyaromatic Hydrocarbons by Organic Solvent-tolerant Bacteria from Deep Sea. Biosci. Biotech. Biochem, 59(6): 1151-1156.

Abe, A., Inoue, A., et al. (1995) Properties of newly isolated polyaromatic hydrocarbons marine bacterium that can degrade in the presence of organic solvents. J. Mar. Biotechnol., 2: 182-186.

Abe, F., Kato, C., Horikoshi, K. (1999) Pressure-regulated metabolism in microorganisms. Trends in Microbiol., 7: 447-453.

Abe, F., Kato, C. (1999) Barophysiology (Piezophysiology). Extremophiles in Deep-Sea Environments (Eds. K. Horikoshi and K. Tsujii), Springer-Verlag, Tokyo, 227-248.

安達二朗（1991）島根県日御碕沖ズワイガニ保護礁設置海域におけるズワイガニの分布.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 259-266.

安達二朗（1992）島根県日御碕沖ズワイガニ保護礁設置海域におけるズワイガニの分布. 島根県水産試験場研究報告, 7: 65-72.

安達二朗（1993）島根県日御碕沖ズワイガニ保護礁設置海域におけるズワイガニの分布密度と集中度の関係. しんかいシンポジウム報告書, 9: 367-376.

秋元和實, 服部陸男（2000）北部伊平屋海嶺群のシンカイヒバリガイコロニーに共産する現生底生有孔虫群集. JAMSTEC深海研究, 16(1): 49-51.

Ando, T., M. Yamamoto, T. Tomiyasu, J. Hashimoto, T. Miura, A. Nakano, S. Akiba (2002) Bioaccumulation of mercury in a vestimentiferan worm living in Kagoshima Bay, Japan. Chemosphere, 49: 477-484.

青木一永（1990）相模湾熱海沖におけるアカザエビの生態観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 233-238.

青山雅俊（1989）相模湾熱海中におけるアカザエビの生態・分布密度及び籠に対する行動の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 31-36.

Barry, J. P., Kochevar, R. E., Hashimoto, J., Fujiwara, Y., Fujikura, K., Greene, H. G. (1997) Studies of the physiology of chemosynthetic fauna at Cold Seeps in Sagami Bay, Japan. JAMSTEC深海研究, 13: 417-423.

Barry, J. P., Buck, K. R., Goffredi, S. K., Hashimoto, J. (2000) Ultrastructure studies of two chemosynthetic invertebrate-bacterial symbioses (Lamellibrachia sp. and Acharax sp.) from the Hatsushima cold seeps in Sagami Bay, Japan. JAMSTEC深海研究, 16(1): 91-99.

Barry, J. P., Buck, K. R., Kochevar, R. K., Nelson, D. C., Fujiwara, Y., Goffredi, S. K., Hashimoto, J. (2001) Discovery of a methane-based symbiosis in the Pacific Ocean: a methanotrophic mussel from cold seeps in Sagami Bay, Japan. Invertebrate Biology, 121(1): 47-54.

Basheva, E. S., Ganchev, D., et al. (2000) Role of Betaine as Foam Booster in the Presence of Silicone Oil Drops. Langmuir, 16(3): 1000-1013.

Canganella, F., Gonzalez, J. M., et al. (1997) Pressure and temperature effects on growth and viability of the hyperthermophilic archaeon Thermococcus peptonophilus. Arch. Microbiol., 168: 1-7.

Canganella, F., Kato, C. (2002) Deep ocean ecosystems. Encyclopedia of Life Science, in press.

千野力（1989）深海動物の採餌行動の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 7-14.

Chung, Y. C., Kobayashi, T., et al. (1995) Purification and Properties of Extracellular Amylase from the Hyperthermophilic Archaeon Thermococcus profundus DT5432. Appl. Environ. Microbiol., 61(4): 1502-1506.

Colquhoun, J. A., Heald, S. C., et al. (1998) Taxonomy and biotransformation activities of some deep-sea actinomycetes. Extremophiles, 2: 269-277.

Colquhoun, J. A., Mexson, J., et al. (1998) Novel rhodococci and other mycolate actinomycetes from the deep sea. Antonie Van Leeuwenhoek, 74(1-3): 27-40.

土井捷三郎（1989）「しんかい2000」で観察した富山湾に生息するシラエビの生態.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 139-143.

江口英輔, 中沢恵, 鈴木忠, 西村顕治（1994）深海性及び浅海性二枚貝組織の燐脂質に関する比較生化学的研究. JAMSTEC深海研究, 10: 481-490.

Elsaied, H., Naganuma, T. (2001) Phylogenetic diversity of ribulose-1,5-bisphosphate carboxylase/oxygenase(RuBisCO) large subunit genes of deep-sea microorganisms. Appl. Environ. Microbiol., 67: 1751-1765.

Elsaied, H., Kimura, H., Naganuma, T. (2002) Molecular characterization and endosymbiotic localization of the geneencoding ribulose-1,5-bisphosphate carboxylase/oxygenase (RuBisCO) form II in the deep-sea vestimentifer-antrophosome. Microbiology, 148: 1947-1957.

遠藤圭子, 酒井均, 太田秀（1987）アクリジンオレンジ染色によるエポキシ樹脂包埋組織切片中の共生細菌の検索－シロウリガイ鰓組織中の共生細菌の検索を例として－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号：61-68.

遠藤圭子, 橋本惇, 藤倉克則, 内田徹夫（1992）相模湾初島沖, シロウリガイ群衆棲息地付近の黄褐色底泥上より採集された腹足類（Neogastropoda ; Turridae）の鰓の超微形態観察に基づく一考察. しんかいシンポジウム報告書, 8: 327-333.

藤倉克則, 橋本惇, 堀田宏（1990）隠岐堆及び奥尻海嶺におけるベニズワイガニChinoecetes japonicusの分布.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 327-334.

藤倉克則, 橋本惇, 田中武男, 堀田宏（1991）北海道西方の後志海山の生物群集.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 283-291.

藤倉克則, 橋本惇, 瀬川進（1992）熱水噴出孔生物の代謝測定手法の検討. しんかいシンポジウム報告書, 8: 335-342.

藤倉克則, 橋本惇, 藤原義弘, 奥谷喬司（1995）相模湾初島沖化学合成生物群集の群集生態. JAMSTEC深海研究, 11: 227-241.

藤倉克則, 橋本惇, 藤原義弘, 奥谷喬司（1996）相模湾初島沖化学合成生物群集の群集生態－第2報－（動物相の比較）. JAMSTEC深海研究, 12: 133-153.

Fujikura, K., Tsuchida, S., Ueno, H., Ishibashi, J., Gaze, W., Maki, Y. (1999) Investigation of the Deep-sea Chemosynthetic Ecosystem and Submarine Volcano at the Kasuga 2 and 3 Seamounts in the Northern Mariana Trough, Western Pacific. JAMSTEC深海研究, 14: 127-138.

藤倉克則（2000）海溝・トラフの湧水現象に付随する二枚貝. 月刊海洋, 32: 659-664.

藤倉克則, 藤原義弘, 石橋純一郎, 片岡聡, 小松徹史, 前澤優子, 牧陽之助, 宮崎淳一, 三宅裕志, 岡本和洋, 土田真二, Laszlo G. TOTH, 大越健嗣, 山口寿之, 山本啓之, 山中寿朗, 渡部元, 渡部裕美, Susanne ZIELINSKI, 加藤憲二（2001）沖縄トラフ第四与那国海丘と鳩間海丘における「しんかい2000」システムによる熱水生態系調査報告. JAMSTEC深海研究, 19: 141-154.

Fujikura, K., Tsuchida, S., Hashimoto, J. (2000) in-situ観察によるベニズワイガニChionoecetes japonicusの生息密度推定. Fish Sci, 66(6): 1183-1185.

Fujikura, K., Kojima, S., Fujiwara, Y., Hashimoto, J., Okutani, T. (2000) New distribution records of vesicomyid bivalves from deep-sea chemosynthesis-based communities in Japanese waters. Venus, 59: 103-121.

Fujikura, K., Tsuchida, S., Hashimoto, J. (2000) Density estimate of the tanner crab, Chionoecetes japonicus, by an insitu observation method. Fisheries Science, 66(6): 1183-1185.

Fujikura, K., Fujiwara, Y., Kojima, S., Okutani, T. (2002) Micro-scale distribution of mollusks occurring in deep-sea chemosynthesis-based communities in the Japan Trench. Venus, 60(4): 225-236.

Fujikura, K., Hashimoto, J., Okutani, T. (2002) Estimated population densities of megafauna in two chemosynthesis-based communities: a cold seep in Sagami Bay and a hydrothermal vent in the Okinawa Trough. Benthos Research, 57(1): 21-30.

藤岡義三（1995）慶良間堆岩礁底の刺胞動物群集. JAMSTEC深海研究, 11: 285-304.

藤岡義三（1999）喜界島南方の漸深海帯上部岩礁底で見られた刺胞動物群集. JAMSTEC深海研究, 14: 521-535.

藤田真吾, 内野憲, 戸嶋孝, 大木繁（2000）京都府沖合のズワイガニ保護区内及び周辺漁場における底棲生物の生態観察. 日本海ブロック試験研究集録, 40: 5-8.

藤原義弘, 塚原潤三, 橋本惇, 藤倉克則, 岩瀬良一（1997）水温上昇によるシロウリガイの放卵放精の誘導. JAMSTEC深海研究, 13: 425-431.

藤原義弘（1998）海化学合成生物群集に関する研究　シロウリガイ放卵放精メカニズムの解明. JAMSTEC (Jpn Mar Sci Technol Cent), 10(4): 35-39.

藤原義弘, 植松勝之, 土田真二, 山本智子, 橋本惇, 藤倉克則, 堀井善弘, 湯浅真人(1999)明神海丘シチヨウシンカイヒバリガイの栄養摂取方法の検討. JAMSTEC深海研究, 14: 237-244.

Fujiwara, Y. (2000) Influence of bacterial endosymbionts on host distributions in deep-sea chemosynthetic ecosystems. Doctoral thesis. Univ. Tsukuba, 105.

Fujiwara, Y., Takai, K., Uematsu, K., Tsuchida, S., Hunt, J. C., Hashimoto, J. (2000) Phylogenetic characterization of endosymbionts in three hydrothermal vent mussels: influence on host distribution. Marine Ecology Progress Series, 208: 147-155.

Fujiwara, Y., Uematsu, K. (2002) Microdistribution of two endosymbionts in gill tissue from a hadal thyasirid clam Maorithyas hadalis. Cah. de Biol. Mar., 43: 341-343.

Fukumaki, T., Inoue, A., et al. (1994) Isolation of a Marine Yeast That Degrades Hydrocarbon in the Presence of Organic Solvent. Biosci. Biotech. Biochem., 58(10): 1784-1788.

Fukumaki, T., Kato, C., et al. (1995) Isolation and Some Properties of a Thermostable Chitinase from Bacillus sp. DFC-315. JAMSTECR, 31: 81-86.
二重作豊, 小塚芳道, 上野正樹, 半田素子, 赤木巧, 端川勉, 植松勝之, 藤原義弘, 土田真二, 堀井善弘, 山口寿之, 飯笹幸吉(2000)明神海丘チムニーとそこに棲息する生物群の含有元素. JAMSTEC深海研究, 16(1): 53-67.
Gonzalez, J. M., Sato, T., et al. (1994) Isolation and Characterization of Hyperthermophilic Archaebacteria from Southwestern Pacific Hydrothermal Vents. JAMSTEC J. Deep Sea Res., 10: 471-480.
Gonzalez, J. M., Kato, C., et al. (1995) Thermococcus peptonophilus sp. nov., a fast-growing, extremely thermophilic archaebacterium isolated from deep-sea hydrothermal vents. Arch. Microbiol., 164: 159-164.
Gonzalez, J. M., Kato, C., et al. (1996) Culturability and survival of an extreme thermophile isolated from deep-sea hydrothermal vents. Arch. Microbiol., 166: 64-67.
Gonzalez, J. M., Kato, C., et al. (1996) Membrane-bound, sodium dodecyl sulfate-resistant proteolytic activity from the extremely thermophilic archaeon Thermococcus peptonophilus. J. Mar. Biotechnol., 4: 159-164.
Gonzalez, J. M., Robb, F. T., et al. (1998) Pyrococcus horikoshii sp. nov., a Hyperthermophilic Archaeon Isolated from a Hydrothermal Vent at the Okinawa Trough. Extremophiles, 2: 123-130.
Gonzalez, J.M. (1999) Thermophiles. Superbugs in Deep-Sea Environment. Horikoshi, K., Tsujii, K.
Grote, R., Li, L., Tamaoka, J., Kato, C., Horikoshi, K., Antranikian G. (1999) Thermococcus siculi sp. nov., a novel hyperthermophilic archaeon isolated from a deep-sea hydrothermal vent at the Mid-Okinawa Trough. Extremophiles, 3: 55-62.
Hamamoto, T., Horikoshi, K. (1991) Characterisation of an amylase from a psychrotrophic Vibrio isolated from a deep-sea mud sample. FEMS Microbiology Letters, 84: 79-84.
Hamamoto, T., Horikoshi, K. (1993) Deep-sea microbiology research within the Deepstar program. J. Mar. Biotechnol., 1: 119-124.
Hamamoto, T., Takata, N., et al. (1994) Effect of temperature and growth phase on fatty acid composition of the psychrophilic Vibrio sp. strain no. 5710. FEMS Microbiology Letters, 119: 77-82.
Hamamoto, T., Takata, N., et al. (1995) Characteristic presence of polyunsaturated fatty acids in marine psychrophilic vibrios. FEMS Microbiology Letters, 129: 51-56.
浜津友紀, 柳本卓, 西村明, 三宅裕志(2001)潜水艇を用いたスケトウダラ魚群の観察. 漁業資源研究会議　底魚部会報, 5: 39-41.
橋本惇, 松澤誠二(1986)日向灘における深海エビ類の分布特性. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 167-172.
橋本惇, 田中武男, 松澤誠二, 堀田宏(1987)相模湾初島沖におけるシロウリガイ群集の調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 37-50.
橋本惇, 松沢誠二, 堀田宏(1988)相模湾沖ノ山堆における深海生物群集の探索.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 177-188.
橋本淳, 藤倉克則, 堀田宏(1990)南奄西海丘における深海生物群集の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 167-179.
橋本惇, 藤倉克則, 青木太郎, 月岡哲(1992)「しんかい2000」用吸引式深海生物採集器(スラープガン)の開発. しんかいシンポジウム報告書, 8: 367-372.
橋本惇, 堀田宏(1994)「しんかい2000」からみた相模湾の生物相　化学合成生物群集. 水産海洋研究, 58(3): 194-198.
橋本惇, 藤倉克則, 藤原義弘, 鋤崎俊二(1994)相模湾初島沖におけるシロウリガイの生活様式と間隙水中の硫化物濃度. JAMSTEC深海研究, 10: 381-388.
橋本惇, 藤倉克則, 藤原義弘, 谷島恵美, 太田秀, 小島茂明, 葉信明(1995)遠州灘金洲ノ瀬におけるオオツキガイモドキとハオリムシ類を共優占種とする冷水湧出帯生物群集の観察. JAMSTEC深海研究, 11: 211-217.
Hashimoto, J. (1998) Mollusca: Bivalvia (in part). in "Handbook of deep-sea hydrothermal vent fauna" (eds. Desbruyeres D, Segonzac M) IFREMER, France, 144-145, 147, 150, 152-153.
Hashimoto, J. (1998) Arthropoda (in part). in "Handbook of deep-sea hydrothermal vent fauna" (eds. Desbruyeres D, Segonzac M) IFREMER, France, 190, 198-199.
橋本惇, 太田秀, Auzende, J-M., Aline, F-M., BIOACCESS Cruise'96乗船研究者(1999)マヌス海盆パックマヌスサイトの熱水噴出孔生物群集－BIOACCESS Cruise '96 in the Manus Basin 航海結果－. JAMSTEC深海研究, 14: 91-102.
Hashimoto, J., Ohta, S., Fiala-Medioni, A., Auzende, J.-M., Kojima, S., Segonzac, M., Fujiwara, Y., Hunt, J. C., Gena, K., Miura, T., Kikuchi, T., Yamaguchi, T., Toda, T., Chiba, H., Tsuchida, S., Ishibashi, J., Henry, K., Zbinden, M., Pruski, A., Inoue, A., Kobayashi, H., Birrien, J.-L., Naka, J., Yamanaka, T., Laporte, C., Nishimura, K., Yeats, C., malagun, S., Kia, P., Oyaizu, M., Katayama, T. (1999) Hydrothermal vent communities in the Manus Basin, Papua New Guinea.results of the BIOACCESS cruise '96 and '98. InterRidge News, 8(2): 12-18.
Hashimoto, J., Miura, T., Fujikura, K., Ossaka, J. (1993) Discovery of Vestimentiferan Tube- Worms in the Euphotic Zone. Zool.Sci, 10(6): 1063-1067.
服部睦男, 蟹江康光, 大場忠道, 秋元和實, 菅野三郎(1996)相模湾および陸上の沈み込み帯の冷湧水域に伴う炭酸塩類と独立栄養動物群集の生成環境. JAMSTEC深海研究, 12: 117-132.
服部陸男, 蟹江康光, 大場忠道, 秋元和實(1996)相模湾の沈み込み帯の冷湧水域に伴う炭酸塩類と化学合成独立栄養動物群集の環境. 化石, 60: 13-22.
林清志(1988)富山湾におけるホタルイカの分布.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 37-40.
Hemleben, Ch., Kitazato, H. (1995) Deep sea foraminifera under long time observation in the laboratory. Deep-Sea Res., 42(6): 827-832.
平本紀久雄(1987)潜水調査船「しんかい2000」によるアカザエビの行動観察と今後の現存量推定への応用. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 121-126.
Hoaki, T., Wirsen, C.O., Hanzawa, S., Maruyama, T., Jannasch, H.W. (1993) Amino acid requirements of two hyperthermophilic archaeal isolates from deep-sea vents, Desulfurococcus strain SY and Pyrococcus strain GB-D. Appl. Environ. Microbiol., 59: 610-613.
Holden, J. F., Takai, K., Summit, M., Bolton, S., Zyskowski, J., Baross, J. A. (2001) Diversity among three novel groups of hyperthermophilic deep-sea Thermococcus species from three sites in the northeastern Pacific Ocean. FEMS Microbiol. Ecol, 36: 51-60.
Hunt, J. C., Hashimoto, Jun., Fujiwara, Y., Lindsay, D. J., Fujikura, K., Tsuchida, S.,Yamamoto, T. (1997) The development, implementation, and establish-ment of a Meso-pelagic and Bentho-pelagic biological survey program using submersibles in the seas around Japan. JAMSTEC深海研究, 13: 675-685.
Hunt, J. C., Lindsay, D. J., Hashimoto, J., Fujikura, K., Fujiwara, Y., Miyake, H., Tsuchida, S. (2000) Observations of the Pelagic Fauna over the Pac Manus Site, in the Manus Basin, Papau New Guinea: preliminary results. JAMSTEC深海研究, 16(1): 15-21.
Hunt, J.C., Lindsay, D.J. (1998) Observations on the behavior of Atolla (Scyphozoa:Coronatae)and Nanomia (Hydrozoa:Physonectae):use of the hypertrophied tentacle in prey capture. Plankton Biology and Ecology, 45(2): 239-242.
Hunt, J.C., Lindsay, D.J. (1999) Methodology for creating an observational database of midwater fauna using submersibles:results from Sagami Bay,Japan. Plankton Biology and Ecology, 46(1): 75-87.
Iizasa, K., Fiske, R.S., et al. (1999) A Kuroko-Type Polymetallic Sulfide Deposit in a Submarine Silicic Caldera. Science, 283: 975-977.
池上清治, 田淵誠, 木立孝(1993)宮城県大船渡沖合におけるソコダラ類の分布について. しんかいシンポジウム報告書, 9: 377-381.
池本栄子, 鋤崎俊二, 辻義人, 大関和正(1991)微生物実験用簡易加圧培養装置の試作及び加圧培養試験. 海洋科学技術センター試験研究報告, 25: 75-84.
池本栄子, 許正憲(1993)小型無菌採泥器の開発. 海洋科学技術センター試験研究報告, 30: 1-16.
Inagaki, F., Hayashi, S., Doi, K., Motomura, Y., Izawa, E., Ogata, S. (1997) Microbial participation in the formation of siliceous deposits form geothermal water and analysis of the extremely thermophilic bacterial community. FEMS Microbiol. Ecol, 24: 41-48.
Inagaki, F., Yokoyama, T., Doi, K., Izawa, E., Ogata, S. (1998) Bio-deposition of amorphous silica by an extremely thermophilic bacterium Thermus spp. Biosci. Biotechnol. Biochem, 62: 1271-1272.
稲垣史生, 緒方靖哉(1999)好熱菌がシリカ鉱物形成を促進する. バイオサイエンスとインダストリー, 57(2): 34-35.
Inagaki, F. Takai, K., Komatsu, T. Kanamatsu, T., Fujioka, K., Horikoshi, K. (2001) Archaeology of Archaea: geomicrobiological record of Pleistocene thermal events concealed in a deep-sea subseafloor environment. Extremophiles, 5: 385-392.
稲垣史生, 高井研(2002)地下生物圏の極限環境微生物. バイオサイエンス

とインダストリー, 60(5): 30-33.
Inagaki, F., Sakihama, Y., Inoue, A., Kato, C., Horikoshi, K. (2002) Molocular phylogenetic analysis of reverse-transcribed bacterial rRNA obtained from deep-sea cold seep sediments. Environ. Microbiol, 4: 277-286.
Inagaki, F., Sakihama, Y., Takai, K., Komatsu, T., Inoue, A., Horikoshi, K. (2002) Transition in microbial community structures and presence of endolithic microorganisms in a deep-sea rock. Geomicrobiol. J, 19: in press.
Inagaki, F., Motomura, Y., Ogata S. (2002) Microbial silica deposition in geothermal hot waters. Appl. Microbiol. Biothech, in press.
Inagaki, F., Okada, H., Tsapin, A. I., Nealson, K. H., Horikoshi, K. (2002) Endolithic genetic record of ancient microbes in Cretaceous black shale. Geochim. Cosmochim. Acta, 66-S1: A354.
稲垣史生(2002)環境微生物の群集構造解析. 微生物利用の大展開, 2: 522-531.
稲垣史生(2002)未知の地殻内生命圏への挑戦. 生物工学会誌, 80: 252.
Inoue, A. (1999) Organic solvent-tolerant microorganisms. Extremophiles in Deep-Sea Environments, Horikoshi, K., Tsujii, K., 175-210.
Ishii, A., Nakasone, K., Sato, T., Wachi, M., Sugai, M., Nagai, K., Kato, C. (2002) Isolation and characterization of the dcw cluster from the piezophilic deep-sea bacterium. Shewanella violacea. J. Biochem., 132: 183-188.
伊東二三夫(1988)深海性甲殻類の調査手法の研究.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 245-249.
十三邦昭, 杉山秀樹, 忠鉢孝明, 片野卓, 倉長亮二, 清川智之, 島康洋, 前川重明, 南卓志(1989)第3回　ハタハタ研究協議会報告書. ハタハタ研究協議会報告書　昭和63年度　第3回, 86.
科学技術庁研究調整局(1984)「しんかい2000」による富山湾調査結果について(報告). 科学技術振興調整費ニュース, 4: 1-6.
科学技術庁研究調整局(1985)海洋生物資源の生産能力と海洋環境に関する研究(第Ⅰ期)成果報告書. 海洋生物資源の生産能力と海洋環境に関する研究(第1期)成果報告書昭和56-58年度, A.1-A.6,: 1-368.
柿本皓, 浜渦清(1992)佐渡海峡におけるホッコクアカエビ Pandalus borealis 対象漁礁の安定と生物分布の観察. しんかいシンポジウム報告書, 8: 297-304.
釜野徳明, 平出初江, 山下顕宏, 渡辺利裕, 山下文乃, 橋本惇(2000)深海生物シロウリガイCalyptogena soyoaeの化学成分の探索. JAMSTEC深海研究, 16(1): 1-6.
金丸信一, 安達二朗(1992)島根県日御崎沖ズワイガニ保護礁設置海域におけるズワイガニ蝟集状況の観察－(Ⅰ). しんかいシンポジウム報告書, 8: 305-312.
金本自由生(1993)日本海ひょうたん礁の魚類の生態. しんかいシンポジウム報告書, 9: 337-349.
蟹江康光, 大場忠道(1993)相模湾産オキナエビスの殻の酸素・炭素同位体比分析. しんかいシンポジウム報告書, 9: 233-236.
蟹江康光, 服部陸男, 倉持卓司, 池田等(1995)オキナエビスガイ科の生態と殻の系統分類. JAMSTEC深海研究, 11: 279-284.
粕谷芳夫(1993)若狭湾沖の耕うんされた海底の形状とホッコクアカエビ Pandalus borealis及びズワイガニChionoecetes opilioの生息密度について. しんかいシンポジウム報告書, 9: 361-366.
粕谷芳夫, 家接直人(1994)UROV等の観察結果からみたホッコクアカエビの"住み場所"について(水産庁日本海区水産研究所S). 日本海ブロック試験研究集録, 31: 25-29.
Kato, C., Inoue, A., Horikoshi, K. (1998) Characteristics of deep-sea microorganisms adapted to extreme environment. The second volume of Recent Advances Marine Biotechnology (ed. Fingerman, M.), 33-61.
Kato, C., Nakasone, K., Smorawinska, M., Horikoshi, K. (1998) Mechanisms of gene expression controlled by pressure in deep-sea barophilic (piezophilic) microorganisms. (in Japanese). High Pressure Biotechnology (eds. Kunugi S, Hayashi R)San-ei Press, 133-140.
Kato, C. (1999) Barophiles (Piezophiles). Extremophiles in Deep-Sea Environments (eds. Horikoshi K, Tsujii K), Springer-Verlag, Tokyo, 91-111.
Kato, C., Qureshi, M. H. (1999) Pressure response in deep-sea piezophilic bacteria. J. Mol. Microbiol. Biotechnol., 1: 87-92.
Kato, C., Yanagibayashi, M., Nogi, Y., Li, L., Horikoshi, K. (1999) Changes in the microbial community in the deep-sea sediment during cultivation without decompression. Advances in High Pressure Bioscience and Biotechnology (ed. Ludwig, H.) Springer-Verlag, 11-15.
Kato, C., Nakasone, K., Qureshi, M. H., Horikoshi, K. (2000) How do deep-sea microorganisms response to the environmental pressure. Cell and Molecular Response to Stress Vol. 1. Environmental stressors and gene responses (eds. Storey KB, Storey JM), Elsevier Science B.V., 277-291.
Kato, C., Qureshi, M. H., Horikoshi, K. (2000) 12. Pressure response in deep-sea piezophilic bacteria. Molecular Marine Microbiology, Horizon Scientific Press, Norfolk, 175-184.
Kato, C., Qureshi, M. H., Yamada, M., Nakasone, K., Horikoshi, K. (2000) High pressure response of respiratory proteins in deep-sea piezophilic bacteria. Science and Technology of High Pressure, Proceedings of AIRAPT-17 (eds. Manghnnani MH, Nellis WJ, Nicol MF), 1: 319-324.
Kato, C., Takai, K. (2000) Microbial diversity of deep-sea extremophiles. -Piezophiles, hyperthermophililes, and subsurface microorganisms (in Japanese). Biol. Sci. Space, 14: 341-352.
加藤千明, 高井研(2000)深海極限世界の微生物－好圧菌・超好熱菌から海底下地殻内微生物へ－. 宇宙生物科学, 14: 341-352.
Kato, C., Nogi, Y. (2001) Correlation between phylogenetic structure and function:examples from deep-sea Shewanella. FEMS Microbiol. Ecol, 35: 223-230.
Kato, C., Nakasone, K., Ikegami, A., Kawano, R., Usami, R., Horikoshi, K. (2002) Molecular mechanisms of pressure-regulation at transcription level in piezophilic bacteria. Trends in High Pressure Bioscience and Biotechnology (ed. R. Hayashi), 211-218.
Kato, C. (1998) Barophilic (piezophilic) bacteria and pressure-regulated genes (in Japanese). Bioind. Biotechnol, 56: 36-37.
Kato, C. (1998) Microorganisms under the deep-sea high pressure environment: Dose pressure function the life survival(in Japanese). Environ. Conserv. Eng, 27: 490-492.
Kato, C. (1999) Pressure Response in Deep-Sea Microorganisms. (in Japanese). Rev. High Pressure Sci.Technol, 9: 205-212.
Kato, C. (2000) Organisms living in hyper-baric pressure environment, deep-sea.(in Japanese). Chem. Educ., 48: 170-173.
Kato, C. (2001) Pressure response in microbial cells. (in Japanese). Single-Cell Mol. Technol., News Lett., 2: 15-19.
Kato, C. (2002) Extremophiles World. (in Japanese). Great Development of Microorganisms, (eds.Imanaka T, Kato C, Kato N, Kurane R, Nishiyama T, Yagi O) NTS press., 100-105.
Kato, C. (2002) High Pressure Cultivation. (in Japanese). Great Development of Microorganisms, (eds. Imanaka T, Kato C, Kato N, Kurane R, Nishiyama T, Yagi O) NTS press., 587-592.
Kato, C. (2002) Windows of Biotechnology, "Pressure response in microbial cells". (in Japanese). Biosci. Ind., 2: 113.
Kato, C. (1997) Genomic Analysis of Hyperthermophilic Archaea. J. Jap. Oil Chem. Soc., 46(5): 517-523.
河井智康, 石橋喜美子(1986)死んだ魚はなぜいないか. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 89-98.
河尻正博(1991)「しんかい2000」によるタカアシガニの生態観察結果.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 73-77.
川崎一男(1990)伊是名堆での底魚類と底生生物の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 139-144.
菊地知彦, 戸田龍樹, 根本敬久, 太田秀(1990)「しんかい2000」による深海底直上でのプランクトン採集の試み.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 115-122.
Kikuchi, T., Hashimoto, J. (2000) Two new caridean shrimps of the family Alvinocarididae (Crustacea, Decapoda) from a hydrothermal field at the Minami-Ensei Knoll in the Mid-Okinawa Trough, Japan. Species Diversity, 5: 135-148.
Kikuchi, T., Ohta, S. (1995) Two caridean shrimps of the families Bresiliidae and Hippolytidae from a hydrothermal field on the Iheya Ridge, off the Ryukyu islands, Japan. Jour. Crustacean Biol., 15: 771-785.
金東成, 太田秀(1991)沖縄背弧海盆伊平屋海凹のシロウリガイサイトとピラミッドサイトの熱水噴出孔生物群集の生態学的観察.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 221-233.
Kim, D., Ohta, S. (2000) TEM observation studies on the chemoautotrophic symbiotic bacteria of invertebrates inhabiting at vents and seeps. Ocean Res, 22(1): 1-13.
Kim, Y-W., Yasuda, M., Yamagishi, A., Oshima, T., Ohta, S., (1995) Characterization of the endosymbiont of a deep-see bivalve, Calyptogena soyoae. Appl. Environ. Microbiol, 61(2): 823-827.
木村浩之, 東出幸真, 長沼毅(1999)深海生物ハオリムシの体内と体外の微生物相－類似と相違－. JAMSTEC深海研究, 15(2): 25-33.
Kimura, H., Sato, M., Sasayama, Y., Naganuma, T. (2002) Molecular character-

ization and in situ localization of endosymbiotic 16S rRNA and RuBisCO genes in the pogonophoran tissue. Marine Biotechnology: (in press).
Kimura, H., Asada, R., Masta, A., Naganuma, T. (2002) Distribution of microorganisms in the subsurface of the Manus Basin hydrothermal vent field, Papua New Guinea. Appl. Environ. Microbiol., (in press).
北里洋, 大鋸朋生(1992)相模湾におけるSediment-Water Interfaceの目視観測と底生有孔虫類の飼育実験. しんかいシンポジウム報告書, 8: 199-208.
北里洋(1994)相模湾中央部における, 底生有孔虫類の底質選択を理解するための再加入実験. JAMSTEC深海研究, 10: 417-424.
Kitazato, H (1995)Recolonization by deep-sea benthic foraminifera: possible substrate preferences. Marine Micropaleont., 26(1/4): 65-74.
北里洋(1996) Oceanic Superanoxia をぶっとばせ!－有孔虫類と共生. 月刊地球, 18: 60-65.
北里洋(1996)冷湧水に伴う底生有孔虫－特徴と適応機構についての考察－. 化石, 60: 48-52.
北里洋(2000)地球生命科学:地球－生命システムのダイナミクス－現在と過去－. 遺伝別冊, 12: 5-16.
北里洋(2002)微生物がかかわった地球と生命の進化. 月刊地球, 24: 437-443.
Kitazato, H., Ohga, T. (1995) Seasonal changes in deep-sea benthic foraminiferal population: Results from long term observations at Sagami Bay, Japan. Biogeographical Processes and Ocean Flux in the Western Pacific, 331-342.
Kitazato, H. (1994) Foraminiferal microhabitats in four marine environments around Japan. Marine Micropal, 24(1): 29-41.
Kitazato, H., Schmied, G. (1995) Benthic foraminifera from multicores and boxcores. In Hemleben, Ch., W. Roether and P. Stoffers, (eds.). METEOR-Berichte, Universitaet Hamburg, 96(4): 185-187.
Kitazato, H., Shirayama, Y. (1996) Rapid creation of a reduced environment and an early stage of chemosynthetic community on cattle bones at the deep-sea bottom in Sagami Bay, Central Japan -An experimental approach to test the stepping-stone hypothesis for chemosynthetic community dispersion-. Vie et Milieu, 46(1): 1-5.
Kitazato, H., Shirayama, Y., Nakatsuka, T., Fujiwara, S., Shimanaga, M., Kato, Y., Okada, Y., Kanda, J., Yamaoka, A., Masuzawa, T., Suzuki, K. (2000) Seasonal phytodetritus deposition and responses of bathyal benthic foraminiferal populations in Sagami Bay, Japan: --Preliminary results from "Project Sagami". Marine Micropaleont., 40(3): 135-149.
Kobayashi, H., Takami, H., et al. (1999) Microbial flora in deep-sea sites located near the south part of Japan. JAMSTEC J. Deep Sea Res., 15(1): 35-39.
Kobayashi, H., Uematsu, K., Horikoshi, K. (2000) Novel toluene elimination system in a toluene-tolerant microorganism. J. Bacteriol, 182: 6451-6455.
小林啓二, 永井浩爾(1991)鳥取県沖合におけるズワイガニ保護礁と底生生物群集の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 267-275.
小林哲夫, 堀越弘毅(1992)深海熱水環境下に棲息する超好熱性細菌の分離とその性質. しんかいシンポジウム報告書, 8: 343-349.
Kobayashi, T. (1993) Ammonia assimilation in an extremely thermophilic archaebacterium, Thermococcus profundus. RIKEN Review, 3: 7-8.
Kobayashi, T., Kwak, Y. S. et al. (1994) Thermococcus profundus sp. nov., A New Hyperthermophilic Archaeon Isolated from a Deep-sea Hydrothermal Vent. System. Appl. Microbiol., 17: 232-236.
Kobayashi, T., Higuchi, S., et al. (1995) Properties of Glutamate Dehydrogenase and Its Involvement in Alanine Production in a Hyperthermophilic Archaeon, Thermococcus profundus. J. Biochem., 118: 587-592.
小池勲夫, 白山義久, 蒲生俊敬, 酒井均(1988)相模湾初島沖より得られたシロウリガイの呼吸速度.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 233-237.
小島茂明, 橋本惇, 太田秀(1995)日本周辺におけるシロウリガイ類及びハオリムシ類の分布と系統. JAMSTEC深海研究, 11: 243-248.
小島茂明, 芦寿一郎(1996)南海トラフ竜洋海底谷で採集された2種のシロウリガイ類. JAMSTEC深海研究, 12: 155-157.
小島茂明(1996)深海性還元環境の生態系. 海洋と生物, 102: 17-20.
小島茂明(1996)日本周辺のシロウリガイ. 科学, 66: 467-469.
小島茂明, 太田 秀, 橋本 惇(1996)相模トラフ・南海トラフにおけるシロウリガイとハオリム類の分布と系統. 化石, 60: 23-25.
小島茂明, 藤倉克則, 橋本惇, 太田秀(1997)シロウリガイ(Calyptogena soyoae)種群の分布と遺伝的構造. JAMSTEC深海研究, 13: 691-696.
小島茂明(1997)日本産チューブワームの進化を探る. 生命誌, 16: 7.
小島茂明, 太田秀, 藤原義弘, 藤倉克則, 橋本惇(1999)西部南太平洋におけるアルビンガイ類の種分化. JAMSTEC深海研究, 14: 501-505.
Kojima, S. (1999)深海性化学合成生物群集の進化－シロウリガイの場合. SHINKA, 8: 69-75.
小島茂明, 太田秀, 三浦知之, 藤原義弘, 橋本惇(2000)マヌス海盆における化学合成生物群集の分子系統学的研究. JAMSTEC深海研究, 16(1): 7-13.
小島茂明(2000)深海性化学合成生物群集における貝の分散と種分化. 月刊海洋, 20: 155-160.
Kojima, S (2002) Deep-sea chemoautosynthesis-based communities in the Northwestern Pacific. J. Oceanogr., 58: 343-363.
Kojima, S., Ohta, S., Yamamoto, T., Yamaguchi, T., Miura, T., Fujiwara, Y., Fujikura, K., Hashimoto, J. (2002) Molecular taxonomy of vestimentiferans of the Western Pacific and their phylogenetic relationship to species of the Eastern Pacific. III. Alaysialike vestimentiferans and relationships among families. Mar. Biol., in press.
Kojima, S., Ohta, S. (1997) Bathymetrical distribution of the species of the genus Calyptogena in the Nankai Trough, Japan. Venus, 56: 293-297.
Kojima, S., Segawa, R., Fujiwara, Y., Hashimoto, J., Ohta, S. (2000) Genetic differentiation of populations of a hydrotherma vent-endemic gastropod, Ifremeria nautilei,between the Noth Fiji Basin and the Manus Basin revealed by nucleotide sequences of mitochondrial DNA. Zool. Sci., 17: 1167-1174.
Kojima, S., Ohta, S. (1997) Calyptogena okutanii n. sp., sibling species of Calyptogen soyoae Okutani, 1957 (Bivalvia: Vesicomydae). Venus, 56: 189-195.
Kojima, S., Segawa, R., Hashimoto J., Ohta, S. (1997) Molecular phylogeny of vestimentiferans collected around Japan revealed by the nucleotide sequences of mitochondrial DNA. Mar. Biol., 127: 507-513.
Kojima, S., Ohta, S., Yamamoto, Miura, T., Fujiwara, Y., Hashimoto, J. (2001) Molucular taxonomy of vestimentiferans of the western Pacific and their phylogenetic relationship to species of the eastern Pacific. 1, Family Lamellibrachiidae. Marine Biology, 139: 211-219.
Kojima, S., Segawa, R., Fujiwara, Y., Fujikura, K., Ohta, S., Hashimoto, J. (2001) Phylogeny of hydrothermal vent-endemic gastropods Alviniconcha spp. from the Western Pacific revealed by mitochondrial DNA sequences. Biol. Bull., 200: 298-304.
Kojima, S., Segawa, R., Hayashi, I., Okiyama, M. (2001) Phylogeography of a deep-sea demersal fish, Bothrocara hollandi, in the Japan Sea. Mar. Ecol. Prog. Ser, 217: 135-143.
Kojima, S., Ohta, S., Yamamoto, T., Miura,T., Fujiwara, Y., Fujikura, K., Hashimoto, J. (2002) Molecular taxonomy of vestimentiferans of the western Pacific and their phylogenetic relationship to species of the eastern Pacific II. Families Escarpiidae and Arcovestiidae. Marine Biology, 141: 57-64.
Kojima, S., Ohta, S., Yamamoto, T., Yamaguchi, T., Miura, T., Fujiwara, Y., Fujikura, K., Hashimoto, J. (2003) Molecular taxonomy of vestimeniferans of the Westen Pacific and their phylogenetic to species of the Easten Pacific.III.Alaysia-like vertimeniferans and relationships among families. Mar.Biol., 142: 625-635.
小坂丈予, 平林順一, 野上健治, 黒崎誠, 橋本惇(1992)鹿児島湾北部の海底噴気ガス成分の変化と火山活動の推移. しんかいシンポジウム報告書, 8: 75-80.
小谷口正樹(1995)富山湾におけるトヤマエビ親エビの放流後の行動生態及び天然トヤマエビの生息生態. JAMSTEC深海研究, 11: 411-414.
小山純弘, 三輪哲也, 相澤益男(1999)深海性生物の組織培養の試み. JAMSTEC深海研究, 15(2): 41-45.
Koyama, S., Horii, M., Yanagida, Y., Kobatake, Eiry., Miwa, T., Aizawa, M. (2001) Pressure Sensitivity of HSP70 Promoter in Transformed 3T3-L1 Cells. JAMSTEC深海研究, 20: 53-58.
Koyama, S., Miwa, T., Sato, T., Aizawa, M. (2001) Optical chamber system designed for microscopic observation system of living cells under extremely high hydrostatic pressure. Extremophiles., 5: 409-415.
Koyama, S., Aizawa, M (2002) PKC dependent IL-6 production and inhibition of IL-8 production by PKC activation in normal human skin fibroblasts under extremely high hydristatic pressure. Extremophiles, 6: 413-418.
Koyama, S., Fujii, S., Aizawa, M (2002) Post-transcriptional regulation of immunomodulatory cytokines production in human skin fibroblasts by intense mechanical stresses. J. Biosci. Bioeng., 93: 234-239.
Koyama, S., Miwa, T., et al. (1999) First report of primary culture for deep-sea clams. JAMSTEC J. Deep Sea Res, 15: 41-45.
Koyama, S., Aizawa, M. (2000) Tissue culture of the deep-sea bivalve Calyptogena soyoae. Extremophiles, 4: 385-389.

Koyama, S., Miwa, T., Horii, M., Ishikawa, Y., Horikoshi, K., Aizawa, M (2002) Pressure-stat aquarium system designed for capturing and maintaining deep-sea organisms. Deep Sea Res., I: in press.
工藤孝浩(1992)相模トラフ－相模海丘において「しんかい2000」により観察された魚類. しんかいシンポジウム報告書, 8: 313-325.
倉持卓司, 蟹江康光, 服部睦男, 植松勝之(1996)日本産オキナエビス科の歯舌形態. JAMSTEC深海研究, 12: 107-115.
倉持卓司, 池田等, 服部睦男, 蟹江康光(1997)飼育下におけるオキナエビスの生態. JAMSTEC深海研究, 13: 687-690.
栗田寿男(1986)「しんかい2000」による日向灘中部大陸棚斜面域の底生生物生態調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 157-165.
Kurusu, Y., Yoshimura, S., Tanaka, M., Nakamura, T., Maruyama, A., Higashihara, T. (2001) Genetic transformation system for a psychrotrophic deep-sea bacterium:isolation and characterization of a psychrotrophic plasmid. Marine Biotechnology, 3: 96-99.
Kwak, Y. S., Kobayashi, T., et al. (1995) A Hyperthermophilic Sulfur-reducing Archaebacterium, Thermococcus sp. DT1331, Isolated from a Deep-sea Hydrothermal Vent. Biosci. Biotech. Biochenl., 59(9): 1666-1669.
許正憲(1990)深海底微生物を捕える保圧型深海底微生物採集器の開発. JAMSTEC, 2(1): 15-21.
Li, L., Kato, C. (1999) Microbial Diversity in the Sediments Collected from Cold-Seep Areas and from Different Depths of the Deep-Sea. Extremophiles in Deep-Sea Environments (Eds. K. Horikoshi and K. Tsujii), Springer-Verlag, Tokyo, 55-88.
Li, L., Kato, C., et al (1999) Bacterial diversity in deep-sea sediments from different depths. Biodiv. Conserv., 8: 659-677.
Linday, D. J., Hunt, J. C., Hashimoto, J., Fujiwara, Y., Fujikura, K., Miyake, H., Tsuchida, S. (2000) Submersible observations on the deep-sea fauna of the south-west Indian Ocean: preliminary results for the mesopelagic and near-bottom communities. JAMSTEC深海研究, 16(1): 23-33.
Lindsay, D. J., Hunt, J. C., 三宅裕志, 橋本惇(2001)潜水調査船による中・深層生物の多様性研究. 月刊海洋, 号外27 : 47-52.
Lindsay, D. J., Hunt, J. C., Miyake, H., Hashimoto, J., Fujiwara, Y., Fujikuira, K. Tsuchida, S., H. Watabe (2000) Preliminary results from JAMSTEC's mesopelagoc biological survey program in Sagami Bay, Central Japan. TECHNO-OCEAN 2000 Proceedings, II: 283-286.
Lindsay, D. J., Hunt, J. C., Hayashi, K. (2001) Further observations on the penaeid shrimp Funchalia sagamiensis FUJINO 1975 and pelagic tunicates (Order: Phyrosomatida). JAMSTEC深海研究, 20: 17-27.
Lindsay, D.J., Hunt, J.C., 橋本惇, 藤倉克則, 藤原義弘, 土田真二, 伊東健二(1999)相模湾における近底層の生物群集. JAMSTEC深海研究, 14: 493-499.
Lu, J., Nogi, Y., Takami, H. (2001) Oceanobacillus gen. nov. iheyensis sp. nov., a deep-sea extremely halotolerant and alkaliphilic species isolated from 1,050 m depth of Iheya Ridge. FEMS Microbiol. Lett., 205: 291-297.
Machida, Y., Hashimoto, J. (2002) Pyrolycus manusanus,a new genus and species of deep- sea eelpout from a hydrothermal vent field in the Manus Basin,Papua New Guinea (Zoarcidae, Lycodinae). Ichthyological Research, 49: 1-6.
町田吉彦, 橋本惇(2000)熱水噴出孔周辺から得られたゲンゲ科魚類(要旨). 漁業資源研究会議　底魚部会報, 4: 3.
牧陽之助(1994)相模湾初島沖のシロウリガイ群集周辺における底泥中の硫黄酸化細菌. JAMSTEC深海研究, 10: 389-393.
牧陽之助(1999)熱水噴出域に発達した微生物被膜の光学顕微鏡的性状：水曜海山と第2春日海山. JAMSTEC深海研究, 14: 593-607.
丸山明彦(1992)海底熱水活動域における微生物DNAの起源とその構成. 月刊海洋 特集「活動的海洋底と生命の進化」, 24(12): 769-776.
丸山明彦(1992)海底熱水活動域における微生物 DNAの起源とその構成. 特集「活動的海洋底と生命の進化」. 月刊海洋, 24(12): 769-776.
丸山明彦(1997)深海微生物研究をめぐって. 海洋と生物, 112: 426-431.
丸山明彦(1999)活動的海洋底における微生物活動の規模と役割. 月刊海洋号外, 19: 170-179.
丸山明彦(2000)海洋微生物の分子・細胞レベルでの解析. 月刊海洋号外総特集「海洋微生物」, 23: 162-170.
Maruyama, A., Mita, N., Higashihara, T. (1993) Particulate materials and microbial assemblages around the Izena black smoking vent in the Okinawa Trough. Journal of Oceanography, 48: 353-367.
Maruyama, A., Sunamura, M. (2000) Simultaneous direct counting of total and specific microbial cells in seawater, using a deep-sea microbe as biomarker. Applied and Environmental Microbiology, 66: 2211-2215.
Masui, N., Kato, C. (1999) New method of screening for pressure-sensitive mutants at high hydrostatic pressure. Biosci. Biotech. Biochem., 63: 235-237.
増沢敏行, 半田暢彦, 小山睦夫(1988)相模湾初島沖海底生物群集のシロウリガイの微量元素組成.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 225-232.
松澤誠二, 橋本惇(1986)潜水調査船「しんかい2000」によるトゲエビ分布密度の推定. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 47-53.
松澤誠二, 橋本惇(1987)日本海最上トラフ海域における表在性底生生物. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 251-260.
三浦知之(1990)シロウリガイ群集における多毛類および寄生生物調査. 日本ベントス研究会誌, 38: 41-44.
Miura, T., Tsukahara, J., Hashimoto, J. (1997) Lamellibrachia satsuma, a new species of vestimentiferan worms (Annelida: Pogonophora) from a shallow hydrothermal vent in Kagoshima Bay, Japan. Proceeding of the Biological Society of Washington, 110(3): 447-456.
三浦知之(2000)無脊椎動物の分類と系統. 環形動物.有髭動物.体節制の発達と役割. バイオダイバーシティーシリーズ第5巻, 白山義久編, 裳華房, 東京., 199-215.
Miura, T. (1988) A new species of the genus Protomystides (Annelida, Polychaeta) associated with a vestimentiferan worm from the Hatsushima cold-seep site. 動物分類学会誌, 38: 10-14.
Miura, T. (1998) Annelida Polychaeta in Handbook of deep-sea hydrothermal vent fauna. Published by IFREMER, France. Edited by D. Desbruyeres and M. Segonzac, 38: 51-53,55.60-61,70-75,81.
Miura, T., Hashimoto, J. (1996) Nautiliniellid polychaetes living in the mantle cavity of bivalves from cold seeps and hydrothermal vents around Japan. Publications of the Seto Marine Biological Laboratory, 37(3-6): 257-274.
Miura, T., Nedachi, M., Hashimoto, J. (2002) Sulphur sources for chemoautotrophic nutirition of shallow water vestimentiferan tubeworms in Kagoshima Bay. Journal of the Marine Biological Association of the United Kingdom, 82: 537-540.
Miwa, T., Sato, T., Kato, C., Aizawa, M., Horikoshi, K. (2002) Restoration of Escherichia coli from high hydrostatic pressure -A study of the FtsZ-ring formation using confocal laser microscopy-. In Progress in Biotechnology 19 Trends in High Pressure Bioscience and Biotechnology(ed. R. Hayashi), 227-231.
三宅裕志, 橋本惇, 土田真二(2000)ハオリムシの棲管内行動の観察法. JAMSTEC深海研究, 16(1): 35-39.
Miyake, H., Hashimoto, J., Fujikura, K., Fujiwara, Y., Tsuchida, S., Lindsay, D. J., Hunt, J. C., H. Watabe (2000) The habitat environmentof vestimentiferan tube worm, Lamellibrachia satsuma and observations of its behavior in transparent tube. TECHNO-OCEAN 2000 Proceedings Vol.II, 507-512.
三宅裕志, Lindsay, D. J., Hunt, J.C.(2001)潜水船を利用したゼラチン質プランクトンの研究. 月刊海洋, 号外(27): 216-223.
Miyake, H., Hashimoto, J., Tsuchida, S. (1990) A new and primitive Barnacle (Cirripedia: Balanomorpha) from the North Fiji Basin abyssal hydrothermal field, and its evolutionary implication. Pacific Sc., 44: 135-155.
Miyake, H., Lindsay, D., Hunt, J., Hamatsu, T. (2002) Scyphomedusa Aurelia limbata (Brandt,1838) found in deep waters off Kushiro, Hokkaido Japan. Plankton Biology and Ecology, 49(1): 44-46.
溝田智俊(1997)海底湧水生物群集の硫黄同位体地球化学－既往の研究の総括－. JAMSTEC深海研究, 13: 711-720.
Mizota, C., Maki, Y. (1998) Sulfur isotopic variations in soft tissues of Calyptogena soyoae from Sagami Bay, central Japan. Geochemical Journal, 32: 421-425.
Mizota, C., Maki, Y. (1999) Use of hydrogen sulfide dissolved in thermal waters by sulfur-oxidizing bacteria: a sulfur isotopic approach. Geochem. J., 33: 67-71.
Mizota, C., Shimoyama, S., Yamanaka, T. (1999) An isotopic characterization of sulfur uptake by benthic animals from Tsuyazaki Inlet, northern kyushu, Japan. Benthos Res., 54: 81-85.
森屋和仁, 樋渡和寿, 服巻辰則, 高木善弘, 阿部晃久, 柳谷周作, 秀島彩美, 掘越弘毅(1994)有機溶媒耐性微生物を用いた難水溶性物質の水－有機溶媒二相系での反応. 精糖技術研究会誌, 42: 71-82.
Moriya, K., Usami, R., et al (1995) Marine killer yeasts isolated from deep sea and their properties. J. Mar. Biotechnol., 2: 135-138.
Moriya, K., Inada, T., et al. (1995) Large-scale fermentation under high hydrostatic pressure using a newly developed Deep-sea Baro/Thermophile

Collection and Cultivation System. J. Mar. Biotechnol., 2: 175-177.
Moriya, K., Horikoshi, K. (1993) Isolation of a Benzene-Tolerant Bacterium and Its Hydrocarbon Degradation. J. Ferment. Bioeng., 76(3): 168-173.
Moriya, K., Yanagitani, S., et al. (1995) Isolation and some properties of an organic-solvent-tolerant marine bacterium degrading cholesterol. J. Mar. Biotechnol., 2: 131-133.
Moriya, K., Horikoshi, K. (1993) A Benzene-Tolerant Bacterium Utilizing Sulfur Compounds Isolated from Deep Sea. J. Ferment. Bioeng, 76(5): 397-399.
村上恵祐, 野上欣也, 友田努, 加畑裕康, 小谷口正樹(1996)「しんかい2000」によるトヤマエビの生態観察. JAMSTEC深海研究, 12: 95-99.
村中文夫(1987)駿河湾奥部におけるサクラエビを中心とした深海生物の観察. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号 : 31-36.
村中文夫(1988)駿河湾西部におけるサクラエビを主体とした深海生物の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 119-127.
Nagahama, T., Hamamoto, M., et al. (1999) Kluyveromyces nonfermentans sp. nov., a new yeast species isolated from the deep-sea. Int. J. Syst. Bacteriol., 49: 1899-1905.
Nagahama, T., Hamamoto, M., Nakase, T., Horikoshi, K. (2001) Rhodotorula lamellibrachii sp. nov., a new yeast species from a tubeworm collected at the deep-sea floor in Sagami Bay and its phylogenetic analysis. Antonie Leeuwenhoek, 80: 317-323.
Nagahama, T., Hamamoto, M., Nakase, T., Takami, H., Horikoshi, K. (2001) Distribution and identification of red yeasts in deep-sea environments around the northwest Pacific Ocean. Antonie Leeuwenhoek, 80: 101-110.
長沼毅, 池本栄子, 鋤崎俊二, 辻義人, 堀田宏(1990)表層から漸深海層における細菌現存量の鉛直分布.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 221-224.
長沼毅, 池本栄子, 鋤崎俊二, 辻義人, 堀田宏(1990)沖縄トラフ熱水活動域における化学合成細菌.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 123-127.
長沼毅(1995)後志海山の堆積物脂肪酸－冷水湧出域との比較. JAMSTEC深海研究, 11: 403-410.
長沼毅, 堀越弘毅, 藤岡換太郎, 和田秀樹, 関文威(1995)環境指標としての微生物. 海洋技術工学, 1: 61-69.
長沼毅, 藤倉克則, 仲二郎, 加藤幸弘, 竹内章(1996)北部奥尻海嶺の開口割れ目域における堆積物脂肪酸－メタン湧水域および海底火山火口域との比較. JAMSTEC深海研究, 12: 83-94.
長沼毅, 服部睦男, 秋元和實, 門馬大和, 橋本惇(1997)海底での有機物分解による冷湧水型微生物相の形成－海底比較実験タフォノミー(CETUS)へのアプローチ. JAMSTEC深海研究, 13: 697-710.
長沼毅(1999)生命は海底の熱水噴出孔から生まれた?. 化学, 54(4): 16-19.
長沼毅(1999)地球最後の生物圏フロンティアを探る－地殻内生命から宇宙生命へ. サイアス, 1999年8月号: 13-14.
長沼毅(1999)熱水噴出孔下生物圏(サブベント生物圏)をさぐる. 月刊海洋, 号外19: 217-222.
Naganuma, T., Meisel, C.J., Wada, H., Kato, Y., Takeuchi, A., Fujikura, K., Naka, J., Fujioka, K. (1999) Sea-floor fissures, biological communities and sediment fatty acids of the northern Okushiri Ridge, Japan Sea: Implications for possible methane seepage. Island Arc, 8: 232-244.
長沼毅(2000)海洋微生物の地球化学的多才性－末端電子受容体(TEA)の多様性. 地球化学, 34: 135-141.
長沼毅(2000)海底熱水噴出孔からサブベント生物圏へ. 月刊海洋, 号外23: 121-126.
長沼毅(2000)地球生物圏フロンティア(深海・地底・南極)の微生物. 宇宙生物科学, 14: 323-331.
Naganuma, T., et al. (2000) Effect of UV radiation on the bioavailability of marine diatom-derived low-molecularweight dissolved organic matter. Aquatic Ecosystem Health and Management, 3: 163-166.
Naganuma, T. (1998) A hypothetical microbial consortium that stabilizes oxygen-gradient in chemosynthetic microenvironmen. Supramolecular Science, 5: 439-443.
Naganuma, T., Ikemoto, E., Sukizaki, S., Tsujii, Y., Hotta, H. (1990) Sulfur bacteria originating from the water and organisms in a hydrothermally active area of the mid-Okinawa Trough. J Oceanogr Soc Jpn, 46(3): 111-113,115-117.
Naganuma, T., Ikemoto, E., Sukizaki, S., Tsujii, Y., Hotta, H. (1990) Vertical distribution of bacterial abundance in the northwest Pacific Ocean. J Oceanogr Soc Jpn, 46(3): 107-110.
Naganuma, T., Deep Sea Research Group : Hashimoto, J., Fujikura, K., Sukizaki, S., Ikemoto, E., Naka, J., Tsuji, Y., Hotta, H., Deep Star Group: Kobayashi, T., Moriya, K, Kato, C., Horikoshi, S. (1991) Collection of Chemosynthetic Sulfur Bacteria from a Hydrothermal Vent and Submarine Volcanic Vents.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 201-220.
Naganuma, T., Horikoshi, K., et al. (1995) Microorganisms as Environmental Markers. J. Adv. Mar. Sci. Tech. Soci., 1(1): 61-69.
Naganuma, T., Okayama, Y., et al. (1995) Fossil worm tubes from the presumed cold-seep carbonates of the Miocene Havama Group, Central Miura Peninsula, Japan. The Island Arc., 4: 199-208.
Naganuma, T., Wada, H., Fujioka, K. (1996) Biological community and sediment fatty acids associated with a deep-sea whale skeleton at the Torishima Seamount. Journal of Oceanography, 52: 1-15.
Naganuma, T., Kato, C., Hirayama, H., Moriyama, N., Hashimoto, J., Horikoshi, K. (1997) Intracellular occurrence of e-Proteobacterial 16S rDNA sequences in the vestimentiferan trophosome. Journal of Oceanography, 53: 193-197.
Naganuma, T., Naka, J., Okayama, Y., Minami, A. Horikoshi, K. (1997) Morphological diversity of the microbial population in a vestimentiferan tubeworm. Journal of Marine Biotechnology, 5: 119-123.
Naganuma, T., Kyo, M., Ueki, T., Takeda, K., Ishibashi, J. (1998) A new, automatic hydrothermal fluid sampler using a shape-memory alloy. Journal of Oceanography, 54: 241-246.
Naganuma T, Hattori M, Akimoto K, Hashimoto J, Momma H., Meisel CJ (2001) Apparent microfloral response to organic degradation on bathyal seafloor: an analysis based on sediment fatty acids. Marine Ecology, 22: 267-282.
Nakagawa, S., Takai, K., Horikoshi, K., Sako, Y. (2003) Persephonella hydrogenophila sp. nov., a novel thermophilic, hydrogen-oxidizing bacterium from a deep-sea hydrothermal vent chimney. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, in press.
二階堂英城(1997)しんかい2000によるトヤマエビの観察(日本栽培漁業協会S). さいばい, 83: 35-36.
二階堂英城, 大津順(1997)富山湾四方沖海底谷におけるトヤマエビ Pandalus hypsinotus 雌エビ生息状況の観察. JAMSTEC深海研究, 13: 669-674.
Nishi, E., Miura, T., Bhaud, M. (1999) A new species of Spinochaetopterus (Chaetopteridae: Polychaeta) from a cold seep site off Hatsushima in Sagami Bay, central Japan. Proceedings of Biological Society of Washington, 112(1): 210-215.
Nogi, Y., Kato, C., Horikoshi, K. (2002) Psychromonas kaikoae sp. nov., a novel piezophilic bacterium from the deepest cold-seep sediments in the Japan. Trench Int J Syst Evol Microbiol., 52: 1527-1532.
Nunoura, T., Aihara, S., Takai, K., Sako, Y. (2002) Thermaerobacter nagasakiensis sp. nov., a novel aerobic and extremely thermophilic bacterium. Arch. Microbiol, 177: 339-344.
Ogawa, M., Takeuchi, A., Hattori, M., Okano, M., Aoki, M., Imamura, M., Kawabata, T., Tsuboi, T., Tanimoto, D., Naganuma, T. (2002) Geological and microbial anomalies at the extinct submarine volcano, Shiribeshi Seamount, in the eastern margin of Japan Sea. The Island Arc, 11: 269-281.
Ogawa, M., Tanimoto, D., Okamoto, T., Saito, Y., Zhang, J., Takeuchi, A., Naganuma, T. (2002) Ester-linked phospholipid fattyacids in marine sediments: testing the possibility of methane seepage in Japan Sea. Aquatic Ecosystem Health & Management, 5: (in press).
小川勇二郎, 岩瀬良一, et al. (1999) NT98-12Leg1による相模湾「しんかい2000」潜航調査報告(概報)－第1047-1051潜航. 海洋科学技術センターJAMSTEC深海研究, 15: 135-144.
荻原成騎, 濱田欣孝, 松本良, 戸丸仁, 芦寿一郎, 廣木義久(2001)南海トラフ海底堆積物のバイオマーカー組成. JAMSTEC深海研究, 19: 155-159.
Ohga, T., Kitazato H. (1997) Seasonal changes in bathyal foraminiferal populations in response to the flux of organic matter Sagami Bay, Japan. Terra Nova, 9(1): 33-37.
大橋洋一(1993)石川県加賀沖のズワイガニ保護魚礁周辺海域における底生生物の観察. しんかいシンポジウム報告書, 9: 351-359.
大森信(1986)オトヒメノハナガサ(腔腸動物ヒドロ虫目)の観察. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 43-45.
大野知多夫, 江川公明(1986)相模湾の底魚漁場調査－Ⅱ. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 55-62.
大野多恵子, 藤倉克則, 橋本惇, 藤原義弘, 瀬川進(1996)小笠原海域「海形海山」の熱水噴出孔生物群集. JAMSTEC深海研究, 12: 221-230.
太田秀, 酒井均, 平朝彦, 大和田紘一, 石井輝秋, 前田昌調, 藤岡換太郎, 才野俊郎, 木暮一啓, 蒲生俊敬, 白山義久, 古田俊夫, 石塚明男, 遠藤圭子, 角隆幸, 堀田宏, 橋本惇, 半田暢彦, 増澤敏行, 堀越増興(1987)

相模湾初島沖における「シロウリガイ群集」総合調査報告（Ⅰ）．海洋科学技術センター試験研究報告，特集号: 51-60.
太田秀（1990）相模湾冷湧水生態系に関する生態学的知見．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，6: 181-195.
太田秀（1990）沖縄海盆伊平屋海凹の熱水性生物群集．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，6: 145-156.
太田秀，金東成（1992）オオエンコウガニの配偶行動とシンカイヒバリガイの摂餌生態について－「しんかい2000」ダイブ#542（南奄西海丘C海凹）潜航報告－．しんかいシンポジウム報告書，8: 279-285.
太田秀，小島茂明，Yieh, S-M.，橋本惇（1995）遠州灘の漸深海帯に化学合成生態系を求めて「しんかい2000」第771潜航報告．JAMSTEC深海研究，11: 219-225.
太田秀，小島茂明，葉信明，橋本惇（1995）遠州灘の漸深海帯に化学合成生態系を求めて－「しんかい2000」第771潜航報告－．JAMSTEC深海研究，11: 219-226.
太田秀，橋本惇，BIOACCESS-Manus96乗船研究者（1997）東部マヌス海盆デスモス海釜の熱水噴出域と生物群集－"Shinkai2000"BIOACCESS-Manus96航海ダイブ#916と#924潜航報告を中心に－．JAMSTEC深海研究，13: 233-242.
Ohta, S., Kim, D.（2001）中部沖縄トラフ伊平屋海嶺の熱水噴出孔群の潜水艇観測．J Oceanogr, 57(6): 663-677.
岡村陽一（1989）小笠原海域における底魚類と底生生物の観察．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，5: 67-72.
岡村陽一（1990）小笠原海域における底魚類と底生生物の観察Ⅱ．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，6: 239-247.
Okutani, T., Sasaki T., Tsuchida S. (2000) Two additional new species to gastropod fauna of chemosynthetic site on North Knoll of Iheya Ridge, Okinawa Trough. Venus, 59: 267-275.
Okutani, T., Fujikura, K., Kojima, S. (2000) Two new hadal baivalves pf the family Thyasiridae from the plate convergent area of the Japan Trench. Venus, 56: 49-54.
Okutani, T., Kojima, S., Iwasaki, N. (2002) New and known vesicomyid bivalves recently collocted from the western and central Nankai Trough off Shikoku-Jonshu, Japan by deep sea research systems of Japan. Venus, 61: 129-140.
Okutani, T., Kojima, S., Ashi, J. (1996) An unusual Vesicomyid Bivalve, Calyptogena nankaiensis n. sp. from bathyal depth off Honshu, Japan. Venus, 55: 257-263.
Okutani, T., Kojima, S., Ashi, J. (1997) Futher discovery of new taxon of vesicomyd clam from the Nankai Trough, off Honshu, Japan. Venus, 56: 185-188.
Okutani, T., Kojima, S., Fujikura, K. (2002) New taxa and review of versicomyid bivalves collected from the northwest pacific by deep sea research system of Japan. Venus, 59: 83-101.
Okutani, T., Fujiwara, Y. (2000) Gastropod fauna of a thermal vent site on the North Knoll of Iheya Ridge, Okinawa Trough. Venus, 59: 123-128.
Okutani, T., Sasaki, T., Tsuchida, S. (2000) Two additional new species to gastropodfauna corals in Sekisei Lagoon as a bio-indicator. 海洋科学技術センター試験研究報告，45: 17-30.
領家一博（1991）「しんかい2000」による若狭湾の保護区周辺におけるズワイガニChionoecetes opilioの生態観察．「しんかい2000」シンポジウム報告書，7: 277-282.
領家一博（1995）若狭湾の耕うんされた海底における底生生物の観察．JAMSTEC深海研究，11: 415-420.
Sako, Y., Takai, K., Uchida, A., Ishida, Y., Katayama, Y. (1996) Rhodothermus obamensis sp. nov., a modern lineage of extremely thermophilic marine bacterium. Int. J. Syst. Bacteriol, 46: 1099-1104.
Sako, Y., Takai, K., Uchida, A., Ishida, Y. (1996) Purification and characterization of phosphoenolpyruvate carboxylase from hyperthermophilic archaeon Methanothermus sociabilis. FEBS Lett, 392: 148-152.
Sako, Y., Takai, K., Nishisaka, T., Ishida, Y. (1997) Biochemical relationship of phosphoenolpyruvate carboxylases (PEPCs) from thermophilic archaea. FEMS Microbiol. Lett, 153: 159-165.
Sako, Y., Nunoura, T., Uchida, A (2001) Pyrobaculum oguniense sp. nov., a novel facultative aerobic and hyperthermophilic archaeon growing up to 97℃. Int. J. System. Evol. Bacteriol, 51: 303-309.
Sako, Y., Nakagawa, S., Takai, K., Horikoshi, K. (2002) Marinithermus hydrothermalis sp. nov., a sterictly aerobic, thermophilic bacterium from a deep-sea hydrothermal vent chimney. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, in press.
山洞仁（1988）最上トラフ平坦部における深海動物群集「しんかい2000」第247回潜航調査．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，4: 41-52.
Sasaki, T., Okutani, T., Fujikura, K. (2002) Systematic revision of patelliform gastropods from deep-sea chemosynthetic communities in Japanese waters. Veliger, in press.
佐藤孝子，加藤千明，掘越弘毅（1994）深海底水サンプルにおけるウイルス様粒子の探索と,微生物の生育に対する影響．JAMSTEC深海研究，10: 465-469.
Sato, T., Kato, C., Horikoshi, K. (1998) Gene expression under high hydrostatic pressure in Escherichia coli. (in Japanese). High Pressure Biotechnology (eds. Kunugi S, Hayashi R) San-ei Press, 123-131.
Sato, T., Kuramitsu, H. (1998) Plasmid maintenance renders bacteria more susceptible to heat stress. Microbiol. Immunol., 42: 467-469.
Sato, T., Wu, J., Kuramitsu, H. (1998) The sgp gene modulates stress responses of Streptococcus mutans: utilization of an antisense RNA strategy to investigate essential gene functions. FEMS Microbiol. Lett., 159: 241-245.
Sato, T., Miwa, T., Ishii, A., Kato, C., Wachi, M., Nagai, K., Aizawa, M., Horikoshi, K. (2002) The dynamism of Escherichia coli under high hydrostatic pressure -repression of the FtsZ-ring formation and chromosomal DNA condensation. Progress in Biotechnology 19. Trends in High Pressure Bioscience and Biotechnology (ed. R. Hayashi), 233-238.
佐藤善雄（1988）ハタハタ（Arctoscopus japonicus）の深海における行動について．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，4: 53-57.
Shimanaga, M., Kitazato, H., Shirayama,Y. (2000) Seasonal change in vertical distribution of meiofauna in relation to phytodetritus deposition in the bathyal Sagami Bay, Central Japan. Journal of Oceanography, 56(4): 379-387.
白山義久（1987）初島南東沖シロウリガイ群集内のメイオベントスの生態について．海洋科学技術センター試験研究報告，特集号: 69-74.
白山義久（1992）「しんかい2000」第541回潜航において，伊平屋海凹海域で採集されたメイオファウナについて．しんかいシンポジウム報告書，8: 287-290.
Shirayama, Y., Ohta, S. (1990) Meiofauna in a cold-seep community off Hatsushima central Japan. J Oceanogr Soc Jpn, 46(3): 118-124.
須貝昭彦，宇田郁子，伊藤俊洋，伊藤祐子，増地矢恵子，軽部征夫，掘越弘毅（1996）超好熱古細菌Pyrococcus shinkaiiの脂質について．脂質生化学研究，38: 129-132.
菅生裕，江川公明（1987）アカザエビ（Metanephrops japonicus）の漁具に対する行動調査．海洋科学技術センター試験研究報告，特集号: 113-118.
杉山秀樹，柴田理（1989）「しんかい2000」によるハタハタArctoscopus japonicusの生態と生息環境に関する研究．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，5: 111-119.
鋤崎俊二，辻義人，池本栄子（1990）駿河湾深海底泥中における微生物の増殖速度．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，6: 225-232.
鋤崎俊二，辻義人，長沼毅，池本栄子，堀田宏（1990）深海底泥中における微生物の動態 分布特性及び呼吸速度．海洋科学技術センター試験研究報告，23: 1-15.
鋤崎俊二，池本栄子，辻義人（1991）深海底泥中から分離した微生物の加圧培養時における増殖応答．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，7: 79-87.
鋤崎俊二，辻義人（1992）保圧型微生物採取・培養装置を用いた深海微生物の培養．しんかいシンポジウム報告書，8: 359-366.
砂村倫成，大和田紘一（1998）海洋におけるメタン生成細菌．Microbes and Environments, 13: 45-50.
砂村倫成，大和田紘一（2000）海洋におけるメタン生成．月刊海洋，23: 112-115.
Sunamura, M., Maruyama, A., Tsuji, T., Kurane, R. (2002) Spectral imaging detection and counting of microbial cells in marine sediment. J. Microbiol. Methodi.
鈴木知彦，川道穂津美，大槻隆司，岩井雅夫，藤倉克則（1999）カイコウシロウリガイへのヘモグロビンのcDNA由来アミノ酸配列．JAMSTEC深海研究，14: 507-513.
Takai, K., Sako, Y., Uchida, A., Ishida, Y. (1997) Extremely thermostable phosphoenolpyruvate carboxylase from an extreme thermophile. Rhodothermus obamensis. J. Biochem, 122: 32-40.
Takai, K., Sako, Y., Uchida, A. (1997) Extrinsic thermostabilization factors and thermodenaturation mechanism of phosphoenolpyruvate carboxylase (PEPC) from an extremely thermophilic bacterium. Rhodothermus obamensis. J. Ferment. Bioeng, 84: 291-299.
高井研（1998）未知の遺伝子資源の探索．生物工学会誌，第76巻（第10号）: 439.
Takai, K., Sako, Y., Uchida, A., Ishida, Y. (1998) ppc, the gene for phosphoenolpyruvate carboxylase from an extremely thermophilic bacterium,

Rhodothermus obamensis: cloning, sequencing and overexpression. Escherichia coli. Microbiology, 144: 1423-1434.
Takai, K., Nunoura, T., Sako, Y., Uchida, A. (1998) Aquired thermotolerance and growth temperature induced proteins of an extereme thermophile Rhodothermus obamensis. J. Bacteriol., 180: 2770-2774.
高井研, 掘越弘毅(1999)深海底熱水孔環境における微生物の多様性－地下生物圏への窓－. 月刊海洋, 19: 190-196.
高井研, 左子芳彦(1999)環境ゲノム工学の夜明け. バイオサイエンスとインダストリー, 57(5): 41-42.
Takai, K., Horikoshi, K. (1999) Molecular phylogenetic analysis of archaeal rDNA clones containing intron-like sequences obtained from a deep subsurface geothermal water pool. Appl. Environ. Microbiol, 65: 5586-5589.
Takai, K., Inoue, A., Horikoshi, K. (1999) Thermaerobacter marianensis gen. nov., sp. nov., an aerobic extremely thermophilic marine bacterium from the 11,000 m deep Mariana Trench. Int. J. Syst. Bacteriol, 49: 619-628.
Takai, K., Horikoshi, K. (2000) Thermosipho japonicus, sp. nov., a barophilic extremely thermophilic bacterium isolated from a black smoker chimney of a deep-sea hydrothermal vent. Extremophiles, 4: 9-17.
Takai, K., Sugai, A., Ito, T., Horikoshi, K. (2000) Palaeococcus ferrophilus gen. nov., sp. nov., a barophilic hyperthermophilic archaeon from a deep-sea hydrothermal vent chimney. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, 50: 589-600.
Takai, K., Horikoshi, K. (2000) Rapid detection and quantification of archaeal populations in various microbial communities by quantitative PCR using fluorogenic probes. Appl. Environ. Microbiol, 66: 5066-5072.
Takai, K., Moser, D. P., Onstott, T. C., Spoelstra, N., Pfiffner, S. M., Dohnalkova, A., Fredrickson, J. K. (2001) Alcaliphilus auruminutor gen. nov., sp. nov., an extremely alkaliphilic bacterium isolated from a deep South African gold mine. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, 51: 1245-1256.
Takai, K., Komatsu, T., Horikoshi, K. (2001) Hydrogenobacter subterraneus sp. nov., an extremely thermophilic, chemoorganotrophic bacterium isolated from a deep subsurface geothermal water pool. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, 51: 1425-1435.
Takai, K., Moser, D. P., Onstott, T. C., Fredrickson, J. K. (2001) Archaeal diversity in deep subsurface South African gold mine environments and phylogenetic organization of archaeal domain. Appl. Environ. Microbiol, 67: 5750-5760.
Takai, K., Komatsu, T. Inagaki, F., Horikoshi K. (2001) Distribution and colonization of archaea in a black smoker chimney structure. Appl. Environ. Microbiol, 67: 3618-3629.
高井研(2002)地殻内微生物, そして地球外微生物探索へ. 微生物利用の大展開, 165-171.
高井研, 稲垣史生(2002)極限環境微生物生態系と特殊微生物の探索. 月刊バイオインダストリー, 19(1): 7-17.
Takai, K., Hirayama, H., Sakihama, Y., Inagaki, F., Yamato, Y., Horikoshi, K. (2002) Isolation and metabolic characteristics of previously uncultured members of the order Aquificales in a subsurface gold mine. Appl. Environ. Microbiol, 68: 3046-3054.
Takai, K. Fujiwara, Y. (2002) Biodiversity in deep-sea hydrothermal vents. Encyclopedia of Environmental Microbiology, 1604-1617.
Takai, K., Inoue, A., Horikoshi, K. (2002) Methanothermococcus okinawensis sp. nov., a thermophilic methane-producing archaeon isolated from a Western Pacific deep-sea hydrothermal vent system. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, 52: 1089-1095.
Takai, K., Inagaki, F., Nakagawa, S., Hirayama, H., Nunoura, T., Sako, Y., Nealson, K. H., Horikoshi, K. (2003) Isolation and phylogenetic diversity of members of previously uncultivated epsilon-Proteobacteria in deep-sea hydrothermal fields. FEMS Microbiol. Lett, in press.
Takai, K., Inagaki, F., Komatsu, T., Horikoshi, K. (2003) The Archaea World: the Silent Majority in the Global Subsurface Biosphere. AGU Monograph, in press.
Takai, K., Mormile, M. R., McKinley, J. P., Brockman, F. J., Fredrickson, J. K. (2003) Subsurface microbial community structures associated with lithological and geochemical variations in Cretaceous rock. Environ. Microbiol, in press.
Takai, K., Kobayashi, H., Nealson, K. H., Horikoshi, K. (2003) Deferribacter desulfuricans sp. nov., a novel sulfur-, nitrate- or arsenate-reducing thermophile isolated from a deep-sea hydrothermalvent. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, in press.
Takai, K., Kobayashi, H., Nealson, K. H., Horikoshi, K. (2003) Sulfurihydrogenobium subterraneum gen. nov., sp. nov., from a subsurface hot aquifer. Int. J. Syst. Evol. Microbiol, in press.
Takai, K., Sako, Y. (2000) Molecular analysis and engneering of invisible majority in extreme environments. Microbes and Environments, 15: 45-57.
Takai, K. (2002) Possible occurrence of Hyperthermophilic subsurface lithoautotrophic microbial ecosystem (HyperSLiME) in subvent biosphere. Geochim. Cosmochim. Acta, 66/S1: A761.
Takai, K., Sako, Y. (1999) A molecular view of archaeal diversity in marine and terrestrial hot water environments. FEMS Microbiol. Eco., 28: 177-188.
Takai, K., Sugai, A., et al. (2000) Palaeococcus ferrophilus gen. nov., sp. nov., a barophilic hyperthermophilic archaeon from a deep-sea hydrothermal vent chimney. Int. J. Syst. Evol. Microbiol., 50(March): 489-500.
Takai, K., Horikoshi, K. (1999) Genetic diversity of archaea in deep-sea hydrothermal vent environments. Genetics, 152: 1285-1297.
Takai K, Fujiwara, Y. (2002) Hydrothermal vents:Biodiversity in the deep- sea hydrothermal vents. In:Bitton G (ed) Encyclopedia of Env ronmental Microbiology. Wiley New York, I: 1604-1617.
Takami, H. (1999) Biodiversity in deep-sea environments: Isolation and characterization of microorganisms from deep-sea mud. Extremophiles in deep-sea environments. Horikoshi, K., Tsujii, K., 249-284.
Takami, H., Kobata, K., et al. (1999) Biodiversity in deep-sea sites located near the south part of Japan. Extremophiles, 3: 97-102.
高杉秀美, 長沼毅, 藤倉克則, 山本智子, 服部睦男, 山本啓之, 岩井雅夫, 小川勇二郎(1999)堆積物脂肪酸によるメタン湧水帯微生物相の解析. JAMSTEC深海研究, 14: 609-619.
高杉秀美, 長沼毅, 金松敏也, 池原研, 沖野郷子, 藤岡換太郎(2000)堆積物脂肪酸を用いた深海帯海底微生物相の解析. JAMSTEC深海研究, 16(1): 77-89.
Takata, N., Hamamoto, T., et al. (1995) Low-Temperature Active Lipase of Deep-Sea Psycrophilic Bacteria and Effect of Hydrostatic Pressure on Enzyme Activity. JAMSTECR, 31: 87-92.
Takeda, M., Hashimoto, J., Ohta, S. (2000) A new species of the family Bythograeidae (Crustacea, Decapoda, Brachyura) from the hydrothermal vents along volcanic front of the Philippine Sea Plate. Bulletin of the National Science Museum, Series A, 6(4): 159-172.
武野泰之(1999)「しんかい2000」で観察した富山湾のベニズワイ. 日本海ブロック試験研究集録, 39: 29-32.
竹之内卓夫(1987)黒瀬海域の底魚類調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 159-163.
瀧憲司, 壺純子, 中川至純, 遠藤宜成(2002)道東及び常磐沿岸域におけるツノナシオキアミEuphausia pacificaの胃内容物の特徴. 水産海洋研究, 66: 155-163.
田中彰, 久保田正(1988)駿河湾における潜水調査船「しんかい2000」による深海魚の行動観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 111-118.
俵健二, 山村健, 田崎和江, 千葉仁, 石橋純一郎(1997)生体鉱物 伊平屋海嶺熱水噴出孔に棲息する微生物. 鉱物学雑誌, 26(2): 81-85.
戸田龍樹(1997)深海　深海プランクトンに関する最近の研究. 海洋と生物, 19(5): 401-405.
Toda, T., Kikuchi, T., Gamo, S., Ohta, S. (1994)相模湾深海底冷湧水域の近底層動物プランクトン. 日本プランクトン学会報, 41(2): 173-176.
Toda, T., Kikuchi, T., Ohta, S., Gamo, S. (1994) Benthopelagic zooplanktons from a deep-sea cold-seep site in Sagami Bay. Bulletin of the Plankton Society of Japan, 41(2): 173-176.
Tokeshi, M. (in press) Spatial distribution of a deep-sea crinoid in the Izu-Ogasawara Arc, western Pacific. Journal of Zoology (London).
徳留陽一郎(1986)鬼界カルデラの縁辺の生物観察. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 133-136.
Toyokawa, M., Toda, T., Kikuchi, T., Nishida, S. (1998)相模湾の中層において有人潜水船しんかい2000から観察した水母類及び櫛水母類. Plankton Biol Ecol, 45(1): 61-74.
Toyokawa, T., Toda, T., Kikuchi, T., Nishida, S (2000) Cnidarians and ctenophores observed from the manned submersible Shinkai 2000 in the midwater of Sagami Bay, Pacific coast of Japan. Plankton Biology and Ecology, 45: 61-74.
土田真二, 藤倉克則, 橋本惇, 藤原義弘, Hunt, J.C., Lindsay, D.J. (1999)飼育下におけるユノハナガニの脱皮. JAMSTEC深海研究, 14: 515-520.
土田真二, 渡辺一樹, 石橋純一郎, 三宅裕志, 渡部元, 山口寿之, 北島富美雄, 中野綾子, 村松美奈子, 渡部裕美(2000)鳩間海丘および水納海丘における熱水噴出現象に関する生物, 地質, 地球化学的調査概要報告. JAMSTEC深海研究, 17: 35-42.
Tsuchida, S., Fujikura, K. (2000) Heterochely, relative growth and gonopod

morphology in the bythograeid crab, Austinograea williamsi (Decapoda, Brachyura). Journal of Crustacean Biology, 20(2): 199-206.
土田真二, 熊谷英憲, 石橋純一郎, 渡部裕美, 上妻史宜(2001)海形海山の熱水活動と火山地質. JAMSTEC深海研究, 18: 209-215.
土田真二(2001)海底温泉に生きる短尾類－ユノハナガニ. 月刊海洋　総特集甲殻類, 号外26: 140-144.
Tsuchida, S., Hashimoto, J. (2002) A new species of bythograeid crab, Austinograea rodriguezensis (decapoda,brachyura), associated with active hydrothermal vents from the Indian Ocean. Journal of Crustacean Biology, 22(3): 642-650.
辻井薫(2000)深海の微生物. ESTRELA, 8月号(77): 28-33.
辻井薫, 掘越弘毅(2001)深海に極限環境生物を探る. Science and Technology Journal, 7月号: 16-17.
辻本良(1999)富山湾におけるベニズワイの生息密度と餌への誘集行動. JAMSTEC深海研究, 15(1): 15-18.
津久井文夫, 大森信(1986)「しんかい2000」による相模湾のサクラエビを中心としたマイクロネクトンの観察. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 99-105.
角祐二, 二階堂英城(1999)富山湾四方沖海底谷におけるトヤマエビ生息状況の観察. JAMSTEC深海研究, 15(1): 11-14.
涌坪敏明, 黄金崎栄一(1987)日本海深海生物の分布と生態－津軽海峡西口海域－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 261-266.
涌坪敏明(1988)松前海釜における環境と生物分布について.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 59-66.
渡部元, 三宅裕志(2000)鳩間海丘熱水噴出域および周辺域における十脚甲殻類相. JAMSTEC深海研究, 17: 29-34.
谷島恵美, 橋本惇, 藤倉克則, 藤原義弘, Hunt, J.C.(1996)深海性短尾類ユノハナガノニ(仮称)の歩行活動リズム解明の試み. JAMSTEC深海研究, 12: 231-238.
山口厚人(1992)ミノエビ類の籠網に対する行動及び生態. しんかいシンポジウム報告書, 8: 271-277.
Yamaguchi, T. (1998) Review of Chionelasmus darwini (Pilsbry, 1907) (Cirripedia; Balanomorpha): A comparison between the Pacific and Indian Ocean Populations. Species Diversity, 3: 117-131.
山口寿之(1999)海の向こうのワンダーランド－海外調査こぼれ話(24)－深海熱水噴出孔のタイム カプセル. 遺伝, 53: 66-67.
山口寿之(2001)深海熱水噴出孔のフジツボ類の進化. 学術月報(日本学術振興会), 54(12): 1145-1147.
Yamaguchi, T., W.A. Newman (1997) Eochionelasmus paquensis, new species (Cirripedia, Balanomorpha) from 17º25'S, north of Easter Island: First record of a hydrothermal sessile barnacle from the East Pacific Rise. Jour.Crustacean Biol, 17: 488-496.
山本啓之, 加藤憲二(1999)熱水環境の微生物生態系. 海洋, 19: 197-202.
山本啓之(2000)地球史における海洋微生物の生態と進化. 月刊海洋, 23: 24-30.
Yamamoto, T., Kobayashi, T., Nakasone, K., Nakao, S. (1999) Chemosynthetic community at North Knoll, Iheya Ridge, Okinawa Trough. JAMSTEC深海研究, 15(1): 19-24.
Yamamoto H, Hiraishi A, Kato K, Chiura HX, Maki Y, Shimizu A (1998) Phylogenetic evidencefor the existence of novel thermophilic bacteria in hot spring sulfur-turf microbial mats in Japan. Appl. Environ. Microbiol., 64: 1680-1687.
山中寿朗(1999)堆積物および岩石中のバイオマーカーから見た深部地下生物群集. 特集「海嶺の熱水活動と地下生物圏」. 月刊海洋, 号外(19): 146-152.
Yamanaka, T., Shimoyama, S., Mizota, C. (2000) An evaluation of source sulfur in soft tissues of marine and freshwater benthic animals from Japan using stable isotope analysis. Benthos Research, 55: 17-22.
Yamanaka, T., Mizota, C., Maki, Y., Fujikura, K., Chiba, H. (2000) Sulfur isotope composition of soft tissues from deep-sea mussels, Bathymodiolus, in Japanese waters. Benthos Research., 55(2): 63-68.
山崎淳(1990)「しんかい2000」による京都府沖合の保護区内におけるズワイガニChionoecetes opilioの生態観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 335-340.
Yanagibayashi, M., Kato, C., et al. (1997) The Effects of Temperature and Pressure on the Growth of Thermococcus peptonophilus Isolated from Deep-sea Hydrothemal Vents. JAMSTECR, 35: 85-90.
柳本卓(2001)「しんかい2000」によるスケトウダラの遊泳行動の観察. 北水研ニュース(北海道区水産研究所), 60 : 3-4.
矢野豊, 中山昭彦(1992)深海生物,底泥からの微生物の分離および二, 三の性状. しんかいシンポジウム報告書, 8: 291-295.
安田信也(1987)大和堆におけるホッコクアカエビの分布生態. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 267-272.

地質・地球物理

青木健作(1981)2000mの深海に挑む潜水調査船“しんかい2000”完成. Ocean Age, 13(2): 27-33.
青木正博, 中村光一(1989)伊是名海穴, 鉱床サイト2のチムニー群の産状, 及び硫化物チムニーの組織と鉱物組成.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 197-210.
青木正博, 丸茂克美, 加藤幸弘(1989)泥質チムニー中のドロマイトノジュールの組織.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 219-221.
新井田清信, 湯浅真人, 西村昭, 富士原敏也, 渡辺暉夫(2001)大町海山の蛇紋岩－伊豆・小笠原弧の基盤リソスフェアの性質－. JAMSTEC深海研究, 19: 77-86.
Ashi, J., Taira, A. (1993) Thermal structure of the Nankai Accretionary Prism as inferred from the distribution of gas hydrate BSRs. Geol. Soc. Am. Spec. Pap., 273: 137-149.
芦寿一郎, 瀬川爾朗, Pichon, L.X., Lallemant, S., 小林和男, 服部睦男, Mazzotti, S., 青池寛(1996)東海沖竜洋海底谷における冷湧水の分布：1995年度KAIKO-TOKAI計画「しんかい2000」潜航調査. JAMSTEC深海研究, 12: 159-166.
Ashi, J. (1997) Distribution of cold seepage at the fault scarp of the eastern Nankai accretionary prism. JAMSTEC深海研究, 13: 495-501.
Ashi, J., (1999) Large submarine landslides associated with decomposition of gas hydrate. Landslide News, 12: 17-20.
芦 寿一郎, 岡村行信, 倉本真一, 徳山英一(1999)南海トラフとその陸側斜面の地質構造－付加プリズム・前弧海盆の構造発達－. 地質ニュース, 541: 17-24.
芦 寿一郎(2001)南海トラフの地震発生帯. パリティ, 17: 63-65.
芦 寿一郎, 松本 良, 徳山英一(2001)メタンハイドレートと冷湧水からみた沈み込み帯の物質循環－南海トラフ付加プリズムの例－. 地球号外, 32: 122-129.
Ashi, J., Tokuyama, H., Taira, A., (2002) Distribution of methane hydrate BSRs and its implication for the prism growth in the Nankai Trough. Marine Geology, 187: 117-191.
芦 寿一郎(2002)海底湧水現象と地殻変動. 海洋と生物, 141: 283-289.
芦寿一郎, 瀬川爾朗, 小林和男, Thoue, F., Huchon, P.(1995)94年度KAIKO-TOKAI計画における潜航調査報告(東京大学海洋研究所S. 日仏海溝共同調査KAIKO-TOKAI計画ニューズレター, 7: 4-5.
芦寿一郎, 瀬川爾朗, Teoue, F., 小林和男, Huchon, P.(1995)御前崎沖付加体斜面凹地の地質構造と冷湧水:1994年度KAIKO-TOKAI計画「しんかい2000」潜航調査. JAMSTEC深海研究, 11 : 189-195.
Ashi, J., Segawa, j., Pichon, X, L., Lallemant, S., Kobayashi, K., Hattori, Mutsuo., Mazzotti, S., Aoike, k. (1996) Distribution of cold seepage at the Ryuyo Canyon off Tokai: the 1995 KAIKO-Tokai Shinkai 2000 Dives. JAMSTEC深海研究, 12: 159-166.
DeBari, S.M., Taylor, B., Spencer, K., Fujioka, K. (1999) A trapped Philippine Sea Plate origin for MORB from the inner slope of the Izu-Bonin trench. Earth Planet Sci. Lettr, 174: 183-197.
Fiske, R.S., Naka, J., Izasa, K., Yuasa, M. (1995) Caldera-forming Submarine Pyroclastic Eruption at Myojin Knoll, Izu-Bonin Arc. JAMSTEC深海研究, 11: 315-322.
Fiske, R.S., Cashman, K.V., Shibata, A., Watanabe, K. (1998) Tephra dispersal from Myojinsho, Japan, during its shallow submarine eruption of 1952-1953. Bull. Volcanology, 59: 262-275.
Fiske, R.S., Naka, J., Iizasa, K., Yuasa, M., Klaus, A. (2001) Submarine silicic caldera at the front of the Izu-Bonin arc, Japan: Voluminous seafloor eruptions of rhyolite pumice. Geological Soc. America Bulletin, 113: 813-824.
藤浩明, 瀬川爾朗, 藤本博巳(1989)相模トラフにおける長スパン海底電位差計による海底電位差変動の長期精密観測.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 311-315.
藤本博巳, 瀬川爾朗(1989)海底精密音響測距とその問題点.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 303-310.
藤本博巳, 押田 淳, 古田俊夫, 金沢敏彦(1998)海底重力計の開発. 海洋調査技術, 10-1: 25-38.
藤本博巳(1999)南部東太平洋海膨の拡大軸を横断する海底圧力・測距の長期観測. JAMSTEC深海研究, 14: 35-42.

藤本博巳, 友田好文(2000)重力からみる地球. 東京大学出版会, 172.
藤岡換太郎, 吉田俊夫(1986)沖の山堆列の地形と構造－「しんかい2000」による三浦海丘付近の潜水調査－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 1-9.
藤岡換太郎, 田中武男, 岩淵洋, 古家和英, 堀田宏(1987)安山岩の海丘－「しんかい2000」による御蔵海盆の潜水調査－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 139-158.
藤岡換太郎, 松岡裕美, 小泉聡子(1991)玄武岩と流紋岩の小海丘群 しんかい2000による新八丈凹地の潜航調査 その1.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 115-130.
藤岡換太郎(1992)伊豆・小笠原弧 その最近の地球科学 伊豆・小笠原弧の最近の研究と問題点. 月刊地球, 14(8): 445-447.
藤岡換太郎, 武藤光盛, 三田直樹, 飯笹幸吉, 湯浅真人(1992)新黒瀬堆から熱水性のマンガンの発見とその地球科学的意義. しんかいシンポジウム報告書, 8: 209-219.
藤岡換太郎, 斎藤実篤(1992)黒瀬西海穴はカルデラか?. しんかいシンポジウム報告書, 8: 221-228.
藤岡換太郎, 堀田宏(1994)大洋底のダイナミクス 潜水船を用いた島弧－海溝系の研究成果と今後の展望. 月刊地球, Gogai 9: 50-60.
藤岡換太郎, 田中武男, 青池寛(1995)伊豆・小笠原, マリアナ前弧の蛇紋岩海山－潜水調査船による観察と陸上蛇紋岩帯との関連－. 地学雑誌, 104: 473-494.
富士原敏也, 湯浅真人, 渡辺暉夫, 新井田清信, 西村昭, 坂本泉, 石塚治, 今村牧子, 佃薫(2001)伊豆・小笠原弧, 孀婦岩構造線周辺の潜航調査. JAMSTEC深海研究, 18: 71-82.
古田俊夫(1989)駿河トラフに潜る(その2).「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 1-5.
Glasby, G. P., Kasahara, J. (2001) Influence of tidal effects on earthquake activity in diverse geological settings with particular emphasis on submarine hydrothermal systems. Earth Science Rev., 52: 261-297.
後藤秀作, 木下正高, 山野誠, 松林修(1999)海底下長期温度測定による海底堆積物の熱拡散率の推定とその応用. 物理探査, 52: 199-213.
Greene, H. G., Barry, J. P., Hashimoto, J., Fujiwara, Y., Ransall, E. K., Bruce H. R. (1997) A Submersible-Based Comparison of Cold-Seep Regions in Sagami and Monterey Bays. JAMSTEC深海研究, 13: 395-415.
服部陸男, 蟹江康光, 岡田尚武, 有馬真(1992)相模湾,相模海丘の地質. しんかいシンポジウム報告書, 8: 185-192.
服部陸男, 大場忠道(1994)相模湾初島沖で採集されたシロウリガイ殻の酸素・炭素同位対比. JAMSTEC深海研究, 10: 373-379.
服部陸男, 大場忠通, 蟹江康光, 秋元和實(1994)相模湾初島沖で発見された自生の炭酸塩類. JAMSTEC深海研究, 10: 405-416.
服部陸男, 岩城千恵子, 岡田尚哉, 蟹江康光, 秋元和實(1995)相模湾と沖ノ山堆列の新第三紀・第四紀石灰質ナノ化石年代と群集解析. JAMSTEC深海研究, 11: 269-278.
服部陸男, 岡野眞治(1999)有人潜水船,無人潜水機による海中, 海底γ線調査. JAMSTEC深海研究, 14: 639-660.
服部陸男, 岡野眞治(2000)海洋放射線測定, 1998, 1999年度の成果. JAMSTEC深海研究, 16(2): 57-67.
Hattori, M., Okano, M., Togawa, O. (2000) Sea bottom gamma ray measurement by NaI(TI) scintillation spectrometers installed on manned submersibles, ROV and Sea bottom long term observatory. Proc. UT-2000, 212-217.
服部陸男, 岡野真治(2001)海洋放射能測定最近の成果. JAMSTEC深海研究, 18: 1-13.
服部陸男, 岡野眞治(2001)海底γ線測定－成果とモデル化－. JAMSTEC深海研究, 20: 37-52.
Henry, P., Lallemant, S., Nakamura, K., Tsunogai, U., Mazzotti, S., Kobayashi, K., (2002) Surface expression of fluid venting at the toe of the Nankai wedge and implications for flow paths., Marine Geology, 187: 119-143.
Hochstaedter, A.G., Gill, J.B., Taylor, B., Ishizuka, O., Yuasa, M., Morita, S. (2000) Across-arc geochemical trends in the Izu-Bonin arc:constraints on source composition and mantle melting. J. Geophys. Res, 105: 495-512.
堀田宏, 門馬大和, 田中武男, 大塚清, 橋本惇, 緑川弘き(1985)伊豆半島東方沖, 相模湾西部の海底微細地形. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 73-82.
Huchon, P., Tokuyama, H., Lallemant, S. J., Taira, A., Henry, P., Mazzotti, S., Pichon, X. L., the KAIKO TOKAI '96 onboard scientific party (1998) Pervasive dextral strike-slip faulting within the backstop of the eastern Nankai wedge confirmed by deep-towed seismic data(KAIKO-TOKAI '96 cruise). C.R.Academie des Sciences Paris, Sciences de la terre et des planetes/ Earth & Planetary Sciences, 326: 869-875.
飯田孝夫, 阿部貴宏, 藤高和信, 古川雅英, 野口邦和, 湊進, 岡野真治(1998)海底から宇宙までの放射線環境. Radioisotopes, 47(6): 493-509.
飯笹幸吉, Fiske, R.S., 仲二郎, 角皆潤(1995)明神海丘(北ベヨネース海底カルデラ)の熱水活動に伴う鉱化作用. JAMSTEC深海研究, 11: 314-350.
飯笹幸吉, 湯浅真人, 仲二郎, Fiske, R.S. (1997)明神海丘カルデラにおける硫化物チムニーを伴う熱水活動. JAMSTEC深海研究, 13: 443-456.
Iizasa, K., Terashima, S., Sasaki, M., Marumo, K. (1997)北西太平洋・伊豆－小笠原列弧のKita-Bayonnaise海底カルデラの火山岩を母岩とした硫化物－重晶石鉱床. Mar Georesources Geotechnol, 15(1): 1-20.
飯笹幸吉(1999)日本周辺の海底熱水活動　Ｉ金に富む海底熱水鉱床　明神海丘カルデラ. 日本産業技術振興協会技術資料, 292: 29-35.
飯笹幸吉, 石橋純一郎, 藤原義弘, 橋本惇, 堀井善弘, 石塚治, 小山純弘, 湯浅真人(1999)明神海丘のアクティブ熱水フィールドとブラックスモーカー. JAMSTEC深海研究, 14: 223-236.
Iizasa, K., Fiske, R.S., Ishizuka, O., Yuasa, M., Hashimoto. J., Ishibashi, J., Naka, J., Horii, Y., Fujiwara, Y., Imai, A., Koyama, S. (1999) A Kuroko-Type Polymetallic Sulfide Deposit in a Submarine Silicic Caldera., Science, 283: 975-977.
飯笹幸吉(2000)明神海丘カルデラ・サンライズ鉱床の成長史. JAMSTEC深海研究, 16(2): 9-17.
池原研, 片山肇(1992)日本海南部, 北陸ゲンタツ瀬北方沖の海底斜面崩壊地の潜航調査. しんかいシンポジウム報告書, 8: 47-53.
池原研(1997)潜航調査からみた日本海東縁秋田沖佐渡海嶺の活断層. JAMSTEC深海研究, 13 : 605-614.
池原研(2000)海底堆積物中の地震性堆積物からみた北海道西方沖の地震再来間隔. 月刊地球, 号外28: 134-138.
池原研(2000)地震性堆積物を用いた地震発生年代と発生間隔の解析. 地調月報, 55551111: 89-102.
池原研(2000)海底堆積物中の浮遊性有孔虫と有機炭素を用いた放射性炭素年代測定値の比較. 地調月報, 55551111: 299-307.
池原研, 宇佐美和子, 加藤幸弘(2001)底生有孔虫群集からみた後志トラフのタービダイト砂の起源. JAMSTEC深海研究, 18: 47-54.
石井輝秋, 渡辺正晴, 石塚明男, 原村寛, 富樫和也, 薬袋佳孝, 鎮西清高, 堀越増興, 松本英二(1988)「しんかい2000」によるシロウリガイ群生地を含む相模湾西部の地質学的研究.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 189-218.
Ishii, T., Sato, H., Haraguchi, S., Fryer, P., Fujioka, K., Bloomer, S., Yokose, H. (2000) Petrological Characteristics of Peridotites from Serpentinite Seamounts in the Izu-Ogasawara-Mariana Forearc. Journal of Geography, 109: 517-530.
石井輝秋, 佐藤暢, 原口悟, Fryer, P., 藤岡換太郎, Bloomer, S., 横瀬久芳(2000)伊豆－小笠原－マリアナ前弧域の蛇紋岩海山産カンラン岩の岩石学的特徴. 地学雑誌, 109: 517-530.
石塚治, 湯浅真人, 栗本史雄(1997)伊豆小笠原弧背弧海山の形成史－万治海山潜航調査－. JAMSTEC深海研究, 13: 457-472.
Ishizuka, O., Uto, K., Yuasa, M., A. G. (1998) Hochstaedter, K-Ar ages from the seamount chains in the back-arc region of the Izu-Ogasawara arc., Isl. Arc, 7 : 408-421.
石塚治, 湯浅真人, 臼井朗(1999)伊豆小笠原弧背弧海山における低温熱水活動－西貞享海山潜航調査－. JAMSTEC深海研究, 14: 245-268.
石塚治, 湯浅真人, 飯笹幸吉, NT98-07乗船研究者(1999)潜水調査により採取された伊豆小笠原弧明神海丘の熱水沈殿物(予報). JAMSTEC深海研究, 15(2): 95-107.
岩渕洋, 芦寿一郎, 藤岡換太郎(1989)八丈島北方黒瀬海穴の地形・地質調査.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 37-45.
岩渕洋, 笹原昇, 吉岡真一, 近藤忠, 浜本文隆(1991)遠州灘沖の変動地形. 地質学雑誌, 97: 621-629.
岩淵洋(1999)須美寿カルデラ. JAMSTEC深海研究, 15(1): 83-94.
井沢英二, 本村慶信, 田中武男, 木村政昭(1991)沖縄トラフ伊平屋海嶺の熱水性炭酸塩チムニー.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 185-192.
海宝由佳, 門馬大和, 満澤巨彦, 宮本元行, 田中武男, 末広潔, 篠原雅尚, 青柳恭平, 堀田宏(1995)北海道南西沖地震の余震及び海底変動観測. JAMSTEC深海研究, 11: 395-402.
Kaneoka, I., Tokuyama, H., Takaoka, N., Miyashita, S. (1994)日本海の奥尻海嶺から採取された火山岩類の40Ar-39Ar年代測定. Geochem J, 28(1): 1-9.
蟹江康光, 服部陸男, 岡田尚武, 田中武男(1991)相模湾, 沖ノ山堆列の新

生界.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 17-24.
蟹江康光, 服部睦男, 岡田尚武, 秋元和實(1996) 相模湾, 沖ノ山堆列の微化石年代と相模トラフの沈みこみ帯の構造発達史. JAMSTEC深海研究, 12: 101-106.
Kasahara, J., Sato, T., Koresawa, S. (1995) Evidence for Periodic Hydrothermal Activity at the Hydrothermal Vent in the Iheya Knolls, in the Okinawa Trough, Japan, Measured by an OBS/H with the Assistance of the Submersible "Shinkai 2000". JAMSTEC深海研究, 11: 167-188.
春日茂, 加藤幸弘(1992) 伊豆・小笠原弧 その最近の地球科学 水曜海山の火口底で発見された海底熱水性鉱床「しんかい2000」による潜航調査結果. 月刊地球, 14(8): 484-488.
春日茂, 加藤幸弘(1992) 伊豆・小笠原弧水曜海山の火口底における海底熱水性硫化物鉱床の発見. しんかいシンポジウム報告書, 8: 249-256.
片岡聡, 石橋純一郎, 山中寿朗, 千葉仁(2000) 沖縄トラフ伊平屋海凹北部海丘海底熱水系の地形と熱水の化学形成. JAMSTEC深海研究, 16(2): 1-7.
加藤茂, 山崎晴雄(1985)「しんかい2000」による駿河トラフの海底地形・地質調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 37-43.
加藤茂, 山崎晴雄(1985) 潜水調査船「しんかい2000」による駿河トラフの海底地形・地質調査. 水路部技報, 3: 16-21.
加藤茂, 中村光一, 岩渕洋, 河合晃司, 瀬田英憲(1989) 沖縄トラフ中部の地形, 地質構造と粟国海丘付近の潜航調査－1986年－.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 145-162.
加藤茂, 山崎晴雄(1992) 潜水船調査による駿河トラフ南部の地辷り地形. しんかいシンポジウム報告書, 8: 171-175.
Kato, Y. (1984) Woody pumice generated with submarine eruption. Jour.Geol.Soc. Japan, 93(1): 11-20.
加藤祐三(1986) 海底噴火を指示する材木状軽石. 日本地質学会学術大会講演要旨, 93: 404.
加藤幸弘, 中村光一, 岩渕洋, 橋本惇, 金子康江(1989) 沖縄トラフ中部, 伊是名海穴の地形と地質－1987,88年の選考結果－.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 163-182.
加藤幸弘(1990) 伊是名海穴の活動的熱水性鉱床南方に位置する尾根の地形と地質 1989年の潜航結果.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 27-32.
加藤祐三(1991) 1924年西表海底火山噴火. 月刊地球, 148: 644-649.
加藤幸弘(1992) 沖縄トラフ, 第五徳之島海丘の地形, 地質. しんかいシンポジウム報告書, 8: 89-94.
加藤幸弘(1997) 渡島大島山体崩壊堆積物の地質と地形. JAMSTEC深海研究, 13: 659-667.
加藤幸弘(1997) 奄美海台衝突域における変動地形. 地学雑誌, 106(4): 567-579.
加藤幸弘, 浅田昭(1998)日本海東縁の変動地形. 月刊地球, 20(8): 510-515.
川村喜一郎, 小川勇二郎, 川上俊介(2000) 極表層堆積物の圧密過程－埋没深度30cmまでの深海堆積物の微細組織の変化過程－. 月刊地球, 22(10): 725-728.
Kido, Y., Suyehiro, K., Kinoshita, H. (2001) Rifting and spreading of the continental margin of the South China Sea-as a case of Frontier Database study. Marine Geophysical Researc, 22: 1-15.
菊池真一(1985)「しんかい2000」による三陸沖山田海底谷地形地質調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 89-100.
菊池真一, 小田巻実(1985)「しんかい2000」による富山湾深海底調査 深海底における海水流動と海底微地形. 水路部技報, 3: 22-25.
木村政昭, 古川雅英, 北沢久和(1983) フィリピン海の西北縁琉球海溝. 月刊海洋科学, 15: 453-458.
木村政昭, 加藤祐三, 田中武男, 仲二郎, 蒲生俊敬, 山野誠, 安藤雅孝, 上田誠也, 酒井均, 大森保, 井沢英二, 兼永勝, 小野朋典, 押田淳(1987) 沖縄トラフ中央地溝の研究. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 165-196.
木村政昭, 嘉川郁朗, 本永文彦(1989)「しんかい2000」による沖縄県慶良間諸島南方海域の潜航調査.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 259-264.
木村政昭, 田中武男, 許正憲, 安藤雅孝, 大森保, 井沢英二, 嘉川郁朗(1989)「しんかい2000」による沖縄トラフ中部熱水域の地形・鉱床・生物の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 223-244.
木村政昭, 本永文彦, 嘉川郁朗(1989)「しんかい2000」による沖縄県慶良間諸島初等南方海域の潜航調査.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 259-266.
木村政昭, 松本剛, 門馬大和, 青木美澄, 大塚清, 満澤巨彦, 田中裕一郎, 小野朋典(1991) 沖縄トラフ東縁(ケラマ鞍部)のテクトニクス.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 131-146.
木村政昭, 大森保, 井沢英二, 加藤祐三, 田中武男, 仲二郎, 小野朋典(1991)「しんかい2000」による伊平屋海凹地第284, 286, 287, 366潜航と伊是名海穴第364潜航の成果.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 147-162.
木村政昭, 青木美澄, 小野朋典, 段野洲興, 松本剛, 中村俊夫, 大塚裕之, 西田史朗(1992) 沖縄トラフ東縁ケラマ鞍部の潜水調査 ウルム氷期の陸橋か?. しんかいシンポジウム報告書, 8: 107-133.
木村政昭, 松本剛, 中村俊夫, 大塚裕之, 西田史朗, 青木美澄, 小野朋典, 段野洲興(1992) 沖縄トラフ東縁ケラマ鞍部の潜水調査－ウルム氷期の陸橋か?－. しんかいシンポジウム報告書, 8: 107-133.
木村政昭, 小野朋典, 松本剛, 中村俊夫, 西田史朗, 青木美澄(1993)トカラ海峡の潜水調査 沖縄トラフ北部東縁のテクトニクス. しんかいシンポジウム報告書, 9: 283-307.
木村政昭, 小野朋典, 宮崎幸光, 松岡裕美, 大塚裕之, 中村俊夫(1994) 沖縄トラフ東縁のテクトニクス 背弧海盆形成メカニズムの解明. JAMSTEC深海研究, 10: 299-321.
木村政昭, 小野朋典, 松岡裕美, 大塚裕之, 中村俊夫, 宮崎幸光(1994) 沖縄トラフ東縁のテクトニクス－背弧海盆形成メカニズムの解明－. JAMSTEC深海研究, 10: 299-321.
木村政昭(1996) 陸橋および生物の移動 琉球弧の古地理. 月刊地球, 18(8): 488-494.
木村政昭, 松本剛, 新城竜一, 中村衛, 本山功, 町山栄章, 當山元進, 八木秀憲(2001) 沖縄トラフ南西部で確認された蛇行チャンネルとその意義. JAMSTEC深海研究, 18: 103-120.
Kimura, M., Uyeda, S., Kato, Y., Tanaka, T., Yamano, M., Gamo, T., Sakai, H., Kato, S., Izawa, E., Oomori, T. (1988) Active hydrothermal mounds in the Okinawa Trough backarc basin, Japan. Tectonophysics, 145(3/4): 319-324.
木村政昭, 大森保, 小野朋典, 井沢英二, 加藤祐三, 田中武男, 仲二郎(1991)「しんかい2000」による伊平屋海凹の第284, 286, 287, 366潜航と伊是名海穴第364潜航の成果.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 147-161.
木下正高, 山野誠(1993) 相模湾初島沖シロウリガイコロニーにおける長期温度勾配測定. しんかいシンポジウム報告書, 9: 211-219.
Kinoshita, M. (1996) 日本の潜水調査船を用いた海底熱水系の地熱調査. Mar Georesources Geotechnol, 14(1): 65-75.
Kinoshita, M. (1996) Geothermal surveys on submarine hydrothermal systems using submersibles in Japan. Marine Georesources and Geotechnology, 14: 65-75.
Kinoshita, M., Goto, S., Yamano, M. (1996) Estimation of thermal gradient and diffusivity by means of long-term measurements of subbottom temperatures at weatern Sagami Bay, Japan. Earth Planet. Sci. Lett, 141: 249-258.
Kinoshita, M.,Yamano, M. (1997) Hydrothermal regime and constraints on reservoir depth of the Jade site in the Mid Okinawa Trough inferred from heat flow measurements., J. Geophys. Res., 102: 3183-3194.
木下正高, 中野幸彦, 後藤秀作, 芦寿一郎(1998) 断層運動に伴うガスハイドレート下面深度の変化に及ぼす潜熱の影響. 地震研究所彙報, 73: 305-317.
木下正高, 斎藤実篤(2002) 地震発生帯の定量的理解に向けた水理学的孔内長期計測. 月刊地球, 号外36: 155-160.
岸本清行, 中村光一, 丸茂克美(1991) 沖縄トラフ伊是名海穴海底熱水鉱床近傍における海底地震計アレイ観測予備実験.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 193-199.
北里洋(1988)駿河トラフ中軸部の地質「しんかい2000」による潜航調査報告.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 89-100.
北里洋(2001) 沈み込み帯における有機物質および砕屑物質の堆積過程－相模湾を例として－. 月刊地球, 号外(32): 74-81.
Kobayashi, H., Takami, H., Nagahara, T., Inoue, A., Koki, H. (1999) Microbial flora in deep-sea sites located near the south part of Japan. JAMSTEC深海研究, 15(2): 35-39.
小林和男(1988) 大和堆北西部山麓の岩石.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 1-8.
小林和男(1990) 海底名所めぐり(その5) 世界の海洋底. JAMSTEC, 2(1): 22-30.
小泉金一郎, 瀬川爾朗(1990) 投げ込み方式と海底ステーション(定点)方式による全磁力の精密測定.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 285-290.
小泉金一郎, 瀬川爾朗(1992) 相模湾海底観測ステーション(OBB)における地磁気全磁力の経年変化検出の試み 1990年の実験. しんかいシンポ

ジウム報告書, 8: 177-183.
小山真人, 新妻信明, 狩野健一, 高木圭介, 内村竜一, 吉田智治, 唐沢譲, 田邊裕隆(1992)駿河トラフ伊豆側斜面の地質とテクトニクス－「しんかい2000」第597潜航の成果－. しんかいシンポジウム報告書, 8: 145-161.
倉本真一(1994)北海道南西沖地震による海底地殻変動と海底環境変化について. JAMSTEC深海研究, 10: 437-444.
倉本真一, 上嶋正人(1998)ガスハイドレート層の精密重力探査. JAMSTEC深海研究, 15.
町山栄章, 服部陸男(1998)相模湾初島沖における炭酸塩堆積物の微岩相(予報). 月刊地球, 20: 209-214.
町山栄章, 松本剛, 松本良, 服部睦男, 岡野眞治, 岩瀬良一, 戸丸仁(2001)しんかい2000黒島海丘潜航調査(NT01-05Leg1航海)の概要. JAMSTEC深海研究, 19: 45-60.
丸茂克美(1989)沖縄トラフの現世黒鉱鉱床における変質鉱物の組み合せについて.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 211-218.
Marumo, K., Hattori, K.H. (1999) Seafloor hydrothermal clay alteration at Jade in the back- arc Okinawa Trough:Mineralogy,geochemistry and isotope characteristics. Geochimica et Cosmochimica Acta.
益田晴恵, 石橋純一郎, 加藤祐三, 蒲生俊敬, 酒井均(1987)“しんかい2000”の第231次潜水調査により沖縄トラフで得られた熱水性堆積物の化学的性質. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 225-231.
益田晴恵(2000)これからの海洋化学. 地球化学, 34: 149-151.
松林修(1998)海底メタンハイドレート探査における地殻熱流量測定. 地質調査所月報, 49: 541-549.
松林修, 西村清和, 木下正高, 浦辺徹郎(1999)マヌス海盆DESMOSカルデラにおける海底水温アレイ観測実験とその解釈. JAMSTEC深海研究, 14: 117-126.
松本良(1997)深海底からメタンハイドレートの「再発見」: 海底下の巨大メタン貯蔵庫. 現代化学, 5: 24-30.
松本良(1999)ガスハイドレート鉱床の地質・地化学探査－現状と課題－. 資源と環境, 6(5): 1-11.
松本剛(1989)富山トラフにおける重力測定.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 131-137.
松本剛, 堀田宏(1990)海底重力測定に基づく富山トラフの海底表層構造.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 301-307.
松本剛, 堀田宏(1991)奥入海嶺海洋海山における海底重力測定.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 253-257.
松本剛, 堀田宏(1991)奥尻海嶺海洋海山における海底重力測定.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 253-258.
松本剛, 藤岡換太郎, 木村政昭, 加藤幸弘, 青木美澄(1993)南西諸島海溝域南西端部の海底精密地形. 海洋科学技術センター試験研究報告, 30: 17-36.
Matsumoto, T., Kimura, M., Ono, T., Uechi, C. (1997) Large slope failure off Miyako and Yaeyama Islands, southwest Ryukyu in relation to the Yaeyama Earthquake Tsunami. JAMSTEC J. Deep Sea Res., Special Volume: 231-235.
松本剛, 木村政昭, 西田史朗, 中村俊夫, 小野朋典(1999)八重山南岸沖の黒島海丘で発見された化学合成生物群集と海底表面の破砕について(NT97-14次航海). JAMSTEC深海研究, 14: 477-491.
松本剛, Tappin, D. R., Anton, L., Croook, K. A.W., Hill, P., 岩淵洋, 金松敏也, 倉富和, Lafor, Y., Lus, W., 松本良浩, 松山昌史, Moihoi, M., 村上嘉謙, McMurtry, G., 中村衛, 佐竹健治, 都司嘉宣, Walshi II, O.J., Watts, P., Yeh, H., 小寺透, 樋泉昌之, 斎竹弘恭, 菅原敏, 鷺島克啓(1999)ニューギニア北岸シノッサ・ラグーン沖津波調査結果速報. JAMSTEC深海研究, 15(1): 51-61.
松本剛(2000)深海潜水船による海底重力測定. 測地学会誌, 46(2): 89-108.
松本剛, 木村政昭(1993)1771年八重山地震津波発生域における精密地形調査と津波発生のメカニズムに関する一考察. 地震第2揖, 45: 417-426.
Mazzotti, S., Lepichon, X., Lallemant, S. (1996) Tectonics of the Eastern Nankai Accretionary Prism, in Situ Study of the Kodaiba Fault Central Scarp (October 1995, "Shinkai 2000" Dive Report). JAMSTEC深海研究, 12: 167-173.
緑川弘毅, 松本剛(1986)深海底層流と底質の調査について－底層流測定の試み－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 107-113.
宮下純夫, 田中武男, 門馬大和, 徳山英一, 徐垣, 倉本真一, 石井次郎(1989)「しんかい2000」による奥尻海嶺北部での潜航調査－日本海海洋地殻の断面－.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 85-100.
宮下純夫, 徳山英一, 徐垣, 竹内章, 石井次郎, 仲二郎, 嵯峨山積(1994)奥尻海嶺北部における海洋地殻層序. JAMSTEC深海研究, 10: 445-452.
水田敏夫, 小林正彦, 橋本惇, 藤岡換太郎(1994)小笠原水曜海山カルデラ内の銅に富む熱水性チムニー鉱石. JAMSTEC深海研究, 10: 75-88.
Moss, R., Scott, S.D., Binns, R. A. (1997) Concentrations of Gold and other Ore Metals in Volcanics Hosting the Pacmanus Seafloor Sulfide Deposit. JAMSTEC深海研究, 13: 257-267.
村上文敏, 山崎俊嗣(1990)スミスリフト・リフト内火山群における枕状溶岩の観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 249-259.
長岡信治, 春日茂, 加藤幸弘(1992)小笠原－七曜海山列の木曜海山, 土曜海山および水曜海山の火山地質. しんかいシンポジウム報告書, 8: 237-248.
仲二郎, Malahoff, A., 田中武男, 門馬大和, 堀田宏(1987)八丈凹地北部の海底地質および微細地形. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 127-138.
仲二郎, 深海調査グループ(1989)小笠原諸島,海形海山KC峰の海底.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 57-65.
仲二郎, 深海調査グループ(1989)沖縄トラフ中軸部, 伊平屋海嶺の火山噴出物.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 245-257.
仲二郎, 堀田宏(1990)相模湾西部・伊豆熱川沖海底溶岩流についてⅢ「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 277-284,284.
仲二郎, 藤倉克則, 橋本惇(1991)相模湾, 初島沖シロウリガイ群集域における地質学的新知見.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 1-5.
仲二郎(1992)伊豆・小笠原弧背弧凹地内の小海丘の潜航調査. しんかいシンポジウム報告書, 8: 229-236.
仲二郎(1994)伊豆半島伊東市東方手石海丘海底火山の噴火後の変化. JAMSTEC深海研究, 10: 49-54.
仲二郎, Fiske, R.S., 平朝彦, 山本富士夫, 飯笹幸吉, 湯浅真人(1995)伊豆諸島明神礁北西方, 明神海丘の海底地質. JAMSTEC深海研究, 11: 323-332.
仲二郎(1997)伊豆小笠原弧,鳥島凹地中央小海嶺における潜航調査結果. JAMSTEC深海研究, 13: 473-478.
仲二郎(1999)マリアナ弧北部小日吉海山における「しんかい2000」による潜航調査結果の概要. JAMSTEC深海研究, 14: 157-162.
中嶋 健, 金井 豊(1995)1983年日本海中部地震震源域でのタービダイトによる地震発生間隔の推定. 地震2, 48: 223-228.
Nakajima, K., Arima, M., (1998) Melting experiments on hydrous low-K tholeiite: Implications for the genesis of tonalitic crust in the Izu-Bonin-Mariana arc., The Island Arcc., 7: 359-373.
Nakajima, T., Satoh, M., Okamura, Y. (1998) Channel-levee complexes, terminal deep-sea fan and sediment wave fields associated with the Toyama Deep-Sea Channel system in the Japan Sea. Mar. Geol., 147: 25-41.
Nakajima, T., Kanai Y. (2000) Sedimentary features of seismoturbidites triggered by the 1983 and older historical earthquakes in the eastern margin of the Japan Sea. Sedimentary Geology, 135: 1-19.
中村一明, 茂木清夫(1985)「しんかい2000」による相模湾西部の調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, Special Issue: 83-88.
中村光一, 阪口圭一, 長井俊夫(1986)鬼界カルデラの海底地質調査－特にgiant pumiceの産状, 微細地形の検討, 水温の測定について－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 137-155.
中村光一, 加藤幸弘, 木村政昭, 安藤雅孝, 許正憲(1989)伊是名海穴海底熱水性鉱床の分布, 産状－1988年の知見のまとめ－.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 183-189.
中西正男, 藤本博巳, 村上英幸(1993)音響通信機能を持つ海底長期観測用地殻熱流量計の設置「しんかい2000」第658潜航調査. しんかいシンポジウム報告書, 9: 205-209.
根建心具, 上野宏共, 小坂丈予, 野上健治, 橋本惇, 藤倉克則, 三浦知之(1992)沖縄トラフ南奄三西海丘の海底熱水鉱床　－特に構成鉱物について－. しんかいシンポジウム報告書, 8: 95-106.
根建心真, 上野宏共, 大木公彦, 志賀美英, 早坂祥三, 小坂丈予, 野上健治, 伊藤信夫, 橋本惇(1991)鹿児島湾北部, 若御子カルデラの“たぎり”湧出部における底質および硫化物脈.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 235-244.
新妻信明, 狩野謙一, 和田秀樹, 竹内真司, 吉田智治, 大浦坂勝利, 大塚謙一, 佐藤隆一, 渋谷朝紀(1990)駿河トラフにおけるプレート沈み込みの直視観察.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 261-276.
新妻信明(1994)採取試料の古地磁気測定と駿河トラフ石花海ゴージにおけるプレート衝突「しんかい2000」第707潜航報告. JAMSTEC深海研究, 10: 353-362.
新妻信明(1994)採集試料の古地磁気測定と駿河トラフ石花海コージにおけるプレート衝突－「しんかい2000」第707潜航. JAMSTEC深海研究, 10: 353-362.

西村昭, 臼井朗（1994）小笠原海台東海山の地史とマンガンクラストの産状観察. JAMSTEC深海研究, 10 : 99-110.
西村昭, 野原昌人, 臼井朗（1997）九州・パラオ海嶺及び伊豆・小笠原弧の石灰岩試料のストロンチウム同位体層序年代. JAMSTEC深海研究, 13: 145-153.
小田巻実, 菊池真一（1985）富山湾深海底における海水流動と海底微地形. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 17-22.
小川勇二郎, 藤原義弘, Hunt, J.C., 岩瀬良一, 金子浩幸, 川村喜一郎, 北里洋, 小林英城, 小泉金一郎, 久保田信, 西田周平, 大塚攻, 嶋永元裕, 高木善弘, 土田真二, 土屋正史, 植松勝之, 山本智子, 橋本惇, 瀬川爾朗（1997）1997年5月相模湾「しんかい2000」潜航調査報告（既報）－第939-945潜航. JAMSTEC深海研究, 13: 353-373.
小川勇二郎, 岩瀬良一, 金沢敏彦, 金子浩幸, 川上俊介, 川村喜一郎, 小山純弘, 小林英城, 牧陽之助, 酒井慎一, 高木善弘, 浅田美穂（1999）NT98-12 Leg1による相模湾「しんかい2000」潜航調査報告（概報）－第1047~1051潜航. JAMSTEC深海研究, 15(1): 135-143.
岡田博有, 大塚謙一（1986）相模トラフ周辺の堆積環境－「しんかい2000」による三浦海底谷潜航調査－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号：11-20.
岡村行信, 中村光一, 田中武男（1986）高知沖trench slope breake上の海丘群の潜航調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号：173-192.
岡村行信, 倉本真一, 佐藤幹夫（1998）日本海東縁海域の活構造およびその地震との関係. 地調月報, 49: 1-18.
岡村行信, 佐竹健二, 荒井晃作, 池原研（1999）北海道西方沖の地震震源域及び空白域の潜航調査. JAMSTEC深海研究, 15(2): 109-122.
岡村行信（2000）日本海東縁のインバージョンテクトニクス. 石油技術協会誌, 65: 40-47.
岡村行信, 佐竹健治, 荒井晃作, 池原研, 長尾哲史, 桧物豊成（2001）北海道西方沖の地震震源域周辺における活断層の潜航調査. JAMSTEC深海研究, 18: 31-46.
岡野肇, 藤岡換太郎, 田中武男, 竹内章, 倉本真一, 徳山英一, 徐垣, 加藤茂（1995）北海道南西沖地震直後の海底. JAMSTEC深海研究, 11: 379-394.
大塚謙一, 新妻信明（1985）駿河トラフの構造運動とたい積地質 松崎沖の駿河トラフ底および伊豆側斜面の潜航調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号：45-57.
大塚謙一（1987）駿河トラフ北端部, 富士川河口斜面の潜航調査. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号：1-14.
大塚謙一, 新妻信明（1991）駿河トラフにおける収束境界陸側斜面の変形構造断面の観察「しんかい2000」第474潜航調査の結果.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 33-43.
斎藤実篤, 藤岡換太郎（1992）火山砕屑性堆積物から推定される海洋性島弧の発達過程－伊豆・小笠原弧を例として－. 地質学論集, 38: 373-384.
斎藤実篤（2000）沈み込み帯における流体排出過程. 月刊地球号外「プレート沈み込み帯の炭素循環」, 214-219.
坂本泉, 呉時国, 佐藤武, 石田光男（2000）八丈島・青ヶ島間に存在する仮称‘南八丈堆’の地形・地質学的特徴. JAMSTEC深海研究, 16(2): 69-85.
坂本泉, 佐々木智之, 藤岡換太郎（1997）蠕婦岩構造線付近で観察された海洋性島弧上部の火山地質学的特徴（1）. JAMSTEC深海研究, 13: 479-494.
坂本泉, 平田大二, 藤岡換太郎（1999）伊豆・小笠原弧の基盤岩. 神奈川県立博物館調査研究報告（自然科学）, 9: 21-39.
坂本泉, 富士原敏也, 石塚治（2001）伊豆－小笠原, 蠕婦岩構造線地域の地形・地質的特徴. JAMSTEC深海研究, 18: 55-69.
Sun, C. H., Stern, R. J., Naka, J., Sakamoto, I., Arima, M. (1999) Geological and geochemical sudies with Dolphin 3K on North Hiyoshi seamount, Izu-Bonin-Mariana arc. JAMSTEC深海研究, 14: 139-156.
佐藤岱生, 横田節哉（1986）「しんかい2000」第189潜航調査－大和堆の岩石と礫の膠着物－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 115-122.
里村幹夫, 大塚謙一, 新妻信明（1987）駿河トラフ中軸部における精密重力測定ならびにトラフ底と静岡側トラフ斜面の観察. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 15-24.
瀬川爾朗, 藤本博巳（1988）相模湾に設置された海底ステーションの観察及び音響トランスポンダーの交換.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 251-257.
Shinjo, R. (1998) Petrochemistry and tectonic significance of the emerged late Cenozoic basalts behind the Okinawa Trough Ryukyu arc system. J. Volcanol. Geotherm. Res., 80: 39-53.
Shinjo, R., Chung, S.-L., Kato, Y., Kimura, M. (1999) Geochemical and Sr-Nd isotopic characteristics of volcanic rocks from the Okinawa Trough and Ryukyu Arc: Implications for the evolution of a young, intracontinental back arc basin. J. Geophys. Res., 104: 10591-10608.
Shinjo, R. (1999) Geochemistry of high Mg andesites and the tectonic evolution of the Okinawa Trough-Ryukyu arc system. Chem. Geol., 157: 69-88.
Shinjo, R., Kato, Y. (2000) Geochemical constraints on the origin of bimodal magmatism at the Okinawa Trough, an incipient back-arc basin. Lithos., 54: 117-137.
新城竜一, 町山栄章, 牧陽之助, 本山功, 當山元進, 外窪周子, 鍾孫霖（2001）沖縄トラフ西端部と黒島海丘での潜航調査概要－「しんかい2000」NT00-06 Leg-1 航海－. JAMSTEC深海研究, 19: 109-121.
Sibuet, J.-C., et al. (1998) The southwestern Okinawa trough backarc basin: Early tectonic and magmatic evolution. J. Geophys. Res., 103: 30245-30267.
Taira, A., Saito, S., Aoike, K., Morita, S., Tokuyama, H., Suyehiro, K., Takahashi, N., Shinohara, M., Kiyokawa, S., Naka, J., Klaus, A. (1998) Nature and growth rate of the Northern Izu-Ogasawara arc crust and their implications to continental crust formation. The Island Arc, 7: 395-407.
竹内章, 田中武男（1989）北部奥尻海嶺の活構造.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 73-83.
Takeuchi, A. (1996) Recent crustal movements and strains along the eastern marginof Japan Sea floor.in 'Geology and Geophysics of the Japan Sea'. Japan-USSR Monograph, Ser.1: 385-398.
Takeuchi, A. Shipboard Scientific Party of R/V Yokosuka, Japan Sea Cruise (1998) Bottom response to a tsumami earthquake: Submersible observations in the epicenter area of the 1993 earthquake off southwestern Hokkaido, Sea of Japa. Jour. Geophys. Res., 103(B10): 24109-24125.
竹内章（1999）日本列島のネオテクトニクスと構造区. 月刊地球, 21(9): 537-542.
竹内章, 岡村行信, 加藤幸弘, 池原研, 張勁, 佐竹健治, 長尾哲史, 平野真人, 渡辺真人（2000）日本海東縁, 奥尻海嶺および周辺の大地震と海底変動. JAMSTEC深海研究, 16(2): 29-46.
竹内章, 田中武男（1990）後志海山の地形地質とテクトニクス.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 317-326,326.
玉木賢策, 佐藤岱生（1986）「しんかい2000」による日本海大和堆の地質学的研究－第188潜航結果概報－. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 123-132.
田中武男, 堀田宏, 門馬大和, 橋本惇, 大塚清, 緑川弘き（1985）釜石沖海底谷の微細地形・地質について 深海えい航及びしんかい2000による精査より. 日本地質学会学術大会講演要旨, 92: 218.
田中武男, 堀田宏, 浅利宏, 浅利忠（1986）“しんかい2000”および深海えい航調査によって得られた深海底たい積物の化学組成について（序報）. 海洋科学技術センター試験研究報告, 16: 31-45.
田中武男, 門馬大和, 堀田宏（1986）相模湾西部における海底溶岩流の発見. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 21-35.
田中武男（1990）奥尻海嶺の活構造「しんかい2000」による潜航調査. JAMSTEC, 2(3): 18-28.
田中武男, 門馬大和, 松本剛, 堀田宏（1987）日本海中部地震震源域における変動微細地形について. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号：233-250.
田中武男, 満澤巨彦, 堀田宏（1989）沖縄トラフ伊平屋小海嶺東部の1988年潜航調査について.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 267-281.
Tohue, F., Huchon, P., Kobayashi, K. (1995) Structural Style of the 34°N', 138°10E Depression on the Middle Slope of the Eastern Nankai Trough (October 1994, "Shinkai 2000 dives). JAMSTEC深海研究, 11: 197-204.
徳山英一, 倉本真一, 徐垣, 宮下純夫, 竹内章, 門馬大和, 田中武男（1989）日本海盆地殻断面の調査－「しんかい2000」による奥尻海嶺西縁断層壁の観察－.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 101-110.
徳山英一, 竹内章, 徐垣, 石井次郎, 嵯峨山積, 菅和哉, 宮下純夫, 倉本真一（1991）日本海東縁奥尻海嶺におけるバック・スラスト.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 245-252.
徳山英一, 宮下純夫, 竹内章, 徐垣, 田中武男（1994）大洋底のダイナミクス しんかい2000/6500が明らかにした日本海の地質. 月刊地球, Gogai 9: 70-74.
Tokuyama, H., Kuramoto, S., Soh, W., Miyashita, S., Byrne, T., Tanaka, T. (1992)オフィオライト定置の開始 東北日本弧,奥尻海嶺からの現代の一例, Mar Geol, 103(1/3): 323-334.
Tokuyama, H. (1995) Origin and developement of Philippine Sea. Geology and Geophysics of the Philippine Sea, 155-163.
Tokuyama, H., Ashi, J., Kuramoto, S., Soh, W., Ikeda, Y. (1999) Active fault off Tokai. University of Tokyo Press, 1-178.
筒井智樹, 安藤雅孝, 金嶋聡（1988）潜水船「しんかい2000」による海底地震計の設置について.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 259-266.

筒井智樹，安藤雅孝，金嶋聡，大滝寿樹（1989）デジタル海底地震計の開発と海底地震観測.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 293-302.
上田誠也，木村政昭，田中武男，兼岡一郎，加藤祐三，久城育夫（1985）沖縄トラフ拡大軸の研究．海洋科学技術センター試験研究報告，特別号：123-142.
植田義夫，白井宣好，小野房吉（1986）相模湾における海底重力測定． 海洋科学技術センター試験研究報告，特集号: 37-42.
浦辺徹郎(1989)伊是名海穴（鉱床サイト1）の鉱床の鉱物学的特徴－黒鉱との比較において－.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 191-196.
Urabe, T., Maruyama, A., Marumo, K., Seama, N., Ishibashi, J., Naganuma, T. (2000) The Archaean Park Project: “Interactions between subsurface - vent biosphere and the geo-environment”. InterRIDGE News, 9: 34-36.
Urabe, T., Maruyama, A., Marumo, K., Seama, N., Ishibashi, J. (2000) The archaean park project update. InterRidge News, 10(1): 23-25.
臼井朗（1991）小笠原海域「海形海山」の熱水性マンガン酸化物－第408回潜航調査－.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 89-104.
臼井朗，西村昭，三田直樹（1992）伊豆・小笠原弧,西七島海嶺天保海山のマンガン団塊及びクラストの潜水調査．しんかいシンポジウム報告書, 8: 257-270.
Usui, A., Nishimura, A., Iizasa, K. (1993)北西太平洋天保海山上のマンガンノジュールとクラスト鉱床の潜水観察．Mar Georesources Geotechnol, 11(4): 263-291, 291(1)-291(2).
臼井朗，西村昭，石塚治（1997）九州・パラオ海嶺,駒橋第二海山のマンガンクラスト・団塊の潜航調査－「しんかい2000」第820及び868潜航－. JAMSTEC深海研究, 13: 127-144.
Usui, A., Someya, M. (1997) Manganese Mineralization: Geochemistry and Mineralogy of Terrestrial and Marine Deposits. Geol. Soc.London, Special Publ (119): 177-198.
臼井朗（1998）マンガン団塊に海洋環境が記録されているか?．地質ニュース, 529: 21-30.
Usui, A., Glasby, G.P. (1998) Submarine hydrothermal mineralization on the Izu-Bonin arc, south of Japan: An Overview. Island Arc, 7: 422-431.
Usui, A., Ishizuka, O., Yuasa, M. (1999) Mode of occurrence of iron-manganese crusts on inactive seamounts in the northwestern Pacific back-arc setting. Proc. of 3rd ISOPE Ocean Mining Symposium, 91-96.
臼井朗，松本泰三（2000）小笠原海台域の平頂海山から得られたマンガンクラストの形成年代．日本地質学会2000, 松江.
宇都浩三（1983）伊豆．小笠原弧の第四紀火山岩．地球, 464-468.
渡辺一樹，梶村徹（1993）水曜海山の地形・地質と熱水鉱床．しんかいシンポジウム報告書, 9: 77-89.
渡辺一樹，梶村徹（1994）伊豆・小笠原弧中部，水曜海山の熱水鉱化作用．Resour Geol, 44(244): 133-140.
渡辺一樹，芝田厚，梶村徹，石橋純一郎，角皆潤，青木正博，中村光一（1994）海底火山とそれに伴う海底熱水鉱床の調査手法 伊豆・小笠原弧の水曜海山における「しんかい2000」の潜航調査を例として．海洋調査技術, 6(1): 29-44.
渡辺一樹，芝田厚，梶村徹（1994）水曜海山カルデラ内の熱水活動域のマッピング．JAMSTEC深海研究, 10: 55-62.
渡邊一樹，芝田 厚，梶村 徹，石橋純一郎，角皆 潤，青木正博，中村光一（1994)海底火山とそれに伴う海底熱水鉱床の調査手法．海洋調査技術, 6: 29-44.
渡辺一樹，芝田厚，梶村徹（1995）水曜海山海底熱水性鉱床と他の海底熱水性鉱床の化学組成比較．JAMSTEC深海研究, 11: 351-362.
渡辺一樹，芝田厚（1996）伊豆小笠原弧金曜海山の海底火山地形と地質．JAMSTEC深海研究, 12: 239-246.
渡辺一樹（2000）西表島北北東沖海丘群の潜航調査 西表海丘，第1，第2小浜海丘．JAMSTEC深海研究, 16(2): 19-28.
渡辺一樹（2000）西表島北北東沖海丘群の潜航調査－西表海丘，第1，第2古浜海丘－．JAMSTEC深海研究, 16(2): 19-28.
渡辺一樹（2001）沖縄トラフ，鳩間海丘の海底熱水活動域のマッピング．JAMSTEC深海研究, 19: 87-94.
渡辺俊夫，浜田かおる，新形仁志（1981）2000m潜水調査船“しんかい2000”の信頼性評価．三菱重工技報, 18(3): 441-446.
Wu, S., Sakamoto, I., Iwase, R., Kawaguchi, K., Misawa, Y., Wong, H. K. (2000) Seafloor sedimentary processes on the western slope of Sagami Bay, Central Japan : deep tow observations. JAMSTEC深海研究, 17: 43-52.
山本博文（1990）「しんかい2000」による隠岐海嶺頂部への潜航報告.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 309-315.
山村健，俵健二，田崎和江，千葉仁，石橋純一郎（1997）生体鉱物 伊平屋海嶺に見られる針状鉱物について．鉱物学雑誌, 26(2): 13-116.
山野誠，上田誠也，加藤祐三，木村政昭，田中武男，仲二郎，蒲生俊敬（1986）“しんかい2000”による中部沖縄トラフにおける温度測定．日本地熱学会学術講演会講演要旨集, 1986: 73.
山野誠（1989）「しんかい2000」による中部沖縄トラフにおける熱水活動の研究．日本地熱学会学術講演会講演要旨集, 1989: 58.
山野誠，木下正高（1998）四国海盆と西南日本沈み込み帯の温度構造について．地震研究所彙報, 73: 105-123.
山野誠，木下正高，松林修，中野幸彦（2000）南海トラフ付加体の温度構造と間隙流体による熱輸送．地学雑誌, 109: 540-553.
山野誠，木下正高，後藤秀作（2002）南海トラフ沈み込み帯の温度構造と孔内長期温度計測．月刊地球，号外36: 161-168.
Yamano, M., Kinoshita, M., Goto, S., Matsubayashi, O. (2002) Extremely high heat flow anomaly in the middle part of the Nankai Trough. Physics and Chemistry of the Earth.
山崎晴雄（1989）潜水船調査で明らかになった富山トラフの地殻変動.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 121-130.
山崎晴雄（1990）能登半島沖富山トラフの潜航調査　第３次.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 6: 291-300.
山崎晴雄（1993）「しんかい2000」による相模海丘北西端部の地形・地質調査．しんかいシンポジウム報告書, 9: 191-203.
山崎晴雄（1988）日本海東縁部及びフォッサマグナ周辺の地震テクトニクスの研究 日本海東縁における地殻構造調査 局所表層調査 地質調査．中部日本活構造地域の地震テクトニクスに関する研究 昭和60-62年度 第1期成果報告書, 52-61.
山崎俊嗣，湯浅真人，村上文敏，飯笹幸吉（1991）伊豆・小笠原弧北部，青ケ島リフトの火山活動熱水活動.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 7: 105-114.
Yamazaki, T., Sharma, R. (1998) Distribution Characteristics of Co-Rich Manganese Deposits on a Seamount in the Central Pacific Ocean. Marine Georesources and Geotech., 16: 283-305.
Yamazaki, T., Murakami, F. (1998) Asymmetric rifting of the Northern Mariana Trough. Island Arc, 7: 460-470.
柳武，平岩恒広（1986）「しんかい2000」による海底重力測定．水路部技報, 4: 125-129.
吉田則夫，塚原弘昭（1987）潜水調査船「しんかい2000」を利用したシロウリガイ群生地でのガンマ線探査．海洋科学技術センター試験研究報告，特集号: 105-112.
吉田則夫，塚原弘昭（1988）潜水調査船「しんかい2000」を利用したシロウリガイ群生地でのガンマ線探査（そのⅡ）.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 4: 219-224.
吉田則夫，石田瑞穂（1989）相模湾沖ノ山堆シロウリガイ群生地におけるガンマ線探査・微生物ポピュレーション調査.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 15-21.
吉田則夫，塚原弘昭（1991）シロウリガイ貝殻の δ14C, δ13Cと群生地下からの物質供給.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 25-32.
Yoshida, N., Tsukahara, H.（1991）潜水調査船「しんかい2000」を使った相模トラフ沈み込み帯での生物共同体のガンマ線スペクトル調査と14C測定. J Phys Earth, 39(1): 255-266.
Yuasa, M., Watanabe, T., et al. (1977) Pre-Cenozoic metamorphic rocks from the Daito Ridge in the northern Philippine Sea. J. Japan. Assoc. Min. Pet. Econ. Geol., 72: 241-251.
Yuasa, M., Murakami, F., Saito, E., Watanabe, K. (1991) Submarine topography of seamounts on the volcanic front of the Izu-Ogasawara (Bonin) Arc. Bull. Geol. Surv. Japan., 42 : 703-74.
Yuasa. M., et al. (1992) Petrographic and geochemical along arc variations of volcanic rocks on the volcanic front of the Izu-Ogasawara (Bonin). Arc. Bull. Geol. Surv. Japan, 43: 421-456.
Yuasa, M. (1992) Origin of along-arc geologic variations on the volcanic front of the Izu- Ogasawara (Bonin) arc. Bull. Geol. Surv. Japan, 43 : 457-466.
湯浅真人（1995）伊豆・小笠原弧北部,明神海丘潜航調査報告（#555）. JAMSTEC深海研究, 11 : 305-313.
湯浅真人（1995）「しんかい2000」による海底軽石火山の観察：明神海丘潜航調査．火山, 40(4): 277-284.

技術・工学

赤沢克文（2001）相模湾の海底地形と潜水調査 相模湾からのスタート．水産海洋研究, 65(3): 103-105.
綱谷泰孝，前田俊夫，早柏宏一，山本恵三（1982）“しんかい2000”潜水調査

船操縦シミュレータ. 関西造船協会誌, 186: 69-76.
網谷泰孝, 大谷昇一, 山本恵三, 竹ノ内武治, 小島弘, 柳川登志行(1983)「しんかい2000」潜水調査船操縦シミュレータ. NEC技報, 36(9): 113-121.
網谷泰孝, 岩田進, 土屋利雄, 中西俊之, 浜田幸信(1984)「しんかい2000」とう載用調査観測機器の開発. 海洋科学技術センター試験研究報告, 13: 33-41.
網谷泰孝, 土屋利雄, 高川真一, 中西俊之, 浜田幸信(1984)潜水船救難装置用かん合金物のかん合検知機構の試作. 海洋科学技術センター試験研究報告, 12: 9-19.
網谷泰孝, 安藤久司, 中西俊之, 土屋利雄, 山本浩文, 岩柳順二(1986)相模湾における鉛直方向音波伝搬試験について. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 75-80.
青木健作(1982)2000mの深海に挑む 潜水調査船“しんかい2000”就役. Ocean Age, 14(1): 41-46.
新井嘉人, 中西俊之, 土屋利雄, 網谷泰孝, 野並健二, 許正憲(1989)「しんかい2000」による画像情報の伝送試験について.「しんかい2000」研究シンポジウム報告書, 5: 325-332.
芦野民雄(1985)海洋開発と施工機器. 土木学会誌, 70(3): 15-18.
遠藤倫正, 横田公男, 森鼻英征, 淵上勝人, 広瀬衛,下山仁一(1980)深海潜水調査船の耐圧殻の設計および製作. 日本造船学会論文集, 148: 107-120.
遠藤倫正, 横田公男, 笹野量一郎, 豊原力, 高野元太, 安井健一, 西村孝(1984)深海潜水調査船チタン合金耐圧殻の工作法に関する研究. 日本造船学会論文集, 156: 425-435.
Endo, M., Ikeda, T. (1985) 'Shinkai 2000' deep submergence research system. North East Coast Inst Eng Shipbuild Trans, 101(4): 155-175,177-181.
萩原広治, 中西俊之, 森鼻英征, 緑川弘毅, 須山哲(1987)“しんかい2000”用調査観測機器(底層流用流向流速計)の開発. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 25-29.
浜巌, 高川真一, 浜田幸信, 関雅之, 富田慎一, 渡辺和夫(1982)“しんかい2000”用着水揚収システムの開発. 海洋科学技術センター試験研究報告, 9: 1-20.
浜田幸信, 徳永三吾(1982)深海潜水調査船“しんかい2000”. GS News Tech Rep, 41(1): 2-7.
Hamada, Y, Takagawa, S., Ikeda, T., Sunag, A. M., Endoh, M., Yokota, K. (1982) On the development of Japanese 2,000-m deep submergence research vehicle Shinkai 2000 system. Proc Annu Offshore Technol Conf, 14(1): 215-227.
Hattori, M., Takahashi, K., Kadomoto, Y. (1985) Present status of ROVs in JAMSTEC. Remote Oper Veh, 126-132.
服部睦男(1988)無人探査機「ドルフィン-3K」について. 日本造船学会誌, 704: 104-111.
服部陸男, 青木太郎, 野本昌夫, 高橋賢一, 吉田和生, 渡辺正之, 内田徹夫, 小原孝文, 越中秀泰(1989)無人探査機ドルフィン-3Kの開発と運用訓練. 海洋科学技術センター試験研究報告, 21: 277-297.
早川向海(1988)水中作業ロボットにおける位置測定装置. 作業船, 58-64.
堀田宏(1984)特集　海洋開発　深海開発と潜水調査船「しんかい2000」. 月刊建設, 28(11): 22-26.
堀田宏(1988)潜水船および無人探査機による海底精密調査. 海洋工学シンポジウム, 8: 173-176.
井田正比古(1981)潜水調査船しんかい2000オペレーションの概要と機能. Ocean Age, 13(9): 67-71.
石川隆之, 難波直愛(1981)潜水調査船“しんかい2000”と複合材料. 強化プラスチックス, 27(11): 451-457.
岩瀬良一, 門馬大和, 川口勝義, 藤原法之, 鈴木伸一郎, 満澤巨彦(1997)相模湾初島沖「深海底総合観測ステーション」により観測された海底変動現象－1997年3月伊豆半島東方沖群発地震に伴う海底混濁流－. JAMSTEC深海研究, 13: 433-442.
岩瀬良一(2000)地学における先端テクノロジー　深海調査技術　有人潜水調査船と無人探査機. 地学雑誌, 109(6): 885-899.
岩瀬良一(2000)深海調査技術－有人潜水調査船と無人探査機－. 地学雑誌, 109: 885-899.
岩瀬良一, 満澤巨彦, 平田賢治, 海宝由佳, 川口勝義, 藤江剛, 三ヶ田均(2001)相模湾初島沖深海底総合観測ステーションの更新　－次世代リアルタイム観測の確立に向けて－. JAMSTEC深海研究, 18: 185-192.
岩瀬良一, 町山栄章(2001)電気伝導度変化を伴う冷湧水変動の検出－相模湾初島南東沖潜航調査(「ドルフィン3K」第546潜航,「しんかい2000」第1320, 1323潜航)序報－. JAMSTEC深海研究, 20: 115-125.
Iwase, R., Mitsuzawa, K., Mikada, H., K., Hirata, Kawaguchi, K., Kaiho, Y. (2001) Deep seafloor observatory off Hatsushima Island in Sagami Bay. SubOptic 2001 International Convention Proceedings, 199-202.
加賀谷一茶, 木下正高, 服部陸男, 岡野眞治(2000)海洋 γ 線測定システム用船上表示装置の開発と試験. JAMSTEC深海研究, 16(2): 133-140.
笠井浩(1984)深海潜水調査船「しんかい2000について」各種調査に期待される今後の活躍. 機械振興, 17(2): 34-39.
Kawaguchi, K., Hirata, K., Nishida, T., Obana, S., Mikada, H. (2002) A new approach for mobile and expandable real time deep seafloor observation - Adaptable Observation System-. IEEE Journal of OCEANIC ENGINEERING, 27(2).
Kawaguchi, K., Hirata, K., Nishida, T., Obana, S., Mikada, H. (2002) A new approach for mobile and expandable real time seafloor observation - Adaptable observation system-. IEEE J. Ocean Eng, 27(2): 182-192.
倉田正也(1987)ニーズに応える新素材 XXII 宇宙・天空・深海をものにするための新素材. 化学技術誌MOL, 25(10): 57-62.
黒川武彦, 野田博昭(1983)“しんかい2000”潜航中の目と耳. センサ技術, 3(1): 59-66.
許 正憲, 長沼 毅, 植木 達彦, 掘越 弘毅(1997)形状記憶合金を用いた熱水自動採水装置の開発. 海洋科学技術センター試験研究報告, 35: 99-108.
松本文あき, 竹内正敏, 安藤久司, 藤森ひろ明, 木村朗, 笠原幹夫(1985)超酸化カリウム(KO2)を用いた潜水調査船用生命維持装置の基礎研究. 海洋科学技術センター試験研究報告, 15: 23-38.
松本文あき, 萩原広治, 中西俊之, 安藤久司, 段野くに興, 井田正比古(1986)「しんかい2000」の運航実績速報. 海洋科学技術センター試験研究報告, 17: 25-34.
三菱重工業神戸造船所潜水艦部(1982)2,000m深海潜水調査船“しんかい2000”海底2,000mに挑戦. 船舶, 55(3): 42-53.
三輪哲也, 許正憲, 岩瀬良一(2002)深海における電気化学. Electrochemistry, 70(5): 352-355.
門馬大和, 堀田宏(1986)地形調査における事前調査と潜航調査の比較. 海洋科学技術センター試験研究報告, 特集号: 63-74.
門馬大和, 満澤巨彦, 堀田宏(1991)駿河トラフに設置した底層流長期観測装置は流されたか.「しんかい2000」シンポジウム報告書, 7: 51-62.
門馬大和, 深海調査グループ(1992)駿河トラフ底の海底基準点の構築　－DK90-1-SGM/SRG および Dive472,576のまとめ. しんかいシンポジウム報告書, 8: 373-379.
門馬大和, 満澤巨彦, 海宝由佳, 堀田宏(1994)相模湾初島沖「深海底総合観測ステーション」の設置と長期観測. JAMSTEC深海研究, 10: 363-371.
門馬大和, 満澤巨彦, 海宝由佳, 岩瀬良一, 藤原義弘(1995)相模湾初島沖の深海底総観測－シロウリガイ群生域の1年間－. JAMSTEC深海研究, 11: 249-268.
Momma, H., Iwase, R., Mitsuzawa, K., Kaiho, Y., Fujiwara, Y. (1998) Preliminary results of a three-year continuous observation by a deep seafloor observatory in Sagami Bay, central Japan. Physics of the Earth and Planetary Interiors, 108: 263-274.
Momma, H., Kawaguchi, K., Iwase, R. (1999) A NewApproach for Long-Term Seafloor Monitoring and Data Recovery International Society of Offshore & Polar Engineering 1999/06. ISOPE-99 Proceedings, 4: 603-610.
Momma, H., Aoki, T., Kawaguchi, K. (2001) Recent Progress of the Deep Ocean Technology in JAMSTEC Elevent. International Offshore and Polar Engineering Conference, The Second International Deep-Ocean Tecnology Symposium Proceedings, 660-663.
森鼻英征(1981)深海潜水調査船にチタンを利用. チタニウム・ジルコニウム, 29(3): 145-151.
森鼻英征(1983)深海潜水調査船の開発　しんかい2000と6000mへの期待. 日本機械学会誌, 86(774): 542-549.
森鼻英征, 中西俊之, 萩原広治, 志村明敏, 緑川弘毅, 須山哲(1987)底層流用流限流速計の開発. 海洋科学技術センター試験研究報告, 18: 51-60.
森山康(1981)“しんかい2000”と高張力鋼. 鉄鋼界, 31(7): 22-24.
中西俊之(1985)水中音響トランスポンダ航法装置について. Navigation(Tokyo), 86: 67-78.
中西俊之(1988)水中画像伝送システムの開発. 船の科学, 41(2): 43-49.
西岡石夫(1984)“しんかい2000”の重量調整装置用海水ポンプ. 油圧技術, 23(10): 46-52.
小原孝文, 服部陸男, 青木太郎, 野本昌夫, 高橋賢一, 吉田和生, 段野洲興, 渡辺正之, 内田徹夫(1989)無人探査機ドルフィン-3Kによる水中音源への接近到達法. 海洋科学技術センター試験研究報告, 22: 265-276.
岡部昭彦(1982)2,000m潜水調査船システムの音響航法装置. Ocean Age, 14(6): 29-34.
Saeki, M. (1984) Current research and development at JAMSTEC Japan Marine

Science & Technology Center. Oceans, 1984(2): 917-920.
Saeki, M. (1985) Current research and development at the Japan Marine Science and Technology Center (JAMSTEC). Mar Technol Soc J, 19(1): 20-24.
Sakakura, K., Takagawa, S., Nakanishi, T., Tsuchiya, T., Amitani, Y. (1986) A study on rescue buoy system for 2,000m deep research submersible "Shinkai 2000" system. Jt Int Conf Escape Surviv Rescue Sea, 3: 63-65.
清水徹(1986)深海潜水船の最新技術．日本舶用機関学会誌，21(2): 105-111.
志村明敏，吉成武彦(1984)「しんかい2000」用1kW水中投光器の試作．海洋科学技術センター試験研究報告，12: 27-32.
志村明敏(1984)"しんかい2000"にみる作業実例．力と自動化，15(3): 45-48.
高川真一，徳永三吾，赤坂健二，東口洋一(1981)2000m潜水調査船"しんかい2000"ののぞき窓の衝撃試験．海洋科学技術センター試験研究報告，6: 15-22.
Takagawa, S., Hamada, Y. (1981) Japanese 2,000m deep submergence research vehicle "Shinkai 2000" system. Oceans, 1981: 1155-1159.
高川真一，中西俊之，徳永三吾，浜田幸信(1982)潜水船救難装置の海上実験Ⅱ潜水船支援母船を用いた中深度実験．海洋科学技術センター試験研究報告，9: 21-37.
高川真一，網谷泰孝，土屋利雄，中西俊之，浜田幸信(1984)潜水船救難装置の海上実験Ⅲ潜水船支援母船を用いた大深度実験．海洋科学技術センター試験研究報告，12: 1-8.
Takagawa, S., Nakanishi, T., Tsuchiya, T., Amintani, Y. (1986) A study on rescue buoy system for 2,000m deep research submersible "Shinkai 2000" system. Jt Int Conf Escape Surviv Rescue Sea, 1: 125-131.
高川真一(1989)潜水調査船用ロックドリルの開発．海洋科学技術センター試験研究報告，22: 277-283.
高川真一(1993)「しんかい2000」「しんかい6500」による資源探査．エネルギー・資源，14(2): 139-145.
冨島康夫，山崎哲生，半田啓二，鶴崎克也(1989)海底熱水性鉱床の工学的特性と採掘装置の基礎的検討．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，5: 283-291.
土屋利雄，網谷泰孝，中西俊之，浜田幸信(1984)「しんかい2000」の潜航事前調査用流向流速測定のためのトランスポンダの開発．海洋科学技術センター試験研究報告，13: 15-31.
土屋利雄，中西俊之，網谷泰孝(1985)「しんかい2000」用サブボトムプロファイラの開発．海洋科学技術センター試験研究報告，15: 11-22.
土屋利雄，志村明敏，中西俊之(1985)「しんかい2000」カラーテレビシステムの開発．海洋科学技術センター試験研究報告，14: 25-36.
土屋利雄，網谷泰孝，中西俊之(1986)潜水船用サブボトムプロファイラの開発及び試験結果について．海洋科学技術センター試験研究報告，特集号: 81-87.
土屋利雄，網谷泰孝，中西俊之，鈴木道也(1991)有人深海ステーション 音響によるTV画像の伝送．月刊海洋，23(7): 406-414.
筒井為雄(1982)深海潜水調査船．応用機械工学，23(1): 120-125.
内田徹夫，橋本惇，渡辺正之，段野洲興，小原孝文，田中武男(1989)潜水機によるガイドラインマーカーを用いた再接近について．海洋科学技術センター試験研究報告，22: 233-245.
和田一育，高川真一(1991)潜水調査船用ロックドリルの開発(続報)．海洋科学技術センター試験研究報告，26: 55-63.
和田一育，高川真一(1991)ロックドリルの開発．「しんかい2000」研究シンポジウム報告書，7: 293-300.
横田公男，浜田かおる，難波直愛，黒川武彦(1981)2000m潜水調査船で"しんかい2000"．三菱重工技報，18(3): 425-440.
横田公男(1981)深海潜水調査船「しんかい2000」．造船技術，14(3): 82-88.

総　論

堀田宏(1990)深海への挑戦．Sci. & Tech., 3(1): 4-10.
堀田宏(1994)特集 深海 深海調査の過去・現在・未来．らん，22: 1-7.
堀田宏(1994)深海のはなし．環境管理(産業環境管理協会)，30(1): 32-38.
堀田宏(1996)21世紀のフロンティアー海洋 深海底の調査．化学工学，60(9): 607-610.
堀田宏(1998)深海調査研究の現状と今後の展望．ふぇらむ，3(6): 408-413.
堀田平(1998)海底に広がるフロンティア 深海調査と深海技術開発を進めて．白石記念講座，36/37: 53-71.
堀田平(1999)新たな海の恵みと地球環境時代 我が国の海洋利用政策および海洋技術 我が国の海洋における取り組み 地球規模の課題に立ち向かう海洋調査・観測技術．港湾，76(7): 35-36.
加藤洋(1984)海中のなぞにいどむ「しんかい2000」．建設の機械化，409: 59-63.
栢原英郎，稲葉興作，工藤秀雄(1996)海が拓くあすの日本．作業船，223: 4-11.